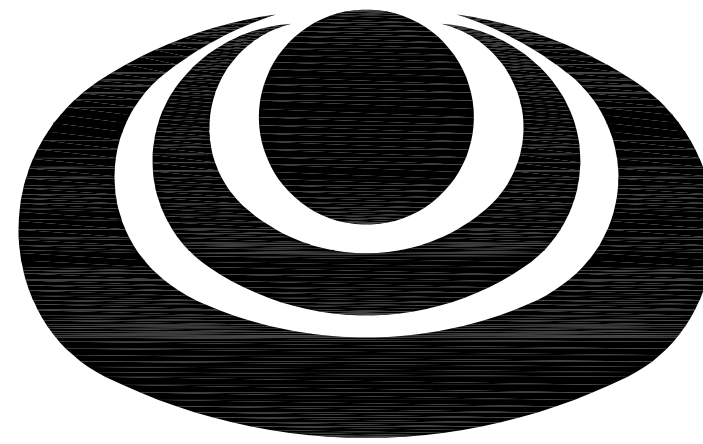


# 下水道標準図



令和7年度改訂版

取手地方広域下水道組合



# 次

## 1. 【一般編】

1. 案内図
2. 系統図
3. 区画割平面図
4. 平面・縦断図用詳細図
5. 平面・縦断図
6. 圧送管用平面・縦断図用詳細図
7. 圧送管 配管詳細図 硬質塩化ビニル管
8. 圧送管 配管詳細図 ポリエチレン管

## 2. 【開削編】

1. 下水道用鉄筋コンクリート管規格図(1) [JSWAS A-1] B形管、寸法表
2. 下水道用鉄筋コンクリート管規格図(2) [JSWAS A-1] 外圧強さ、管厚中心半径・自重
3. 下水道用鉄筋コンクリート管布設図 {梯子胴木基礎}
4. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(1) [JSWAS K-1] ゴム輪受口片受直管
5. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(2) [JSWAS K-1] ゴム輪受口
6. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(3) [JSWAS K-1] 曲管
7. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(4) [JSWAS K-1] 副管用曲管・自在曲管
8. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(5) [JSWAS K-1] 支管(A・B形)
9. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(6) [JSWAS K-1] 支管
10. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(7) [JSWAS K-1] 副管用支管
11. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(8) [JSWAS K-1] マンホール継手
12. 下水道用硬質塩化ビニル管規格図(9) [JSWAS K-1] カラー
13. 下水道用硬質塩化ビニル管布設図 (1)
- 13-2. 下水道用硬質塩化ビニル管布設図 (2) 小型マンホール(硬質塩化ビニル製)
14. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (1)
- 14-2. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (2) ドロップ
- 14-3. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (3) 人孔取付部
- 14-4. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (1) (可とう継手・可とう支管設置)
- 14-5. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (2) ドロップ(可とう継手・可とう支管設置)
- 14-6. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (3) 人孔取付部(可とう継手設置)
15. 0号マンホール構造図
16. 1号マンホール構造図
17. 2号マンホール [600-900-1200] 構造図
- 17-2. 2号マンホール [600-1200] 構造図
18. 3号マンホール構造図
- 18-2. 組立式楕円人孔 [600(670)×900] 標準構造図
- 18-3. 圧送管吐き出し先 標準構造図(1)
- 18-4. 圧送管吐き出し先 標準構造図(2)
19. インバート図
20. マンホール蓋デザイン図
21. 下水道用塩化ビニル製小型マンホール規格図(1) [JSWAS K-9]
22. 下水道用塩化ビニル製小型マンホール規格図(2) [JSWAS K-9]
23. 下水道用レジンコンクリート製マンホール規格図(1) [JSWAS K-10]
24. 下水道用レジンコンクリート製マンホール規格図(2) [JSWAS K-10]
25. 下水道用コンクリート製マンホール規格図(1) [JSWAS A-10]
26. 下水道用コンクリート製マンホール規格図(2) [JSWAS A-10]
27. 下水道用鋳鉄製防護蓋規格図 [JSWAS G-3]
28. 下水道用塩化ビニル製小型マンホール構造図 [JSWAS K-9]
29. 下水道用硬質塩化ビニル製ます規格図 [JSWAS K-7] 公共ます
30. 下水道用硬質塩化ビニル製ますふたデザイン図 公共ます

31. 副管構造図(1) 外副管(本管・硬質塩化ビニル管)
32. 副管構造図(2) 外副管(本管・鉄筋コンクリート管)
33. 副管構造図(3) 内副管
34. 仮設山留工標準断面図(1) 【参考図】 アルミ矢板、金属製支保工(1・2段)
35. 仮設山留工標準断面図(2) 【参考図】 軽量鋼矢板、金属製支保工(1・2段)
36. 仮設山留工標準断面図(3) 【参考図】 鋼矢板、鋼製支保工
37. 仮設山留工標準断面図(4) 【参考図】 建込み簡易土留工
38. 舗装復旧図(1) {1. 取手市道}
39. 舗装復旧図(2) {2. つくばみらい市道}
40. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(1) [JSWAS K-13] ゴム輪受口直管
41. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(2) [JSWAS K-13] マンホール継手
42. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(3) [JSWAS K-13] くら型マンホール継手、内副管
43. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(4) [JSWAS K-13] 本管自在継手、リブくら型マンホール継手
44. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(5) [JSWAS K-13] 90度支管、副管用90度支管
45. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(6) [JSWAS K-13] 自在支管
46. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(7) [JSWAS K-13] 枝付き管
47. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(8) [JSWAS K-13] 変換継手
48. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(9) [JSWAS K-13] カラー
49. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(10) [JSWAS K-13] 共通寸法(1)
50. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(11) [JSWAS K-13] 共通寸法(2)
51. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管布設図(1)
52. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管布設図(2) 小型マンホール(硬質塩化ビニル製)
53. 0号レジンマンホール構造図
54. 1号レジンマンホール構造図
55. 2号レジンマンホール構造図
56. 3号レジンマンホール構造図
57. 下水道用硬質塩化ビニル管布設図(3) 小型マンホール(レジンコンクリート製)
58. 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管布設図(3) 小型マンホール(レジンコンクリート製)
59. 下水道用塩化ビニル製小型マンホール構造図(落差有り) [JSWAS K-9]
60. スリップ防止用マンホール蓋デザイン図
61. 親子蓋デザイン図
62. 空気弁脱臭装置規格図

## 3. 【小口径管推進編】

1. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図(1) [JSWAS A-6] 標準管
2. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図(2) [JSWAS A-6] 短管A・B
3. 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図(1) [JSWAS A-2] 標準管
4. 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図(2) [JSWAS A-2] 中押管
5. 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図(3) [JSWAS A-2] 中押管
6. 推進用立坑構造図(1) {鋼矢板工法、発進立坑} 【参考図】
7. 推進用立坑構造図(2) {鋼矢板工法、到達立坑} 【参考図】
8. 推進用立坑構造図(3) {鋼矢板工法、発進立坑、覆工設置} 【参考図】
9. 推進用立坑構造図(4) {鋼矢板工法、到達立坑、覆工設置} 【参考図】
10. 推進用立坑構造図(5) {ライナープレート工法(小判型)、発進立坑} 【参考図】
11. 推進用立坑構造図(6) {ライナープレート工法(円形)、到達立坑} 【参考図】
12. 推進用立坑構造図(7) {ライナープレート工法(小判型)、発進立坑、覆工設置} 【参考図】
13. 推進用立坑構造図(8) {ライナープレート工法(円形)、到達立坑、覆工設置} 【参考図】
14. 坑口防護図 (発進・到達) 【参考図】



# 次

## 3. 【小口径管推進編】

15. 地盤改良図【参考図】

16. 標準プラント施設図【参考図】

17. 埋設管防護図(1)【参考図】 ガス管

18. 埋設管防護図(2)【参考図】 ガス管

19. 埋設管防護図(3)【参考図】 電話

20. 埋設管防護図(4)【参考図】 水道管

21. 推進用マンホール可とう継手図【参考図】

22. 推進用立坑構造図(1) {ケーシング立坑(φ1500)}【参考図】

23. 推進用立坑構造図(2) {ケーシング立坑(φ1800)}【参考図】

24. 推進用立坑構造図(3) {ケーシング立坑(φ2000)}【参考図】

# 改訂履歴

## 1. 平成11年2月新版作成

## 2. 平成15年3月改訂作成

- ・開削編No.2-15~2-18用語追加
- ・開削編No.2-23~2-24下水道用レジンマンホールコンクリート製マンホール規格図追加
- ・開削編No.2-25~2-26下水道用コンクリート製マンホール規格図追加
- ・開削編No.2-38~2-40舗装復旧図全面改訂

## 3. 平成16年3月

- ・開削編No.2-13-2下水道用硬質塩化ビニル管布設図(2)(小型マンホール硬質塩化ビニル製)追加
- ・開削編No.2-14-2取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます{公共ます}設置図 ドロップタイプを追加
- ・開削編No.2-34仮設山留工標準断面図(1)[参考図] 標準掘削幅削除
- ・開削編No.2-35仮設山留工標準断面図(2)[参考図] 標準掘削幅削除
- ・開削編No.2-37仮設山留工標準断面図(4)[参考図] 縦梁プレート方式追加
- ・開削編No.2-28硬質塩化ビニル製小型マンホール構造図 上流側自在継手マンホール追加
- ・開削編No.2-38舗装復旧図(1){1.取手市道}前面改訂
- ・開削編No.2-15、16、17、18、24、26 マンホール調整金具を受枠変形防止調整金具に修正

## 4. 平成17年3月

- ・開削編No.2-18-2組立式楕円人孔[600(670)×900]標準構造図追加

## 5. 平成18年3月

- ・開削編No.2-18-3.圧送管吐き出し先 標準構造図(1)
- ・開削編No.2-18-4.圧送管吐き出し先 標準構造図(2)

## 6. 平成19年3月

- ・開削編No.41.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(1)[JSWAS K-13] ゴム輪受口直管
- ・開削編No.42.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(2)[JSWAS K-13] マンホール継手
- ・開削編No.43.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(3)[JSWAS K-13] くら型マンホール継手、内副管
- ・開削編No.44.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(4)[JSWAS K-13] 本管自在継手、リブくら型マンホール継手
- ・開削編No.45.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(5)[JSWAS K-13] 90度支管、副管用90度支管
- ・開削編No.46.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(6)[JSWAS K-13] 自在支管
- ・開削編No.47.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(7)[JSWAS K-13] 枝付き管
- ・開削編No.48.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(8)[JSWAS K-13] 変換継手
- ・開削編No.49.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(9)[JSWAS K-13] カラー
- ・開削編No.50.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(10)[JSWAS K-13] 共通寸法(1)
- ・開削編No.51.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図(11)[JSWAS K-13] 共通寸法(2)

## 7. 平成20年3月

- ・一般編No.4平面・縦断面用詳細図 補助・単独の分類追加
- ・一般編No.5平面・縦断面 補助・単独の分類追加

## 8. 平成21年3月改訂作成

- ・開削編No.2-09、2-13、2-14、2-14-2 φ150mm追加
- ・開削編No.2-31、2-32 副管φ100mm追加
- ・開削編No.2-34、2-35、2-37 φ150mm追加
- ・開削編No.2-38 未改良道路の仮復旧改訂

## 9. 平成22年3月改訂作成

- ・一般編No.4平面・縦断面用詳細図 補助・単独・弾力条項の分類修正
- ・一般編No.5平面・縦断面 補助・単独・弾力条項の分類修正
- ・開削編No.2-52.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管構造図(1)
- ・開削編No.2-53.下水道用リブ付硬質塩化ビニル管構造図(2) 小型マンホール(硬質塩化ビニル製)
- ・開削編No.2-54.0号レジンマンホール構造図
- ・開削編No.2-55.1号レジンマンホール構造図
- ・開削編No.2-56.2号レジンマンホール構造図
- ・開削編No.2-57.3号レジンマンホール構造図

## 10. 平成23年3月改訂作成

- ・開削編No.58下水道用硬質塩化ビニル管布設図(3) 小型マンホール(レジンコンクリート製)
- ・開削編No.59下水道用リブ付硬質塩化ビニル管布設図(3) 小型マンホール(レジンコンクリート製)
- ・開削編No.60下水道用塩化ビニル製小型マンホール構造図(落差有り)[JSWAS K-9]
- ・開削編No.2-18-3圧送管吐き出し先 標準構造図(1)の曲部追加
- ・開削編No.2-18-4圧送管吐き出し先 標準構造図(2)の曲部追加
- ・開削編No.2-34仮設山留工標準断面図(1)の木矢板からアルミ矢板への変更
- ・開削編No.2-35仮設山留工標準断面図(2)の型式図追加、掘削幅一覧表修正
- ・開削編No.2-36仮設山留工標準断面図(3)の型式図追加
- ・開削編No.2-37仮設山留工標準断面図(4)の掘削幅一覧表修正
- ・開削編No.61スリップ防止用マンホール蓋デザイン図(1)
- ・開削編No.62スリップ防止用マンホール蓋デザイン図(2)

## 11. 平成24年3月改訂作成

- ・開削編No.1-6 圧送管用平面・縦断面用詳細図追加
- ・開削編No.1-7 圧送管 配管詳細図追加
- ・開削編No.2-20 マンホール蓋デザイン図 修正
- ・開削編No.2-61 スリップ防止用マンホール蓋デザイン図(1)修正
- ・開削編No.2-62 スリップ防止用マンホール蓋デザイン図(2)修正
- ・開削編No.2-15 0号マンホール構造図修正
- ・開削編No.2-16 1号マンホール構造図修正
- ・開削編No.2-17 2号マンホール構造図修正
- ・開削編No.2-18 3号マンホール構造図修正
- ・開削編No.2-28-2 組立式楕円人孔[600(670)×900]標準構造図修正
- ・開削編No.2-18-3 圧送管吐き出し先 標準構造図(1)修正
- ・開削編No.2-18-4 圧送管吐き出し先 標準構造図(2)修正
- ・開削編No.2-31 副管構造図(1)外副管(本管・硬質塩化ビニル管)修正
- ・開削編No.2-32 副管構造図(2)外副管(本管・鉄筋コンクリート管)修正
- ・開削編No.2-33 副管構造図(3)内副管修正
- ・開削編No.2-52 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管布設図(1)修正

## 12. 平成25年3月改訂作成

- ・開削編No.2-38 舗装復旧図(1){1.取手市道}(取手市)の修正
- ・開削編No.2-39 舗装復旧図(2){1.取手市道}(旧藤代町)の削除
- ・開削編No.2-40 舗装復旧図(3){1.つくばみらい市道}(旧伊奈町)の修正

# 改訂履歴

## 13. 平成26年3月改訂作成

- ・開削編No.2-14 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図の修正
- ・開削編No.2-14-2 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} (ドロップ) 設置図の修正

## 14. 平成27年3月改訂作成

- ・開削編No.2-14 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図の修正
- ・開削編No.2-14-2 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} (ドロップ) 設置図の修正
- ・開削編No.2-24. 下水道用レジンコンクリート製マンホール規格図(2) [JSWAS K-10] の修正
- ・開削編No.2-62 親子蓋デザイン図の追加
- ・開削編No.3-21 推進用のマンホール可とう継手図追加
- ・\*耐震対策対象施設に関連する図面に注釈を追加

## 15. 平成28年3月改訂作成

- ・開削編No.2-14-3 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} (人孔取付部) 設置図の追加

## 16. 平成29年3月改訂作成

- ・一般編No.4. 平面・縦断図用詳細図の引出し等の改訂
- ・一般編No.5. 平面・縦断図の引出し等の改訂
- ・開削編No.14-4. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (1) の耐震編の追加
- ・開削編No.14-5. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (2) ドロップの耐震編の追加
- ・開削編No.14-6. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (3) 人孔取付部の耐震編の追加
- ・開削編No.60. スリップ防止用マンホール蓋デザイン図(1) の注釈の修正
- ・開削編No.61. スリップ防止用マンホール蓋デザイン図(2) の注釈の修正
- ・開削編No.62. 親子蓋デザイン図の注釈の修正

## 16. 平成30年3月改訂作成

- ・開削編No.63. 空気弁脱臭装置規格図

## 17. 平成31年3月改訂作成

- ・小口径管推進編No.22. 推進用立坑構造図(1) {ケーシング立坑(φ1500)} 【参考図】
- ・小口径管推進編No.23. 推進用立坑構造図(2) {ケーシング立坑(φ1800)} 【参考図】
- ・小口径管推進編No.24. 推進用立坑構造図(3) {ケーシング立坑(φ2000)} 【参考図】

## 18. 令和元年3月改訂作成

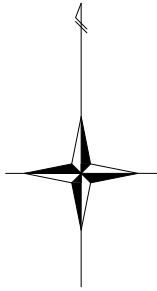
- ・開削編No.14. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (1) の修正
- ・開削編No.14-2. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (2) の修正
- ・開削編No.14-3. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (3) の修正
- ・開削編No.14-4. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (1) の修正
- ・開削編No.14-5. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (2) の修正
- ・開削編No.14-6. 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます {公共ます} 設置図 (3) の修正
- ・開削編No.28. 下水道用塩化ビニル製小型マンホール構造図[JSWAS K-9] の修正

## 19. 令和3年3月改訂作成

- ・一般編No.8. 圧送管 配管詳細図 ポリエチレン管の追加
- ・開削編No.17-2. 2号マンホール [600-1200] 構造図の追加
- ・開削編No.28. 下水道用塩化ビニル製小型マンホール構造図[JSWAS K-9] の修正

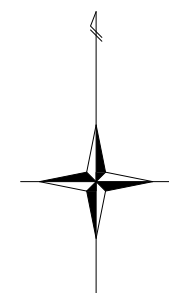
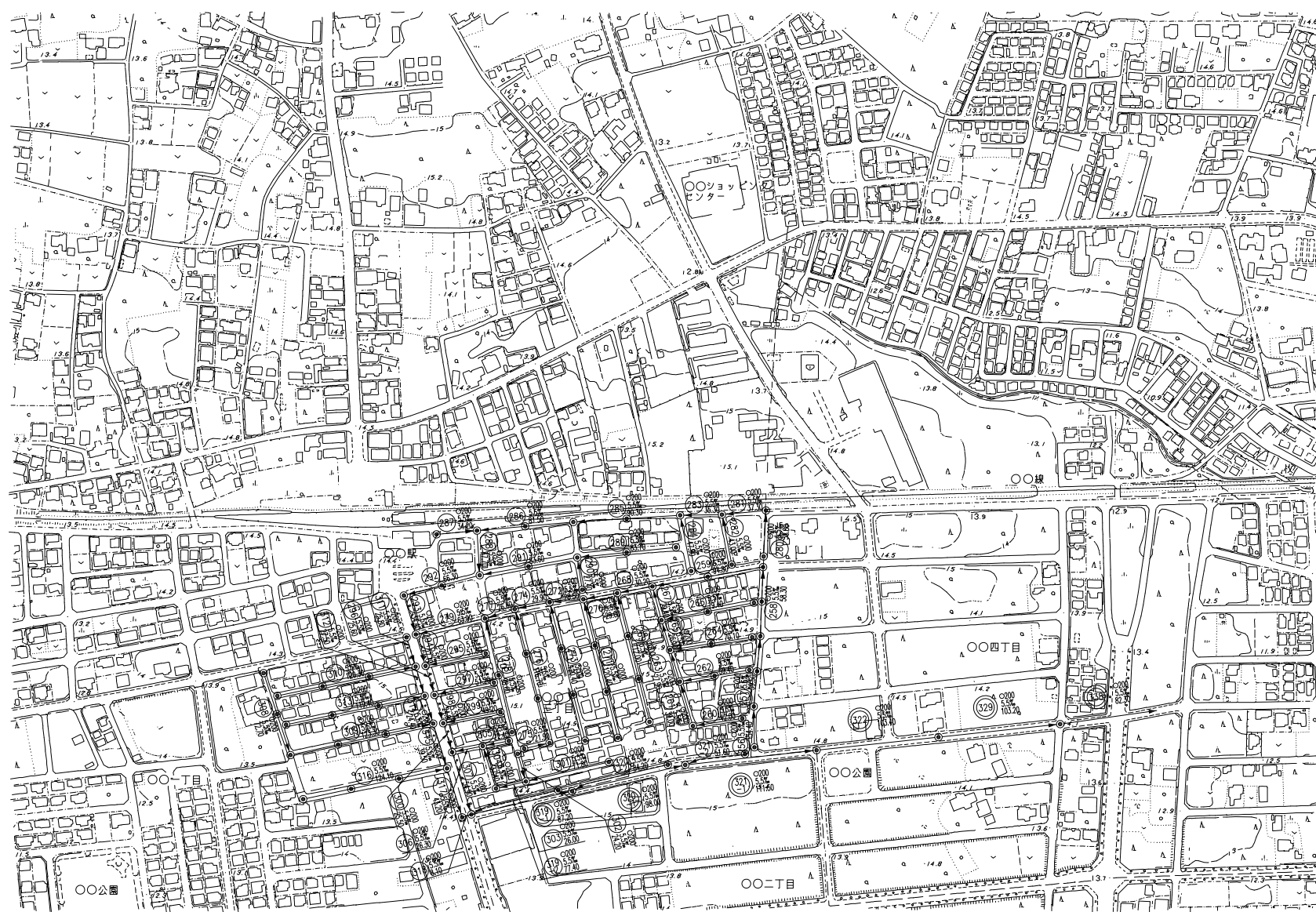
# 【一般編】

案内図 S=1/10000



事業名	取手地方広域下水道事業		
図面種別	案内図		
縮尺	1/10000		
工事番号			
工事箇所	地内	図面番号	
取手地方広域下水道組合			

系 統 図 S=1/2500

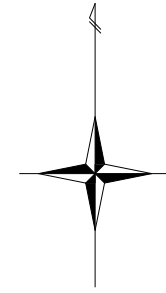
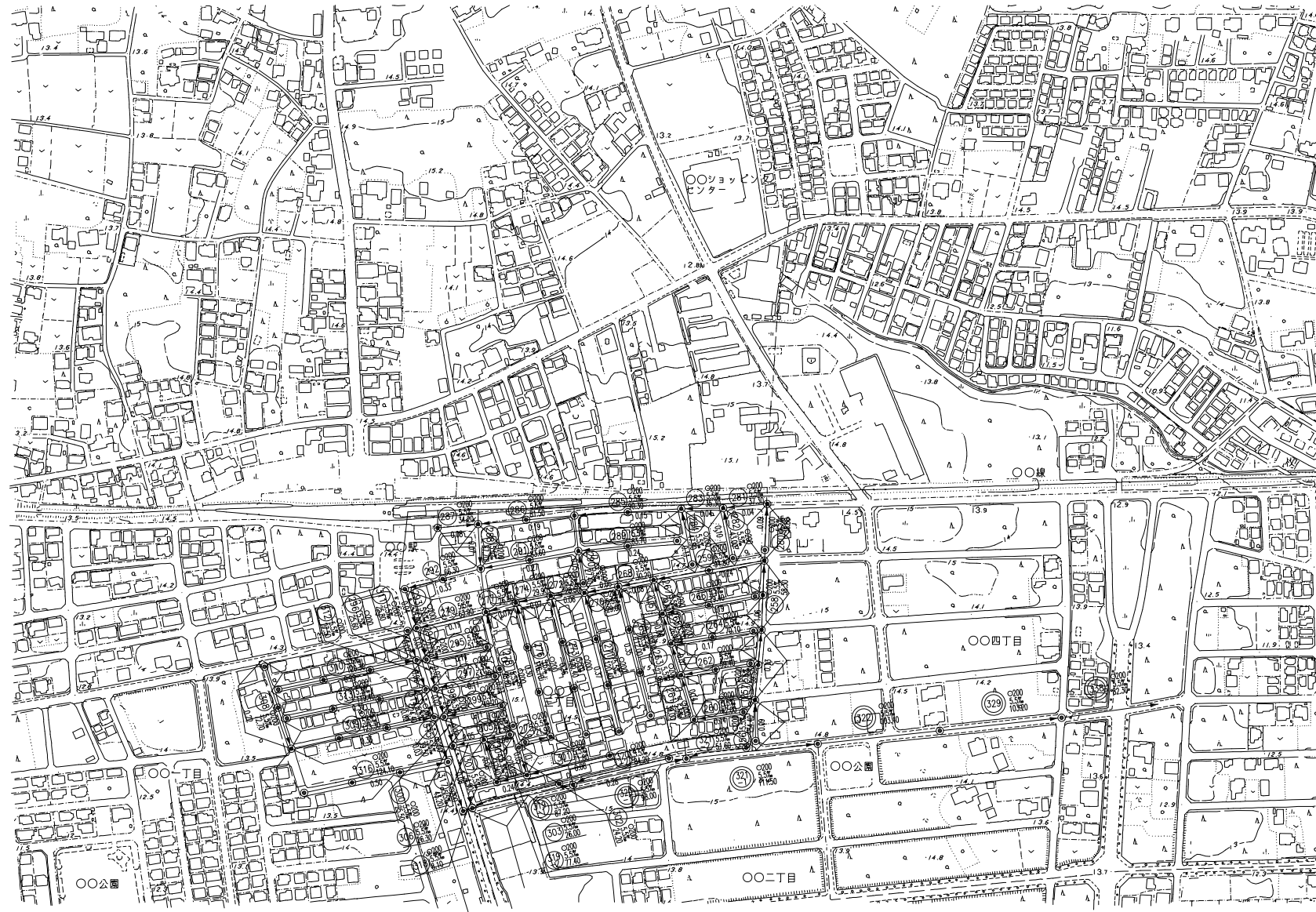


凡 例

○100	形状(mm)
○100%	管路番号 勾配(%)
○○○○	(幹線) 延長(m)
○100	形状(mm)
○100%	管路番号 勾配(%)
○○○○	(枝線) 延長(m)
—▶	実施路線
—▶	計画路線
—▶	既設路線
□	特1号マンホール
⊗	小型マンホール
○	0号マンホール
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
□	特殊マンホール
⊗	マンホールポンプ場
⊞	中継ポンプ場
-x-	市街化区域界
—<>—	処理区界
—	処理分区界

事業名	取手地方広域下水道事業		
図面種別	系 統 図		
縮 尺	1/2500		
工事番号			
工事箇所	地内	図面番号	
取手地方広域下水道組合			

区画割図 S=1/2500



凡例

○000	形状(mm)
◎0.0%	管路番号 勾配(%)
○○0.00	(幹線) 延長(m)
○000	形状(mm)
◎0.0%	管路番号 勾配(%)
○○0.00	(枝線) 延長(m)
→	実施路線
→	計画路線
→	既設路線
×0.50	区画割線及び面積(ha)
□	特1号マンホール
⊗	小型マンホール
○	0号マンホール
⊙	1号マンホール
○	2号マンホール
⊙	3号マンホール
○	4号マンホール
□	特殊マンホール
⊙	マンホールポンプ場
□	中継ポンプ場
-x-	市街化区域界
←→	処理区界
—	処理分区界

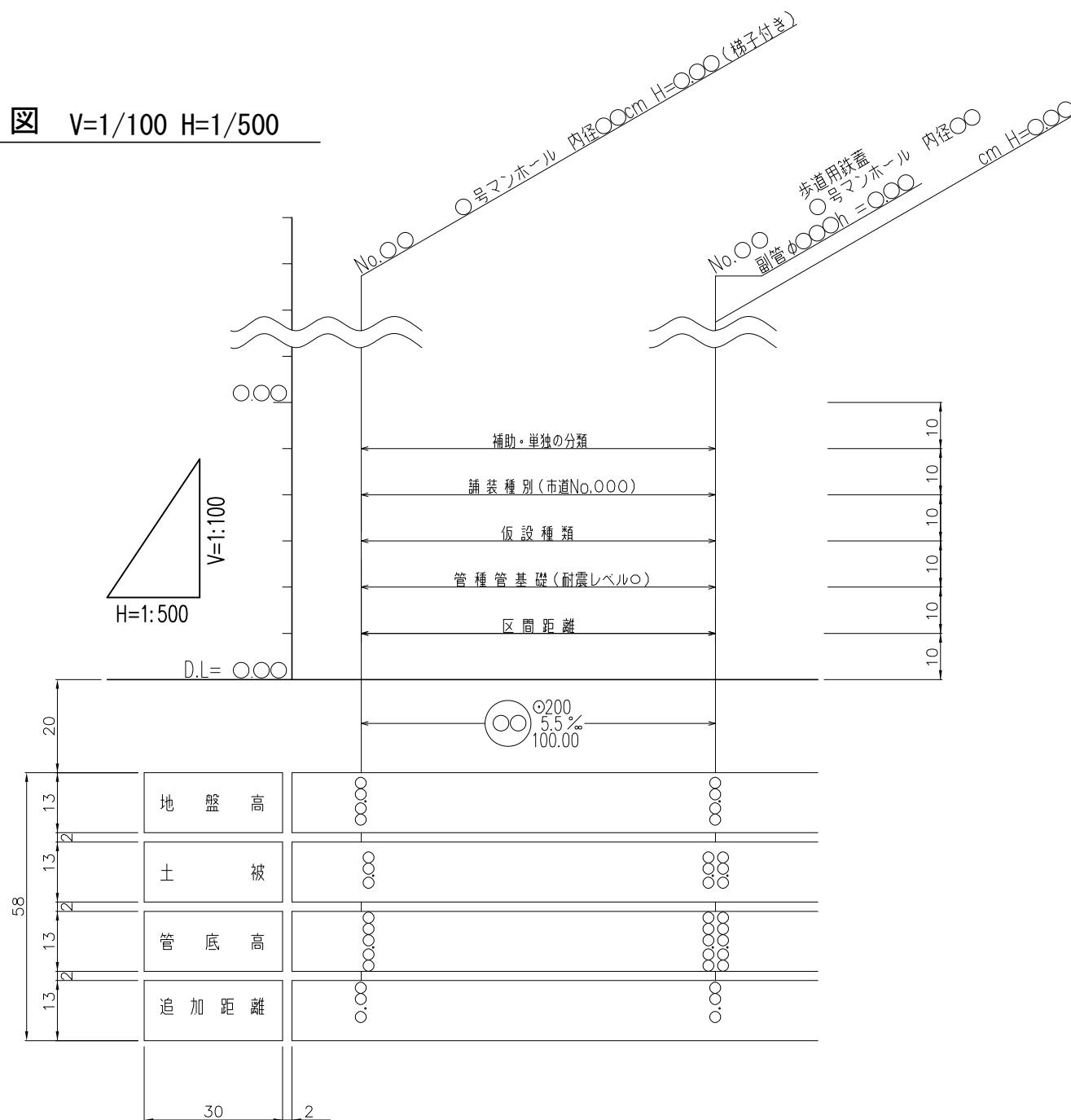
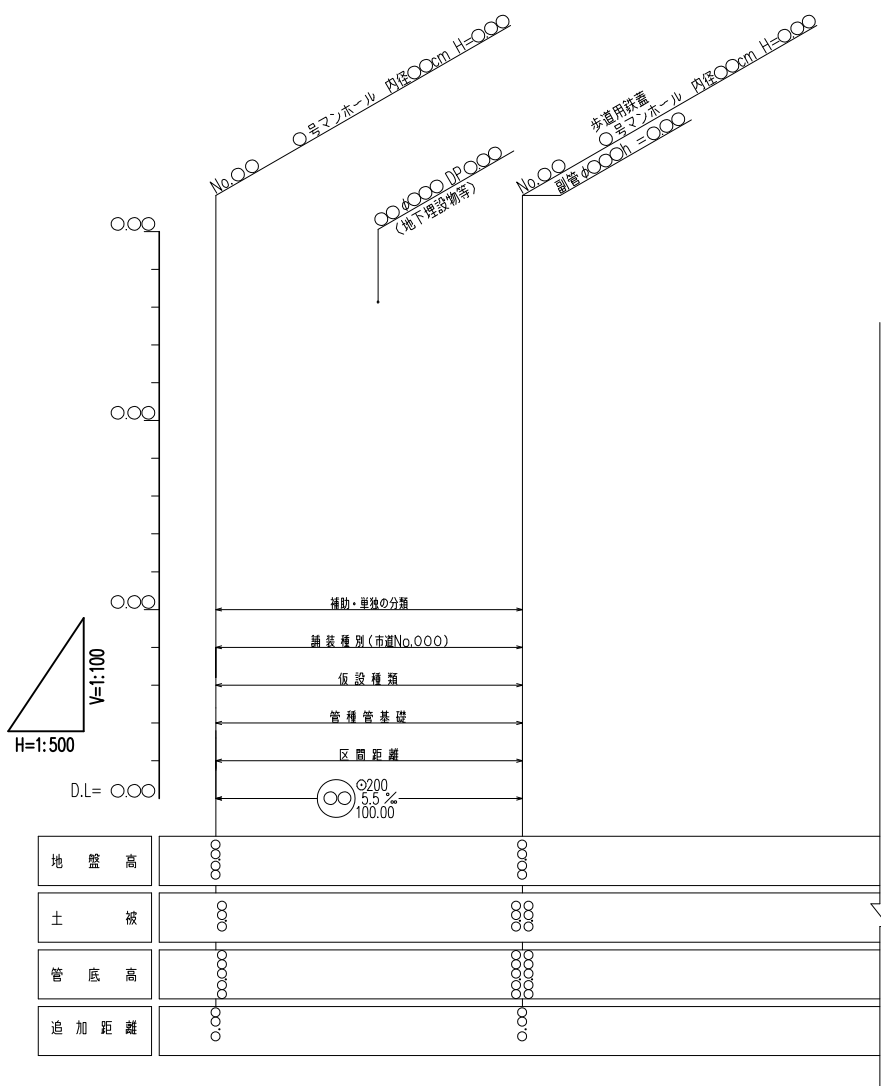
事業名	取手地方広域下水道事業		
図面種別	系統図		
縮尺	1/2500		
工事番号			
工事箇所	地内	図面番号	
取手地方広域下水道組合			

平面図 S=1/500

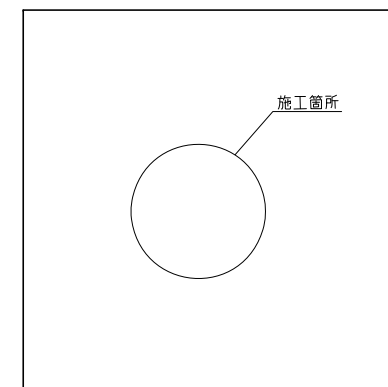
凡例

○●●●	形状(mm)	—	電話地中線
○●●% ○●●●	管路 番号 勾配(%) (幹線) 延長(m)	—	電話地中線
○●●●	形状(mm)	—	ガス管
○●●% ○●●●	管路 番号 勾配(%) (枝線) 延長(m)	—	水道管
→	実施路線	○ 250	円形…数字は呼び径
→	計画路線	□ 1500×1000	矩形…数字は横×縦
→	既設路線	□ 1000×2000	開きよ…数字は横×縦
□	特1号マンホール	□ 1000×1000	開きよ…数字は上層×縦
○	小型マンホール	□ 1000×2000	開きよ…数字は下層×縦
○	0号マンホール		
○	1号マンホール		
○	2号マンホール		
○	3号マンホール		
○	4号マンホール		
□	特殊マンホール		
●	外副管		
●	内副管		
○	自在継手		
○	取付管及び・汚水ます		
●	取付管及び・雨水ます		

縦断図 V=1/100 H=1/500



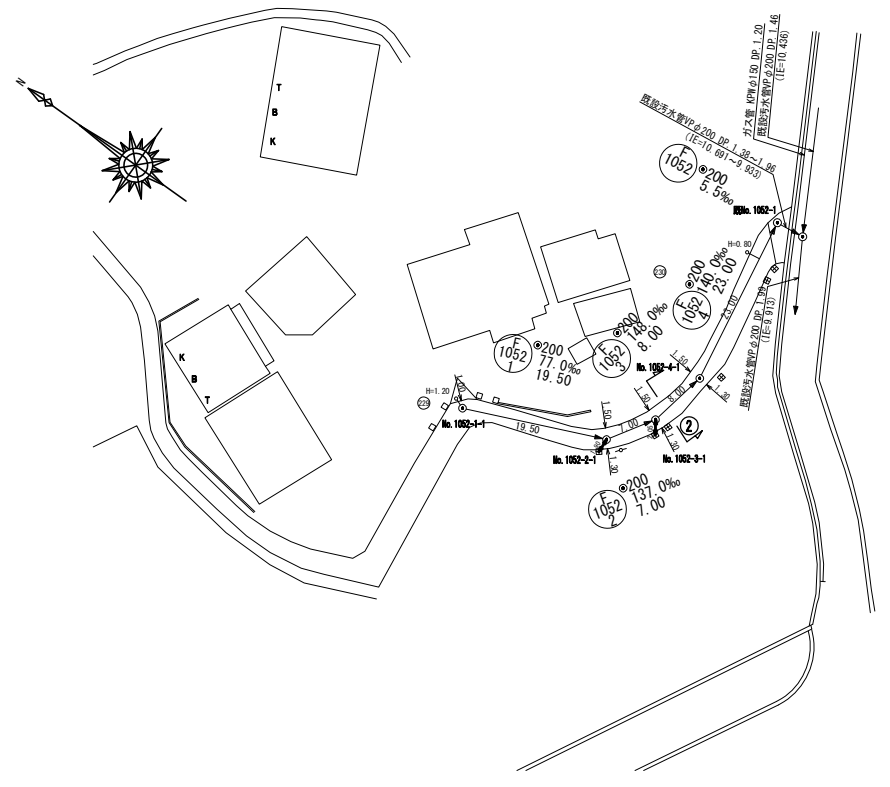
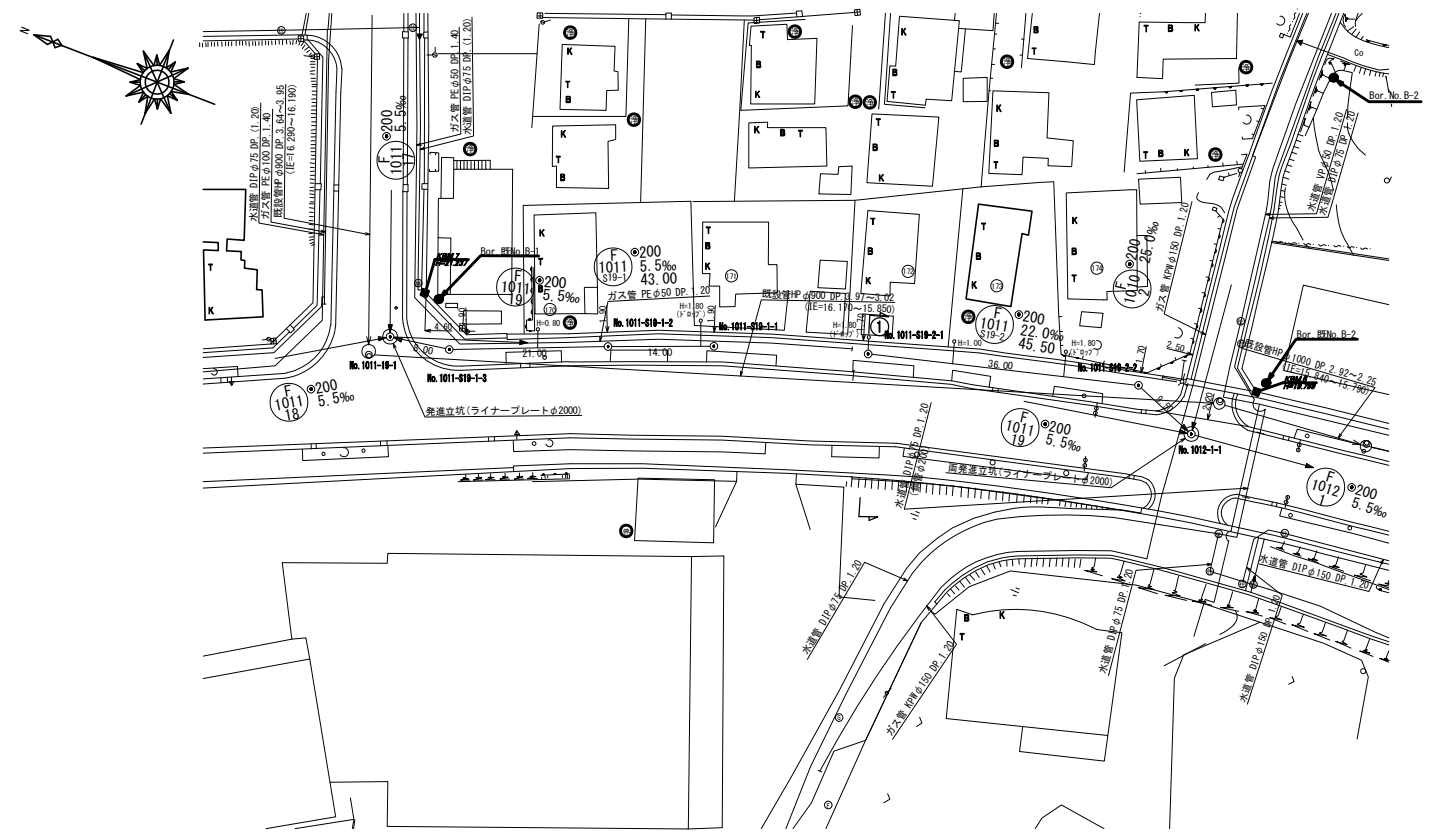
案内図



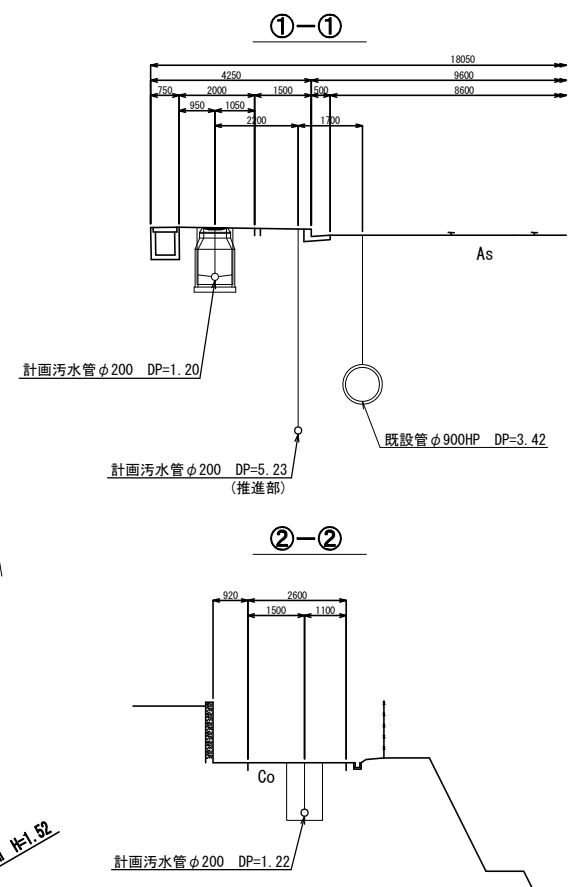
管路番号

事業名	取手地方広域下水道事業
図面種別	平面図・縦断面図用詳細図
縮尺	平面図S=1/500 縦断面図V=1/100 H=1/500
工事番号	
工事箇所	地内 図面番号
取手地方広域下水道組合	

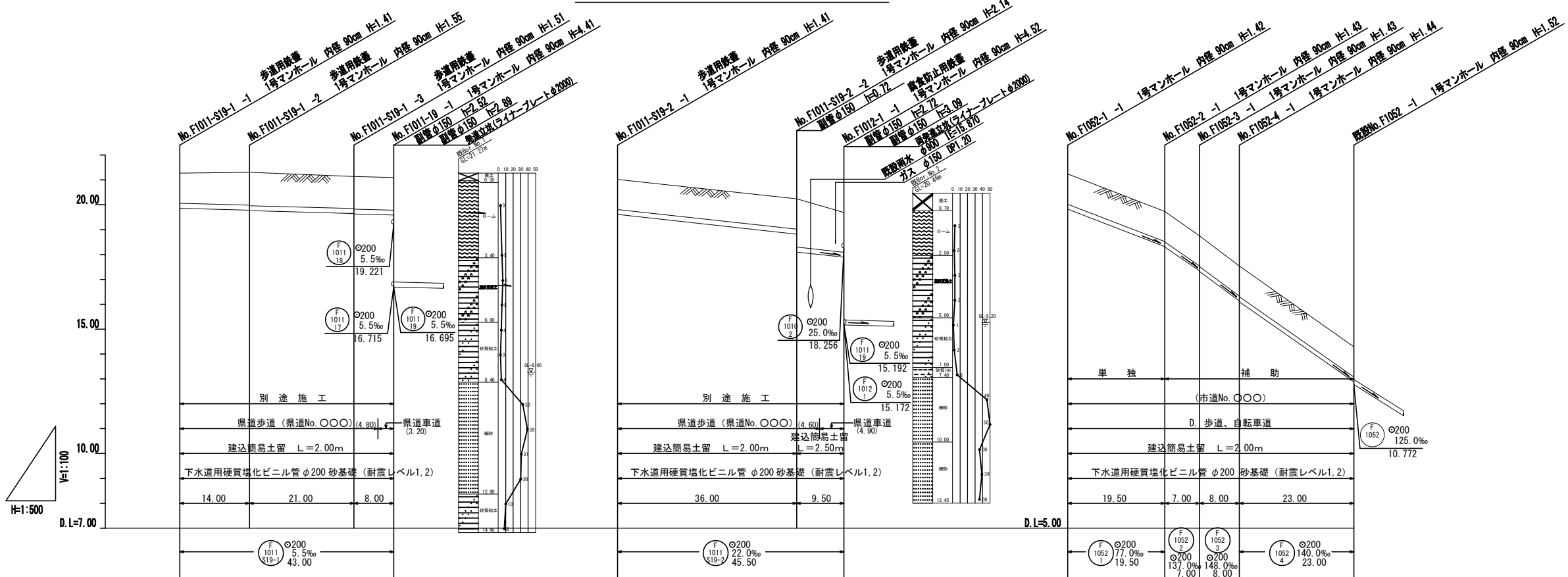
平面図 S=1/500



横断面図 S=1/100



縦断面図 V=1/100 H=1/500



案内図

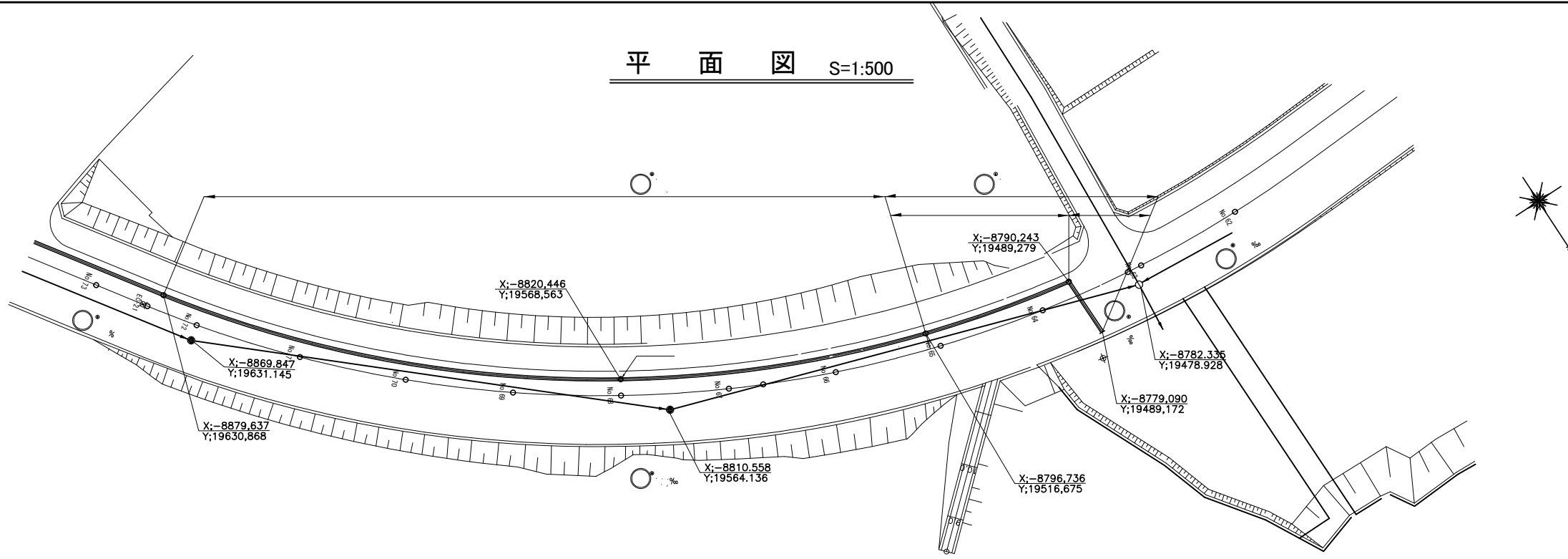


管路番号					
F1011-S19-1	F1011-S19-2	F1052-1	F1052-2	F1052-3	F1052-4

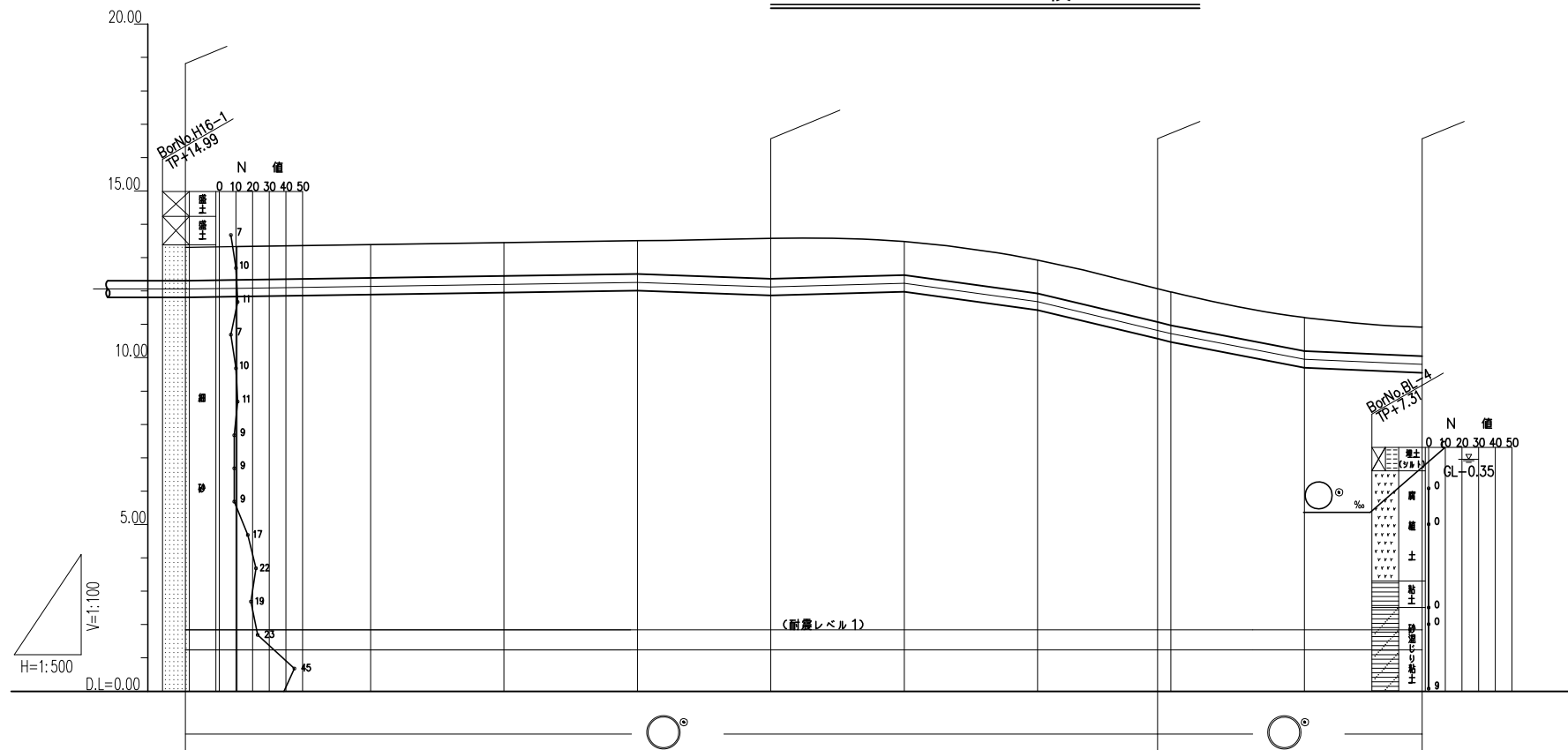
地盤高	21.27	21.31	21.14	21.10	21.02	20.24	19.69	19.24	17.73	16.75	15.54	12.29
土被	1.20	1.32 1.34	1.28 1.30	1.31	1.20	1.21	1.50	1.21	1.20 1.22	1.20 1.23	1.20 1.22	1.20
管底高	19.882	19.785 19.765	19.648 19.628	19.585	19.612	18.820 18.107	17.883	17.824	16.227 16.301	15.242 15.316	14.123 14.102	10.882
追加距離	0.00	14.00	35.00	43.00	0.00	36.00	45.50	0.00	19.50	26.50	34.50	57.50

事業名	取手地方広域下水道事業
図面種別	平面図・縦断面図・横断面図
縮尺	平面図 S=1/500 縦断面図 V=1/100 H=1/500 横断面図 S=1/100
工事番号	
工事箇所	地内 図面番号
取手地方広域下水道組合	

平面図 S=1:500

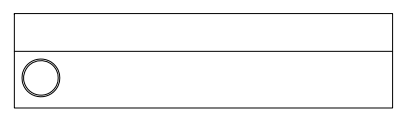


縦断図 縦断 S=1:100 縦横 S=1:500

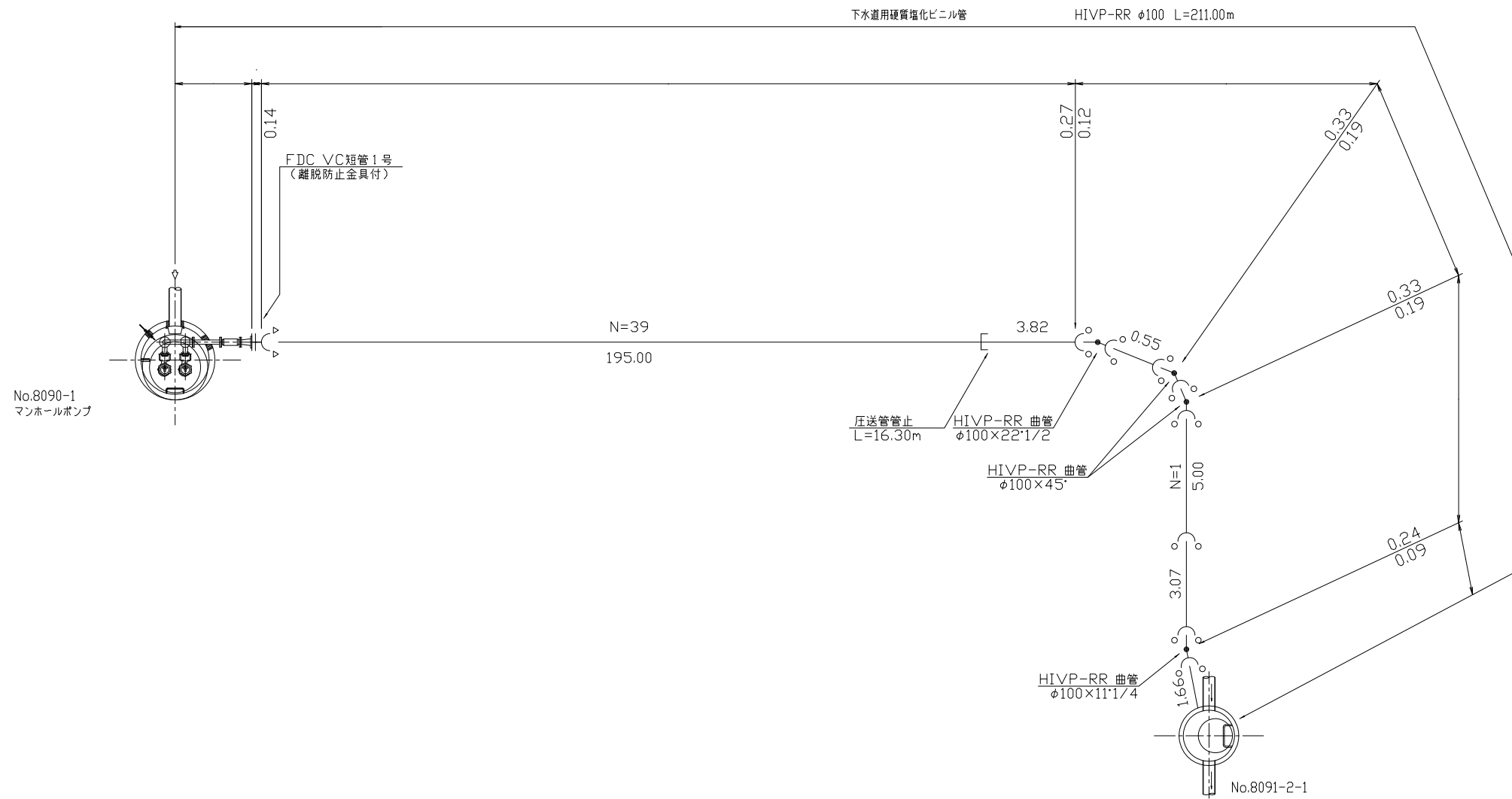


管中心距	13.31	13.33	13.39	13.45	13.51	13.57	13.48	12.93	12.07	11.20	11.05
土 坡	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.20	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
管 中 心 距	12.060	12.080	12.140	12.200	12.260	12.120	12.230	11.680	10.820	9.950	9.800
池 加 蓋 離	0.00								143.38		183.04
測 点	No.72		No.71	No.70	No.69	No.68	No.67	No.66	No.65	No.64	No.63

案内図



事業名	取手地方広域下水道事業	
図面種別	圧送管用平面図・縦断面図用詳細図	
縮 尺	平面図 S=1/500 縦断面図 V=1/100 H=1/500	
工事番号		
工事箇所	地内	図面番号
取手地方広域下水道組合		

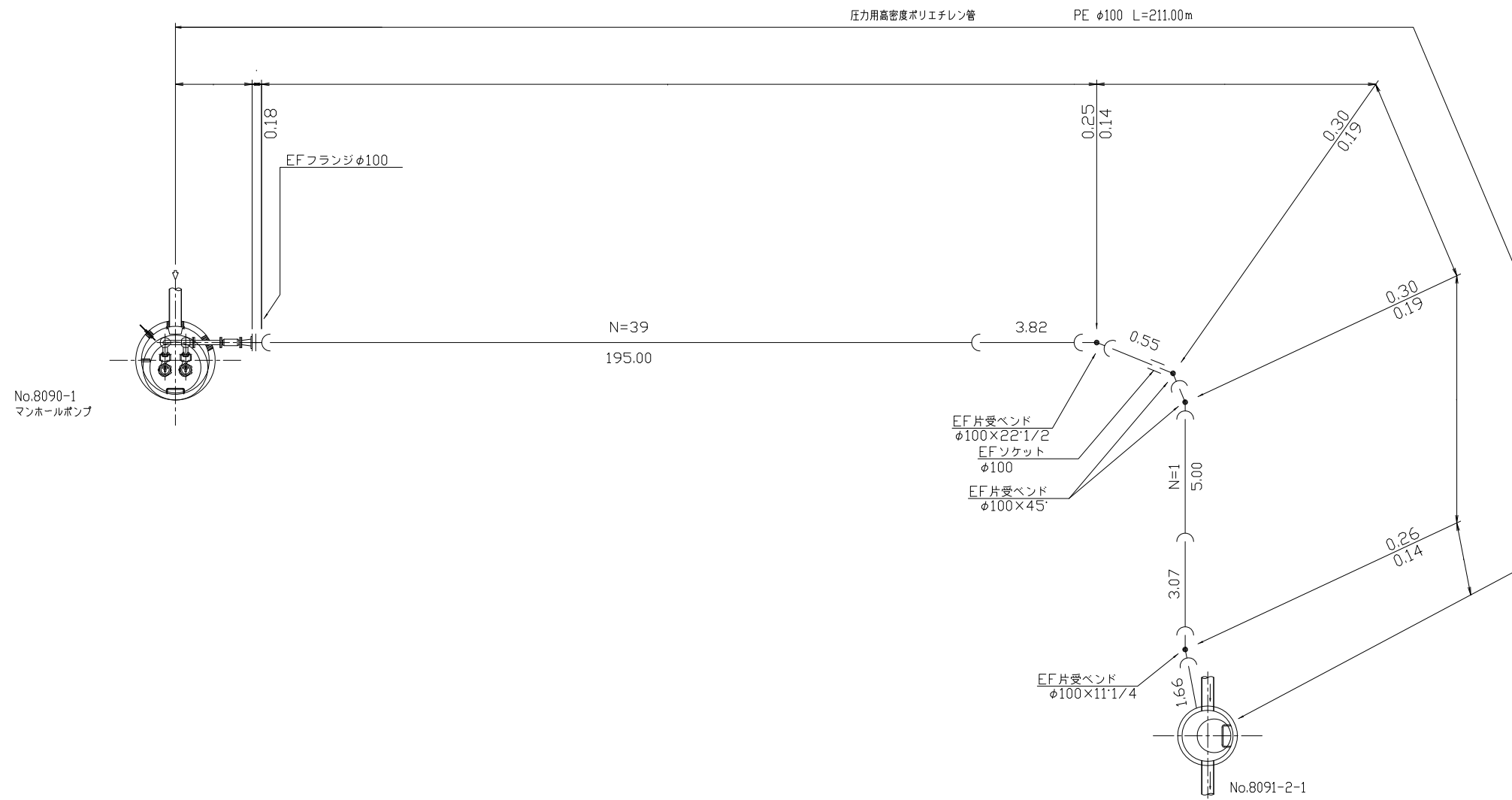


△：铸铁管異形管離脱防止金具を示す  
 ○：ゴム輪受口用離脱防止金具を示す

FDC VC短管1号φ100	1個
フック付部品 φ100RF	1組
HIVP-RR 直管	39 + 1 = 40本
HIVP-RR 45°曲管	2個
HIVP-RR 22°1/2曲管	1個
HIVP-RR 11°1/4曲管	1個
HIVP-RR用V型離脱金具φ100	8組

事業名	取手地方広域下水道事業		
図面種別	圧送管 配管詳細図		
縮尺	S=FREE		
工事番号			
工事箇所	地内	図面番号	
取手地方広域下水道組合			

圧送管 配管詳細図 S=FREE  
ポリエチレン管



EFフランジ	1個
フック付属品 φ100RF	1組
EF片受直管	39 + 1 = 40本
EF片受 45'ベンド	2個
EF片受 22'1/2ベンド	1個
EF片受 11'1/4ベンド	1個
EFソケット	1個

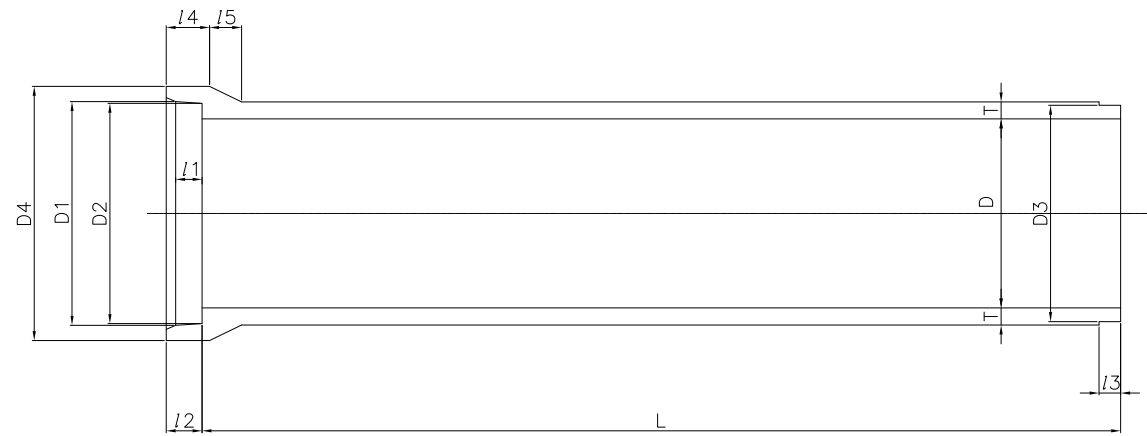
事業名	取手地方広域下水道事業		
図面種別	圧送管 配管詳細図		
縮尺	S=FREE		
工事番号			
工事箇所	地内	図面番号	
取手地方広域下水道組合			

【開 削 編】

# 下水道用鉄筋コンクリート管規格図 (1)

[ JSWAS A-1 ]

B 形



寸 法 表 (B形)

(単位: mm)

呼び径	内 径 D	D1	D2	D3	D4	厚 さ T	l1	l2	l3	l4	l5	有効長 L
150	150±3	210±2	206	194±2	262	26 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>					50	2000 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>
200	200±3	262±2	258	246±2	316	27 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>			32±4	115	55	
250	250±3	314±2	310	298±2	370	28 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	65	90±5			60	
300	300±4	368±2	364	350±2	424	30 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>				120	65	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>
350	350±4	422±2	418	404±2	482	32 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>					70	
400	400±4	478±2	474	460±2	544	35 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>			36±4	125	75	
450	450±4	534±2	530	516±2	606	38 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	70	95±5			85	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>
500	500±4	592±2	588	574±2	672	42 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>				130	100	
600	600±4	708±2	704	690±2	804	50 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	75	100±5		135	115	
700	700±4	824 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	820	802 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	936	58 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		105±5		140	130	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>
800	800±4	940 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	936	918 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1068	66 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	80	110±5		150	150	
900	900±4	1058 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1054	1036 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1204	75 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	85	115±5	40±5	160	165	
1000	1000±6	1172 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1168	1150 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1332	82 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	96	120±5		165	175	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>
1100	1100±6	1286 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1282	1260 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1458	88 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	100	125±5		175	190	
1200	1200±6	1400 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1396	1374 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1586	95 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	104	130±5	42±5	185	205	
1350	1350±6	1566 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1562	1540 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	1768	103 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>	108	135±5		195	205	

注 1. 呼び径 150及び 200の管の有効長 (L) は 500mm又は 1000mm、呼び径 250~350の管の有効長 (L) は 1000mm、呼び径 400~1350の管の有効長 (L) は 1200mmとすることができる。  
 2. 当分の間、ロール転圧成形に限り付表によることができる。  
 3. 土で付記してある数値は、許容差を示す。(以下、同様とする。)

## 下水道用鉄筋コンクリート管規格図 (2)

[ JSWAS A-1 ]

### 外 圧 強 さ

( 単位 : kgf/m { kN/m } )

呼び径	ひび割れ荷重		破壊荷重	
	1 種	2 種	1 種	2 種
150				
200	1700 { 16.67 }	2400 { 23.54 }	2600 { 25.50 }	4800 { 47.07 }
250				
300	1800 { 17.65 }	2600 { 25.50 }	2700 { 26.48 }	5200 { 50.99 }
350	2000 { 19.61 }	2800 { 27.46 }	3000 { 29.42 }	5600 { 54.92 }
400	2200 { 21.57 }	3300 { 32.36 }	3300 { 32.36 }	6400 { 62.76 }
450	2400 { 23.54 }	3700 { 36.28 }	3600 { 35.30 }	6800 { 66.69 }
500	2600 { 25.50 }	4200 { 41.19 }	3900 { 38.25 }	7200 { 70.61 }
600	3000 { 29.42 }	5000 { 49.03 }	4500 { 44.13 }	7900 { 77.47 }
700	3300 { 32.36 }	5500 { 53.94 }	5000 { 49.03 }	8700 { 85.32 }
800	3600 { 35.30 }	6000 { 58.84 }	5400 { 52.96 }	9500 { 93.16 }
900	3900 { 38.25 }	6500 { 63.74 }	5900 { 57.86 }	10200 { 100.03 }
1000	4200 { 41.19 }	7000 { 68.65 }	6300 { 61.78 }	11000 { 107.87 }
1100	4400 { 43.15 }	7400 { 72.57 }	6700 { 65.70 }	11500 { 112.78 }
1200	4600 { 45.11 }	7700 { 75.51 }	7300 { 71.59 }	12000 { 117.68 }
1350	4800 { 47.07 }	8100 { 79.43 }	8300 { 81.40 }	12800 { 125.53 }

注 ひび割れ荷重とは、管に幅0.05mmのひび割れを生じたときの、試験機が示す荷重を有効長(L)で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長(L)で除した値をいう。

### 管厚、中心半径、自重

呼び径	内径 D (m)	管厚 T (m)	管厚中心半径 R (m)	自重 W (tf/m)
		B、C、異形管	B、C、異形管	B、C、異形管
150	0.150	0.026	0.0880	0.0352
200	0.200	0.027	0.114	0.0472
250	0.250	0.028	0.139	0.0599
300	0.300	0.030	0.165	0.0762
350	0.350	0.032	0.191	0.0941
400	0.400	0.035	0.218	0.117
450	0.450	0.038	0.244	0.143
500	0.500	0.042	0.271	0.175
600	0.600	0.050	0.325	0.250
700	0.700	0.058	0.379	0.338
800	0.800	0.066	0.433	0.440
900	0.900	0.075	0.488	0.563
1000	1.000	0.082	0.541	0.683
1100	1.100	0.088	0.594	0.805
1200	1.200	0.095	0.648	0.947
1350	1.350	0.103	0.727	1.15

注  $W = \pi (D + T) T \times 2.450$

# 鉄筋コンクリート管布設図 {梯子胴木基礎}

## 梯子胴木基礎

寸法表

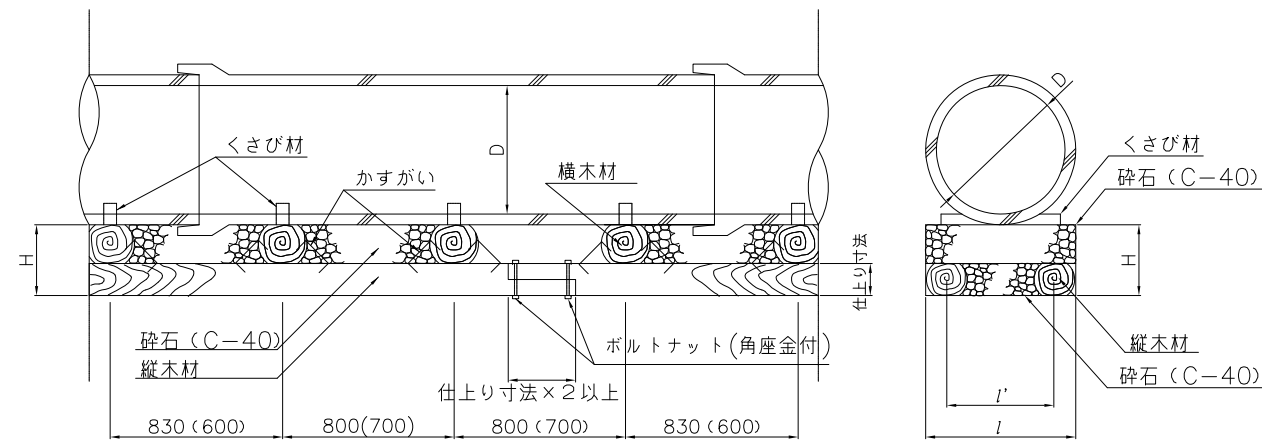
単位：mm

内径 (D)	基礎幅 (l)	縦木間隔 (l')	基礎厚 (H)	くさび材長
250~350	450	300	165	150
400	450	300	165	150
450~600	600	400	180	200
700~1000	900	600	240	300
1100~1200	1200	800	240	400
1350	1500	1000	240	400
1500	1500	1000	300	400
1650~1800	1800	1200	300	400

材料表

単位：mm

内径 (D)	生松太鼓落し (横木材)	生松太鼓落し (縦木材)	松正割 (角) (くさび材)	丸くぎ	かすがい	ボルトナット (角座金付き)
250~350	1800×105×75	4000×120×90	4000×60×60	4 <sup>径</sup> ×100 <sup>長さ</sup>	9 <sup>径</sup> ×150 <sup>長さ</sup>	9 <sup>径</sup> ×125 <sup>長さ</sup>
400	1800×120×90	4000×120×90	4000×60×60	4×100	9×150	9×125
450~600	1800×120×90	4000×120×90	4000×60×60	4×100	9×150	9×125
700~1000	1800×150×120	4000×150×120	4000×75×75	5×150	9×180	9×150
1100~1200	4000×150×120	4000×150×120	4000×75×75	5×150	9×180	9×150
1350	3000×150×120	4000×150×120	4000×75×75	5×150	9×180	9×150
1500	3000×180×150	4000×180×150	4000×90×90	5×150	12×210	13×210
1650~1800	1800×180×150	4000×180×150	4000×90×90	5×150	12×210	13×210



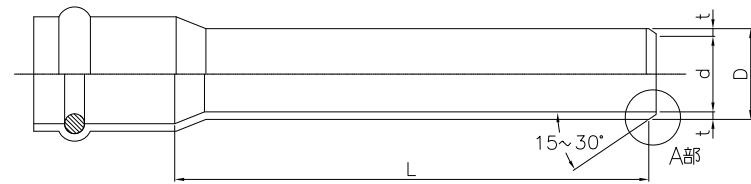
注：( ) 内数値は長さ2000mm管

# 下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (1)

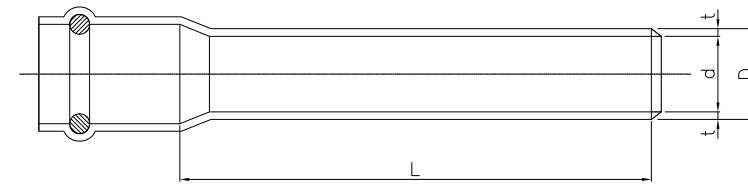
[ JSWAS K-1 ]

## ゴム輪受口片受け直管

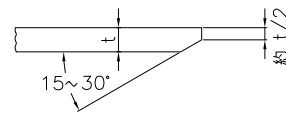
本管形 (略号 SRA)



取付け管形 (略号 SRB)



A部 詳細図



寸法表

(単位: mm)

呼び径	L	外 径		厚 さ		近似内径 d (参 考)	1m当たりの 質量 (kg) (参 考)
		D	許容差	t (最小)	許容差		
100	4000±15	114	±0.4	3.1	+0.8	107	1.737
125		140	±0.5	4.1	+0.8	131	2.739
150		165	±0.5	5.1	+0.8	154	3.941
200		216	±0.7	6.5	+1.0	202	6.572
250		267	±0.9	7.8	+1.2	250	9.758
300		318	±1.0	9.2	+1.4	298	13.701
350		370	±1.2	10.5	+1.4	348	18.051
400		420	±1.3	11.8	+1.6	395	23.059
450		470	±1.5	13.2	+1.8	442	28.875
500		520	±1.6	14.6	+2.0	489	35.346
600	630	±3.2	17.8	+2.8	592	52.679	
700	732	±3.7	21.0	+3.2	687	72.018	
800	835	±4.2	23.9	+3.8	783	93.781	

注 1. 外径Dとは、任意個所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の  
 平均値又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。  
 2. 表中1m当たりの質量は、比重1.43で計算したものである。

寸法表

(単位: mm)

呼び径	L
100	800±10 4000±15
125	
150	
200	

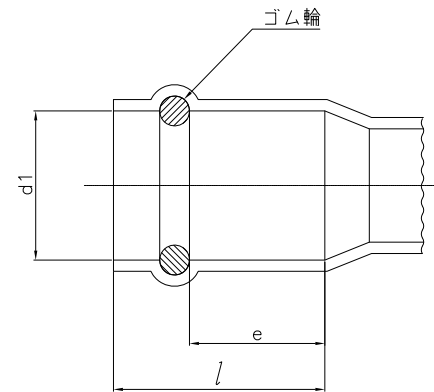
注 破線で示す形状にすることもできる。

# 下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (2)

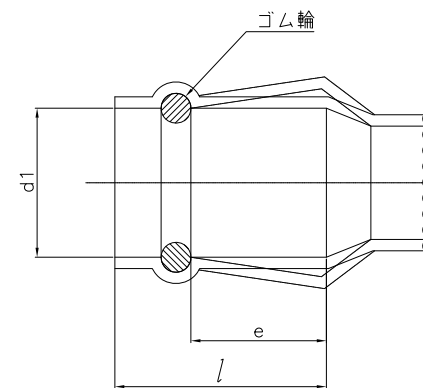
[ JSWAS K-1 ]

## ゴム輪受口

本管形



取付け管形



寸法表

(単位：mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	114.5	42	145
125	140.6	44	155
150	165.7	47	165
200	216.9	52	185
250	268.1	57	205
300	319.3	62	225
350	371.5	67	240
400	421.7	72	260
450	471.9	77	285
500	522.1	82	305
600	633.8	93	355
700	736.4	104	395
800	840.1	114	440

- 注 1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。  
 2. 受口内径 d1 は、直角 2 方向以上の内径測定値の平均値とする。

寸法表

単位：mm

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

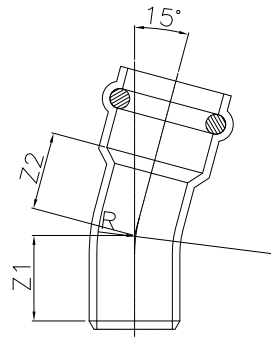
- 注 1. 破線で示す形状にすることもできる。  
 2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は、規定しない。  
 3. 受口内径 d1 は、直角 2 方向以上の内径測定値の平均値とする。

# 下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (3)

[ JSWAS K-1 ]

## ゴム輪受口

15度曲管寸法  
(略号 15SR)



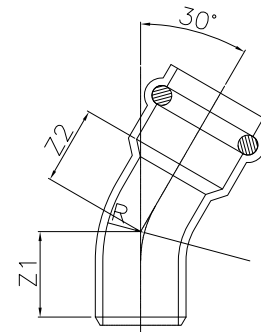
寸法表

(単位: mm)

呼び径	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	110	20	51	60	200
125	118	25	53	70	200
150	129	30	59	90	220
200	149	40	72	110	280

- 注 1. Z1及びZ2の許容差は、±15mmとする。  
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする  
 3. 破線で示す形状にすることもできる。  
 4. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

30度曲管寸法  
(略号 30SR)



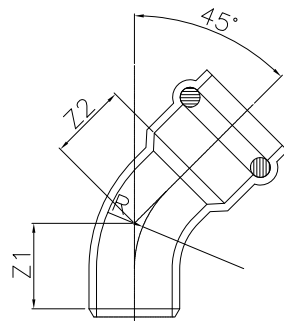
寸法表

(単位: mm)

呼び径	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	138	20	79	60	200
125	146	25	81	70	200
150	159	30	89	90	220
200	187	40	110	110	280

- 注 1. Z1及びZ2の許容差は、±15mmとする。  
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする  
 3. 破線で示す形状にすることもできる。  
 4. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

45度曲管寸法  
(略号 45SR)



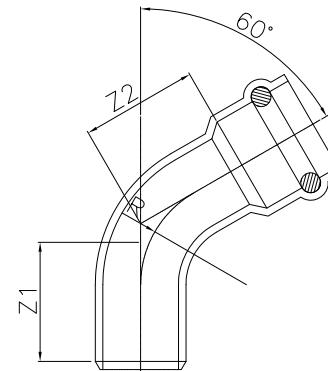
寸法表

(単位: mm)

呼び径	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	167	50	108	60	200
125	175	50	110	70	200
150	191	55	121	90	220
200	228	70	151	110	280

- 注 1. Z1及びZ2の許容差は、±15mmとする。  
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする  
 3. 破線で示す形状にすることもできる。  
 4. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

60度曲管寸法  
(略号 60SR)



寸法表

(単位: mm)

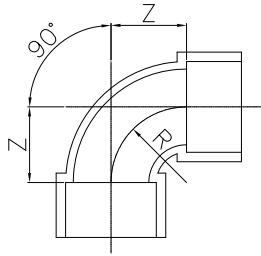
呼び径	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
100	199	70	141	60	200
125	207	70	143	70	200
150	227	75	157	90	220
200	274	90	199	110	280

- 注 1. Z1及びZ2の許容差は、±15mmとする。  
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする  
 3. 破線で示す形状にすることもできる。  
 4. ゴム輪受口は、取付け管形とする。

下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (4)

[ JSWAS K-1 ]

90度曲管寸法  
(略号 90ST)



寸法表

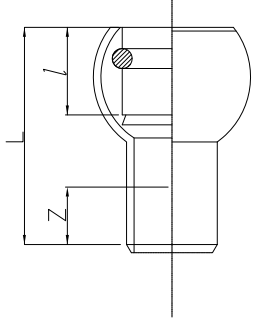
(単位: mm)

呼び径	Z	R (参考)
75	100	100
100	128	128
125	140	140
150	170	170
200	196	196
250	225	225
300	250	250

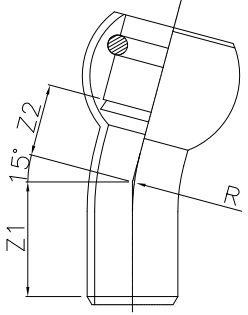
注 Zの許容差は、±15mmとする。

ゴム輪受口自在曲管

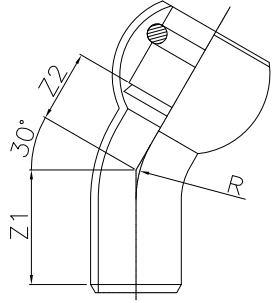
0° 曲管



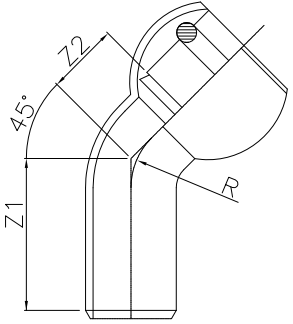
15° 曲管



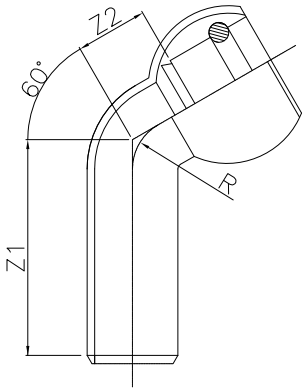
30° 曲管



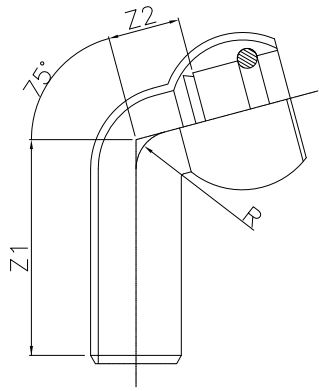
45° 曲管



60° 曲管



75° 曲管



# 下水道用硬質塩化ビニル管 (5)

[ JSWAS K-1 ]

## 鉄筋コンクリート管及び陶管用A形90度及び60度支管

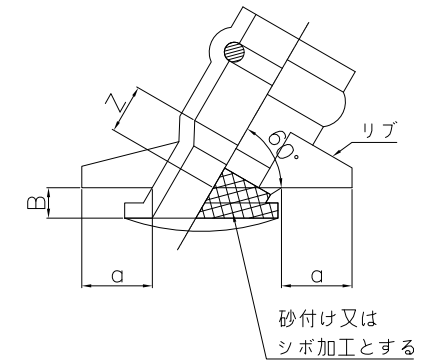
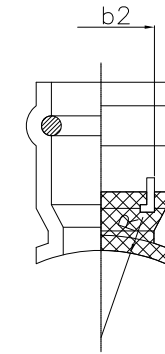
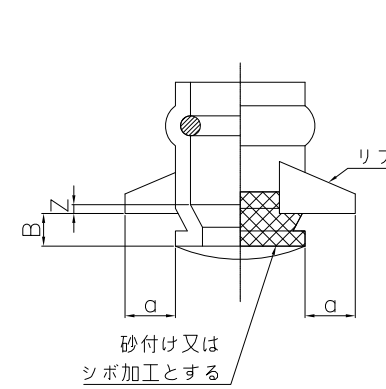
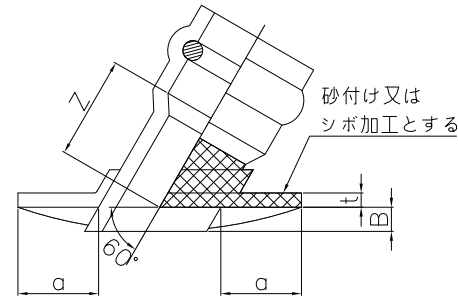
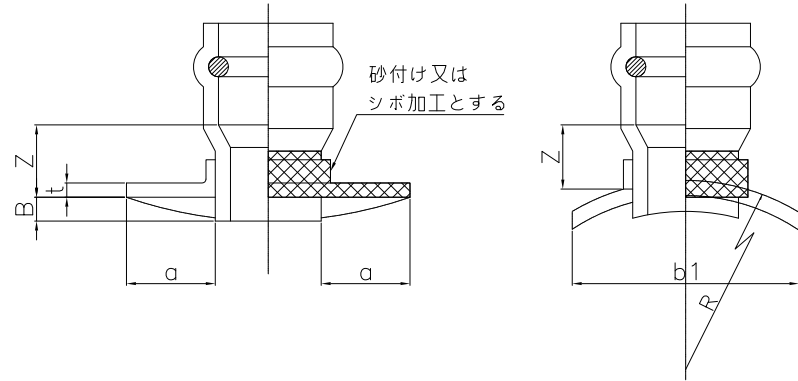
## 鉄筋コンクリート管及び陶管用B形90度及び60度支管

A形90度  
(略号 A90SHR)

A形60度  
(略号 A60SHR)

B形90度  
(略号 B90SHR)

B形60度  
(略号 B60SHR)



寸法表

(単位: mm)

呼び径	Z		t (最小)	a (最小)	b1 (最小)	B (最大)
	90度	60度				
100	45	80	4	35	70	25
125	45	85	4	35	90	25
150	50	95	4	35	100	25
200	50	110	4	35	140	25

- 注 1. Zの許容差は、±15mmとする。  
 2. t, a, b1, B, Rは、90度及び60度支管に共通の寸法とする。  
 3. 破線で示す形状にすることもできる。  
 4. 受口は、取付け管形とする。

寸法表

(単位: mm)

呼び径	Z		a (最小)	b2 (最小)	B (最大)
	90度	60度			
100	5	50	30	70	25
125	5	55	30	90	25
150	10	65	30	100	25
200	10	85	30	140	25

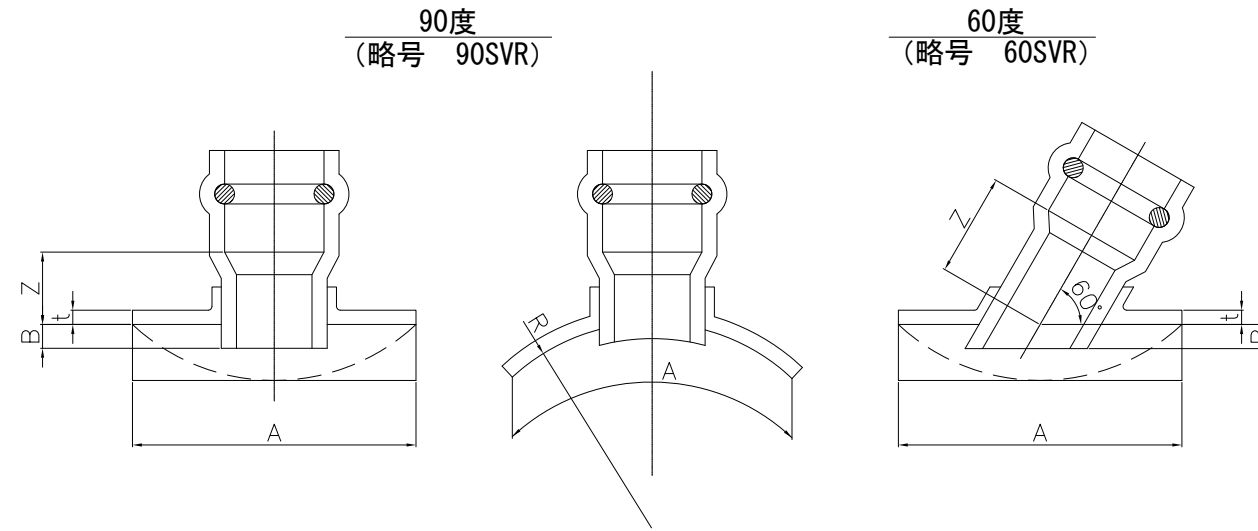
- 注 1. Zの許容差は、±15mmとする。  
 2. a, b2, B, Rは、90度及び60度支管に共通の寸法とする。  
 3. Rは、200mmを標準とする。  
 4. 受口は、取付け管形とする。

\*耐震対策対象施設の場合は、この限りではない。

# 下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (6)

[ JSWAS K-1 ]

## 硬質塩化ビニル管用90度及び60度支管



寸法表

(単位：mm)

呼び径	Z		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	呼び径	Z		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R
	90度	60度						90度	60度				
150-100	45	80	4	230	5.1	82.5	400-100	45	80	4	300	11.8	210
200-100	45	80	4	300	6.5	108.0	450-100	45	80				
200-125	45	85					450-125	45	85				
200-150	50	95					450-150	50	95				
							450-200	50	110				
250-100	45	80	4	300	7.8	133.5	500-100	45	80				
250-125	45	85					500-125	45	85				
250-150	50	95					500-150	50	95				
250-200	50	110					500-200	50	110				
300-100	45	80	4	300	9.2	159.0	600-100	45	80				
300-125	45	85					600-125	45	85				
300-150	50	95					600-150	50	95				
300-200	50	110					600-200	50	110				
350-100	45	80	4	300	10.5	185.0	700-100	45	80				
350-125	45	85					700-125	45	85				
350-150	50	95					700-150	50	95				
350-200	50	110					700-200	50	110				
400-100	45	80	4	300	11.8	210.0	800-100	45	80				
400-125	45	85					800-125	45	85				
400-150	50	95					800-150	50	95				
400-200	50	110					800-200	50	110				

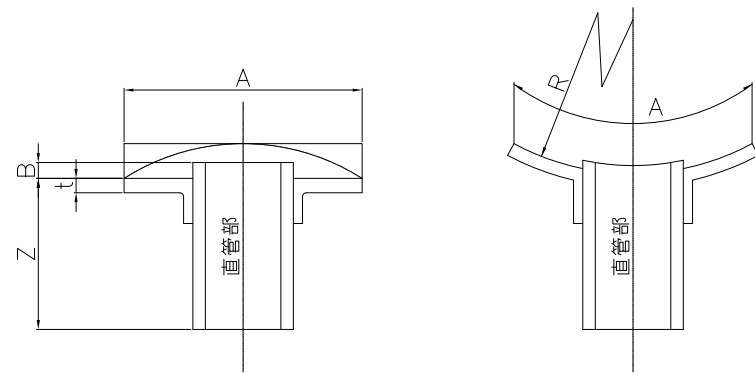
- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. t、A、B、Rは、90度及び60度支管に共通の寸法とする。  
 3. Zの許容差は、±15mmとする。  
 4. Rは、標準値を示す。  
 5. 破線で示す形状にすることもできる。  
 6. 受口は、取付け管形とする。

※耐震対策対象施設の場合は、この限りではない。

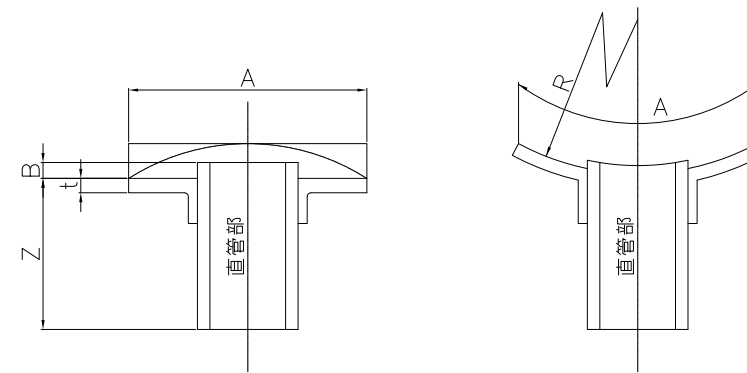
### 下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (7)

副管用90度支管  
(硬質塩化ビニル管用)  
[ JSWAS K-1 ]

(略号 VS)



副管用90度支管  
(鉄筋コンクリート管用)



#### 寸法表

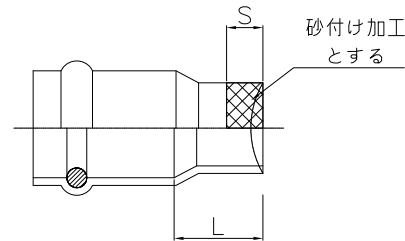
(単位: mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最小)	R
150-100	120	4	250	5.1	82.5
200-125	120	4	300	6.5	108.0
200-150	140				
250-125	120	4	300	7.8	133.5
250-150	140				
250-200	160				
300-150	140	4	300	9.2	159.0
300-200	160				
350-150	140	4	300	10.5	185.0
350-200	160				
400-200	160	4	300	11.8	210.0
400-250	200				
450-200	160	4	300	13.2	235.0
450-250	200				
500-250	200	4	350	14.6	260.0
500-300	220				
600-300	220	4	350	17.8	315.0

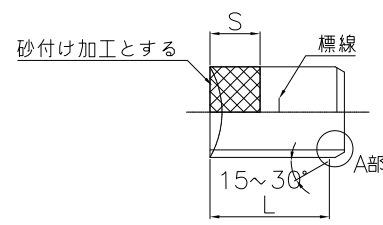
# 下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (8)

[ JSWAS K-1 ]

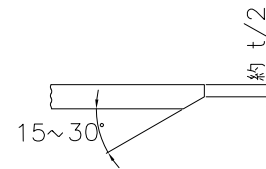
**上流用マンホール継手**  
(略号 MR)



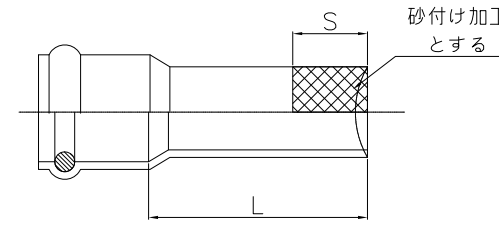
**下流用マンホール継手**  
(略号 MSA)



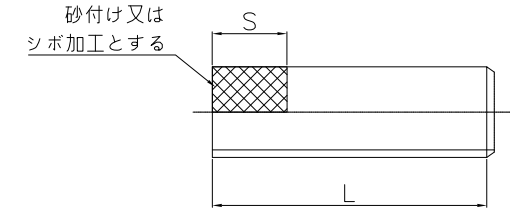
**A部 詳細図**



**副管分岐用マンホール継手**  
(略号 MRL)



**ます取付け継手**  
(略号 MSB)



**寸法表**

(単位: mm)

呼び径	L	S(参考)
100	500±15	200
125		
150		
200		
250		
300	250	
350		
400		
450	300	
500		
600	350	
700		
800		

注 1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。  
2. 受口は、本管形とする。

**寸法表**

(単位: mm)

呼び径	L	S(参考)
100	500±15	200
125		
150		
200		
250		
300	250	
350		
400		
450	300	
500		
600	350	
700		
800		

注 マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。

**寸法表**

(単位: mm)

呼び径	L	S(参考)
150	1000±15	200
200		250
250		
300		
350		
400		300
450		
500		350
600		
700		
800		

注 1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。  
2. 受口は、本管形とする。

**寸法表**

(単位: mm)

呼び径	L	S(参考)
100	500±15	200
125		
150		
200		

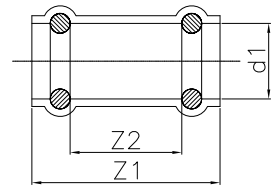
注 破線で示す形状にすることもできる。

※耐震対策対象施設の場合は、この限りではない。

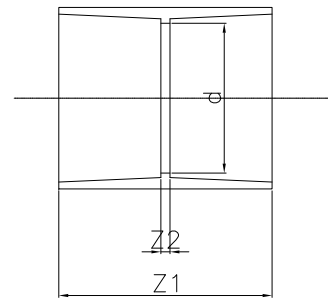
# 下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (9)

[ JSWAS K-1 ]

**ゴム輪受口カラー**  
(略号 WR)



**接着受口カラー**  
(略号 WTB)



**寸法表**

(単位: mm)

呼び径	Z1 (最大)	Z2 (最小)	d1 (最小)
100	180	66	114.5
125	200	76	140.6
150	220	86	165.7
200	250	107	216.9

注 d1の寸法は、本管形と同一である。

**寸法表**

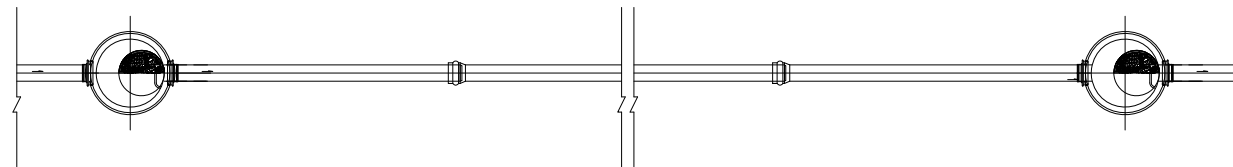
(単位: mm)

呼び径	Z1	Z2	d (参考)
75	84	4	83
100	105	5	107
125	135	5	131
150	165	5	154
200	235	5	202
250	276	5	250
300	307	5	298

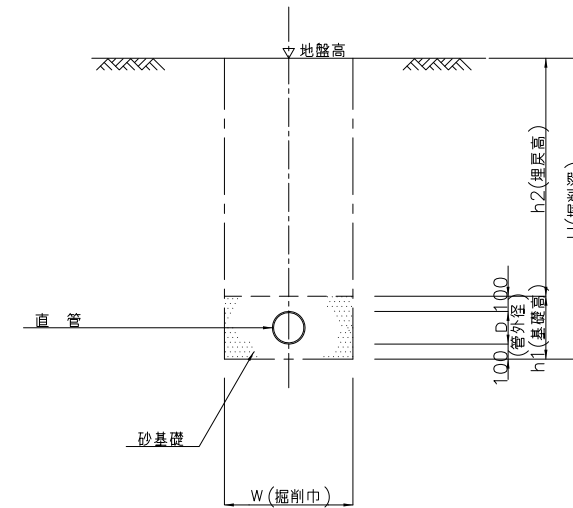
注 1. Z1の許容差は、呼び径75~150は±10mm、  
呼び径200~300は±20mmとする。  
2. Z2の許容差は、±2mmとする。

# 下水道用硬質塩化ビニル管布設図 (1)

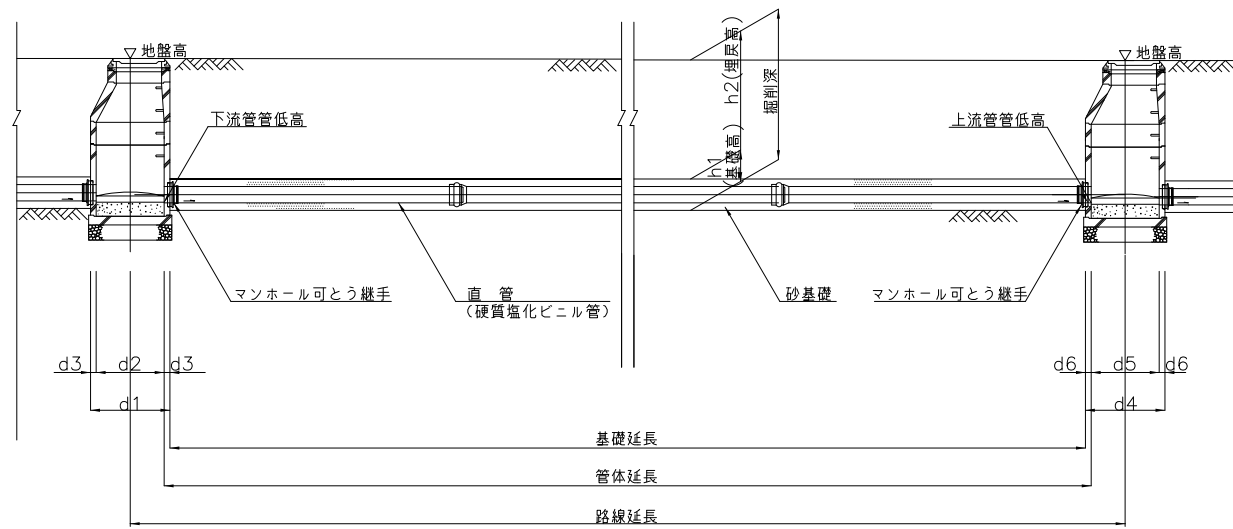
平面図



標準断面図



縦断面図



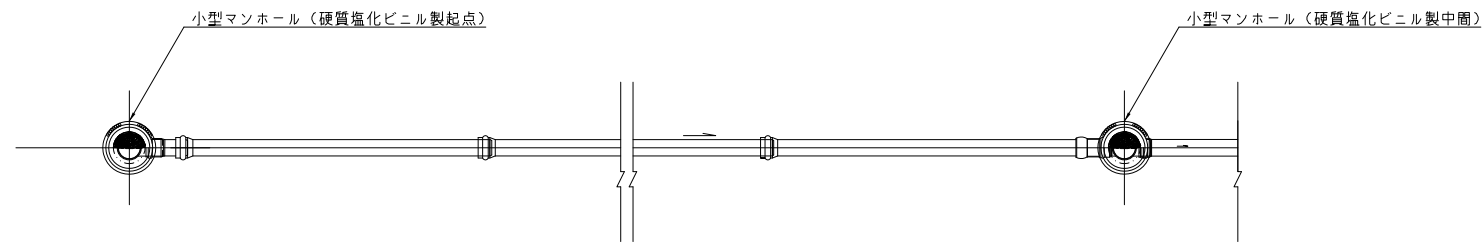
砂基礎寸法表

(単位: mm)

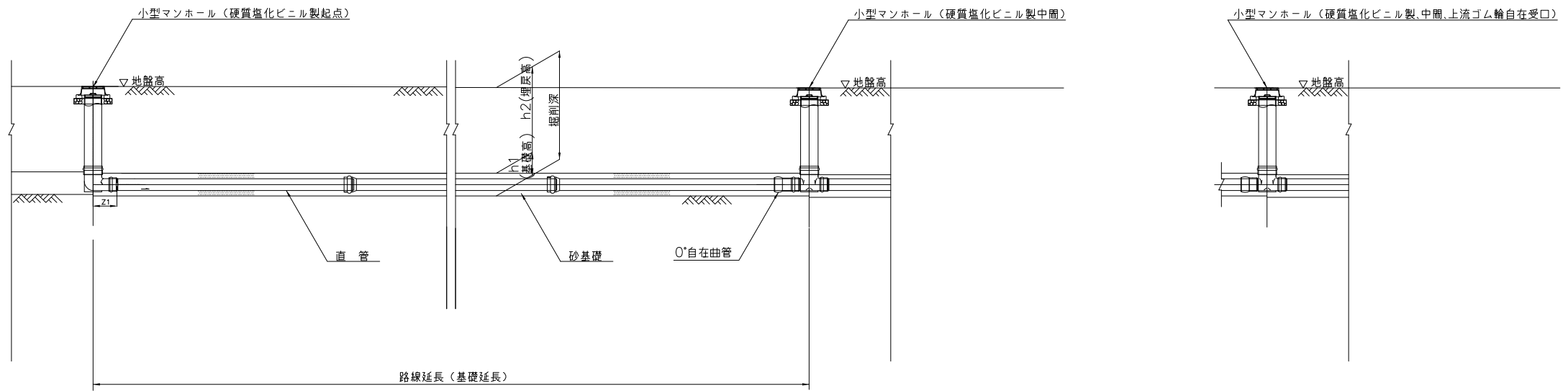
呼び径 (mm)	管外径 (mm)	基礎高 (mm)	基礎巾 W (mm)		
			軽量金属支保工		軽量鋼矢板 II 型
			矢板長 1.80m まで	矢板長 2.10~2.70m	
150	165.0				
200	216.0				
250	267.0				
300	318.0				
350	370.0				
400	420.0				
450	470.0				
500	520.0				
600	630.0				

# 下水道用硬質塩化ビニル管布設図（2）

## 平面図

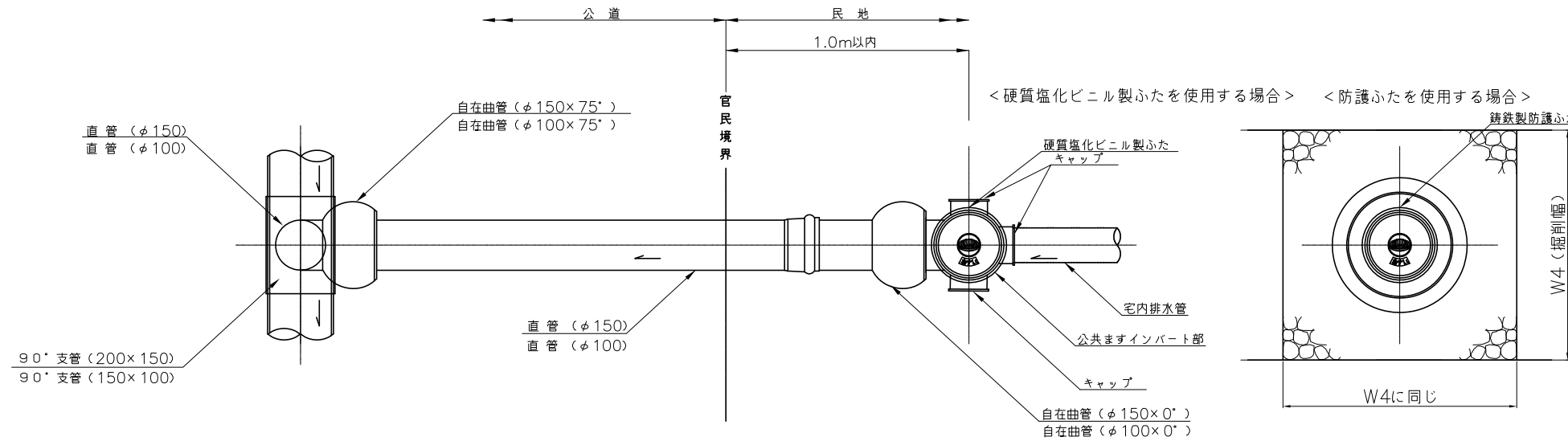


## 縦断面図

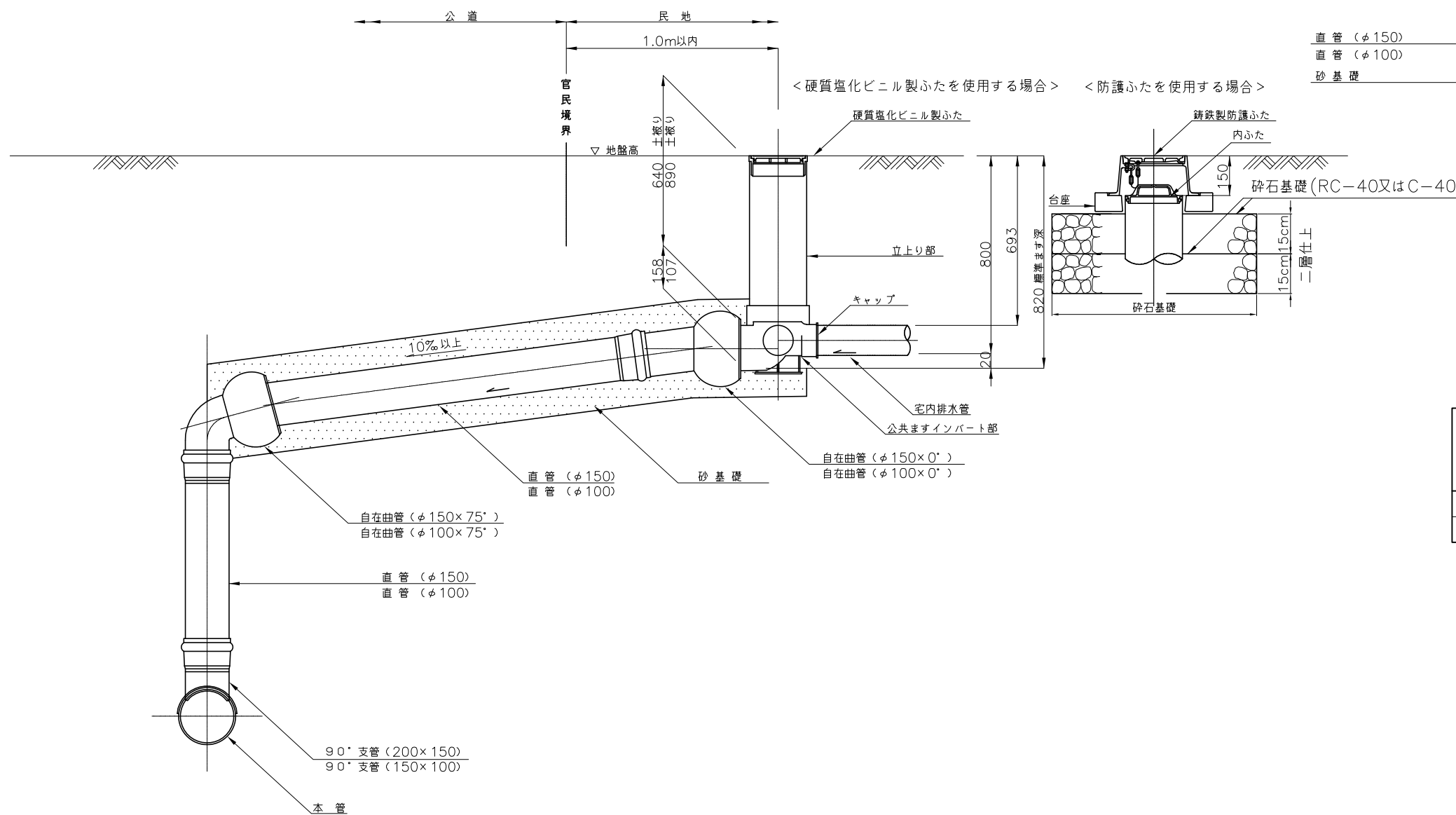


# 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます [公共ます] 設置図

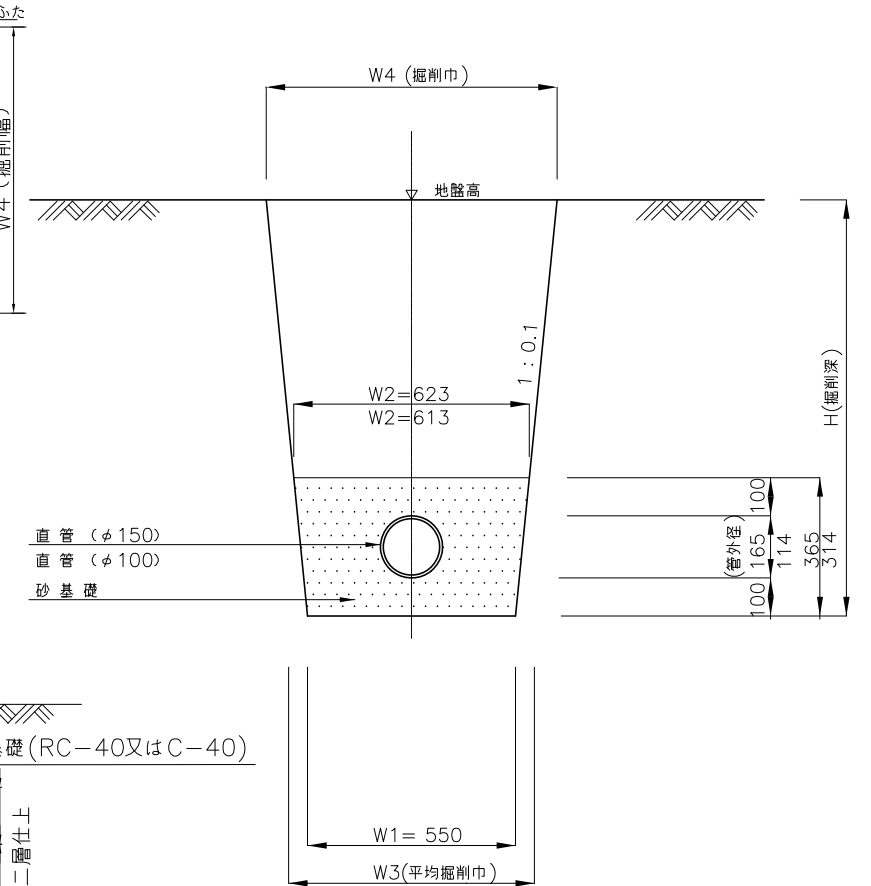
平面図



縦断面図



取付管標準掘削断面図

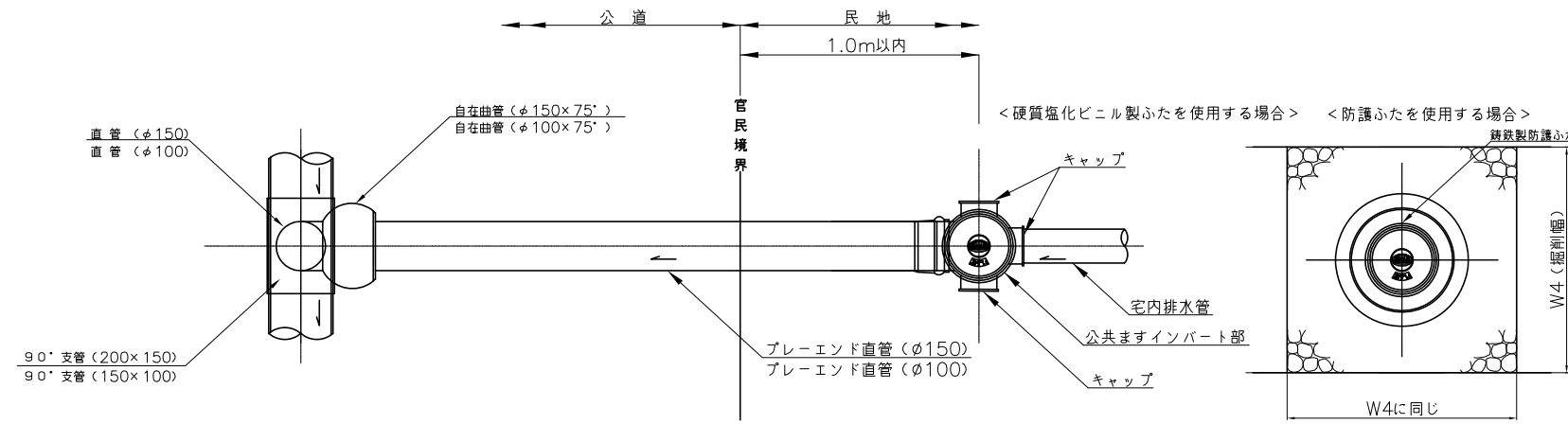


取付管寸法表

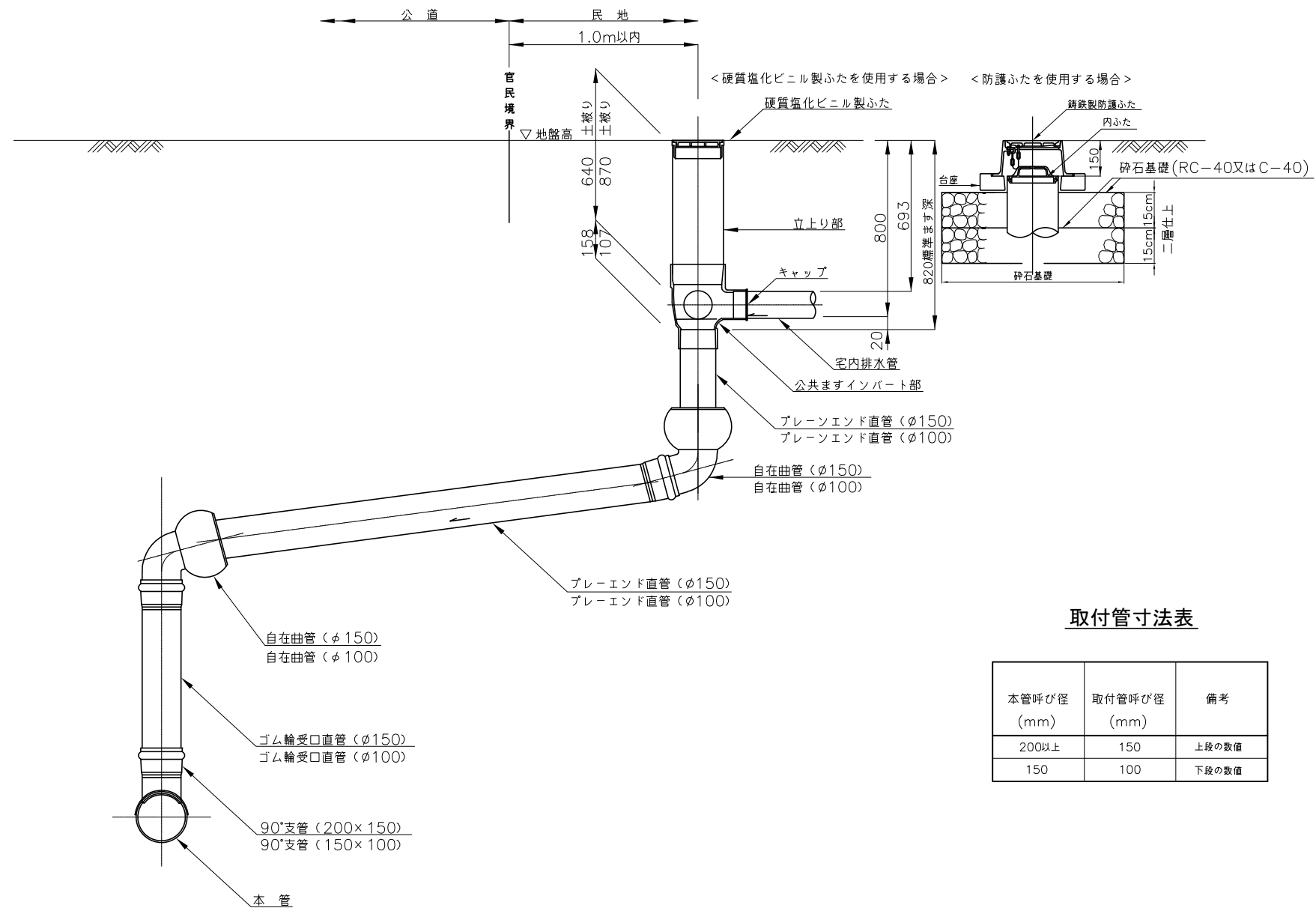
本管呼び径 (mm)	取付管呼び径 (mm)	備考
200以上	150	上段の数値
150	100	下段の数値

# 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます [公共ます] 設置図 ドロップ

平面図



縦断図



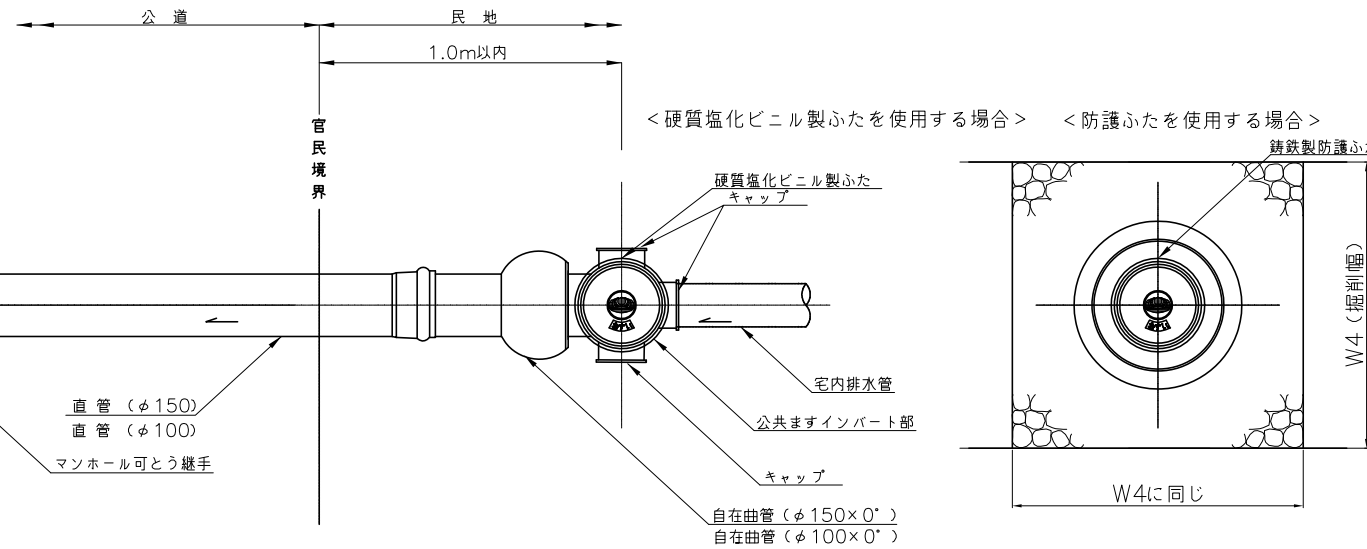
取付管寸法表

本管呼び径 (mm)	取付管呼び径 (mm)	備考
200以上	150	上段の数値
150	100	下段の数値

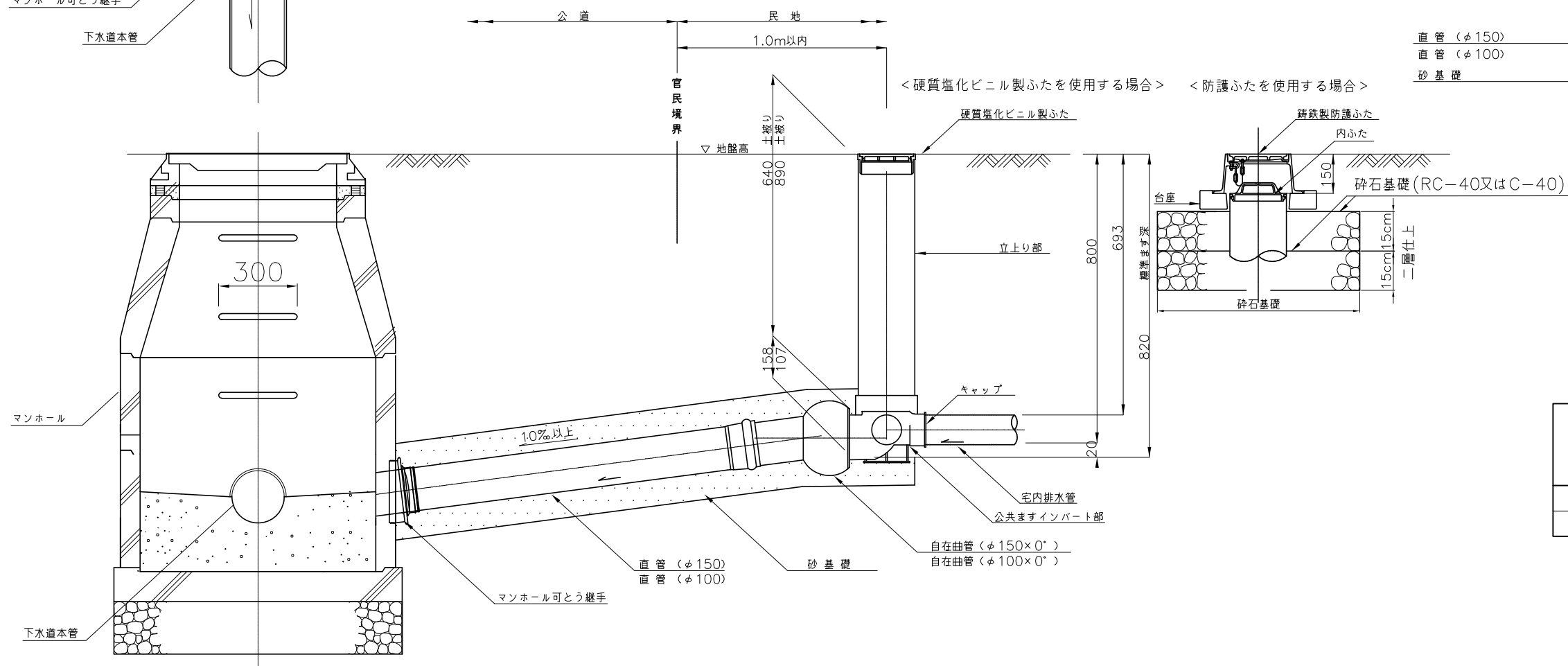
# 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます [公共ます] 設置図

## (人孔取付部)

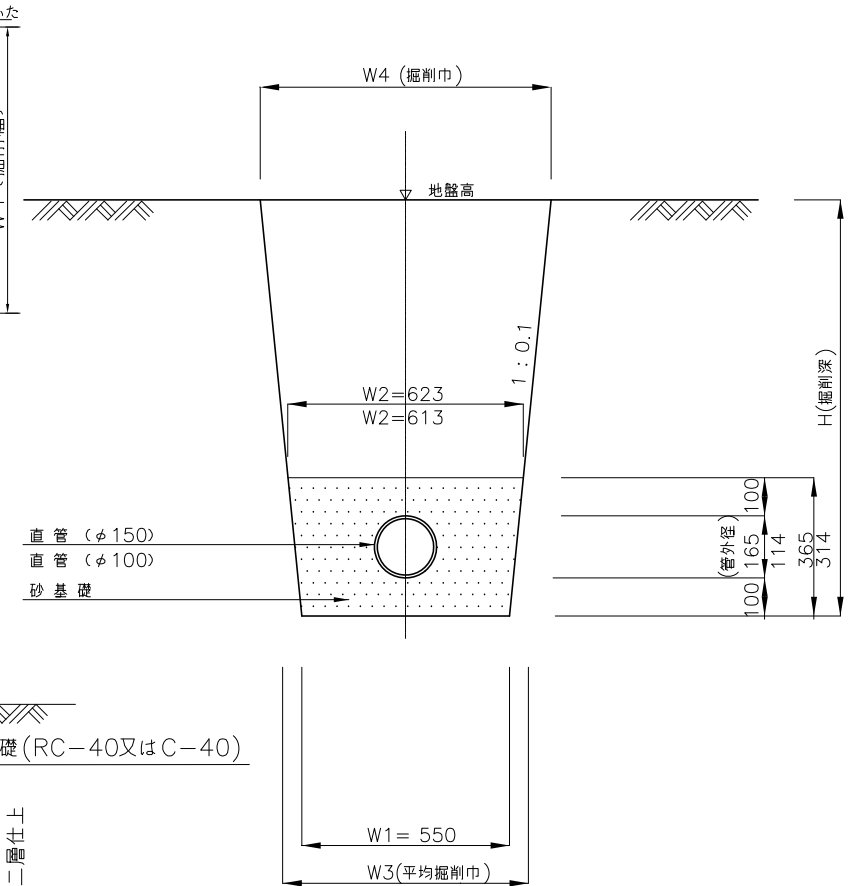
平面図



縦断図



取付管標準掘削断面図

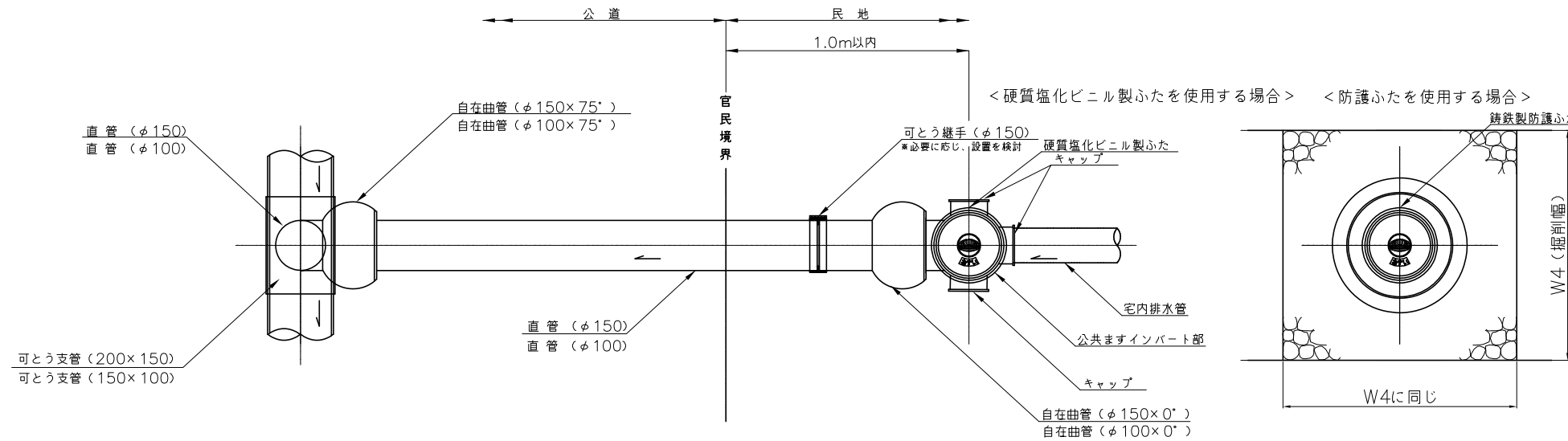


取付管寸法表

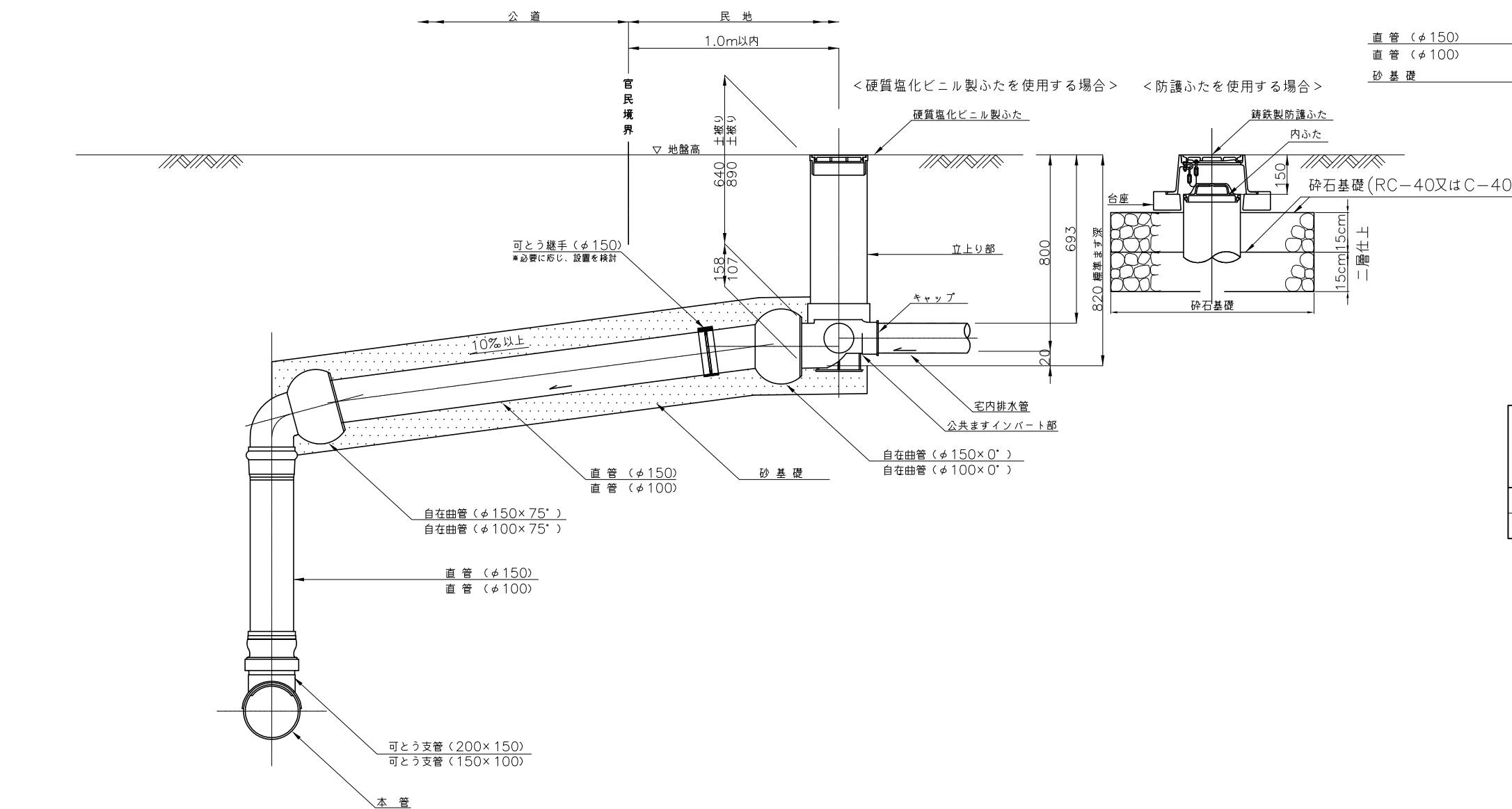
本管呼び径 (mm)	取付管呼び径 (mm)	備考
200以上	150	上段の数値
150	100	下段の数値

# 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます [公共ます] 設置図 (可とう継手・可とう支管設置)

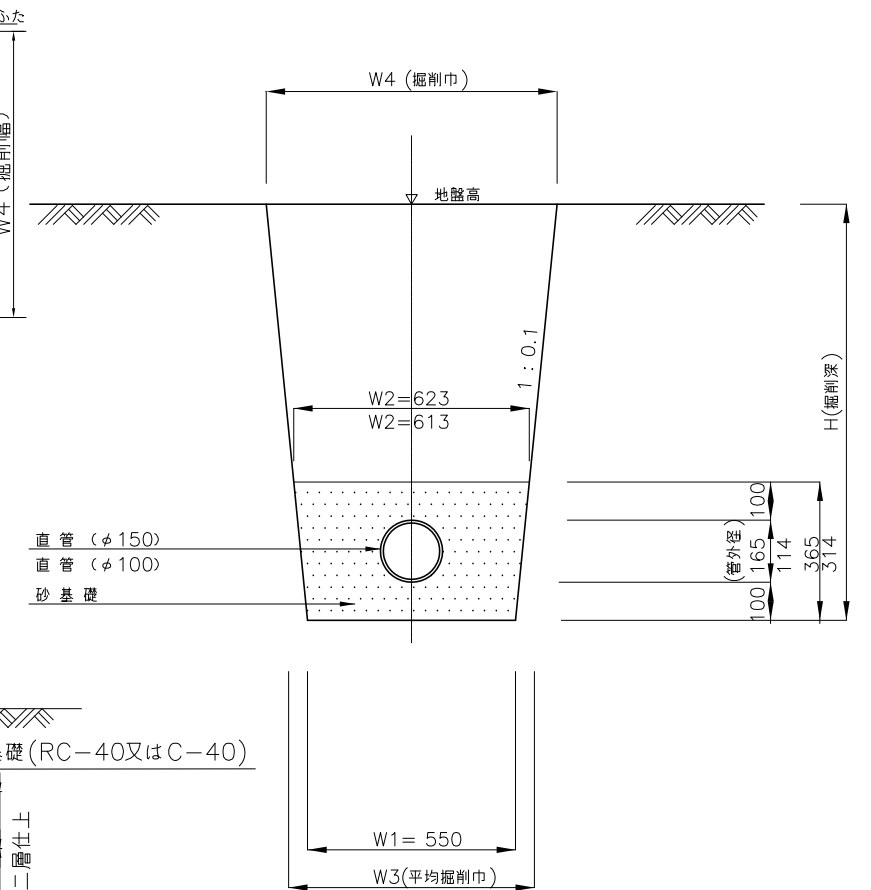
平面図



縦断図



取付管標準掘削断面図

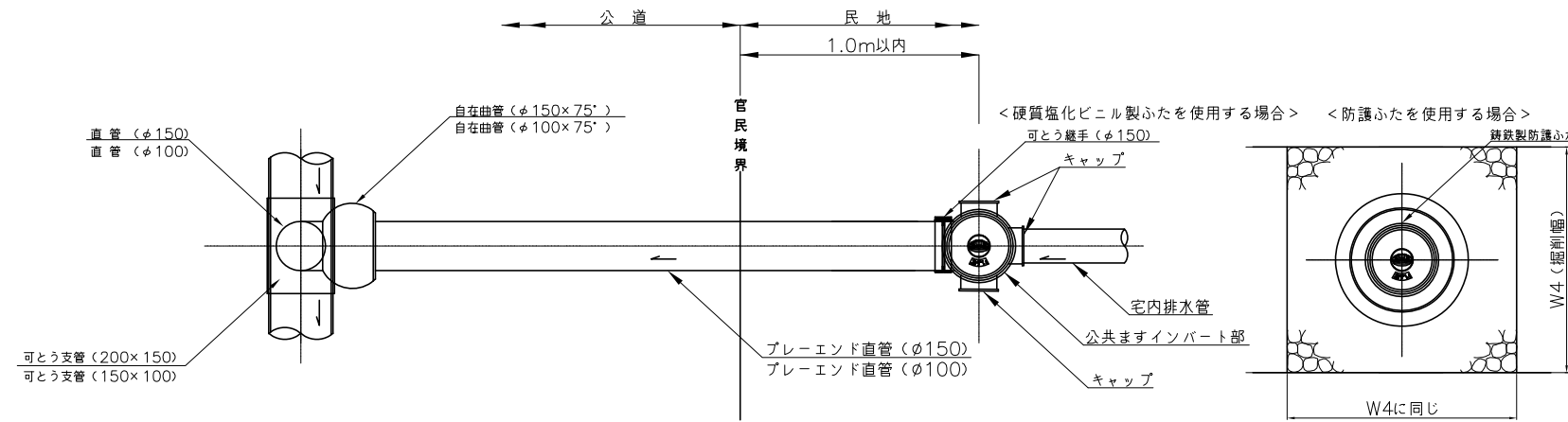


取付管寸法表

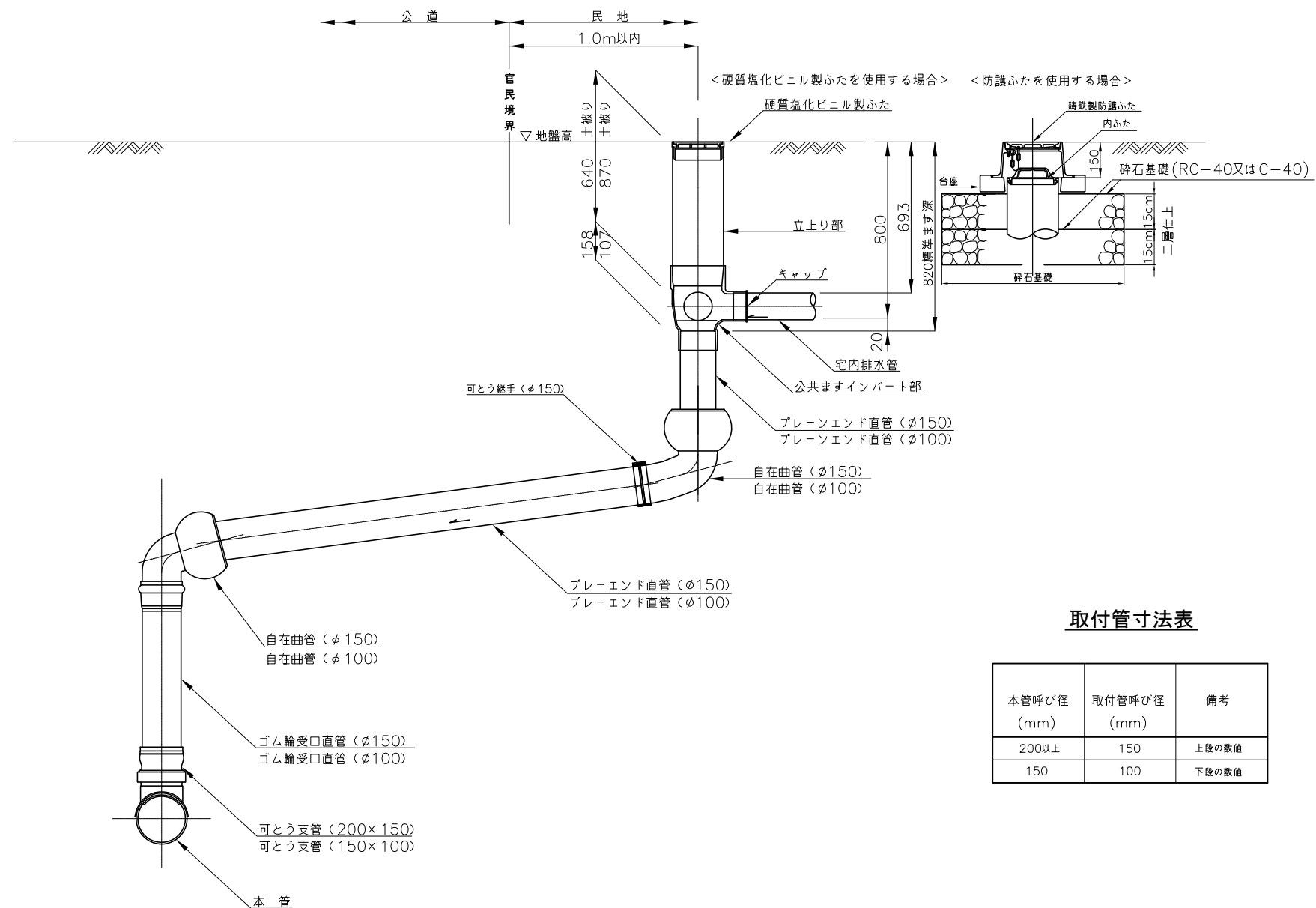
本管呼び径 (mm)	取付管呼び径 (mm)	備考
200以上	150	上段の数値
150	100	下段の数値

# 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます [公共ます] 設置図 ドロップ(可とう継手・可とう支管設置)

平面図



縦断図



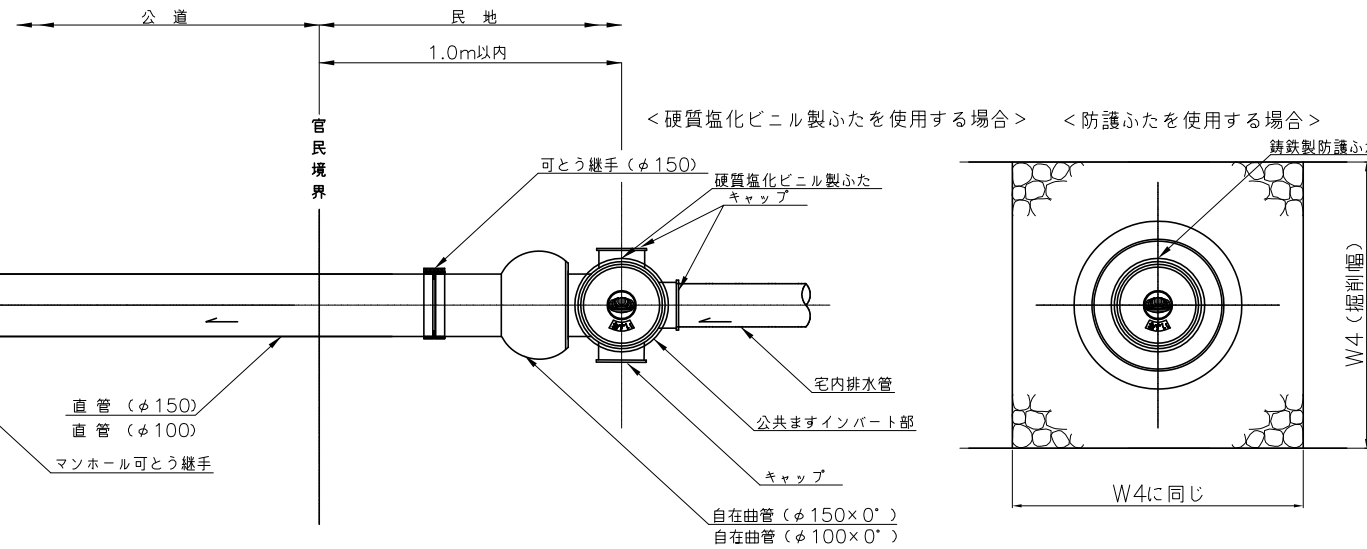
取付管寸法表

本管呼び径 (mm)	取付管呼び径 (mm)	備考
200以上	150	上段の数値
150	100	下段の数値

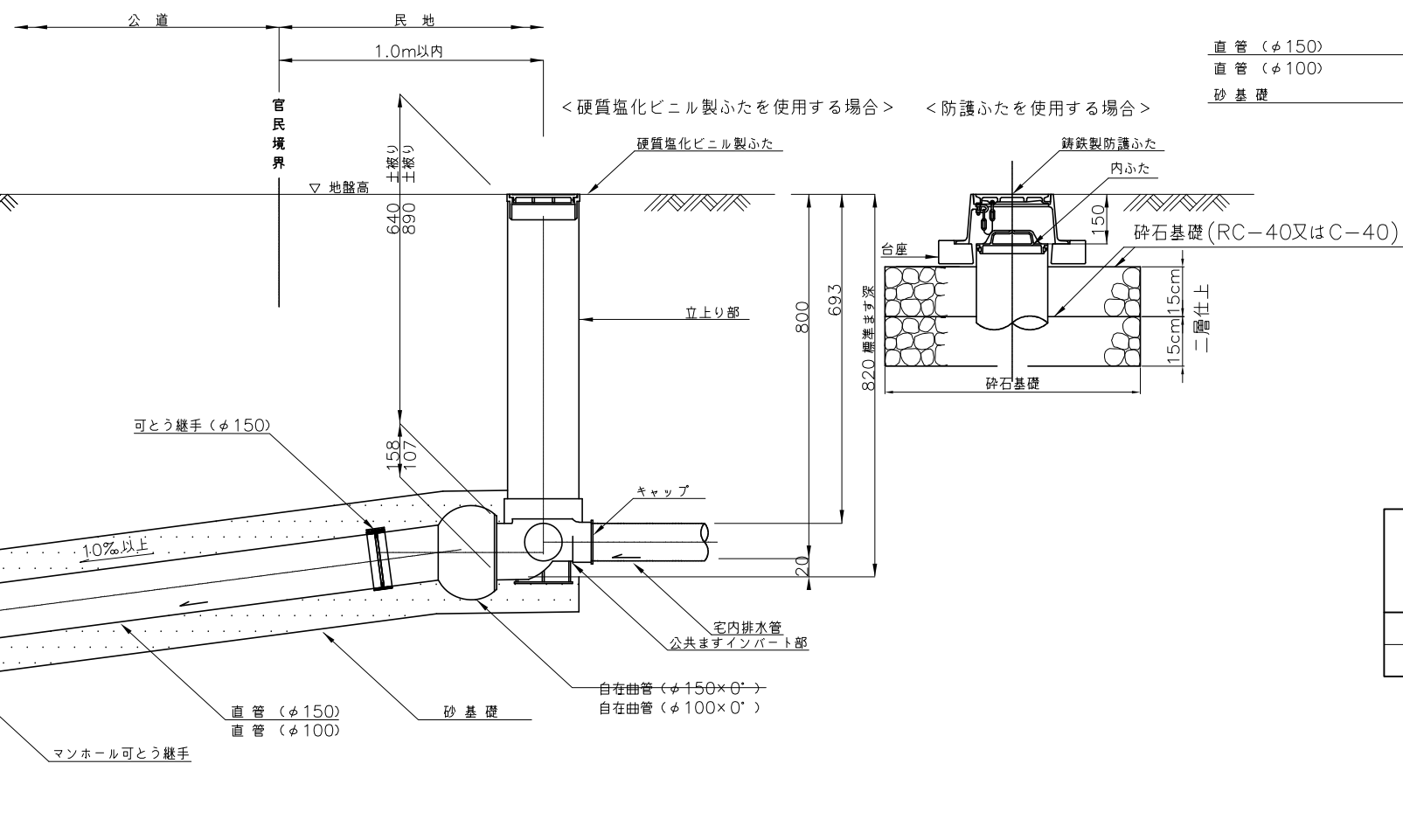
# 取付管・下水道用硬質塩化ビニル製ます [公共ます] 設置図

## 人孔取付部(可とう継手設置)

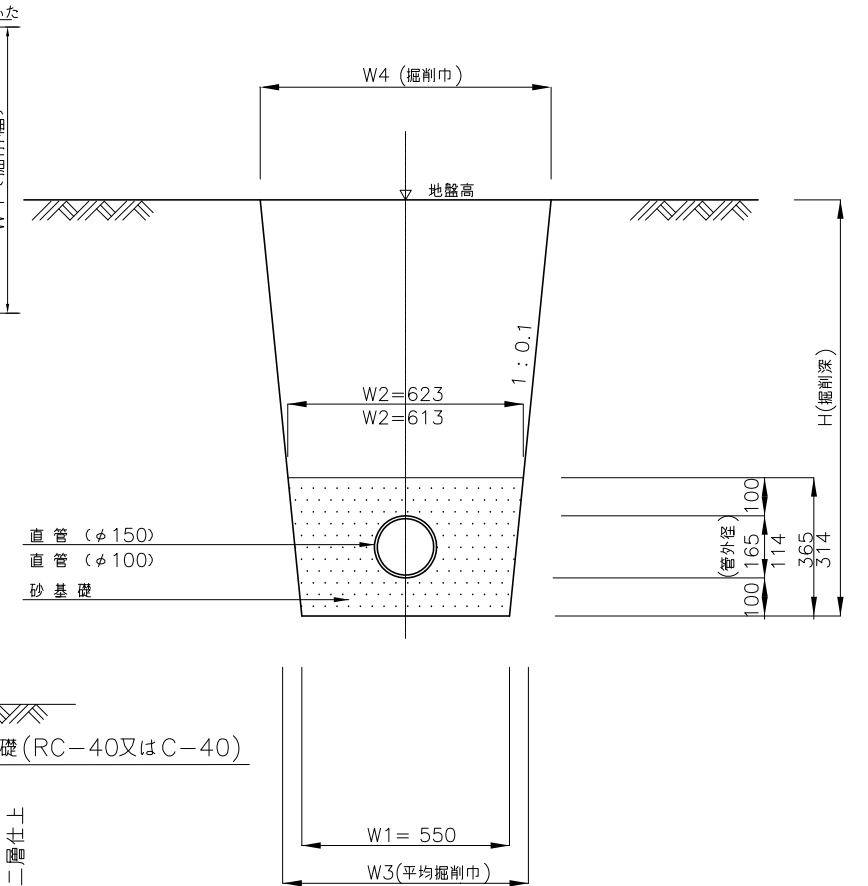
平面図



縦断図

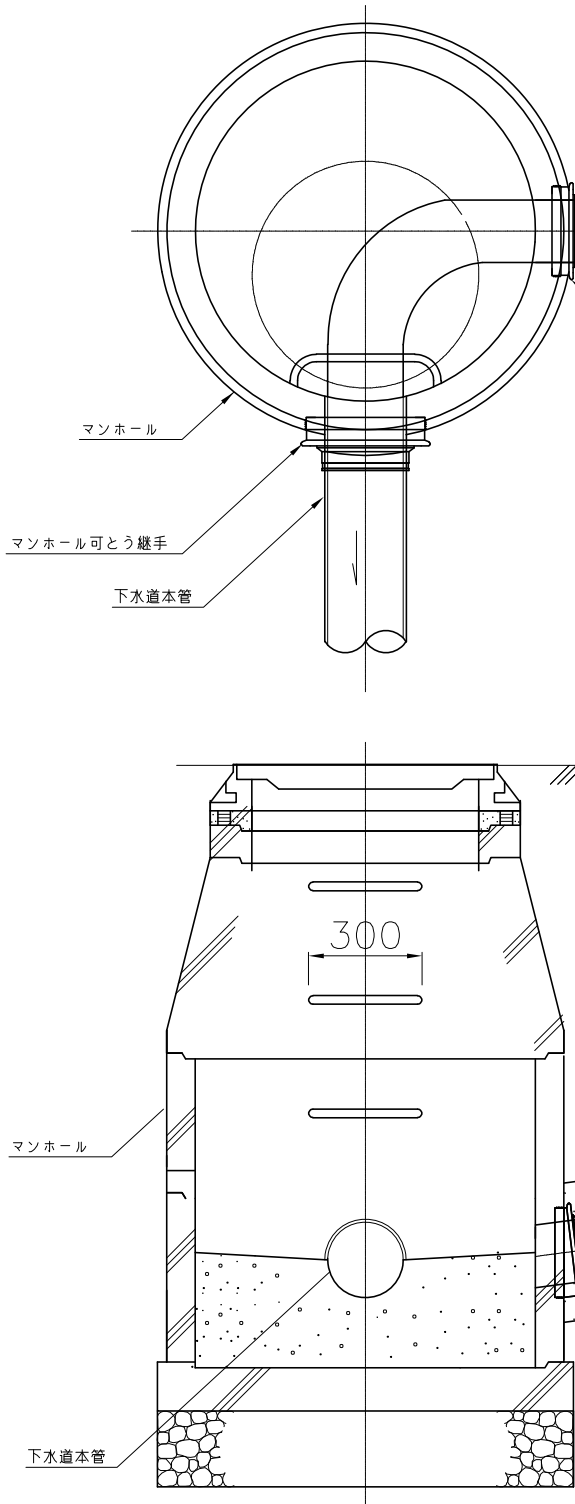


取付管標準掘削断面図



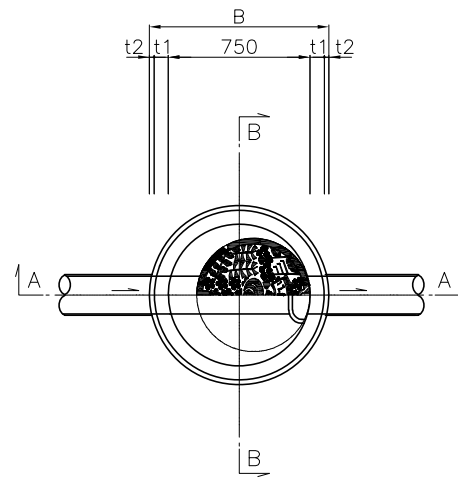
取付管寸法表

本管呼び径 (mm)	取付管呼び径 (mm)	備考
200以上	150	上段の数値
150	100	下段の数値

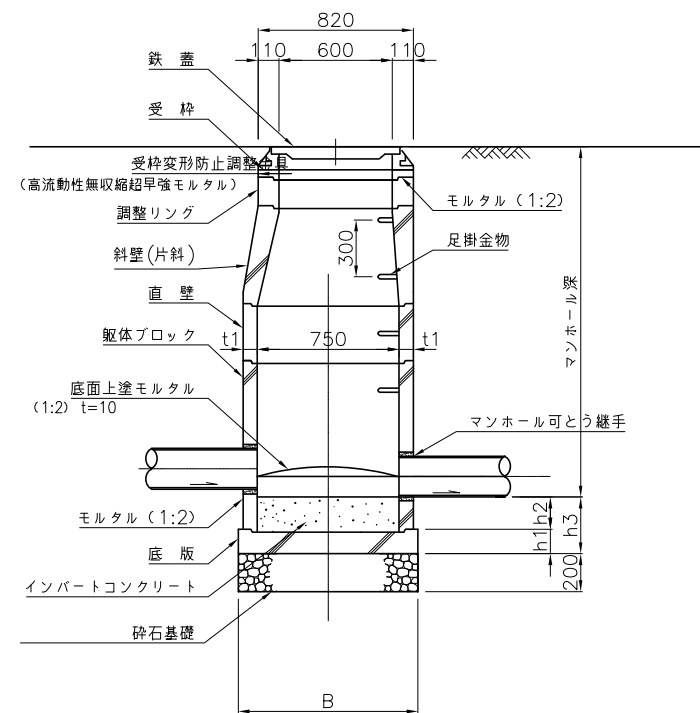


0号マンホール構造図 縮尺 1/20

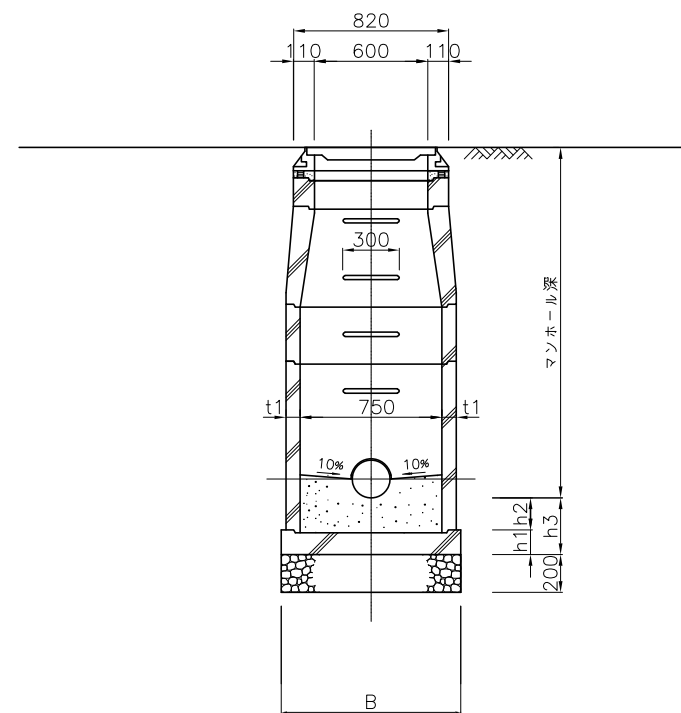
平面図



A-A 断面



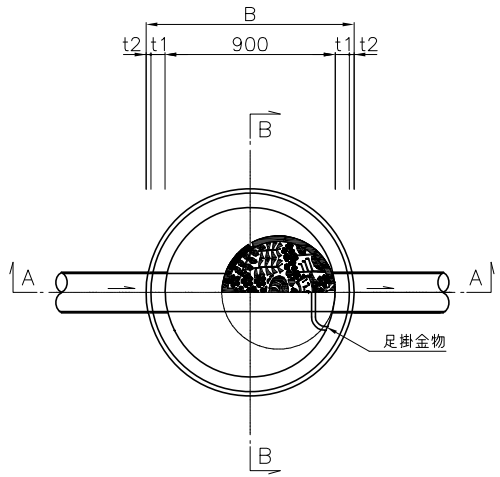
B-B 断面



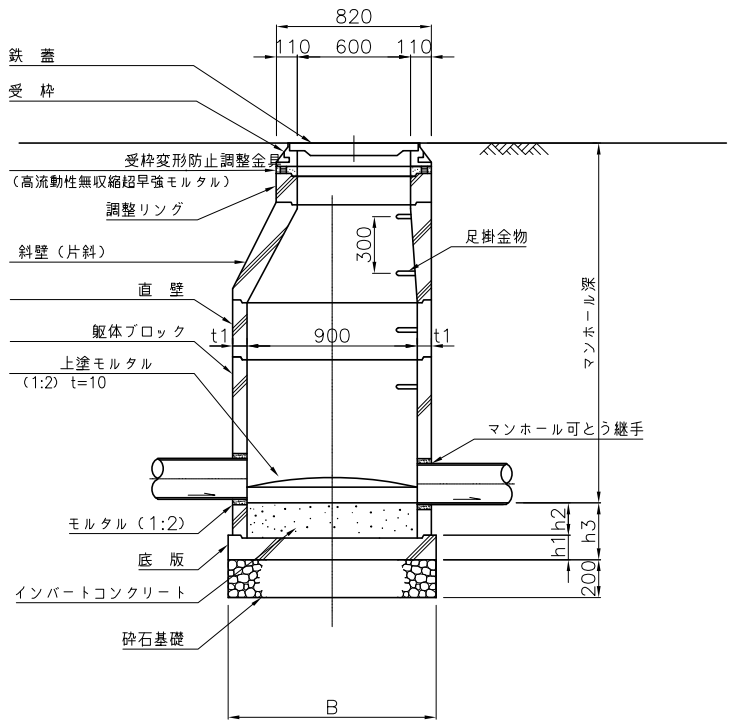
\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

1号マンホール構造図 縮尺 1/20

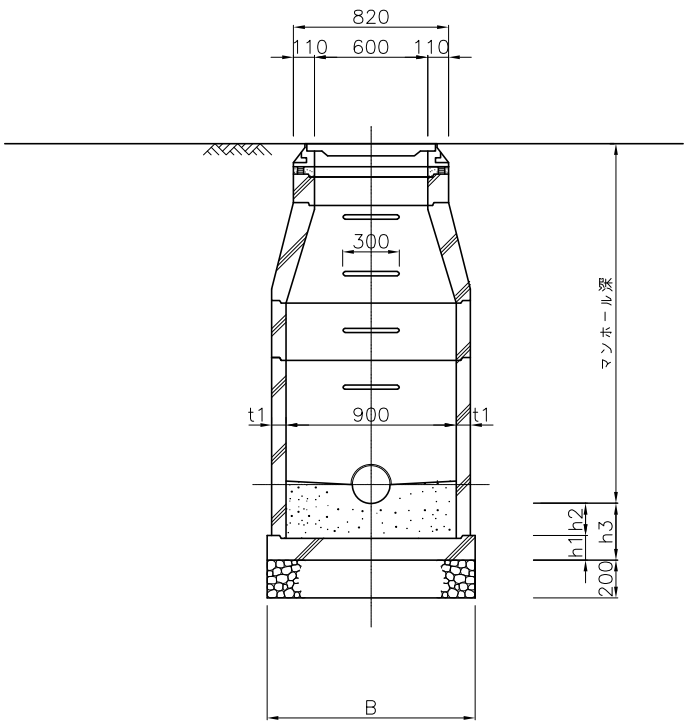
平面図  
本管径(φ200~φ400)



A-A 断面



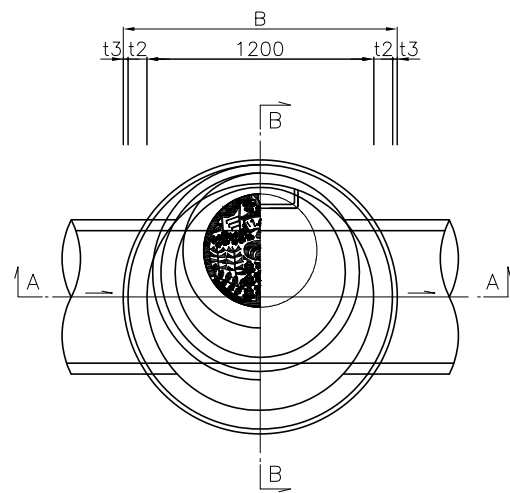
B-B 断面



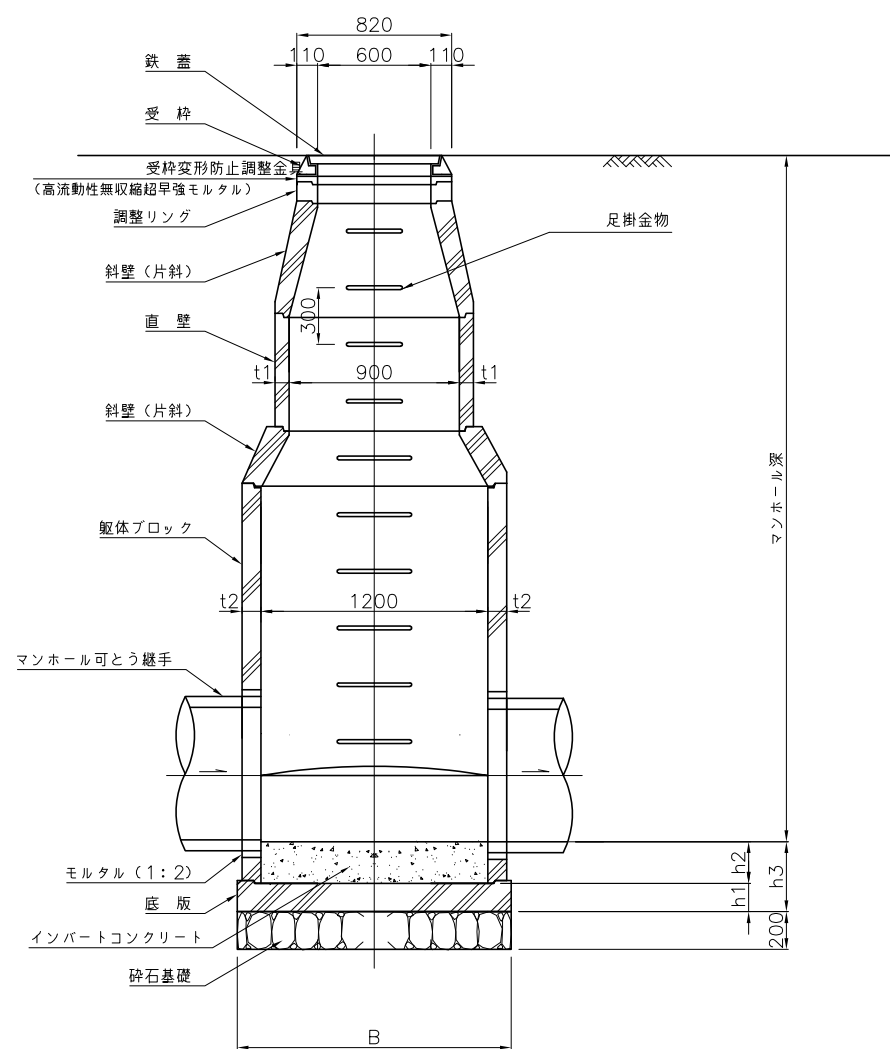
\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

# 2号マンホール構造図 縮尺 1/20

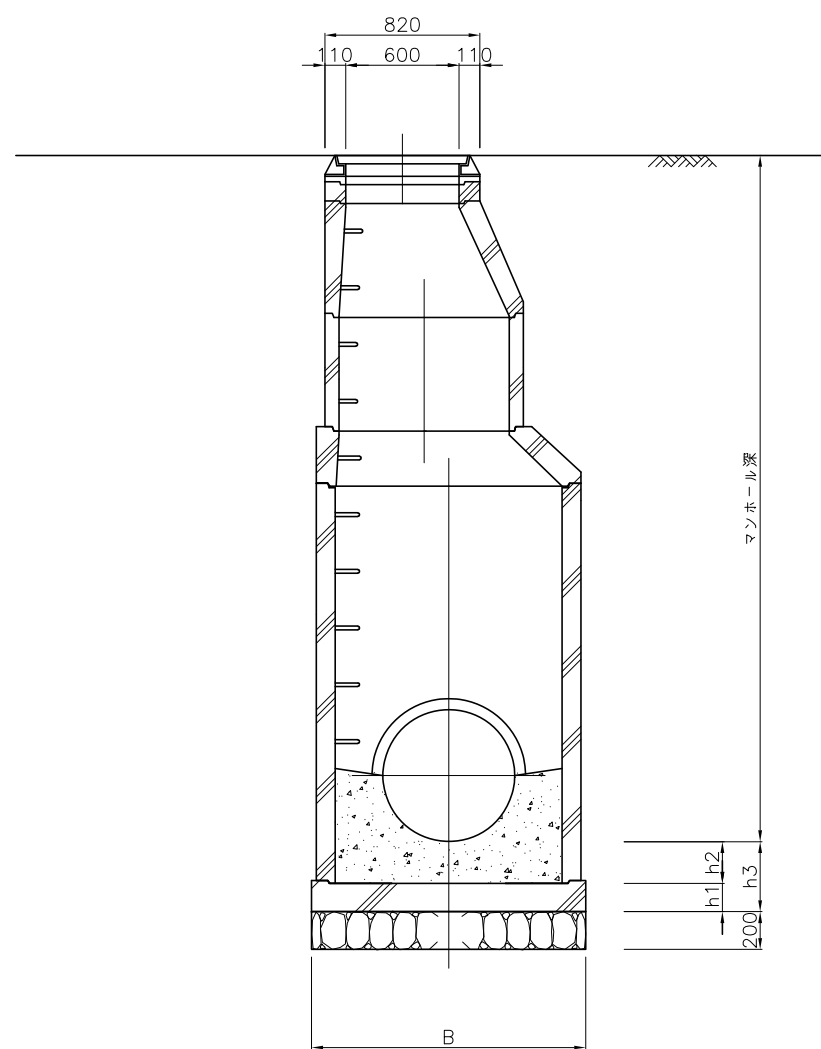
### 平面図



### A-A 断面



### B-B 断面

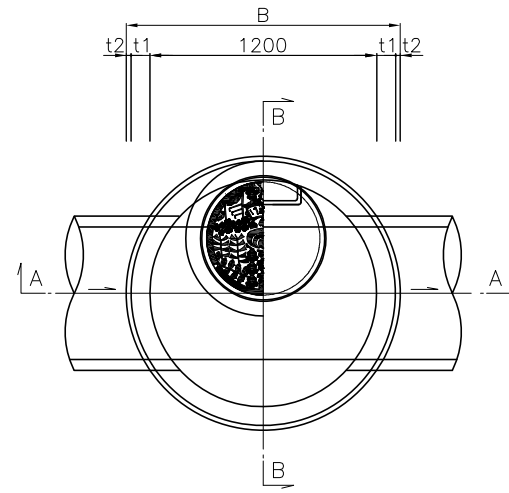


\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

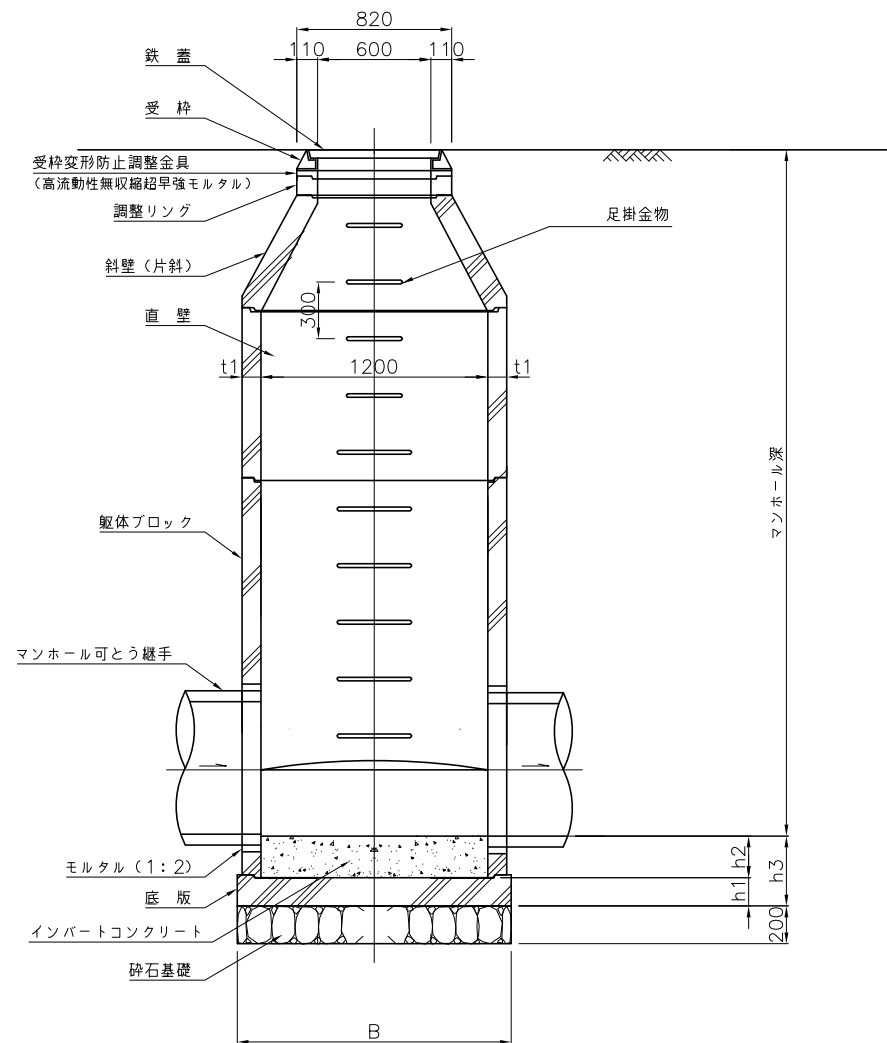
# 2号マンホール構造図 縮尺 1/20

## 600-1200

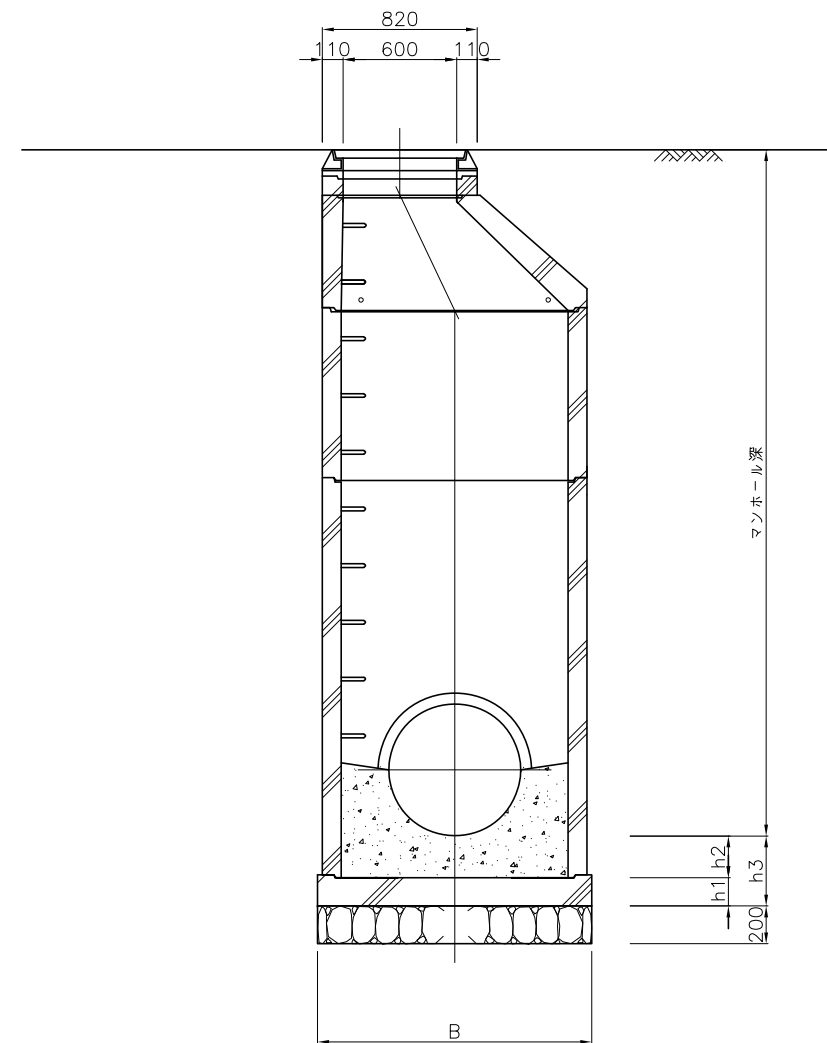
平面図



A-A 断面

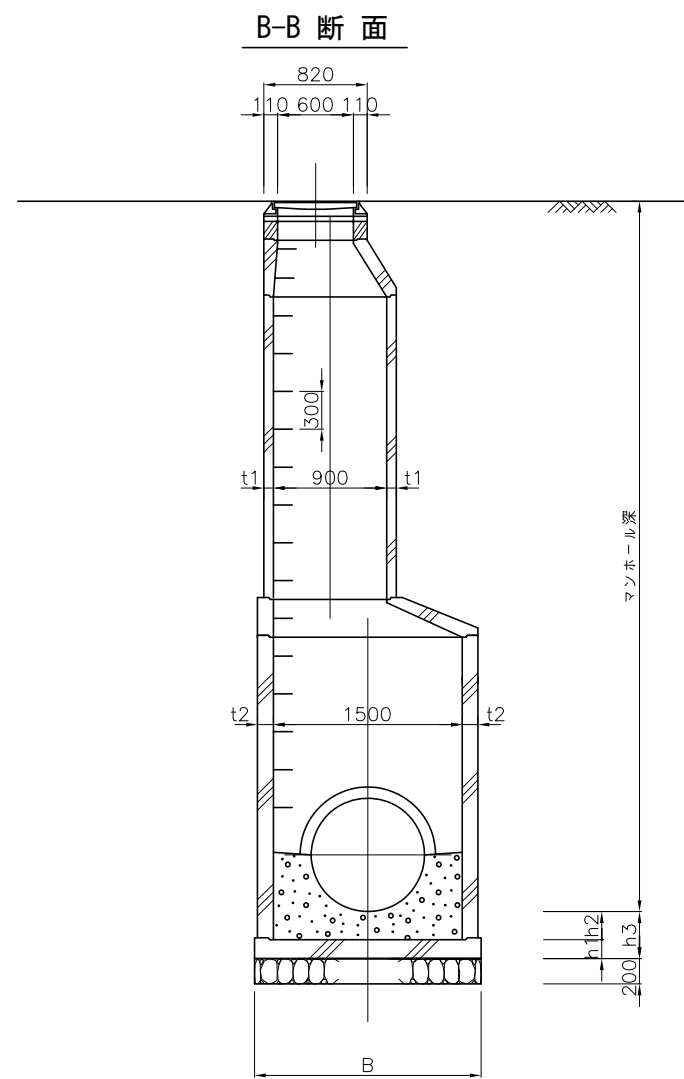
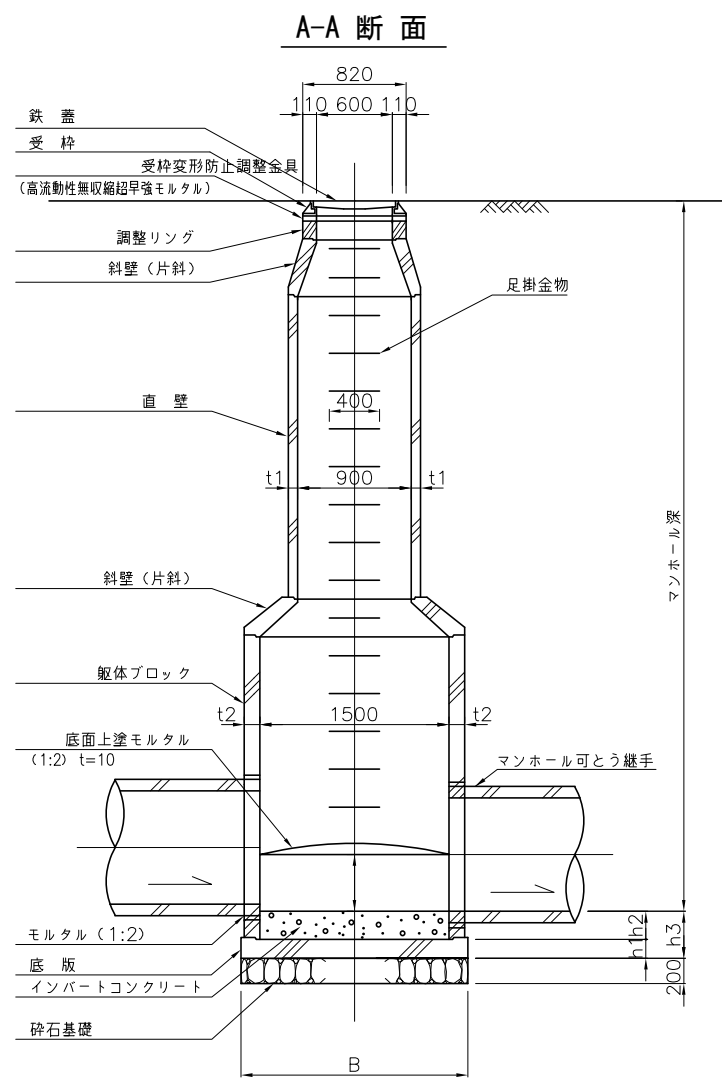
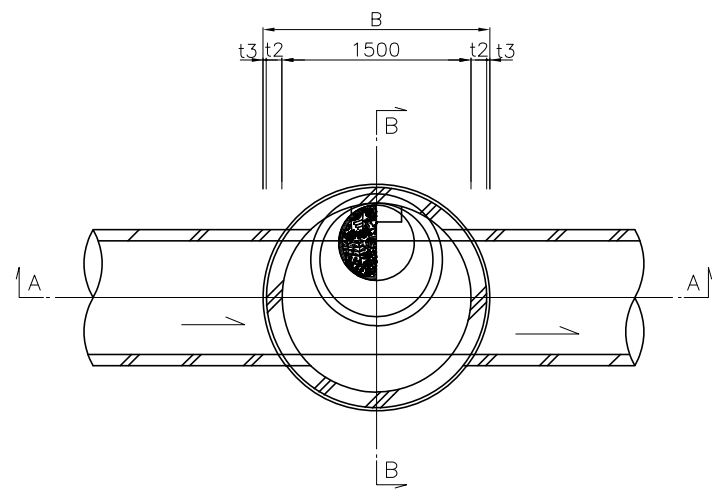


B-B 断面



\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

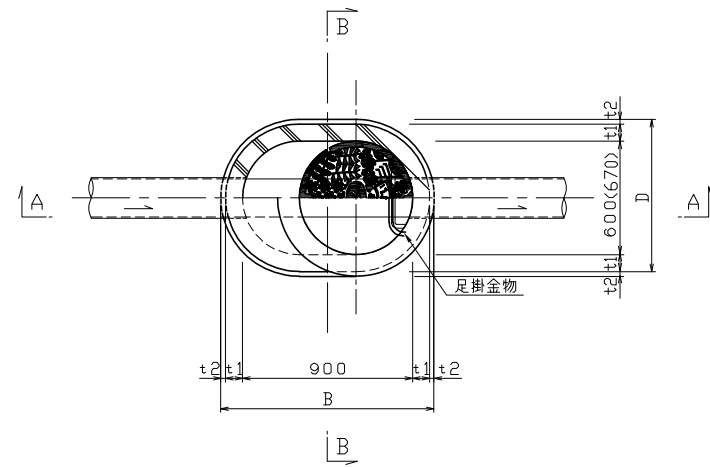
3号マンホール構造図 縮尺 1/30



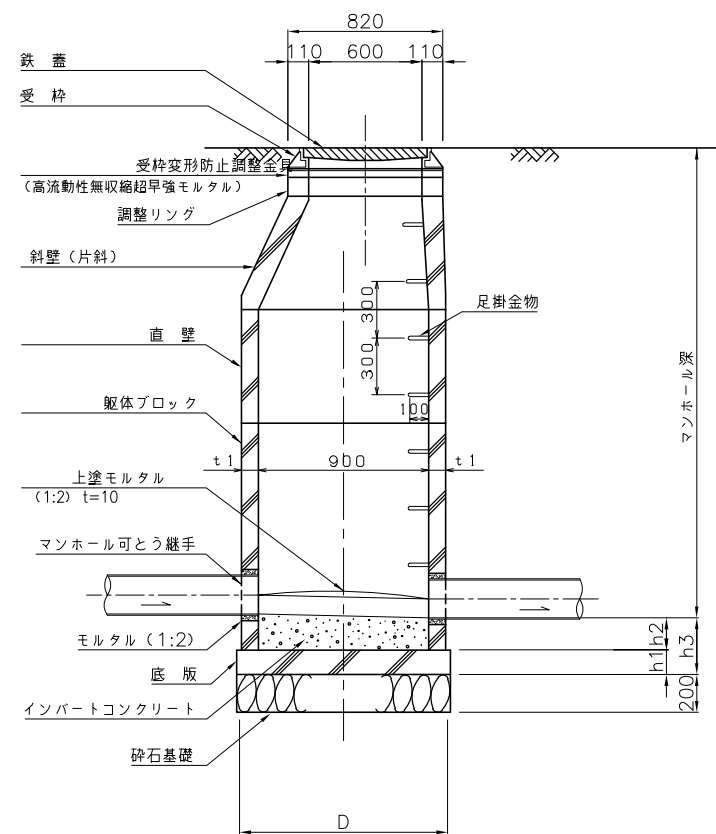
\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

組立式楕円人孔[600(670) × 900]標準構造図 縮尺 1/20

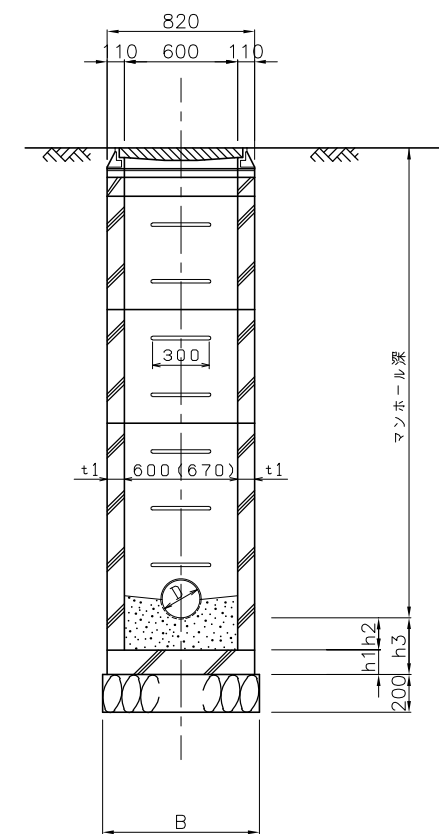
平面図



A-A 断面



B-B 断面

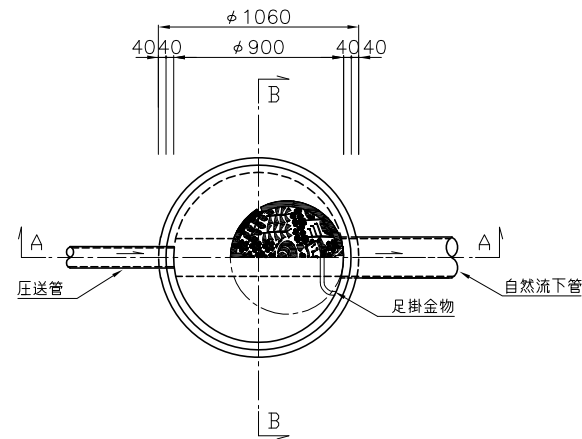


\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

吐き出し先標準構造図 (1) 縮尺 1/20

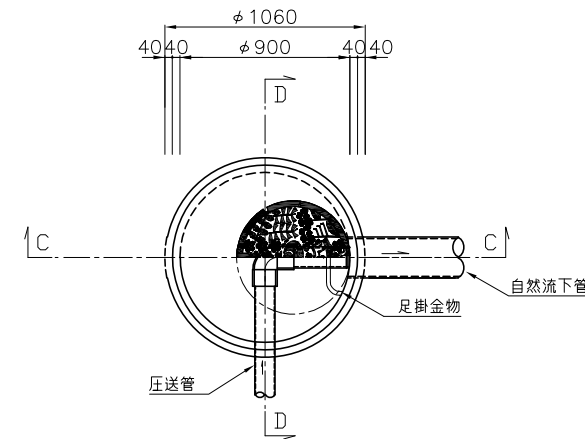
平面図

[直行]

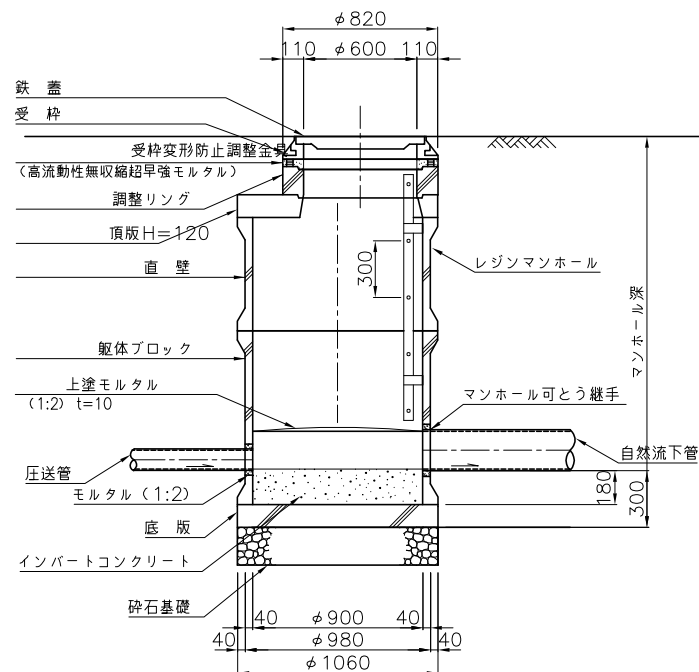


平面図

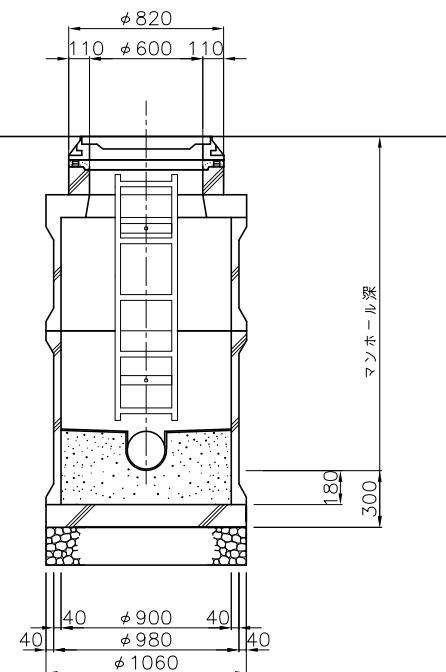
[曲部]



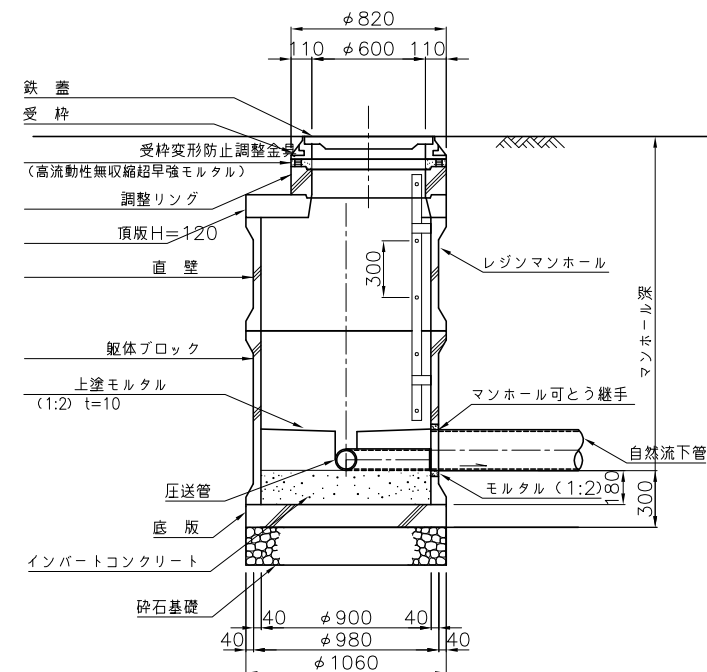
A-A 断面



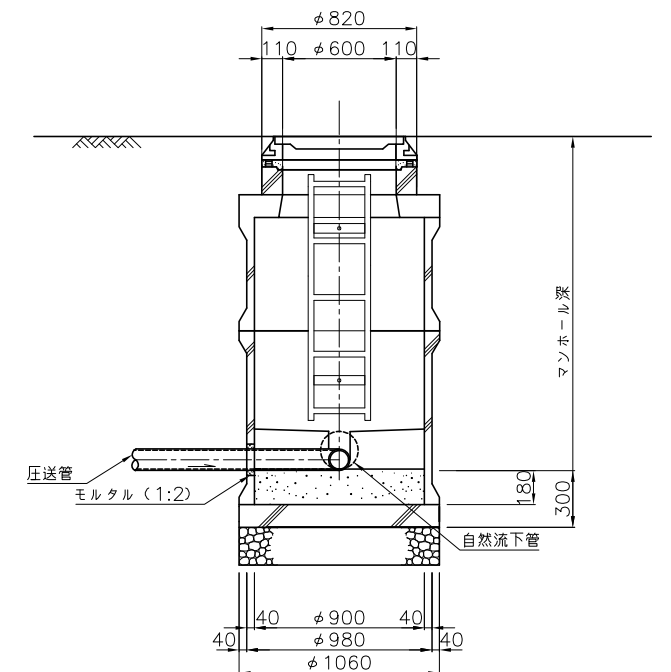
B-B 断面



C-C 断面



D-D 断面



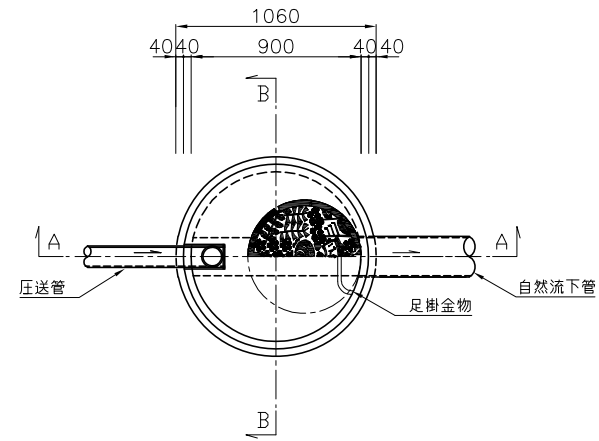
※割込人孔の場合は、別途検討すること。

\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

吐き出し先標準構造図 (2) 縮尺 1/20

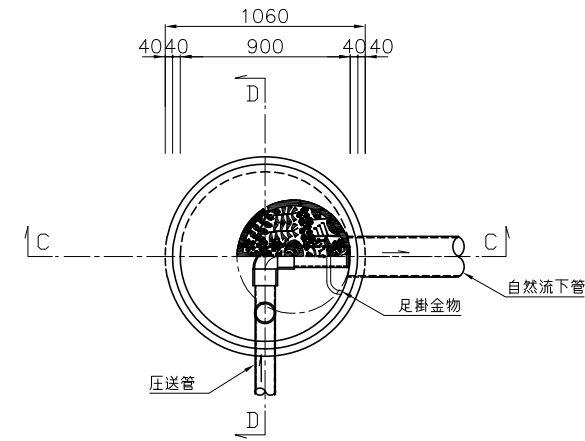
平面図

[直行]



平面図

[曲部]

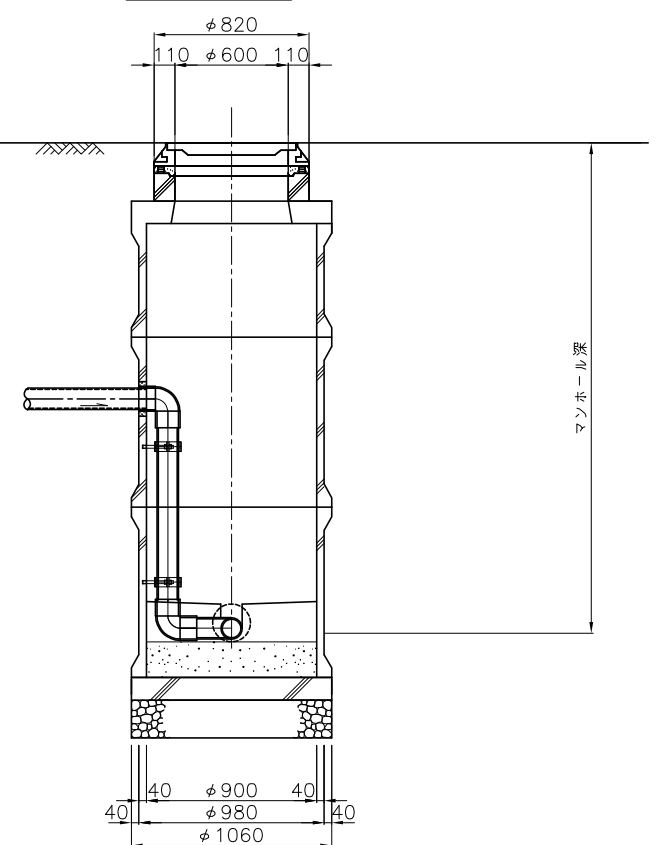
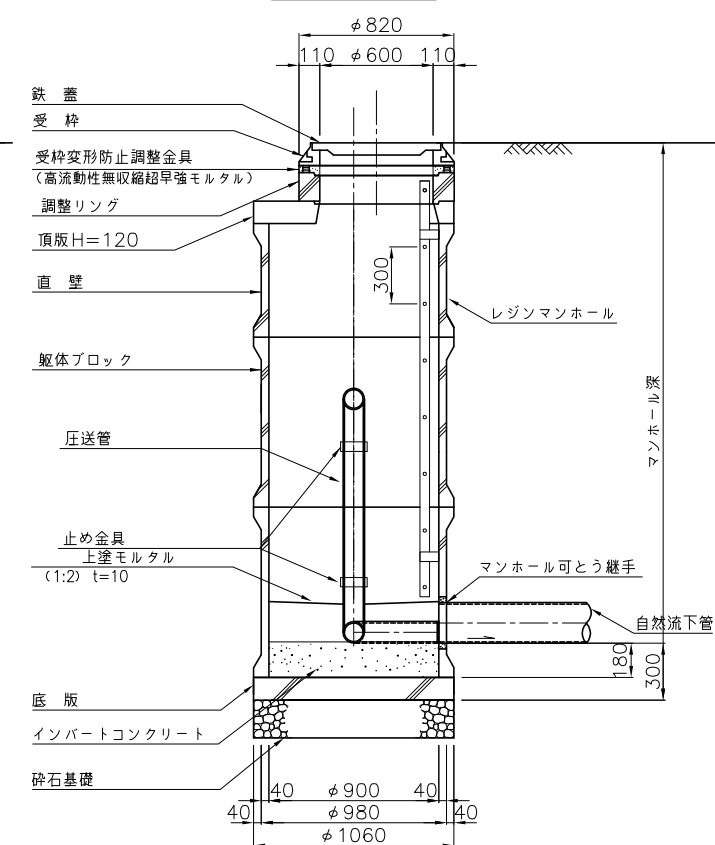
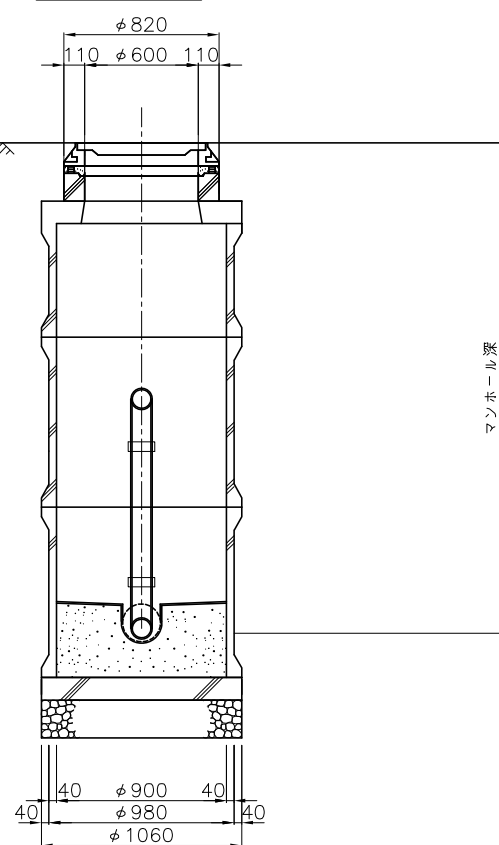
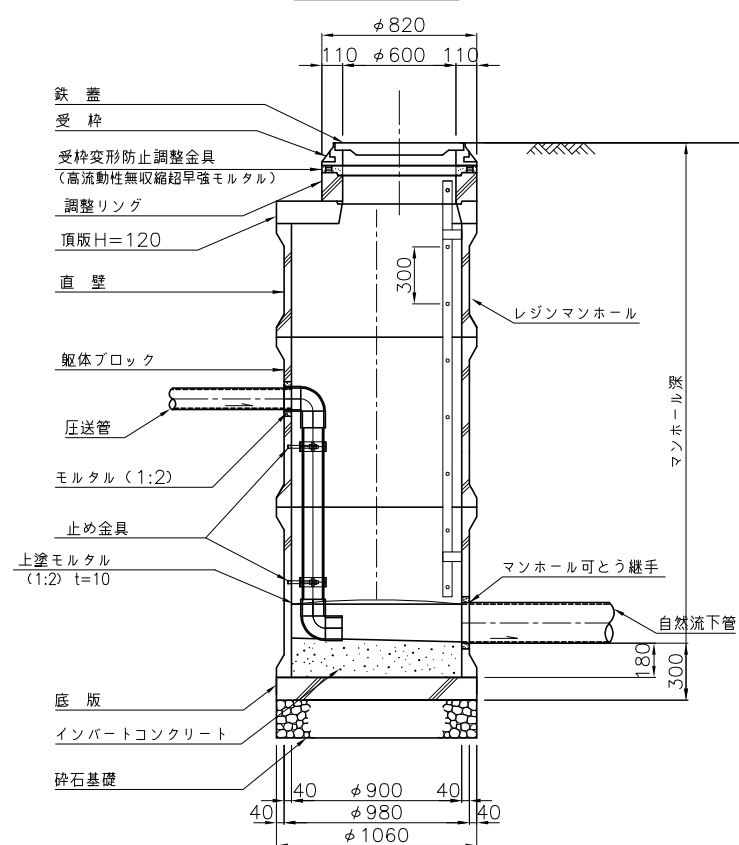


A-A 断面

B-B 断面

C-C 断面

D-D 断面



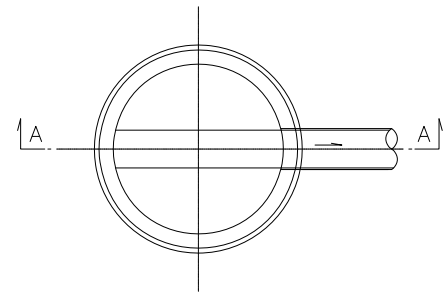
\*機能強化型鉄蓋を使用する場合も、同様とする。(令和元年7月1日より適用)

※割込人孔の場合は、別途検討すること。

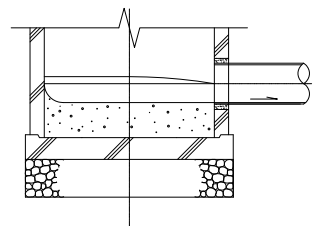
# インバート図

[起 点]

平面図

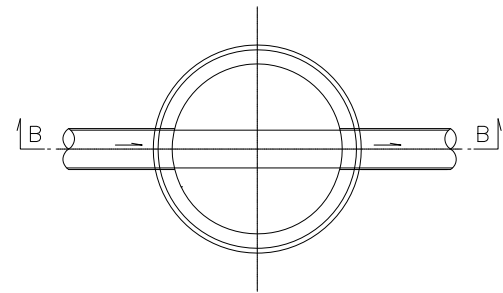


A-A 断面

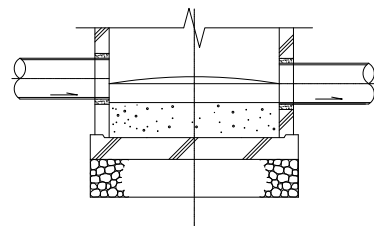


[直 行]

平面図

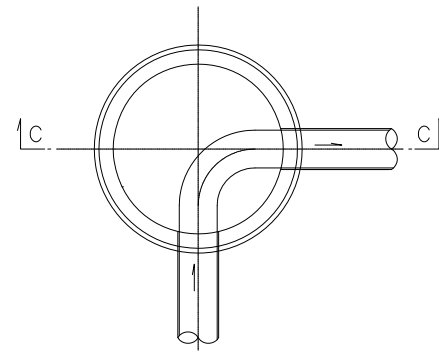


B-B 断面

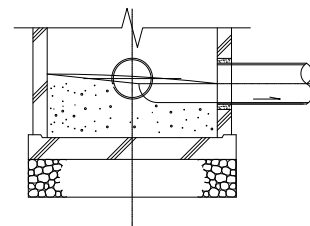


[曲 部]

平面図

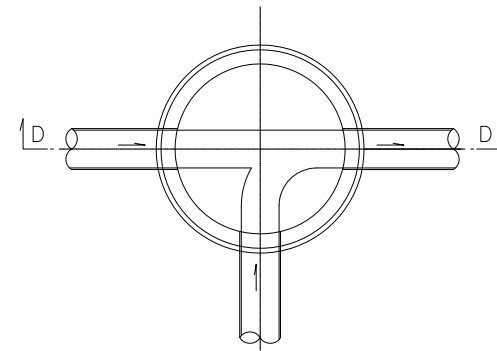


C-C 断面

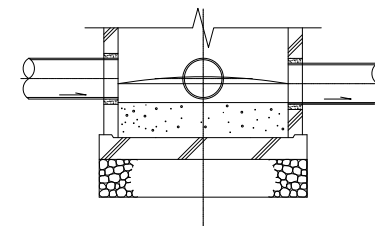


[会 合 : 流入 2 方向]

平面図

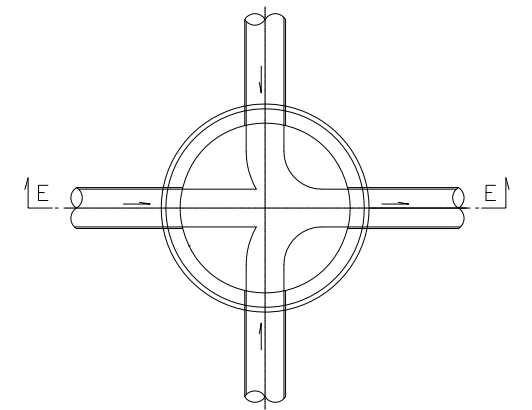


D-D 断面

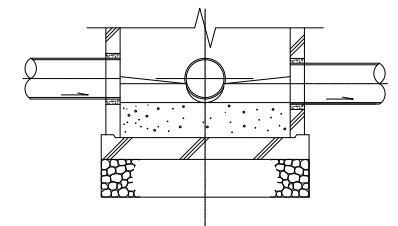


[会 合 : 流入 3 方向]

平面図



E-E 断面



マンホール蓋デザイン図  
(歩道用、φ300及びφ600用)



\*表示については、マンホール蓋性能仕様書に準拠すること。

# 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホール規格図 (1)

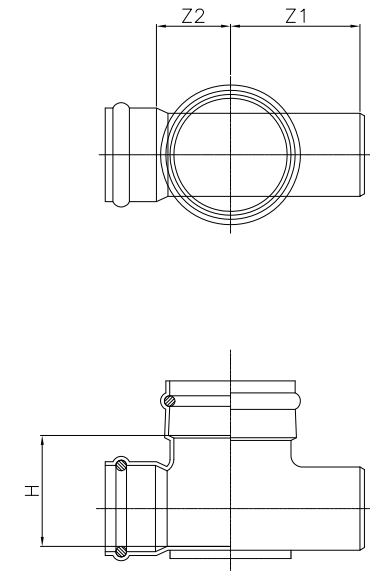
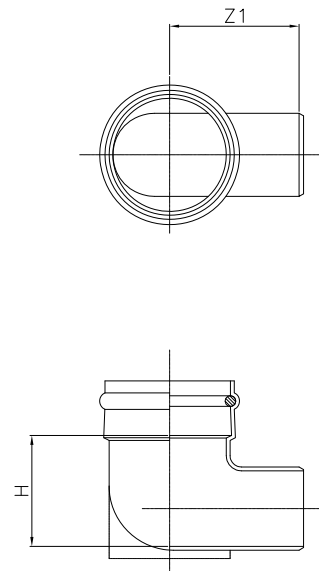
[ JSWAS K-9 ]

## 起点 (略号 KT)

## ストレート (略号 ST)

ゴム輪受口形

ゴム輪受口形



寸法表

(単位: mm)

管 径	マンホール径	Z1 (最小)	H (最小)
			受口形
150-300		280	230
200-300		290	255
250-300		350	310

注 破線で示すように安定脚を設けてもよい。なお、その形状及び寸法は、規定しない。

寸法表

(単位: mm)

管 径	マンホール径	Z1 (最小)	Z2 (最小)	H (最小)
				受口形
150-300		280	180	230
200-300		290		255
250-300		350	190	310

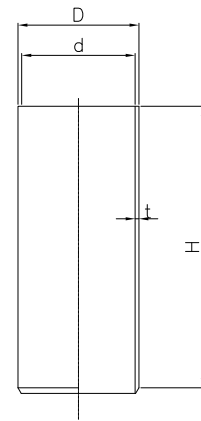
注 破線で示すように安定脚を設けてもよい。なお、その形状及び寸法は、規定しない。

# 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホール規格図 (2)

[ JSWAS K-9 ]

## 差し口形立上り部

(略号 MTV)



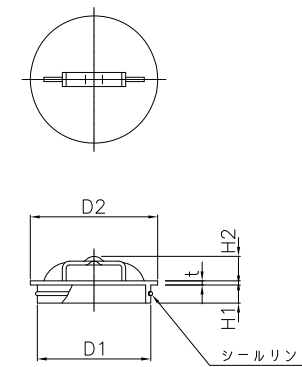
### 寸法表

(単位: mm)

管 径	D		t		d (近似内径)	H	
	基本寸法	許容差	最小寸法	許容差		基本寸法	許容差
300×0.6						600	
300×0.9						900	
300×1.2						1200	
300×1.5	318	±1.0	9.2	+1.4	298	1500	-0
300×2.0						2000	
300×2.5						2500	
300×3.0						3000	

- 注 1. 本図の製品は、受口形パート部の立上り部として使用する。  
 2. 外径Dとは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値  
 又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。  
 3. 差し口部の寸法は、図-2による。

## 硬質塩化ビニル製内蓋



### 寸法表

(単位: mm)

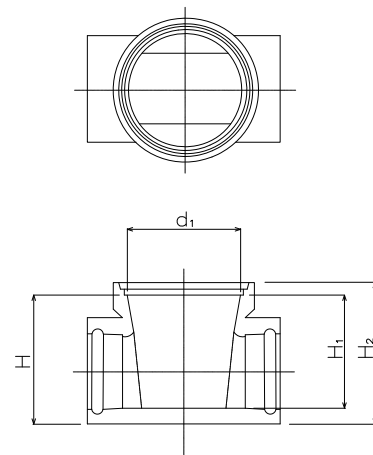
管 径	D1 (最小)	D2 (参考)	t (最小)	H1 (最小)	H2 (最小)
150	147	165	4	25	40
200	195	216	4	25	40
300	291	318	4	25	40
350	343	370	4	25	40

- 注 1. シールリング及びその周辺の形状、寸法は、規定しない。  
 2. 取手の形状は、規定しない。  
 3. 破線で示す形状にすることもできる。

下水道用レジンコンクリート製マンホール規格図 (1) 縮尺 1/10

[ JSWAS K-10 ]

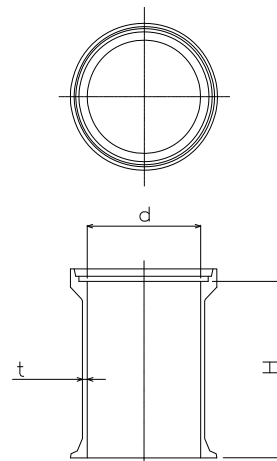
管取付け壁 (略号RMC30 (C))  
(底版一体型)



(単位: mm)

呼び方	記号	d <sub>1</sub>	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	H
30	RMC 30 (C) -340 (150)	300±3	300±5	375±5	340
	RMC 30 (C) -340 (200)				

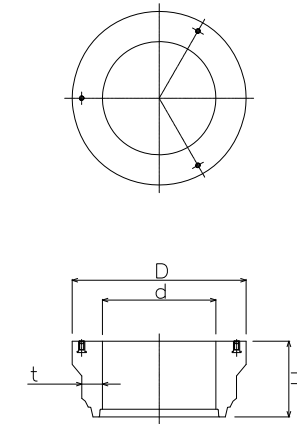
直 壁 (略号RMC30 (B))



(単位: mm)

呼び方	記号	d	t	H
30	RMC 30 (B) -300	300±3	17 <sup>+3</sup> / <sub>2</sub>	300±5
	RMC 30 (B) -400			400±5
	RMC 30 (B) -500			500±5
	RMC 30 (B) -600			600±5
	RMC 30 (B) -900			900±5

上 部 壁 (略号RMC30 (A))



(単位: mm)

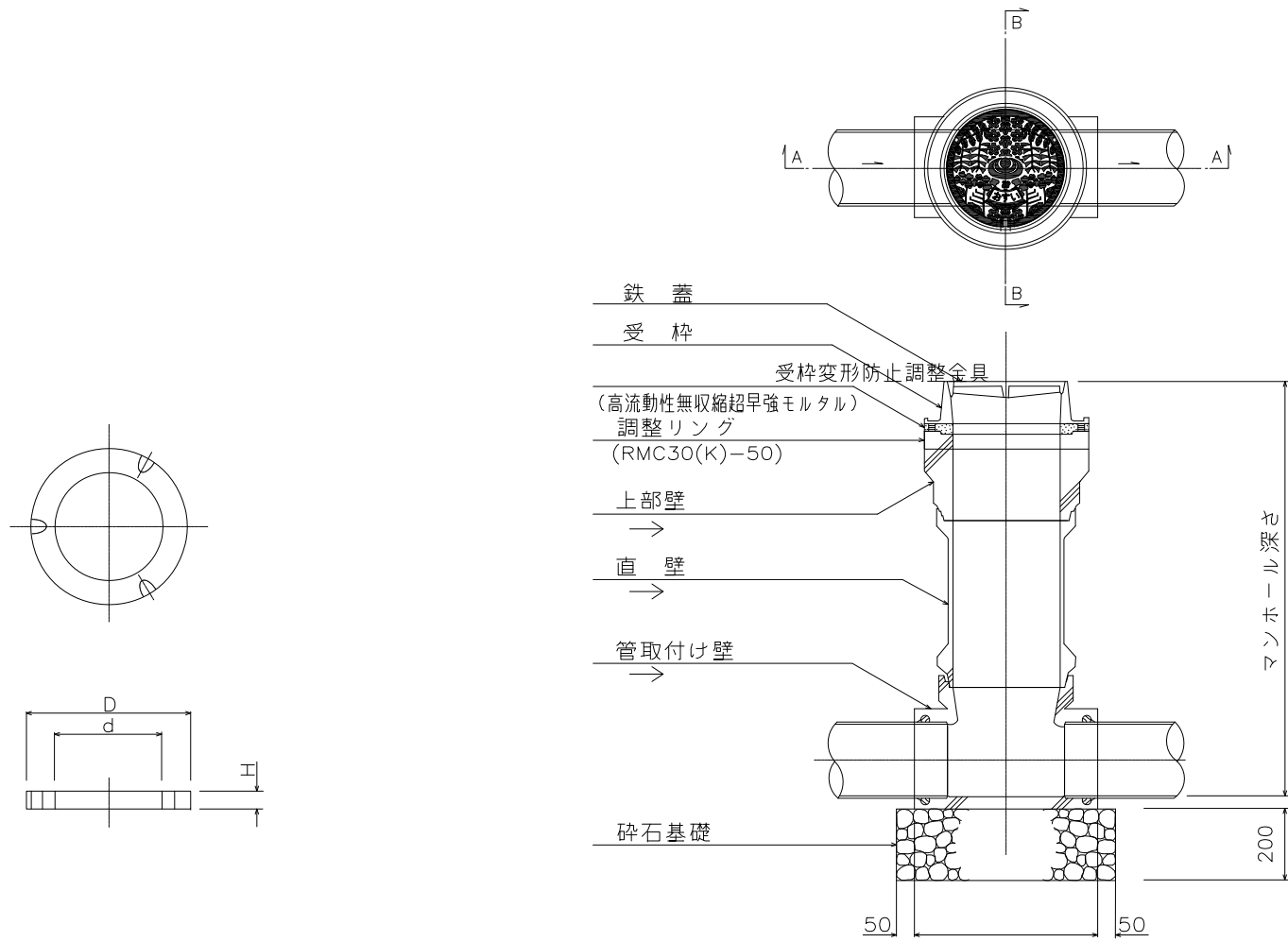
呼び方	記号	d	D	t	H
30	RMC 30 (A) -200	300±3	460	40 <sup>+4</sup> / <sub>2</sub>	200±5

下水道用レジンコンクリート製マンホール規格図 (2) 縮尺 1/10

[ JSWAS K-10 ]

調整リング (略号RMC30 (K))

小型レジンマンホール



(単位: mm)

呼び方	記号	d	D	H
調整リング	RMC 30 (K) -50	300±3	460	50±3

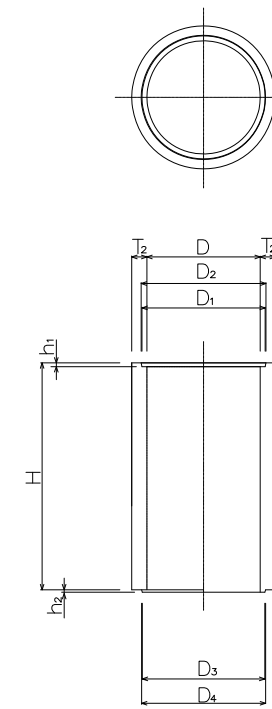
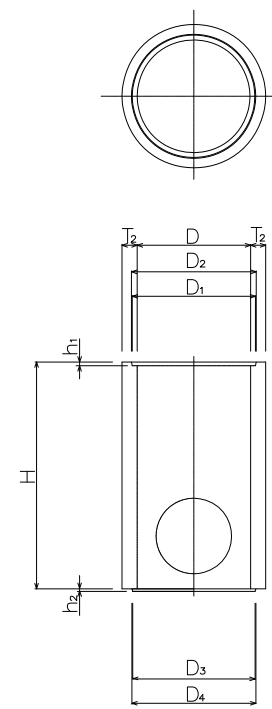
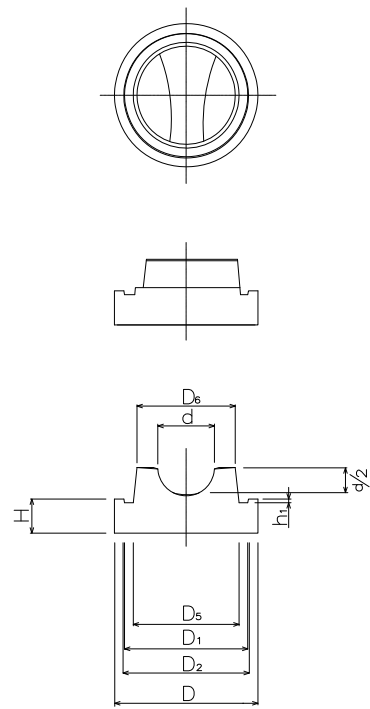
下水道用コンクリート製小型マンホール規格図 (1) 縮尺 1/10

[ JSWAS A-10 ]

底板 (略号 (P))

管取付け壁 (略号 (B))

直壁 (略号 (S))



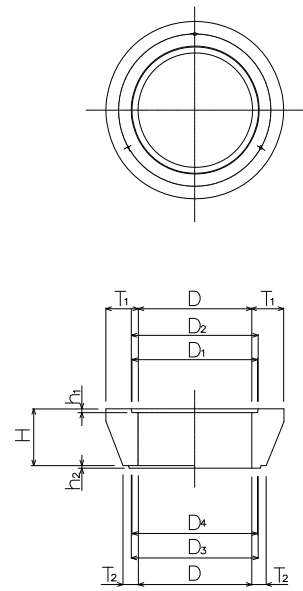
(単位: mm)

小型マンホールの種類 の記号	部材の種類・記号	D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>	D <sub>5</sub>	D <sub>6</sub>	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	H	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	d
CM30	直壁 S 30 S 60 S 90	300±4	326	330	324	328	-	-	-	40±4/2	300±5 600±5 900±5	10	7	-	-
	管取付け壁 B 60	300±4	326	330	324	328	-	-	-	40±4/2	600±5	10	7	-	-
	底板 P-15	380±4	326	330	-	-	280	260	-	-	90±5	10	-	120	150

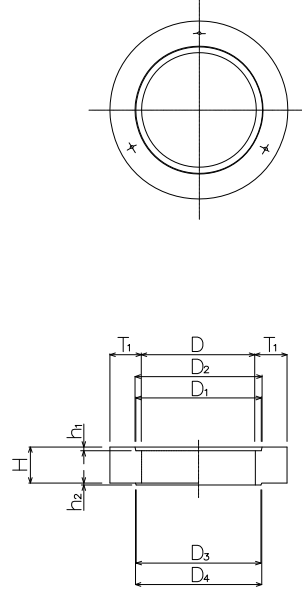
下水道用コンクリート製小型マンホール規格図 (2) 縮尺 1/10

[ JSWAS A-10 ]

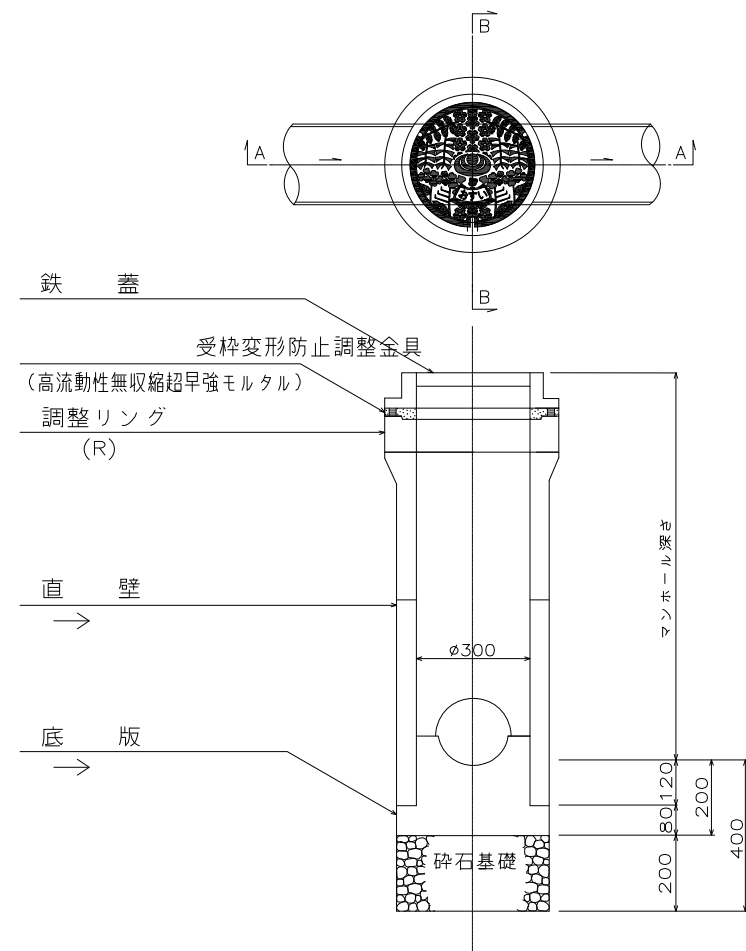
斜 壁 (略号 (T))



調整リング (略号 (R))



小型コンクリートマンホール



(単位: mm)

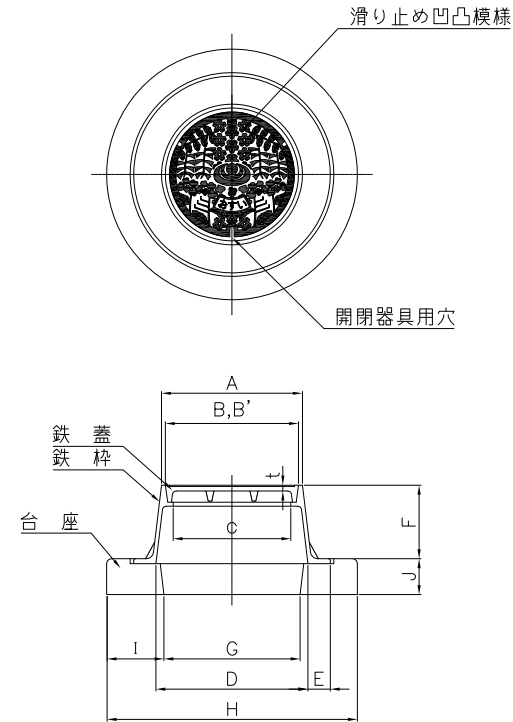
小型マンホールの種類 の記号	部材の種類・記号	D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	D <sub>4</sub>	D <sub>5</sub>	D <sub>6</sub>	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	H	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	d
CM30	調整リング R 5 R 10 R 15	300±4	332	336	330	334	-	-	85±4 2	-	50±5 100±5 150±5	10	7	-	-
	斜 壁 T 15 T 30	300±4	332	336	324	328	-	-	85±4 2	40±4 2	150±5 300±5	10	7	-	-

# 下水道用鑄鉄製防護蓋

[ JSWAS G-3 ]

標準型防護蓋T-25、T-14 (略号 T25A, T14A)

及び標準型用台座T-25 (略号 PB25A)



寸法表

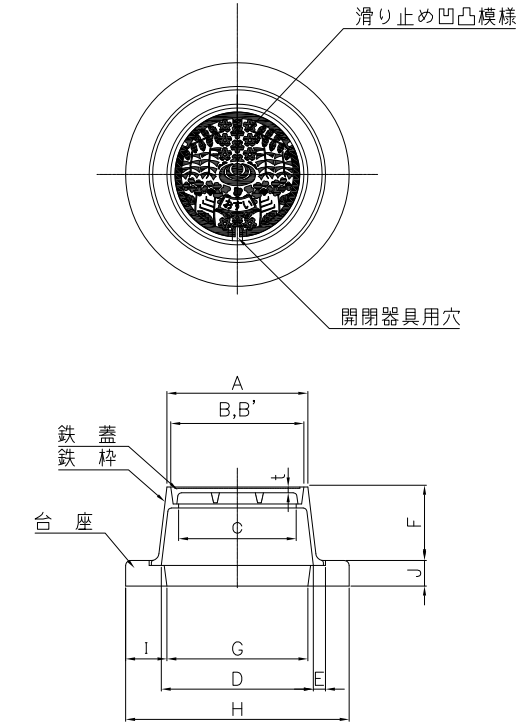
(単位: mm)

管径	防護蓋寸法								台座寸法			
	A	B, B'	C	D	E	高さ		t	G	H	I	J
	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	F	許容差	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)
200	245	231	220	240	30	150	±2.5	5	220	430	90	55
300	403	386	360	400	40	150	±2.5	6	330 (380)	570	80	55
350	463	443	410	450	45	150	±2.5	6	375 (430)	620	80	55

- 注 1. ( ) で示す寸法は、ポリプロピレン製ますに用いる寸法を表す。  
 2. 鉄蓋及び鉄枠には補強リブを設けてもよい。ただし、寸法及び形状は、規定しない。  
 3. 形状の細部については、規定しない。  
 4. Bは鉄蓋の外径、B'は鉄枠の内径を表す。

標準型防護蓋T-8 (略号 T8A)

及び標準型用台座T-8 (略号 PB8A)



寸法表

(単位: mm)

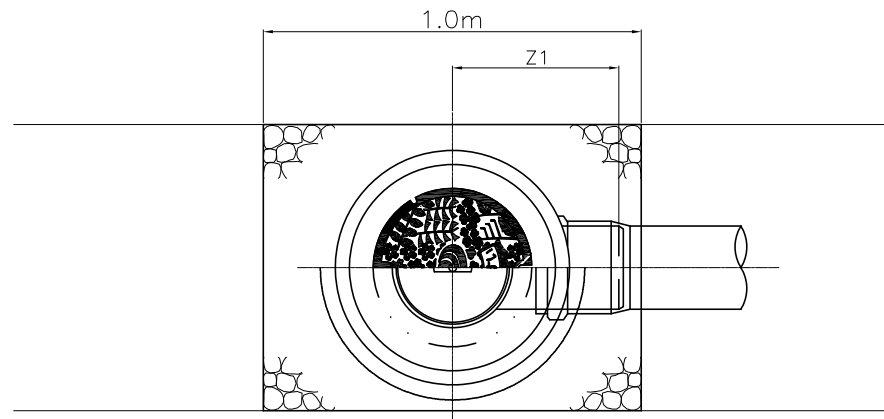
管径	防護蓋寸法								台座寸法			
	A	B, B'	C	D	E	高さ		t	G	H	I	J
	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	F	許容差	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)
150	208	188	169	190	10	150	±2.5	4	167	320	65	25
200	258	242	220	240	12	150	±2.5	4	220	370	65	25
300	403	386	360	400	20	150	±2.5	4	330 (380)	530	65	25
350	463	443	410	450	25	150	±2.5	4	375 (430)	580	60	25

- 注 1. ( ) で示す寸法は、ポリプロピレン製ますに用いる寸法を表す。  
 2. 鉄蓋及び鉄枠には補強リブを設けてもよい。ただし、寸法及び形状は、規定しない。  
 3. 形状の細部については、規定しない。  
 4. Bは鉄蓋の外径、B'は鉄枠の内径を表す。

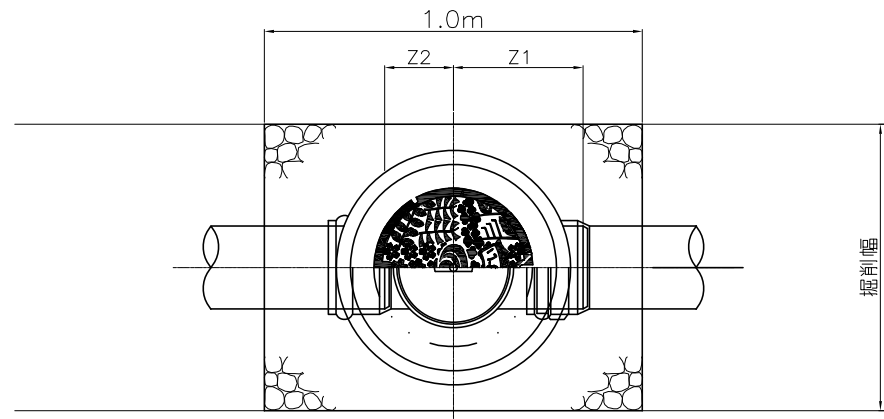
硬質塩化ビニル製小型マンホール構造図 縮尺 1/10

[ JSWAS K-9 ]

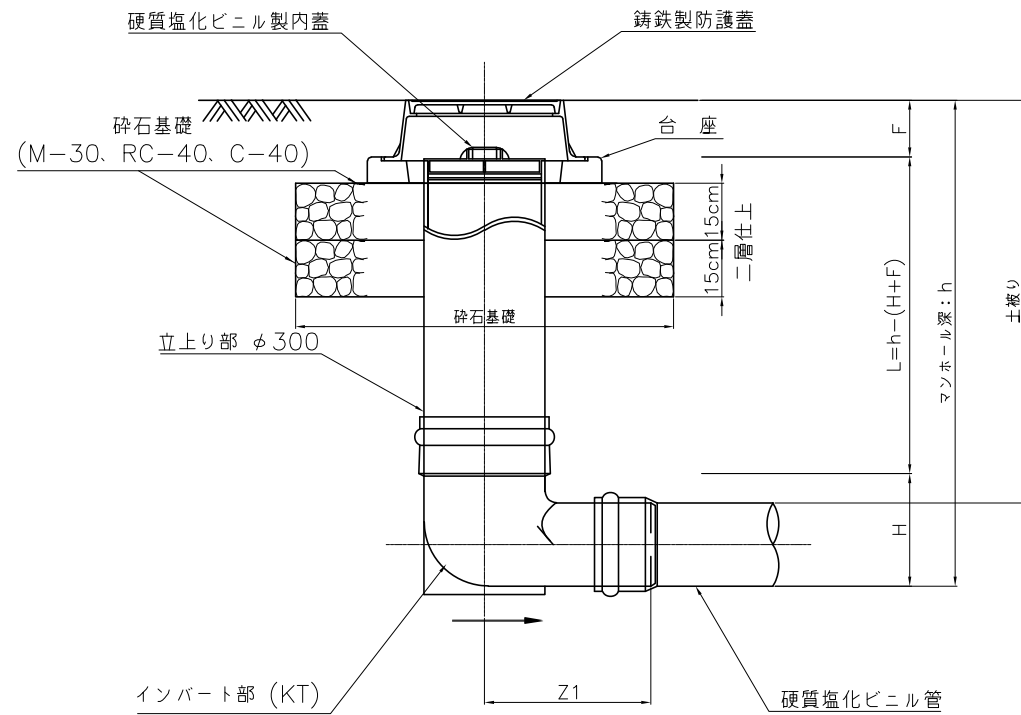
起点  
平面図



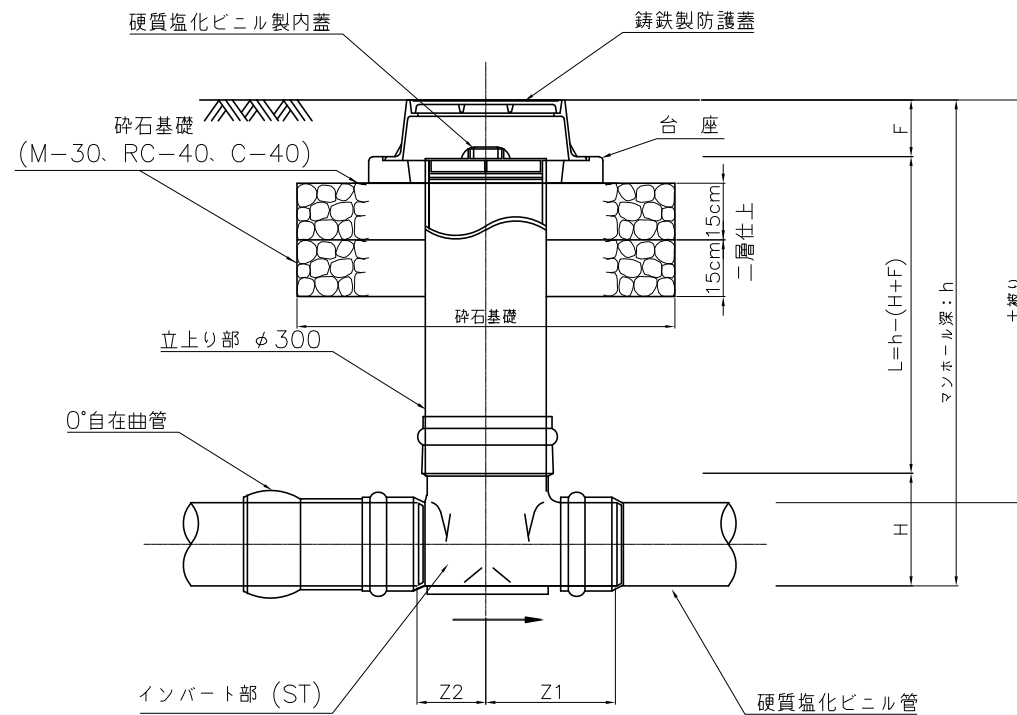
中間点  
平面図



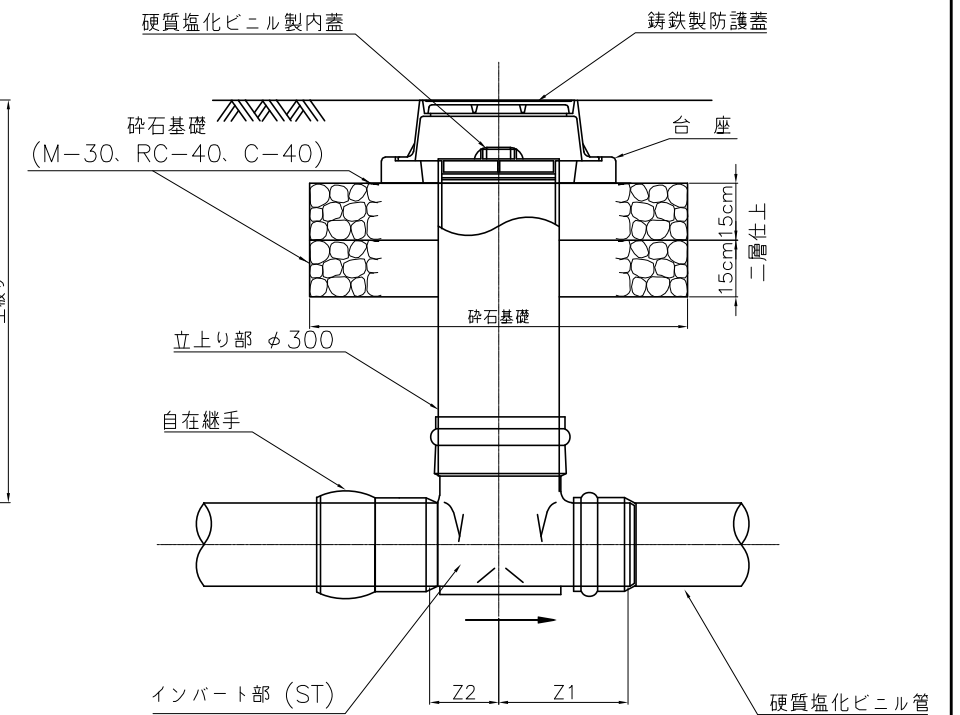
断面図



断面図



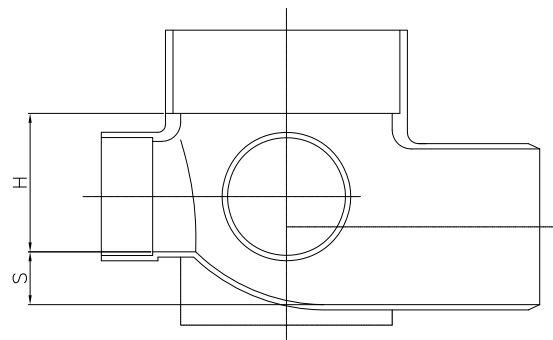
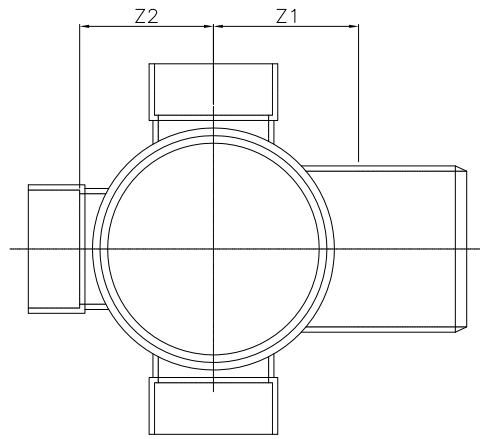
断面図  
上流側自在継手



# 下水道用硬質塩化ビニル製ます規格図 {公共ます}

[ JSWAS K-7 ]

公共ます 横型90度三方向合流  
(略号 90WY)



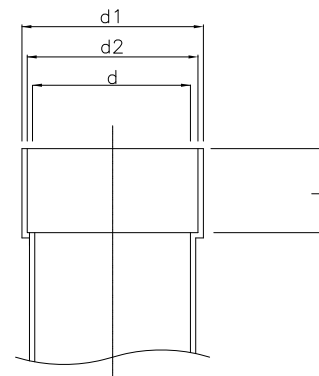
寸法表

(単位: mm)

呼び径	Z1(最小)		Z2	Z3	S		H (参考)	
	流入側	流出側			(最小)	(最大)		
200	100	100	205	125	125	20	105	135
200	100	125	220			20(90)	105(130)	135(155)
200	100	150	230(285)					

- 注 1. Z2及びZ3の許容差は、±25mmとする。
- 注 2. 破線で示す安定脚の形状及び寸法は、規定しない。
- 注 3. Sの最小及び最大の値は、流入側接続部と流出側接続部の管低差の範囲を表す。
- 注 4. ( ) 内に示す値は、大曲形状の寸法を示す。

立上り接続部受口



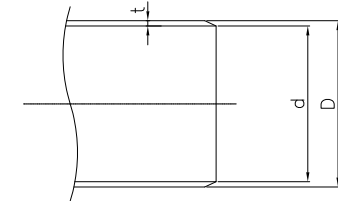
寸法表

(単位: mm)

管の呼び径	受口内径				受口長さ		
	d1	許容差	d2	許容差	d(最小)	L	許容差
150	166.1	±0.5	163.9	±0.5	154	50	±2
200	217.4	±0.6	214.6	±0.6	202	80	±2
300	319.8	±0.7	316.2	±0.7	298	100	±2
350	372.0	±0.7	368.7	±0.7	348	110	±2

- 注 1. 破線で示す形状とすることもできる。
- 注 2. d1及びd2は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

管路差し口



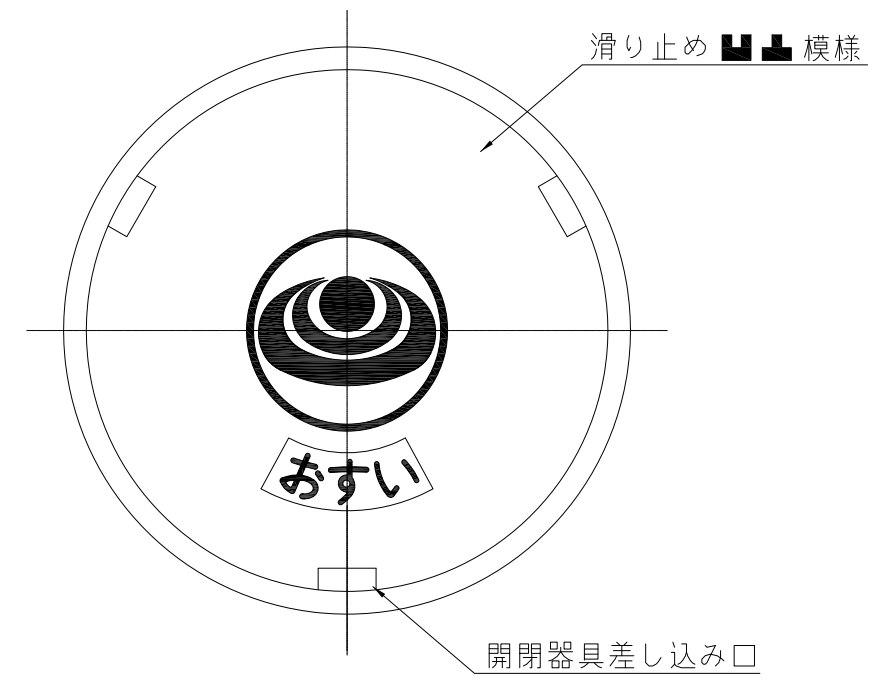
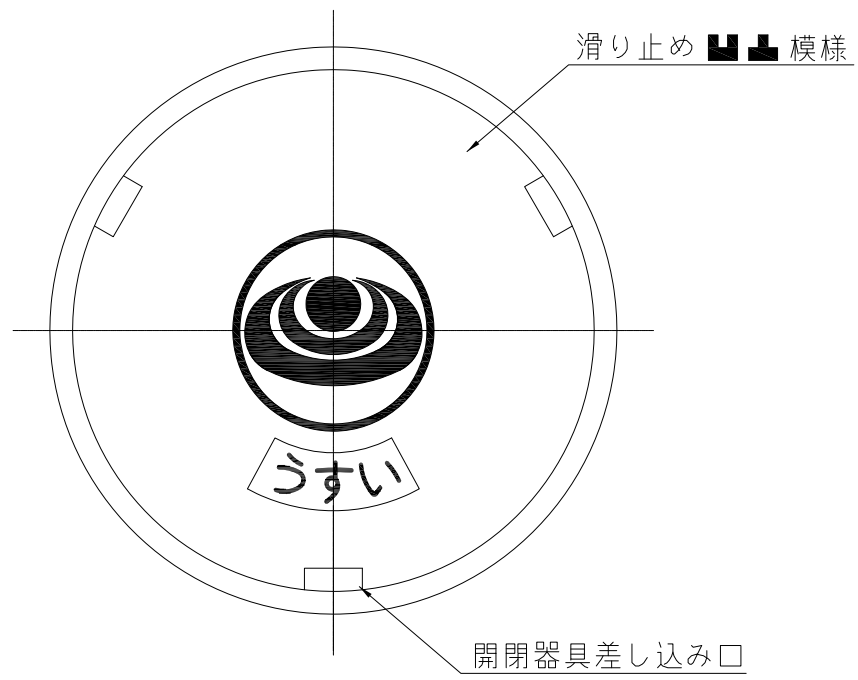
寸法表

(単位: mm)

管の呼び径	差し口外径		近似内径 d (参考)	厚さ t (最小)
	D	許容差		
75	89	±0.3	83	2.7
100	114	±0.4	107	3.1
125	140	±0.5	131	4.1
150	165	±0.5	154	5.1

- 注 Dは、直角2方向以上の外径測定値の平均値とする。

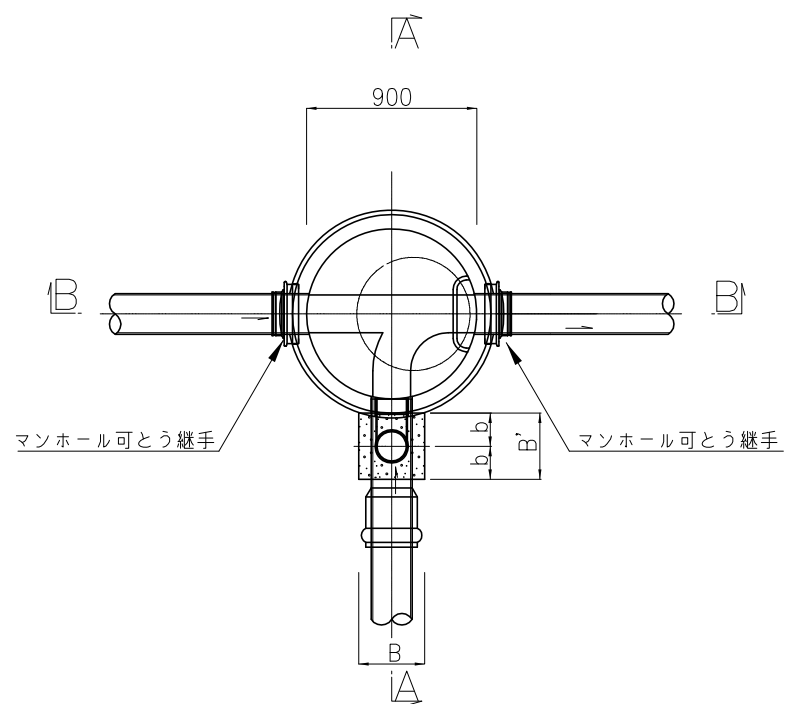
# 下水道用硬質塩化ビニル製ます蓋デザイン図 {公共ます}



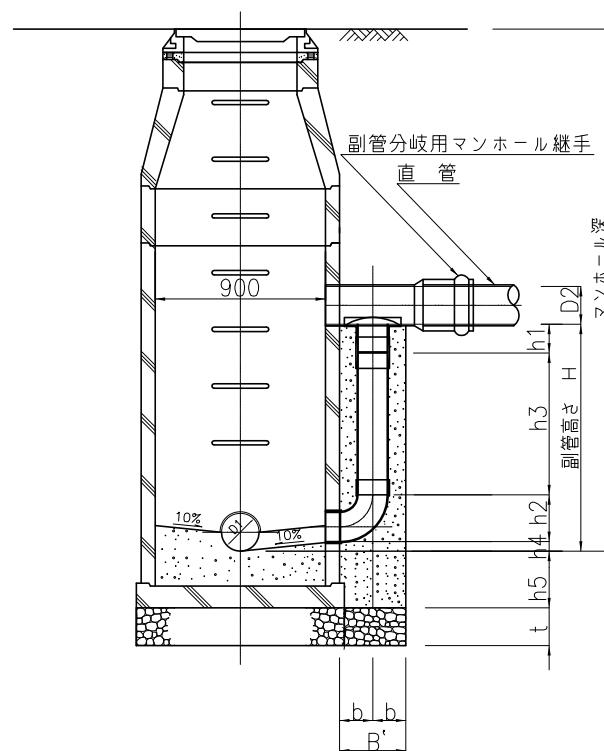
# 副管構造図 (1) 外副管 縮尺 1/20

(本管：塩化ビニル管)

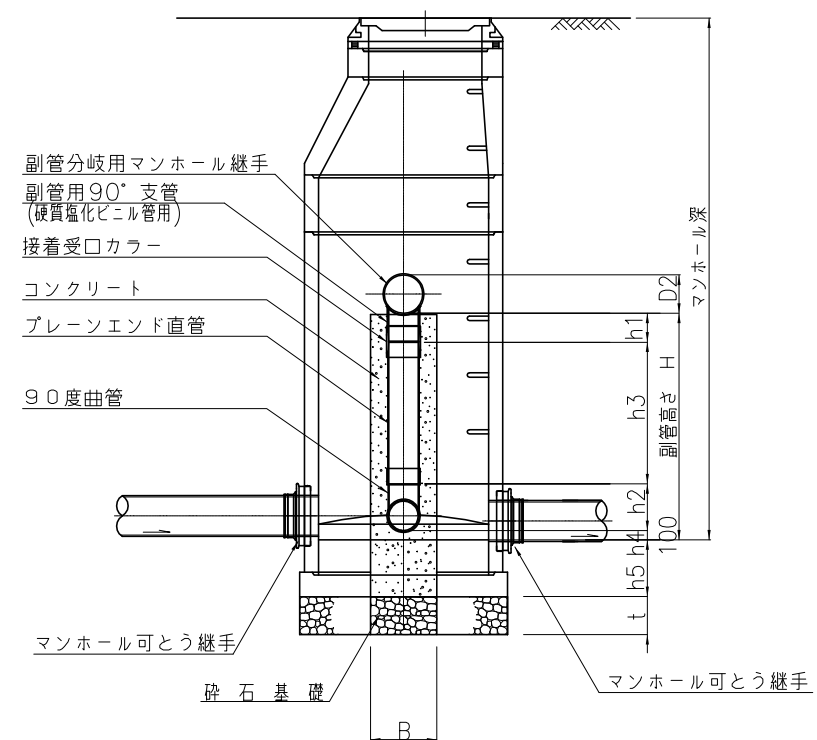
平面図



A-A 断面



B-B 断面



寸法表

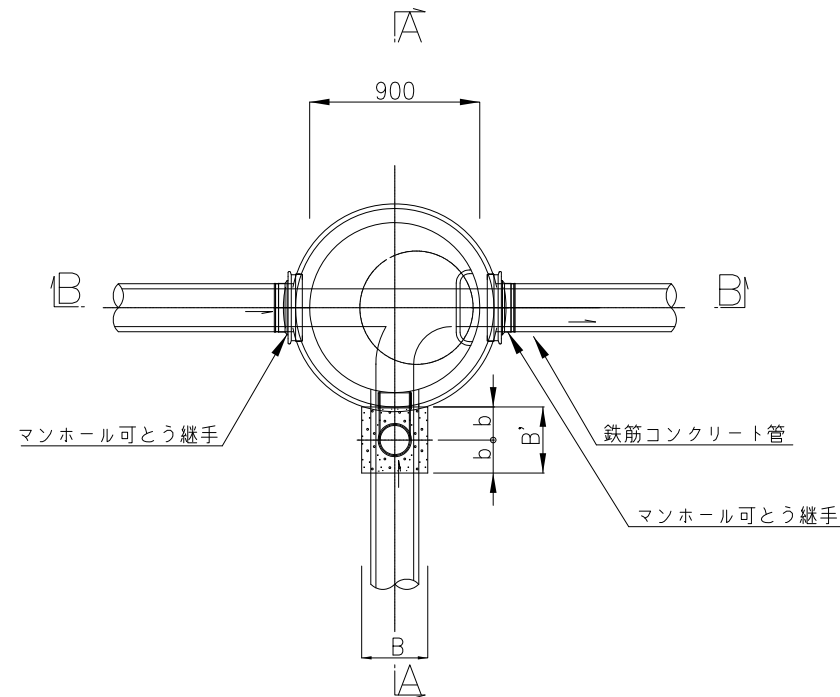
(単位：mm)

副管径	B	B'	砕石厚(t)
100	300	300	200
150	350	350	200
200	400	400	200

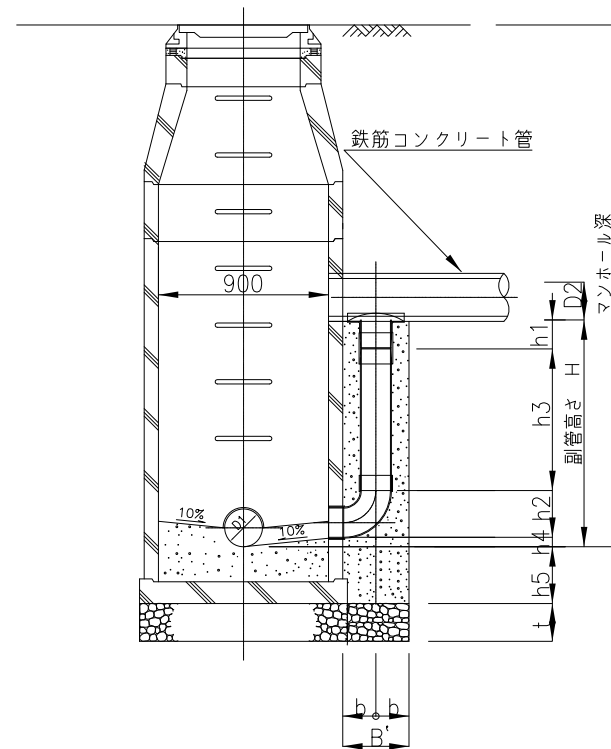
# 副管構造図(2) 外副管 縮尺 1/20

(本管:鉄筋コンクリート管)

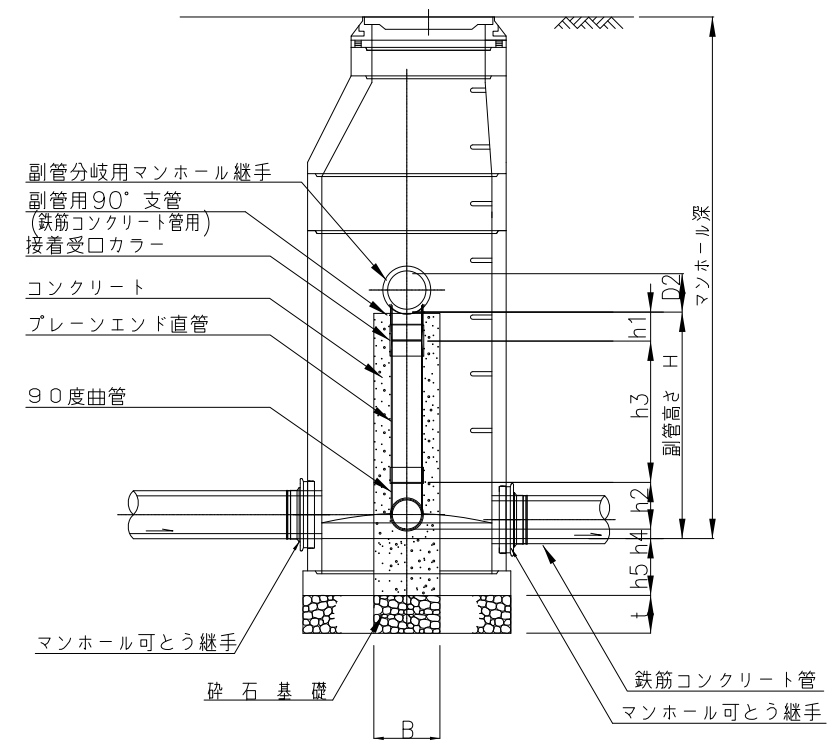
平面図



A-A断面



B-B断面



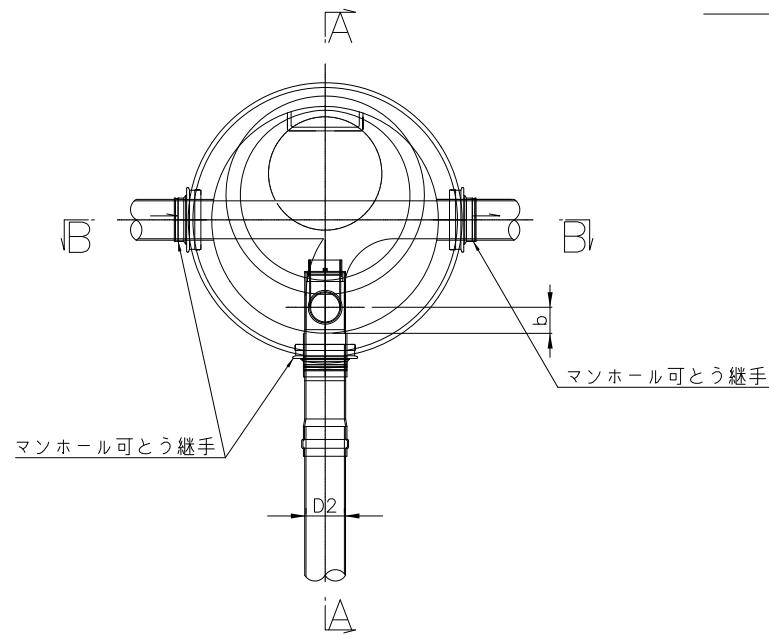
寸法表

(単位: mm)

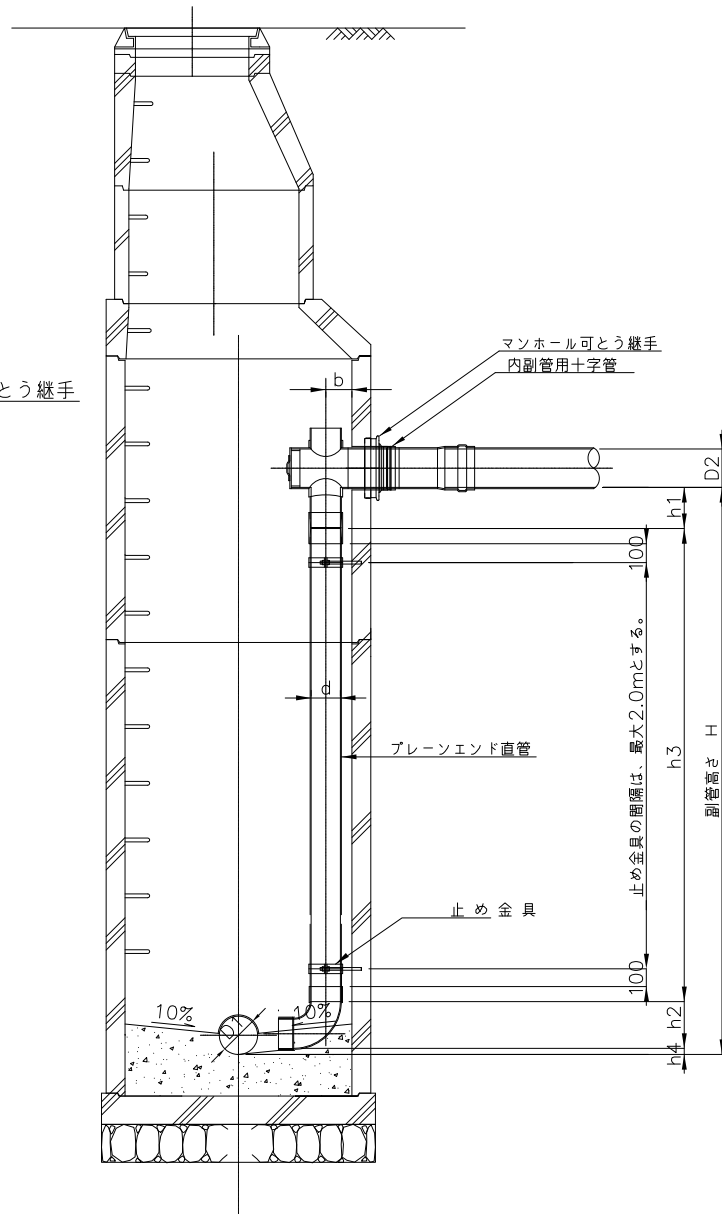
副管径	B	B'	砕石厚(t)
150	350	350	200
200	400	400	200

副管構造図 (3) 内副管 縮尺 1/20

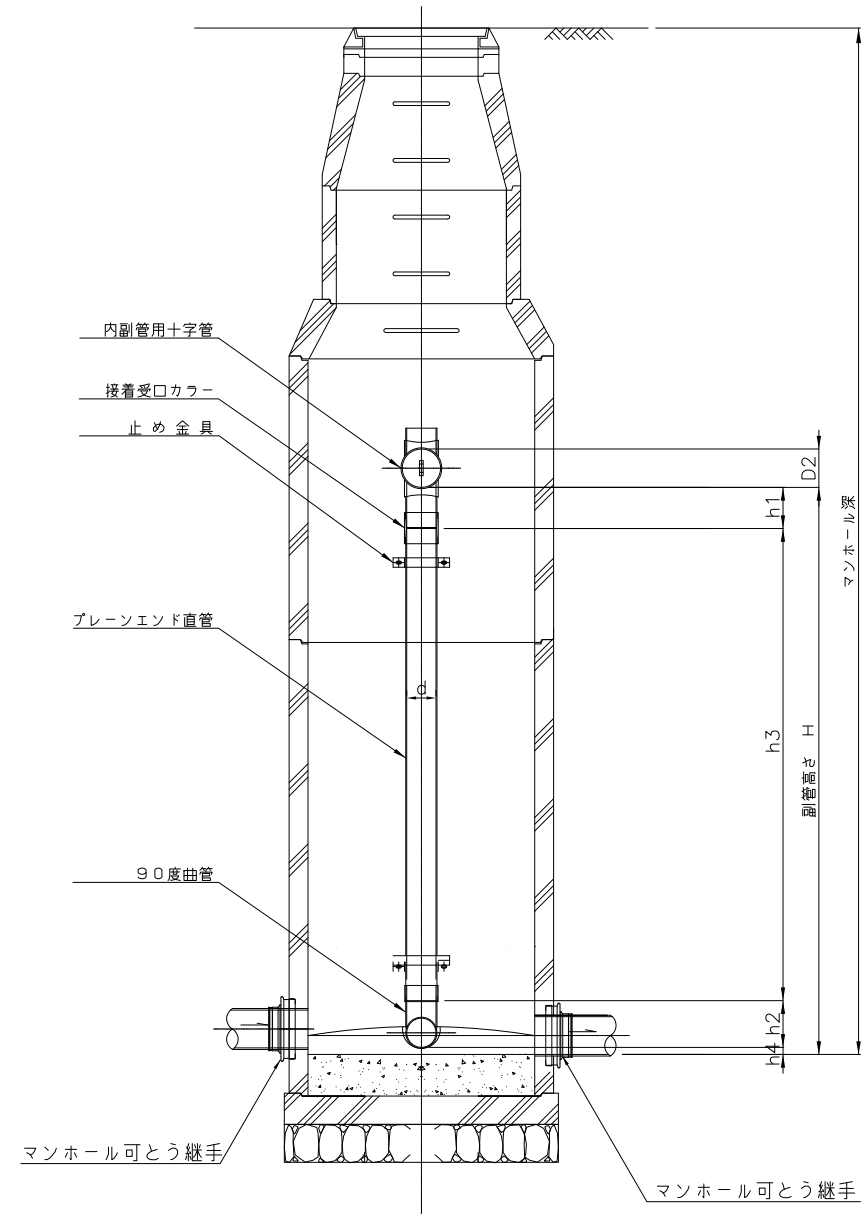
平面図



B-B断面



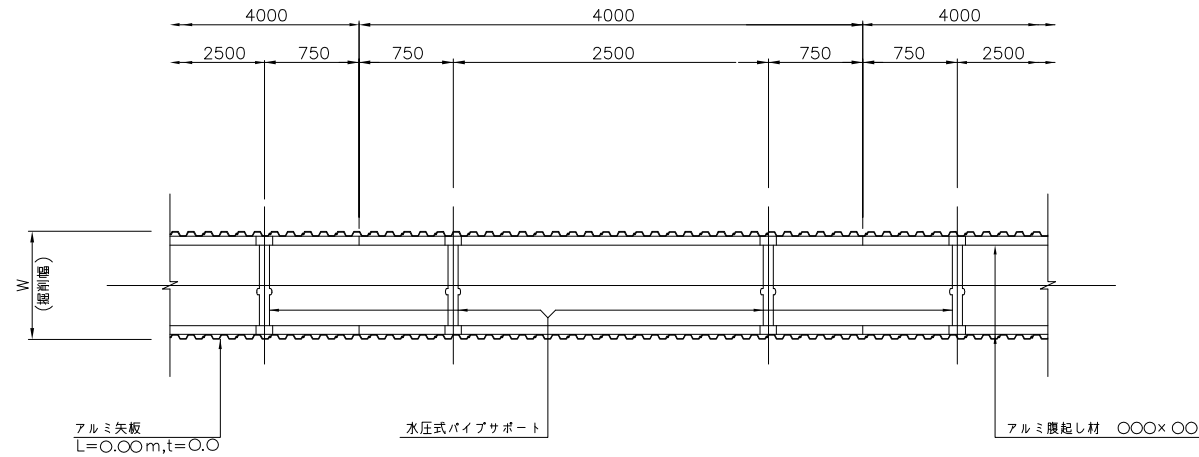
A-A断面



# 仮設山留工標準断面図 (1) [参考図] 縮尺 1/○○

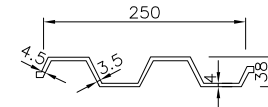
{ アルミ矢板・軽量金属支保工 }

## 平面図

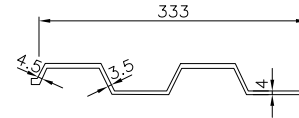


## アルミ矢板の形状および寸法

アルミ矢板 幅250mm



アルミ矢板 幅333mm



## 掘削深と矢板長・支保工段数

単位: mm

掘削深 H1 (m)	矢板長 [アルミ矢板] L (m)	支保工段数 [金属支保工] (段)
1.5 < H1 ≤ 1.8	2.0	1
1.8 < H1 ≤ 2.0	2.5	1
2.0 < H1 ≤ 2.3	2.5	2
2.3 < H1 ≤ 2.8	3.0	2
2.8 < H1 ≤ 3.3	3.5	2
3.3 < H1 ≤ 3.5	3.8	2
3.5 < H1 ≤ 3.6	3.8	3

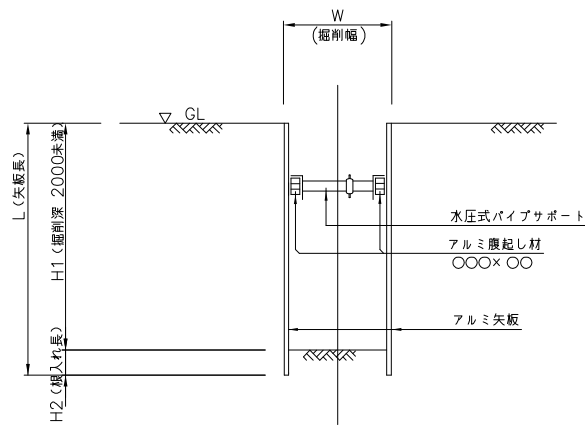
## 標準掘削幅

(硬質塩化ビニール管・アルミ矢板  
軽量金属支保工)

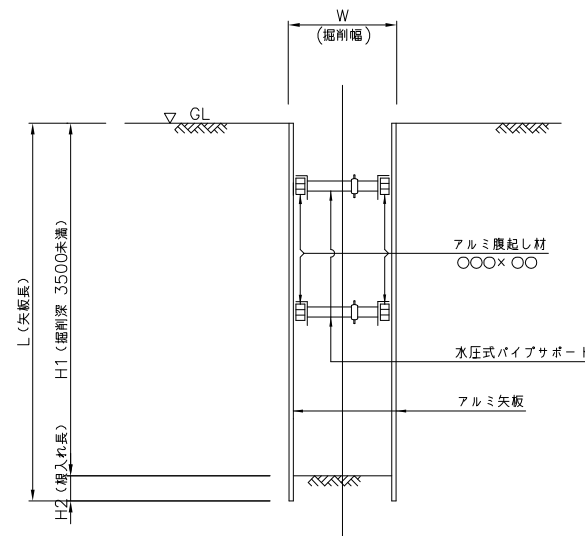
単位: mm

矢板種類	アルミ矢板				
	バックホウ				
掘削機械	0.08m <sup>3</sup>	0.10m <sup>3</sup>	0.20m <sup>3</sup>	0.35m <sup>3</sup>	0.60m <sup>3</sup>
φ 150					
φ 200					
φ 250					
φ 300					
φ 350					
φ 400					
φ 450					
φ 500					
φ 600					

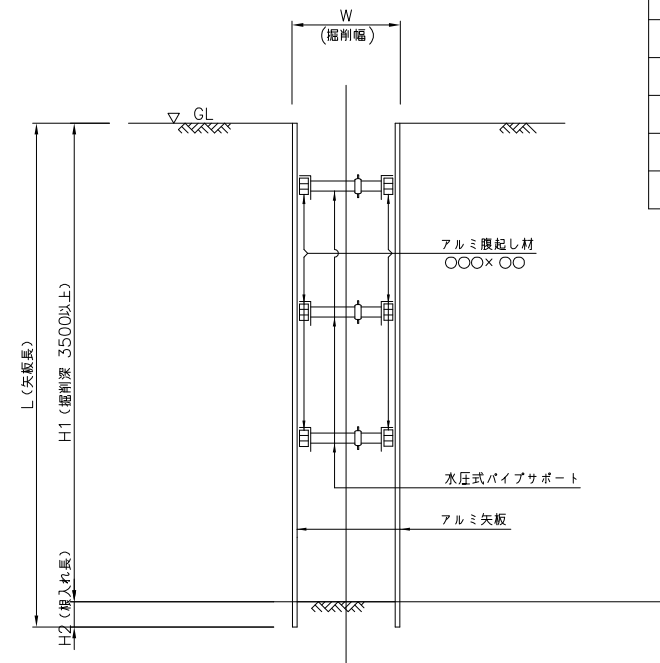
## 断面図 (支保工1段)



## 断面図 (支保工2段)



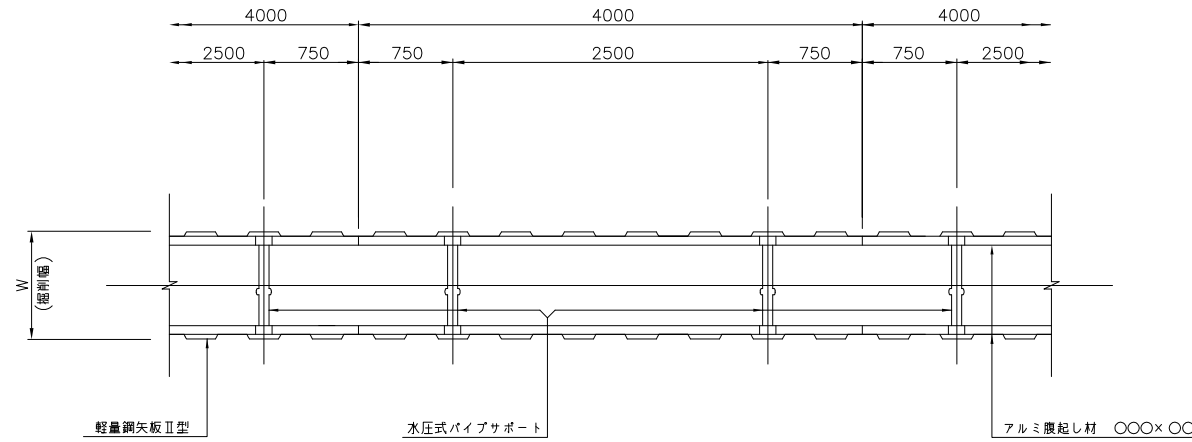
## 断面図 (支保工3段)



仮設山留工標準断面図 (2) [参考図] 縮尺 1/100

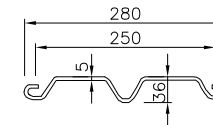
{ 軽量鋼矢板・軽量金属支保工 }

平面図

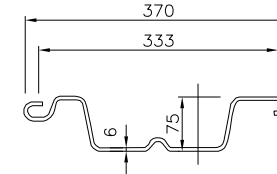


軽量鋼矢板の形状および寸法

軽量鋼矢板2型



軽量鋼矢板3型



掘削深と矢板長・支保工段数

単位: mm

掘削深 H1 (m)	矢板長 [軽量鋼矢板] L (m)	支保工段数 [金属支保工] (段)
1.5 < H1 ≤ 1.8	2.0	1
1.8 < H1 ≤ 2.0	2.5	1
2.0 < H1 ≤ 2.3	2.5	2
2.3 < H1 ≤ 2.8	3.0	2
2.8 < H1 ≤ 3.3	3.5	2
3.3 < H1 ≤ 3.5	4.0	2
3.5 < H1 ≤ 3.8	4.0	3

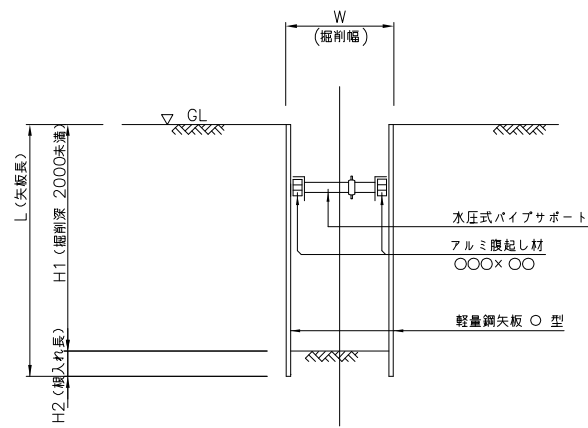
標準掘削幅

( 硬質塩化ビニール管・軽量鋼矢板  
軽量金属支保工 )

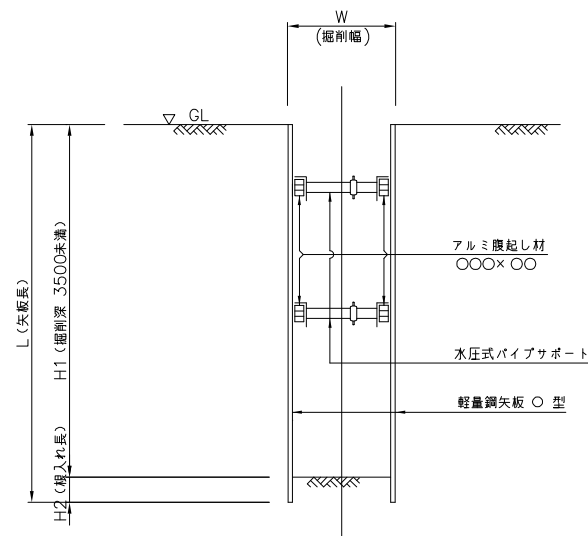
単位: mm

矢板種類	軽量鋼矢板				
	バックホウ				
掘削機械	0.08m <sup>3</sup>	0.10m <sup>3</sup>	0.20m <sup>3</sup>	0.35m <sup>3</sup>	0.60m <sup>3</sup>
φ 150					
φ 200					
φ 250					
φ 300					
φ 350					
φ 400					
φ 450					
φ 500					
φ 600					

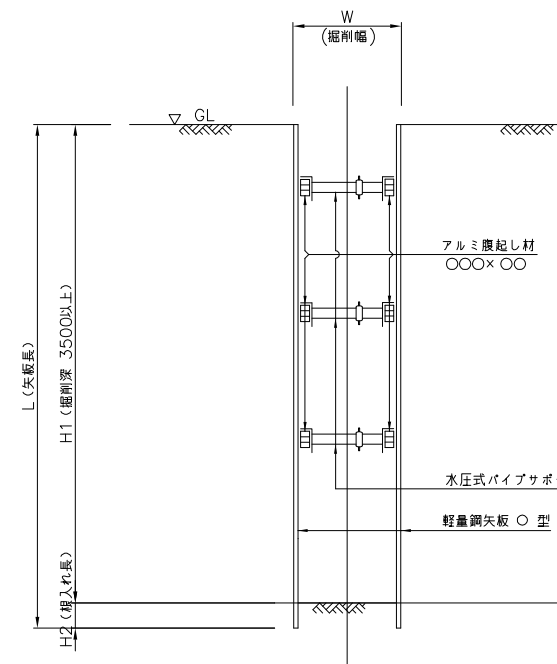
断面図 (支保工1段)



断面図 (支保工2段)



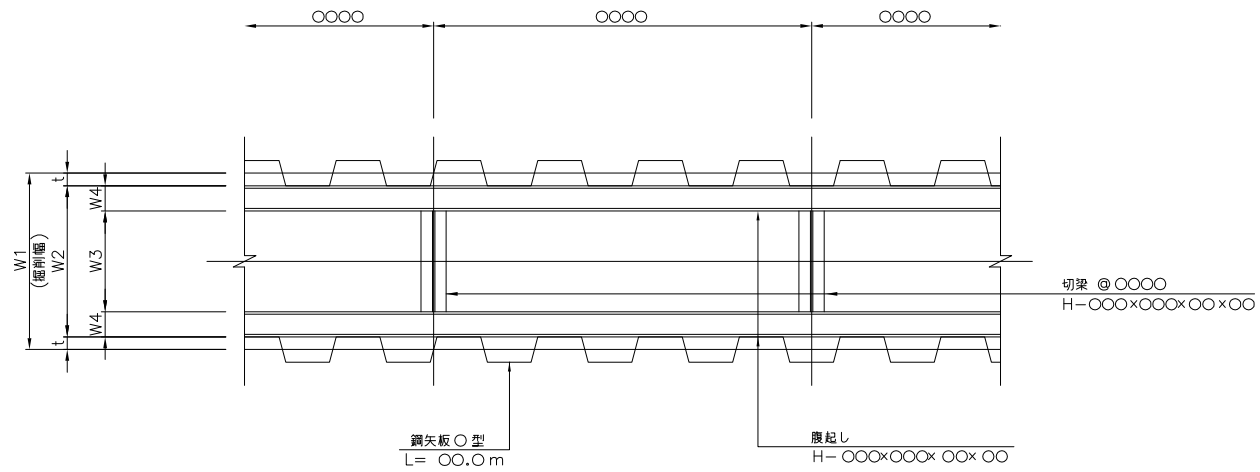
断面図 (支保工3段)



仮設山留工標準断面図 (3) [参考図] 縮尺 1/○○

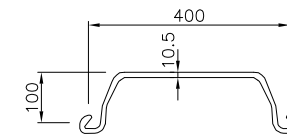
{ 鋼矢板・鋼製支保工 }

平面図

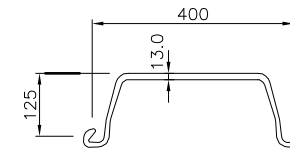


鋼矢板の形状および寸法

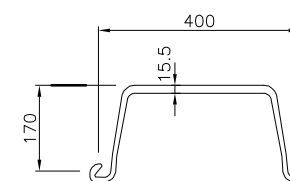
鋼矢板Ⅱ型



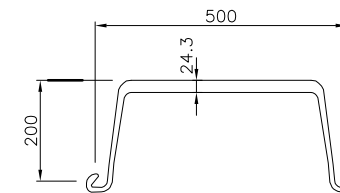
鋼矢板Ⅲ型



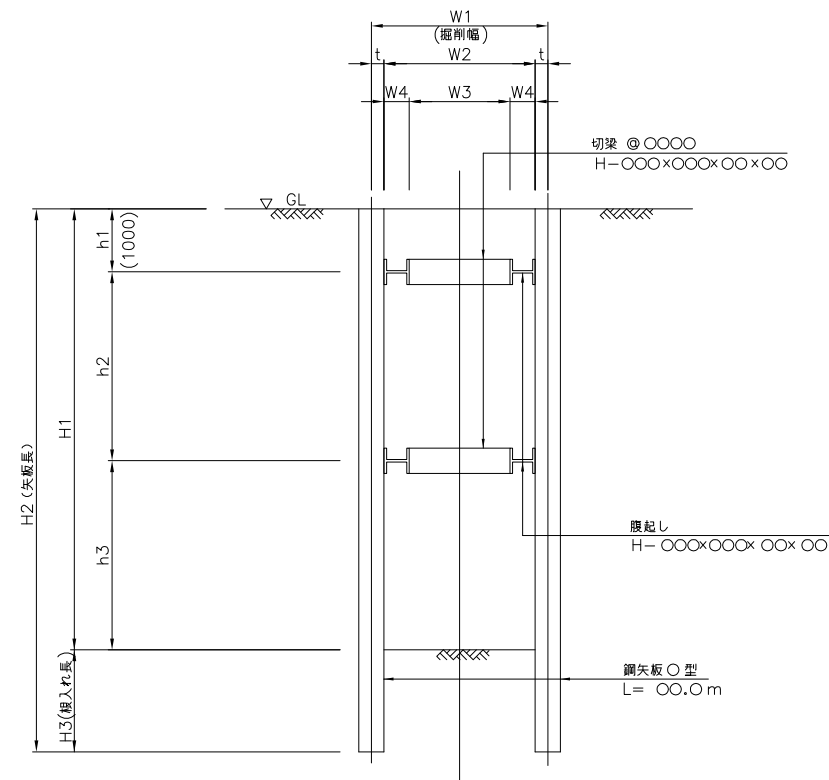
鋼矢板Ⅳ型



鋼矢板Ⅴ型



断面図



仮設山留標準断面図(4) [参考図] 縮尺 1/○○

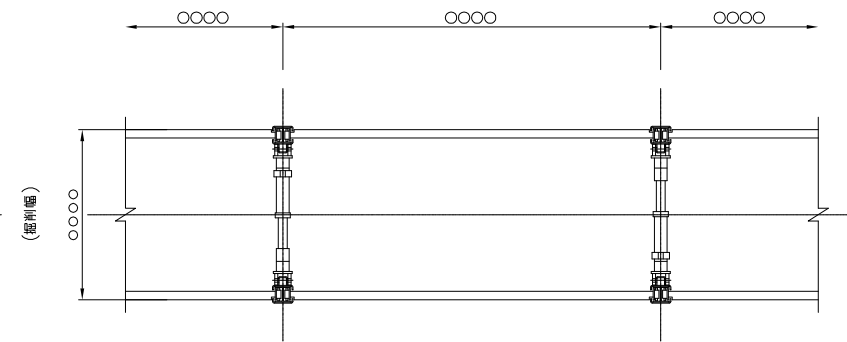
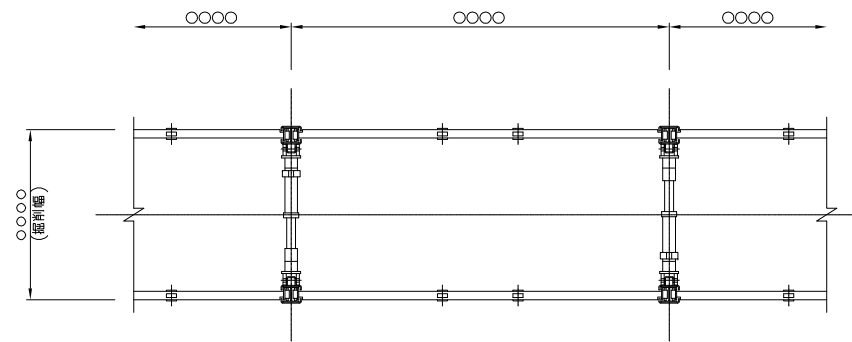
{たて込み簡易土留工}

スライドレール方式

縦梁プレート方式

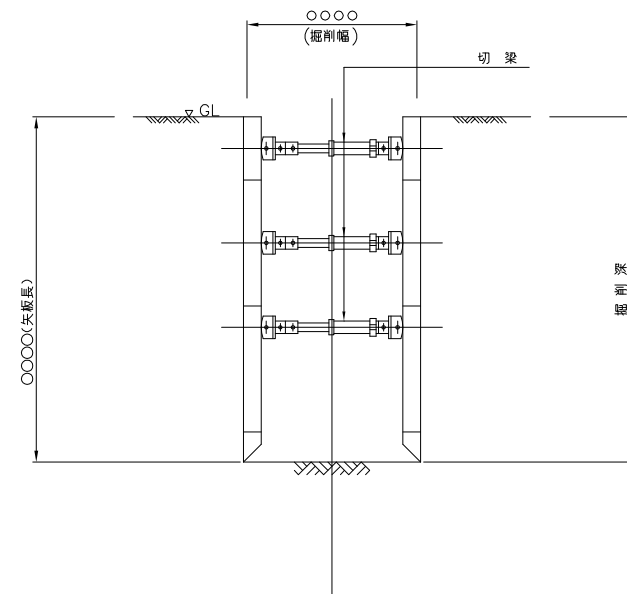
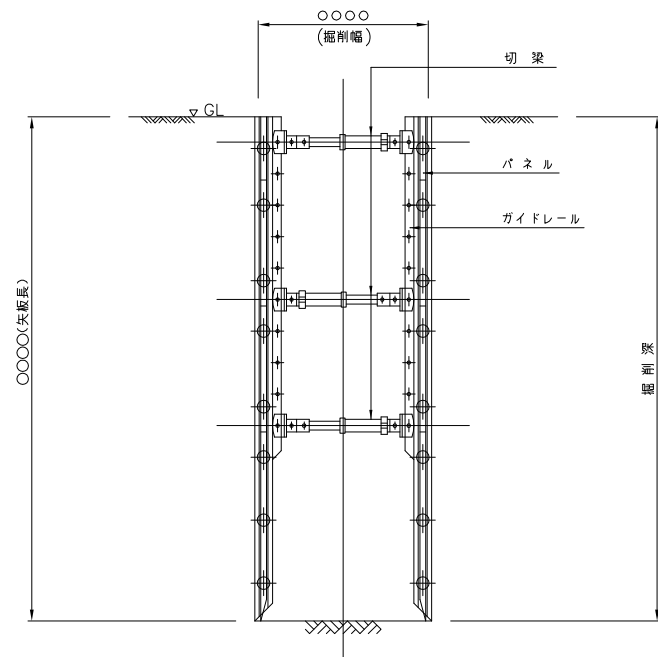
平面図

平面図



断面図

断面図



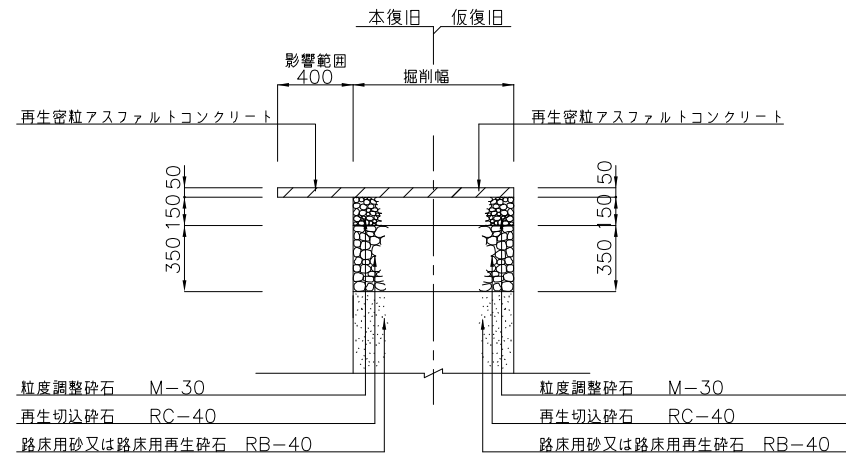
標準掘削幅

(硬質塩化ビニル管・たて込み簡易土留)  
単位: mm

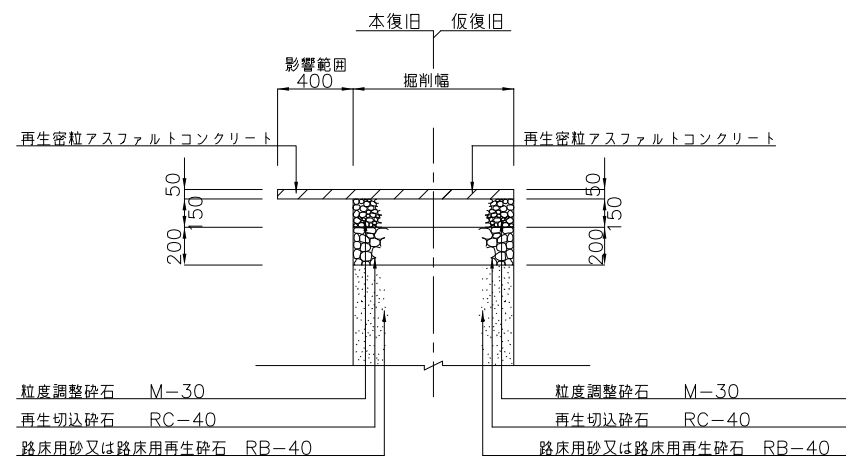
矢板種類	たて込み簡易土留工 (H $\geq$ 3.5m)					たて込み簡易土留工 (H<3.5m)				
	バックホウ					バックホウ				
	0.08m <sup>3</sup>	0.10m <sup>3</sup>	0.20m <sup>3</sup>	0.35m <sup>3</sup>	0.60m <sup>3</sup>	0.08m <sup>3</sup>	0.10m <sup>3</sup>	0.20m <sup>3</sup>	0.35m <sup>3</sup>	0.60m <sup>3</sup>
掘削機械										
φ 150										
φ 200										
φ 250										
φ 300										
φ 350										
φ 400										
φ 450										
φ 500										
φ 600										

# 舗装復旧図(1) {1. 取手市道}

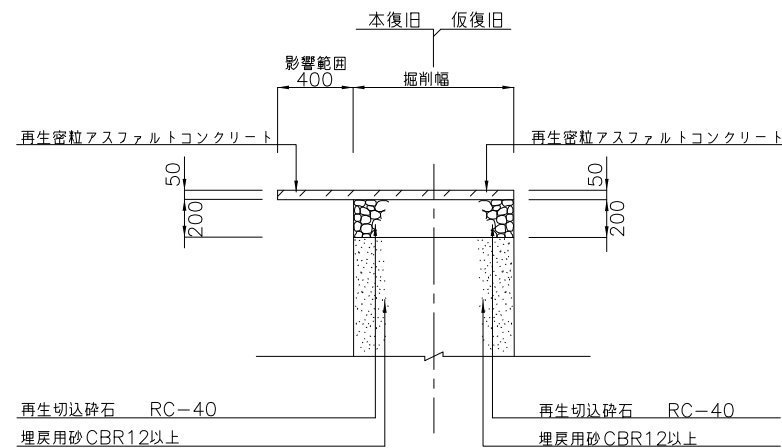
**A. 車道幅員5.0m以上  
(改良済A交通)**



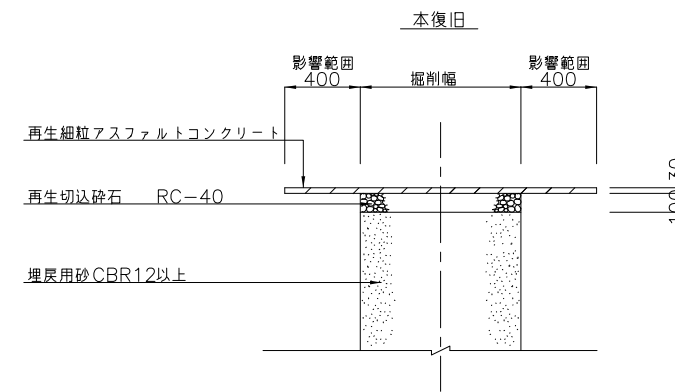
**B. 車道幅員5.0m未満  
(L交通)**



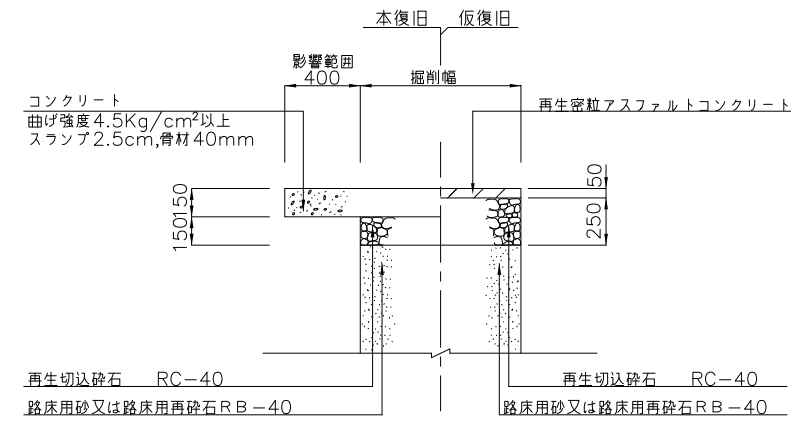
**C. 農道(農政課所管)**



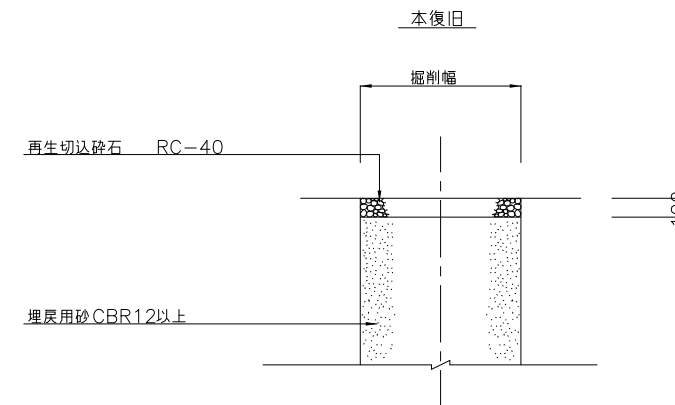
**D. 歩道、自転車道**



**E. コンクリート舗装**

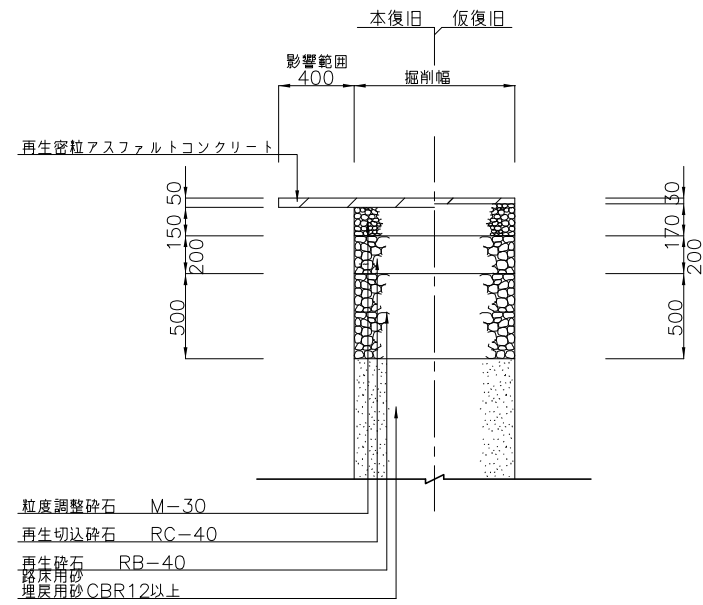


**F. 砂利道**

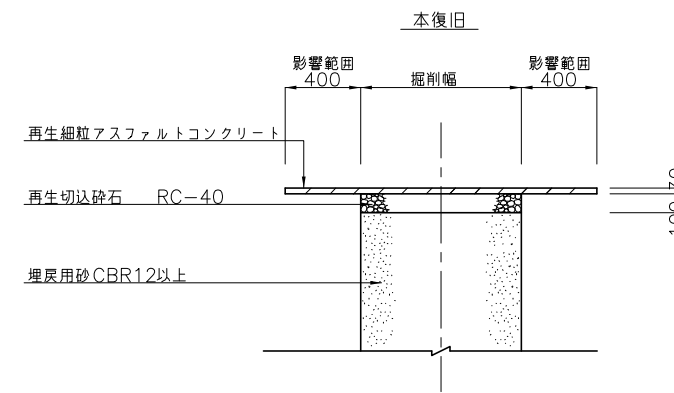


# 舗装復旧図(2) {2. つくばみらい市道}

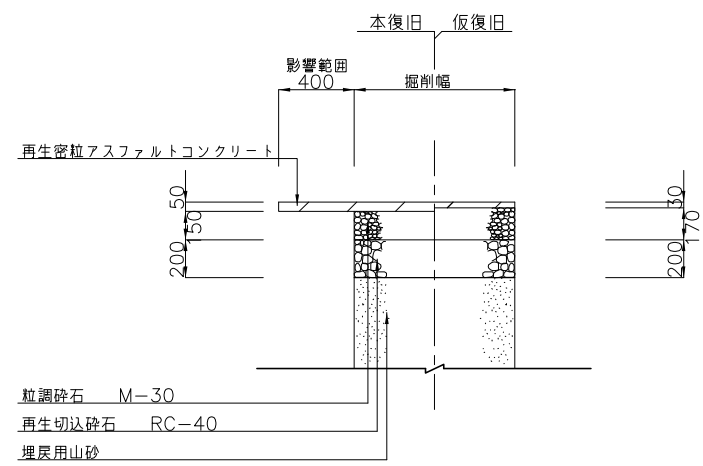
### A. 幹線道路



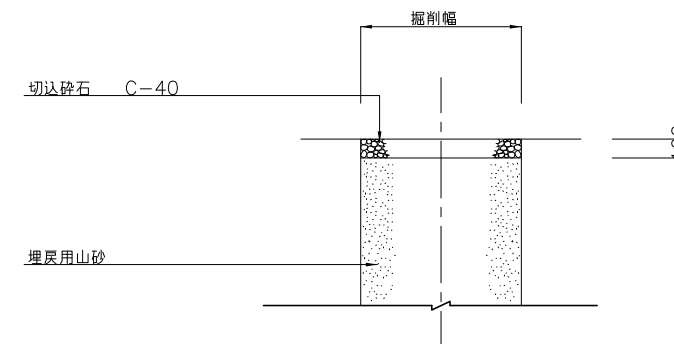
### C. 歩道、自転車道



### B. 一般町道及び改良道路



### D. 砂利道

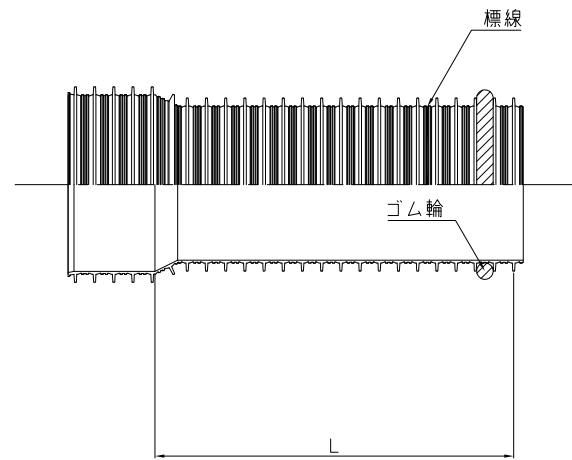


# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (1)

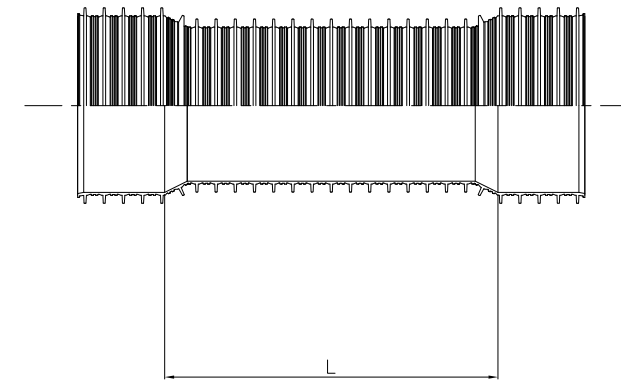
[ JSWAS K-13 ]

## ゴム輪受口直管

片受け直管形  
(略号 PRP)



両受け直管形  
(略号 WPRP)



寸法表

(単位: mm)

呼び径	L
150	4000 $\begin{smallmatrix} +30 \\ -10 \end{smallmatrix}$
200	
250	
300	4000 $\begin{smallmatrix} +40 \\ -10 \end{smallmatrix}$
350	
400	
450	

寸法表

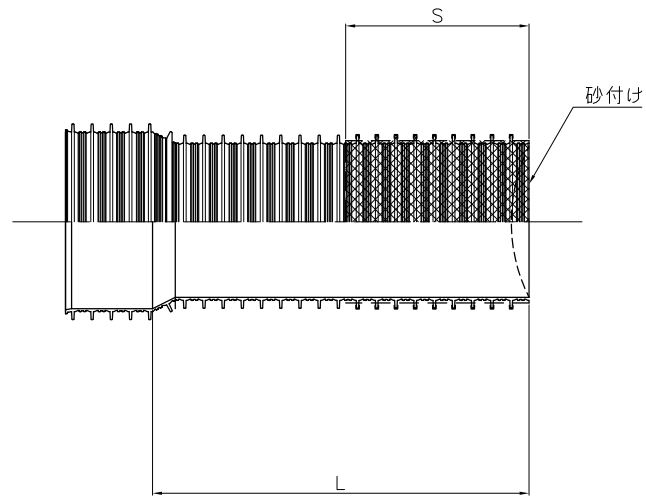
(単位: mm)

呼び径	L (最小)
150	3800
200	
250	
300	3750
350	
400	
450	

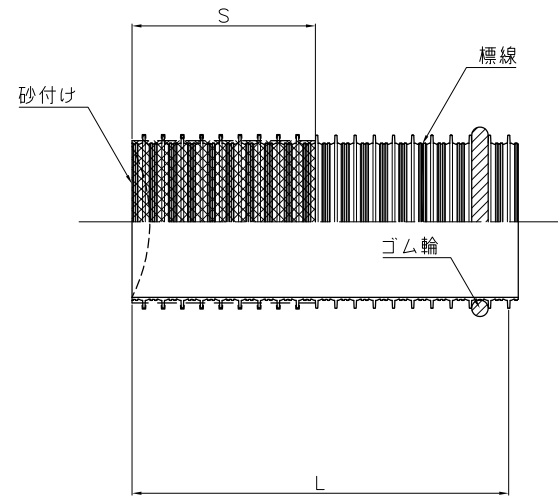
# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (2)

[ JSWAS K-13 ]

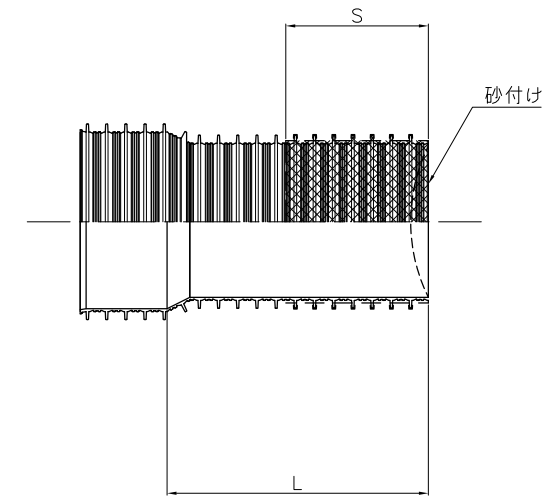
上流用マンホール継手  
(略号 MR-PRP)



下流用マンホール継手  
(略号 MSA-PRP)



副管分岐用マンホール継手  
(略号 MRL-PRP)



寸法表

(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)
150	500 $\begin{smallmatrix} +30 \\ -10 \end{smallmatrix}$	250
200		
250		
300	500 $\begin{smallmatrix} +40 \\ -10 \end{smallmatrix}$	
350		
400		
450		

注 マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。

寸法表

(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)
150	500 $\begin{smallmatrix} +30 \\ -10 \end{smallmatrix}$	250
200		
250		
300	500 $\begin{smallmatrix} +40 \\ -10 \end{smallmatrix}$	
350		
400		
450		

注 マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。

寸法表

(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)
150	1000 $\begin{smallmatrix} +30 \\ -10 \end{smallmatrix}$	250
200		
250		
300	1000 $\begin{smallmatrix} +40 \\ -10 \end{smallmatrix}$	
350		
400		
450		

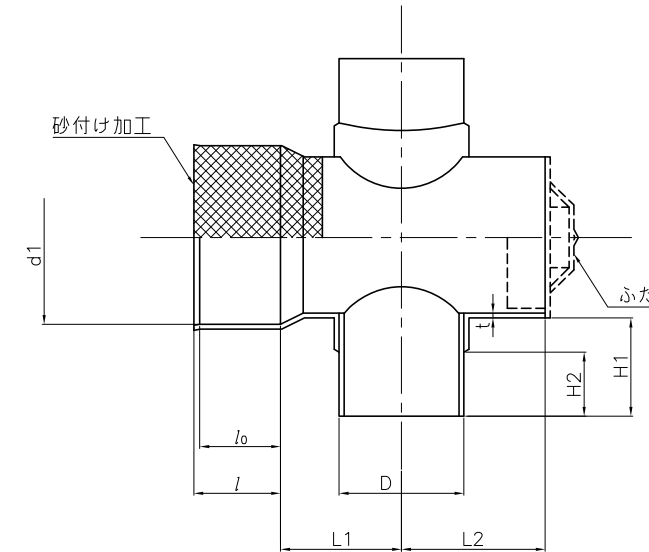
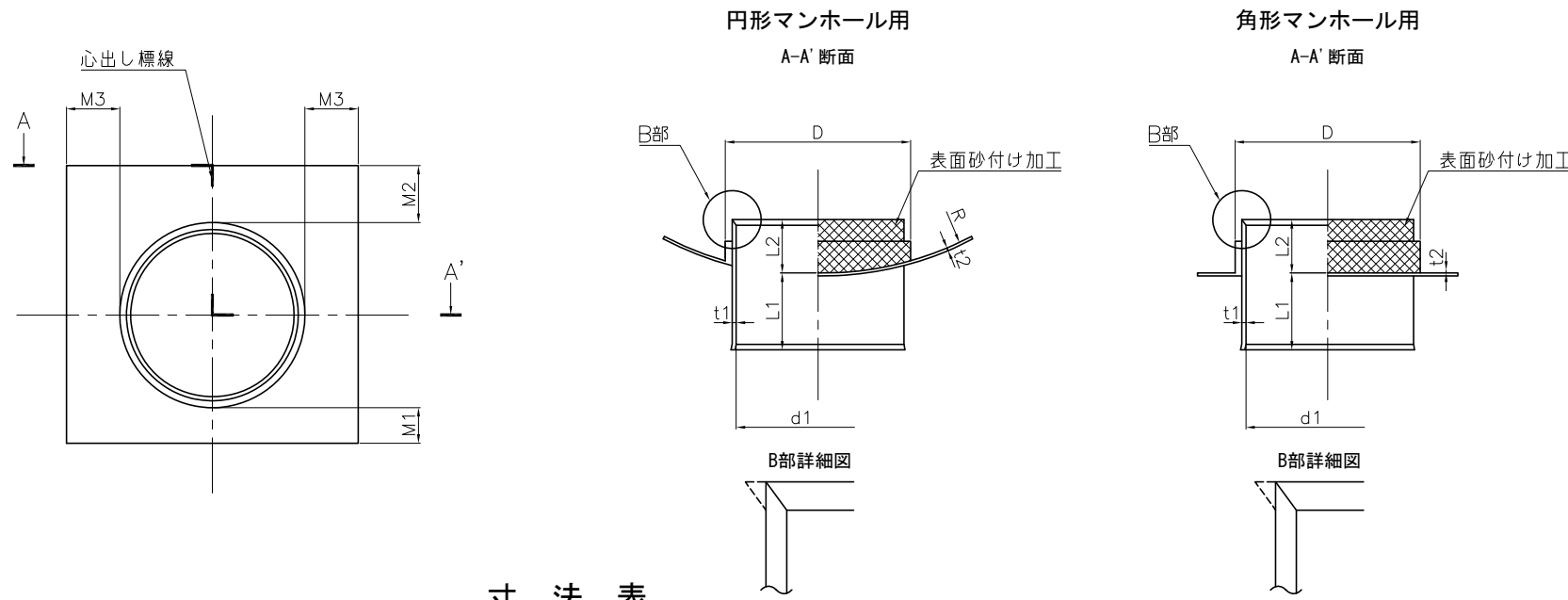
注 マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。

# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (3)

[ JSWAS K-13 ]

くら型マンホール継手  
(略号 MRK-PRP)

内副管  
(略号 MRL-UC-PRP)



寸法表

寸法表

円形マンホール用 (単位: mm)

呼び径	d1 (最小)	D (参考)	L1 (参考)	L2 (参考)	M1 (参考)	M2 (参考)	M3 (参考)	t1 (最小)	t2 (最小)	R
150-900	171.7	200	100	75	50	80	75	4.5	4	450
200-900	229.7	260	108					5.8		
250-900	287.3	325	126					7.0		
150-1050	171.7	200	100					4.5		
200-1050	229.7	260	108					5.8		
250-1050	287.3	325	126					7.0		
300-1050	344.9	385	149	8.2	100	50	80	75	4	700
350-1050	402.1	440	154	9.4						
150-1400	171.7	200	100	4.5						
200-1400	229.7	260	108	5.8						
250-1400	287.3	325	126	7.0						
300-1400	344.9	385	149	8.2						
350-1400	402.1	440	154	9.4	100	50	80	75	4	700
400-1400	450.2	505	190	10.6						
450-1400	504.0	565	195	11.8						

(単位: mm)

呼び径	L1 (最小)	L2 (最大)	l (参考)	lo (最小)	d1 (最小)	D	H1 (最小)	H2 (最小)	t (最小)
150-100	135	175	100	90	171.7	114±0.4	120	55	5.1
200-150	160	190	115	100	229.7	165±0.5	130	85	6.5
250-150	160	190	140	115	287.3	165±0.5	130	85	7.8
250-200	190	215	140	115	287.3	216±0.7	150	125	7.8
300-150	160	190	170	135	344.9	165±0.5	130	85	9.2
300-200	190	215	170	135	344.9	216±0.7	150	125	9.2

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-マンホール外径」とする。  
 2. 形状は、破線で示すものとする事ができる。  
 3. D及びd1は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。  
 4. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-副管呼び径」とする。  
 2. ふたの形状は、規定しない。  
 3. 上部点検口の形状は、規定しない。

角形マンホール用 (単位: mm)

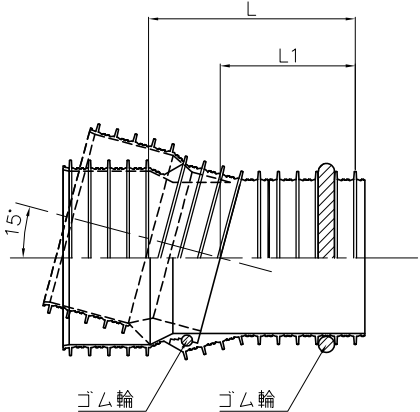
呼び径	d1 (最小)	D (参考)	L1 (参考)	L2 (参考)	M1 (参考)	M2 (参考)	M3 (参考)	t1 (最小)	t2 (最小)
150-F	171.7	200	100	75	50	80	75	4.5	4
200-F	229.7	260	108					5.8	
250-F	287.3	325	126					7.0	
300-F	344.9	385	149					8.2	
350-F	402.1	440	154					9.4	

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-F(フラット)」とする。  
 2. 形状は、破線で示すものとする事ができる。  
 3. D及びd1は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (4)

[ JSWAS K-13 ]

硬質塩化ビニル製小型マンホール用リブ本管自在継手  
(略号 PMF-PRP)



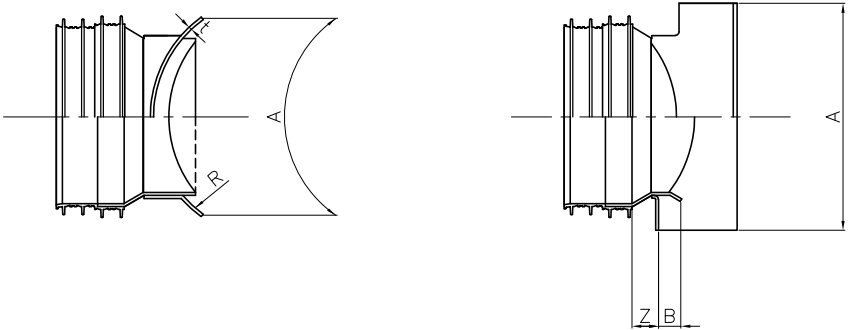
寸法表

(単位: mm)

呼び径	L1 (参考)	L
150	180	260±15
200	215	300±15

注 角度設定部のゴム輪及び形状は、規定しない。

硬質塩化ビニル製小型マンホール用リブくら型マンホール継手  
(略号 KDRS-PRP)



寸法表

(単位: mm)

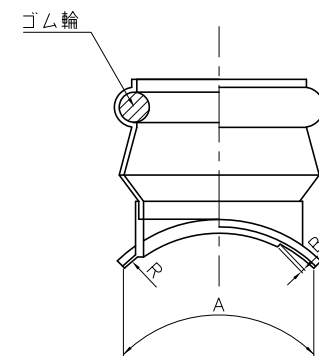
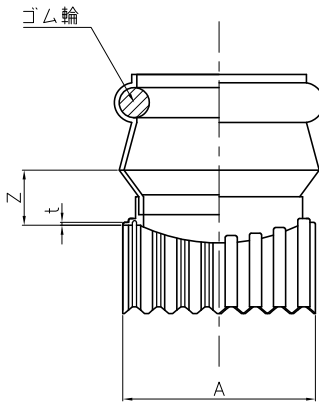
呼び径	A (最小)	B (参考)	Z (最小)	t (最小)	R
150-300	300	30	35	4	159
200-300					

注 1. 呼び径は、「本管呼び径-硬質塩化ビニル製小型マンホール立上がり部呼び径」とする。  
2. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。

# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (5)

[ JSWAS K-13 ]

90度支管 (取付け管用)  
(略号 90SVR-PRP)



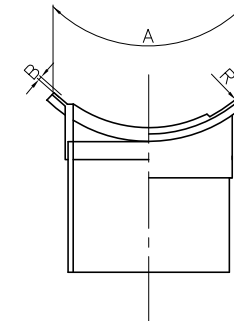
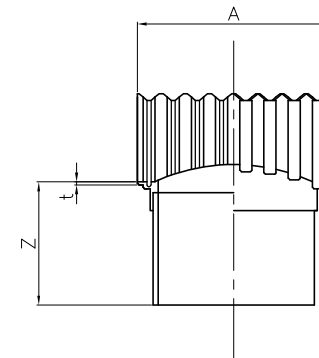
寸法表

(単位: mm)

呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
150-100	68	195	4.5	4	79
200-100	68	205	4.6		104
200-125	68	255			
200-150	73	255			
250-100	71	190	5.0		129
250-125	71	250			
250-150	76	250			
250-200	91	310			
300-100	75	240	5.5		155
300-150	80	300			
300-200	95	315			
350-100	78	240			
350-150	83	285	5.8		180
350-200	98	315			
400-100	81	240	6.5		206
400-150	86	285			
400-200	101	315			
450-100	84	240		6.7	
450-150	89	285			
450-200	104	315			

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Zの許容差は、±15mmとする。  
 3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。  
 4. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

副管用90度支管  
(略号 VS-PRP)



寸法表

(単位: mm)

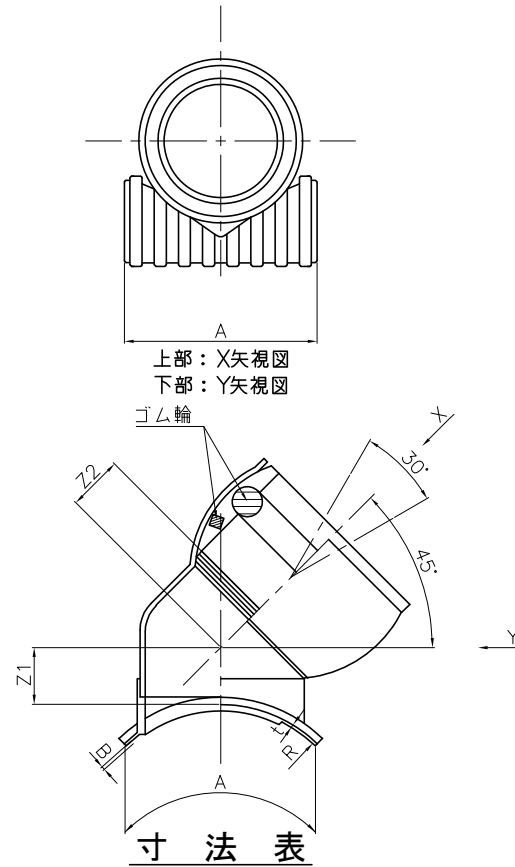
呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
150-100	124	195	4.5	4	79
200-125	143	255	4.6		104
200-150	163	255			
250-125	146	250	5.0		129
250-150	166	250			
250-200	201	310	5.5		155
300-150	170	300			
300-200	205	315			
350-150	173	285	5.8		180
350-200	208	315			
400-200	211	315	6.5		206
450-200	214	315	6.7		231

- 注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Zの許容差は、±10mmとする。  
 3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。  
 4. サドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

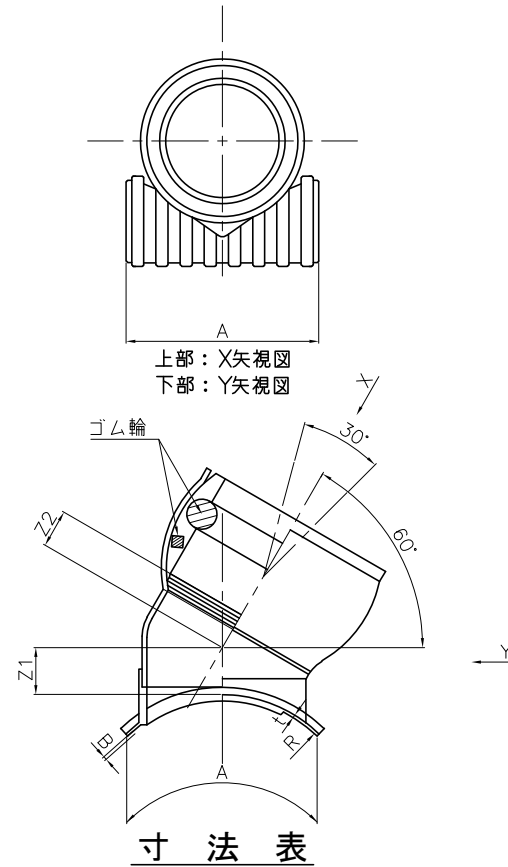
# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (6)

[ JSWAS K-13 ]

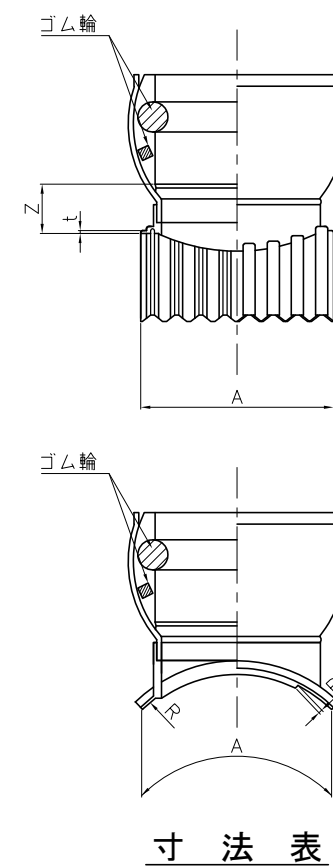
45度自在支管 (取付け管用)  
(略号 45SVRF-PRP)



60度自在支管 (取付け管用)  
(略号 60SVRF-PRP)



90度自在支管 (取付け管用)  
(略号 90SVRF-PRP)



(単位: mm)

呼び径	Z1 (最小)	Z2 (最小)	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
150-100	62	40	195	4.5	4	79
200-100	62	40	205	4.6		104
200-125	67	51	255			
200-150	75	68	255			
250-100	65	40	190	5.0		129
250-125	70	51	250			
250-150	78	68	250			
250-200	88	93	310			
300-100	69	40	240	5.5		155
300-150	82	68	300			
300-200	92	93	315			
350-100	72	40	240	5.8		180
350-150	85	68	285			
350-200	95	93	315			
400-100	70	70	240	6.5		206
400-150	83	98	285			
400-200	90	123	315			
450-100	73	73	240		6.7	
450-150	86	101	285			
450-200	93	126	315			

注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。  
 3. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

(単位: mm)

呼び径	Z1 (最小)	Z2 (最小)	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
150-100	52	30	195	4.5	4	79
200-100	52	30	205	4.6		104
200-125	57	41	255			
200-150	62	50	255			
250-100	55	30	190	5.0		129
250-125	60	41	250			
250-150	65	50	250			
250-200	70	86	310			
300-100	58	30	240	5.5		155
300-150	68	50	300			
300-200	73	86	315			
350-100	61	30	240	5.8		180
350-150	71	50	285			
350-200	76	86	315			
400-100	64	30	240	6.5		206
400-150	74	50	285			
400-200	79	86	315			
450-100	67	30	240		6.7	
450-150	77	50	285			
450-200	82	86	315			

注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。  
 3. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

(単位: mm)

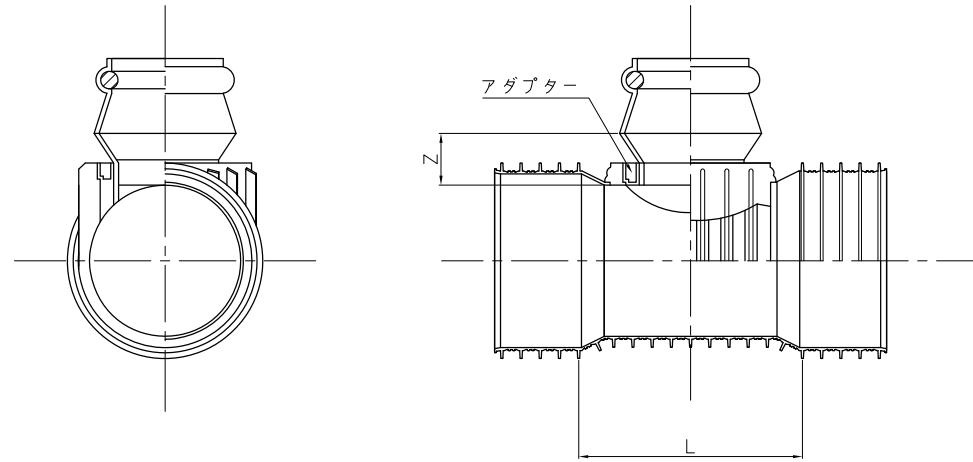
呼び径	Z (最小)	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R
150-100	55	195	4.5	4	79
200-100	55	205	4.6		104
200-125	60	255			
200-150	65	255			
250-100	60	190	5.0		129
250-125	65	250			
250-150	70	250			
250-200	75	310			
300-100	65	240	5.5		155
300-150	75	300			
300-200	80	315			
350-100	65	240	5.8		180
350-150	75	285			
350-200	80	315			
400-100	70	240	6.5		206
400-150	80	285			
400-200	85	315			
450-100	70	240		6.7	
450-150	80	285			
450-200	85	315			

注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。  
 2. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。  
 3. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

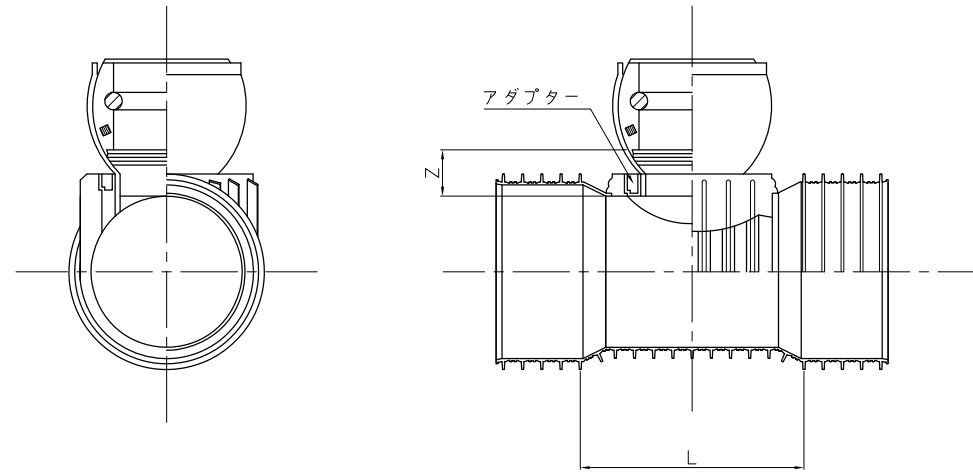
# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (7)

[ JSWAS K-13 ]

90度枝付き管  
(略号 TR-PRP)



90度自在枝付き管  
(略号 TRF-PRP)



寸法表

(単位: mm)

呼び径	L	Z (最小)
150-100	250±15	45
150-125		
200-100		
200-125		
200-150		50

注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」とする。  
2. アダプターなしとすることができる。

寸法表

(単位: mm)

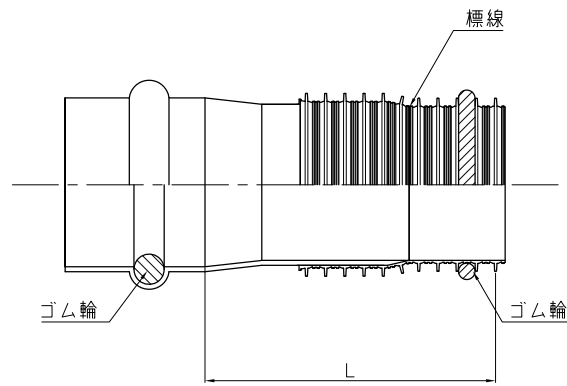
呼び径	L	Z (最小)
150-100	250±15	50
150-125		
200-100		
200-125		
200-150		55

注 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」とする。  
2. アダプターなしとすることができる。

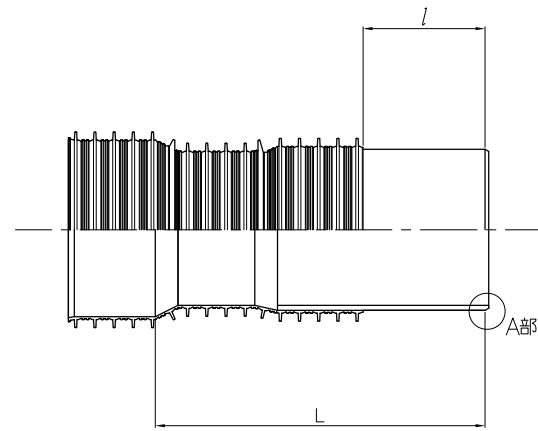
# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (8)

[ JSWAS K-13 ]

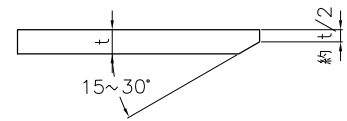
VU-RR受ローリブ差し口変換継手  
(略号 RR-PRP)



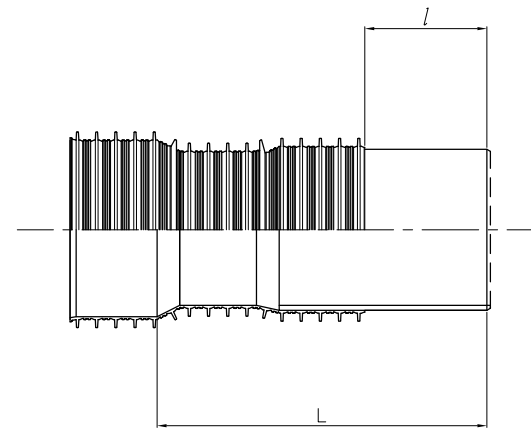
リブ受ローVU差し口変換継手 I 型  
(略号 PRP-VU-I)



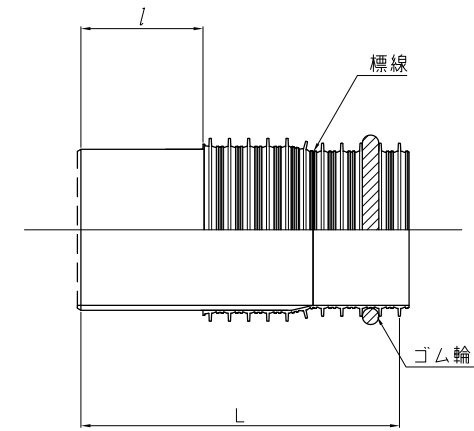
A部 詳細図



リブ受ローVU差し口変換継手 II 型  
(略号 PRP-VU-II)



VU差しローリブ差し口変換継手  
(略号 VU-PRP)



寸法表

(単位: mm)

呼び径	L
150	275 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>
200	335 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>
250	395 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>
300	475 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>
350	485 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>
400	620 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>
450	630 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>

寸法表

(単位: mm)

呼び径	L	l (参考)
150	490 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>	250
200	530 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>	
250	590 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>	
300	660 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>	
350	670 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>	260
400	760 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>	
450	790 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>	285

寸法表

(単位: mm)

呼び径	L	l (参考)
150	2000 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>	250
200		
250		
300	2000 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>	
350		
400		
450		

注 形状は、破線で示すものとする  
ことができる。

寸法表

(単位: mm)

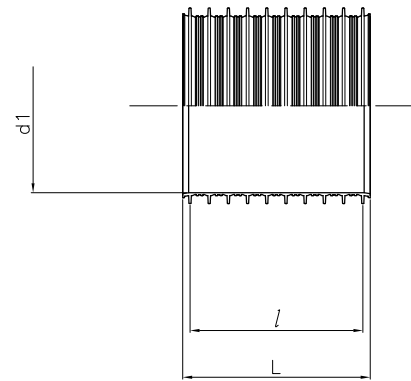
呼び径	L	l (参考)
150	2000 <sup>+30</sup> / <sub>-10</sub>	500
200		
250		
300	2000 <sup>+40</sup> / <sub>-10</sub>	
350		
400		
450		

注 形状は、破線で示すものとする  
ことができる。

# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (9)

[ JSWAS K-13 ]

カラー  
(略号 SYR-PRP)



## 寸法表

(単位: mm)

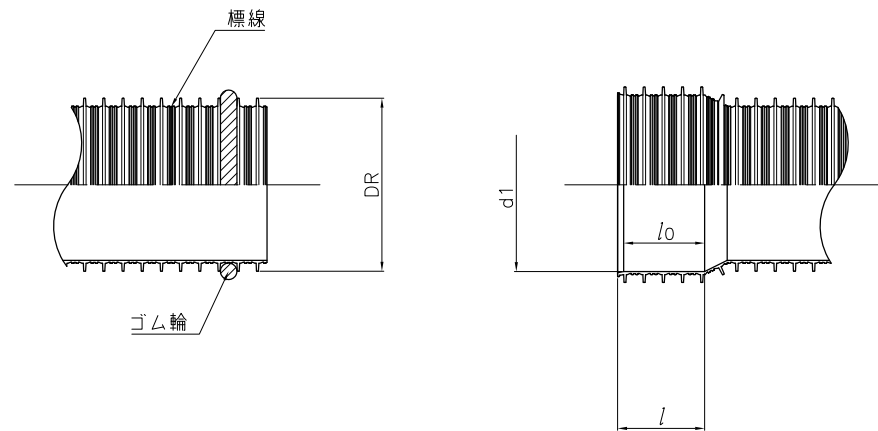
呼び径	$d_1$ (最小)	L (標準値)	$l$ (最小)
150	171.7	220	200
200	229.7	245	225
250	287.3	280	260
300	344.9	330	310
350	402.1	330	
400	450.2	350	
450	504.0	350	

# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (10)

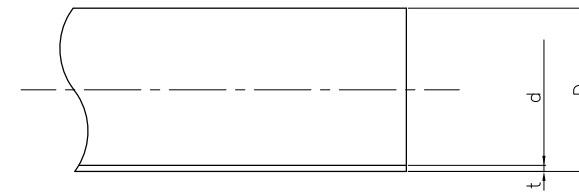
[ JSWAS K-13 ]

## 共通寸法 (1)

### 直管、異形管受口及びゴム輪差し口共通寸法



### 変換継手、副管用90度支管及び内副管継手用直管部共通寸法



### 寸法表

(単位: mm)

呼び径	差し口部	受口部			
	リブ外径 DR (標準値)	受口内径 d1 (最小)	平行部長さ l <sub>0</sub> (最小)	受口長さ l (標準値)	接合長さ e (参考)
150	171.0	171.7	90	100	61.3
200	228.8	229.7	100	115	61.9
250	286.2	287.3	115	140	69.2
300	343.6	344.9	135	170	77.8
350	400.6	402.1	135	170	77.8
400	448.4	450.2	135	170	77.8
450	502.0	504.0	135	170	77.8

- 注 1. 受口部内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な 2 方向以上の内径測定値の平均値とする。  
 2. ゴム輪の形状は、規定しない。  
 3. ゴム輪差し口でのゴム輪取付け位置は、管端より第 2 番目と第 3 番目のリブの間とする。  
 4. 標線位置は、呼び径 150 の場合は管端より第 6 番目と第 7 番目のリブの間、呼び径 200 以上の場合は第 5 番目と第 6 番目のリブの間とする。  
 5. 接合長さ e は、平行部長さ l<sub>0</sub> (最小) - (1.5 × リブ間隔 P) として算出したものである。

### 寸法表

(単位: mm)

呼び径	外径 D		厚さ t		参考	
	基準寸法	許容差	最小	許容差	内径 D	1m 当りの質量 (kg)
100	114.0	±0.4	3.1	±0.8	107.0	1.737
125	140.0	±0.5	4.1	±0.8	131.0	2.739
150	165.0	±0.6	5.1	±0.8	154.0	3.941
200	216.0	±0.7	6.5	±1.0	202.0	6.572
250	267.0	±0.9	7.8	±1.2	250.2	9.758
300	318.0	±1.0	9.2	±1.4	298.2	13.701
350	370.0	±1.2	10.5	±1.4	347.6	18.051
400	420.0	±1.3	11.8	±1.6	394.8	23.059
450	470.0	±1.5	13.2	±1.8	441.8	28.875

- 注 1. 外径 D とは、任意箇所における相互に等間隔な 2 方向以上の外径測定値の平均値をいう。  
 2. 表中 1m 当りの質量は、密度 1.43g/cm<sup>3</sup> で計算したものである。  
 3. 本表は、JIS K 6741 の管 (呼び径 100~450) と同一である。

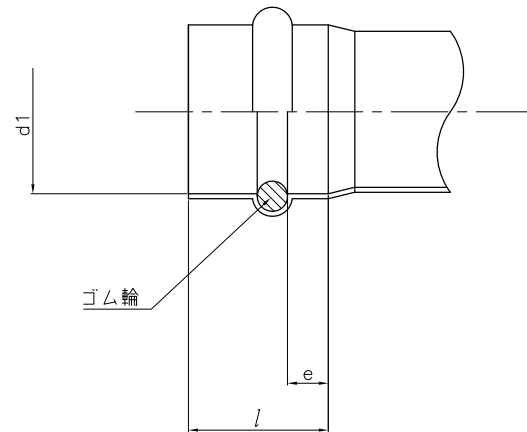
# 下水道用リブ付硬質塩化ビニル管規格図 (11)

[ JSWAS K-13 ]

## 共通寸法 (2)

### 変換継手用本管ゴム輪受口共通寸法

本管形



寸法表

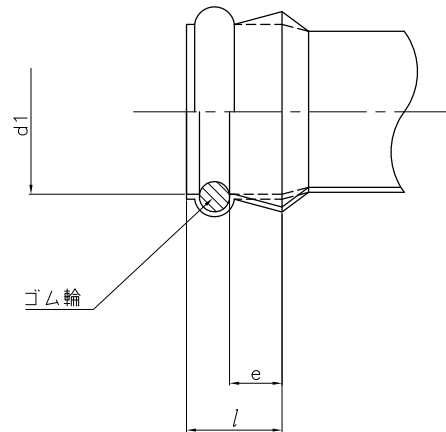
(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
150	165.7	53	165
200	216.9	54	185
250	268.1	59	205
300	319.3	62	225
350	371.5	67	240
400	421.7	72	260
450	471.9	77	285

- 注 1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。  
 2. 受口内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な 2 方向以上の内径測定値の平均値とする。

### 90度支管、自在支管及び枝付き管用取付け管ゴム輪受口共通寸法

取付け管形



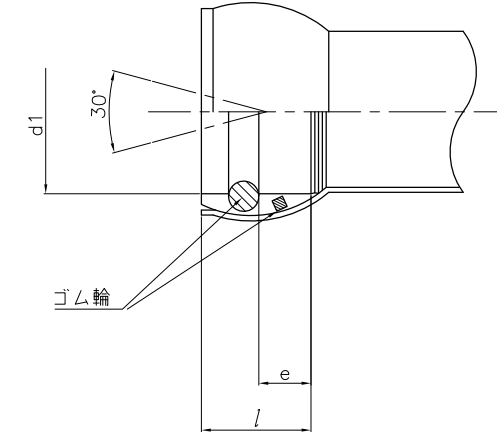
寸法表

(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

- 注 1. 破線で示す形状にすることもできる。  
 2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。  
 3. 受口内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な 2 方向以上の内径測定値の平均値とする。

取付け管形 (自在)



寸法表

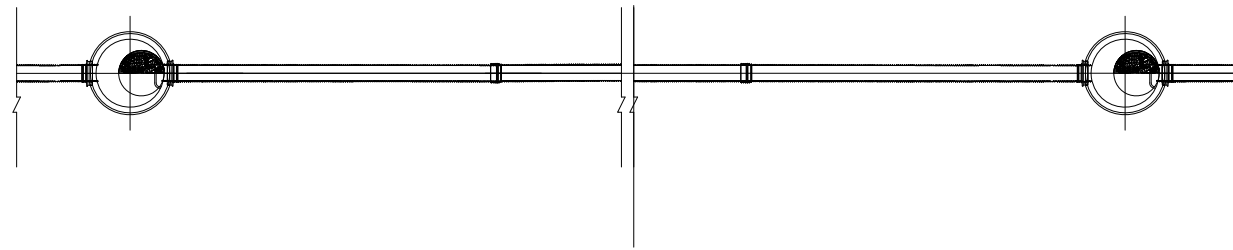
(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	114.5	48	100
125	140.6	53	115
150	165.7	58	120
200	216.9	69	145

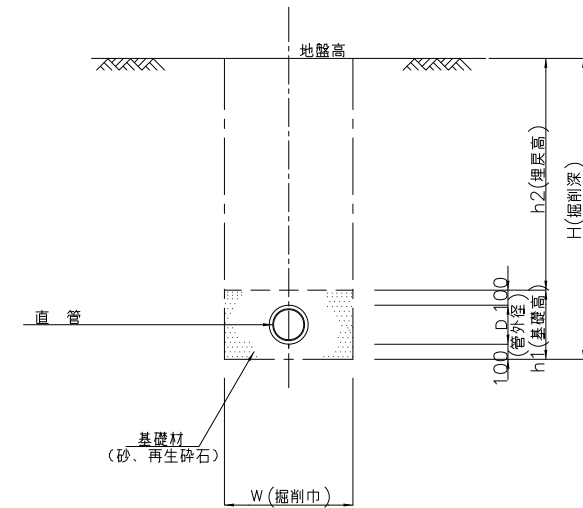
- 注 1. ゴム輪の形状、ゴム周辺部の形状及び摺動部周辺の形状については、規定しない。  
 2. 受口内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な 2 方向以上の内径測定値の平均値とする。

# 下水道用リブ付き硬質塩化ビニル管布設図 (1)

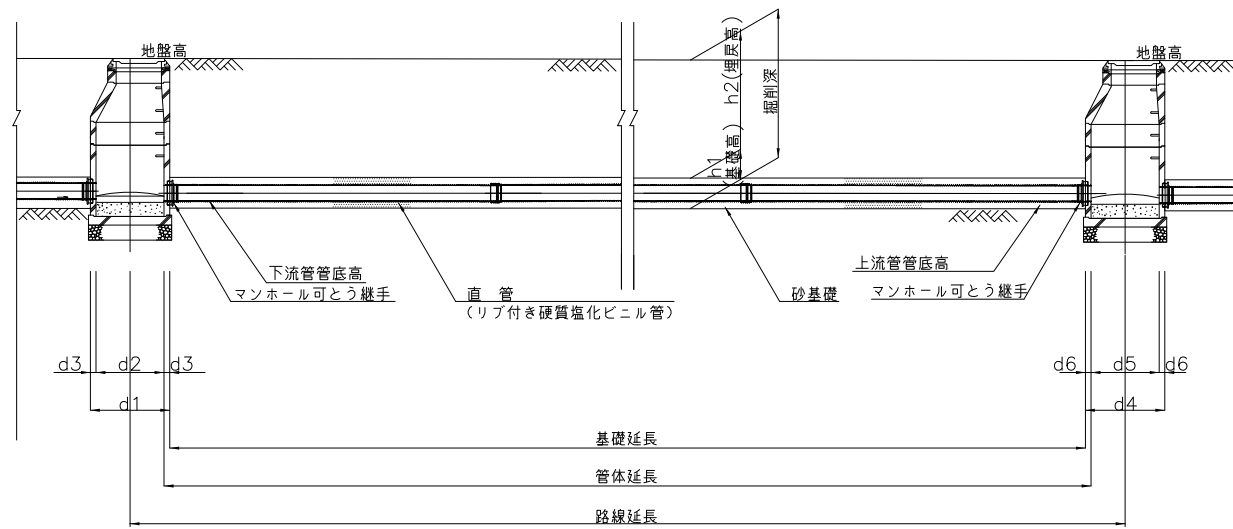
平面図



標準断面図



縦断面図



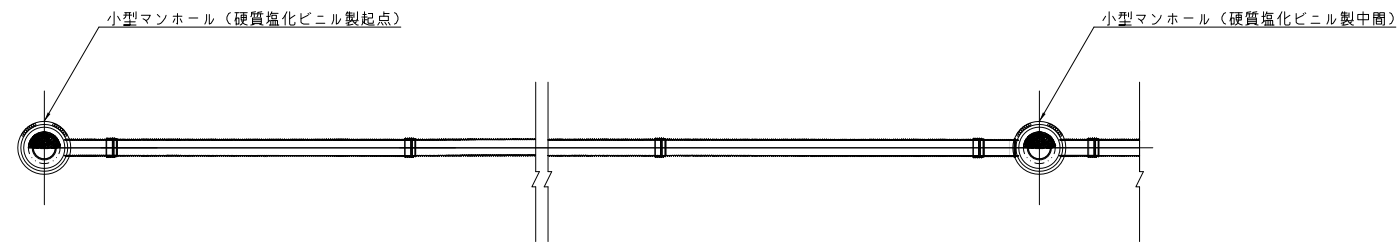
砂基礎寸法表

(単位: mm)

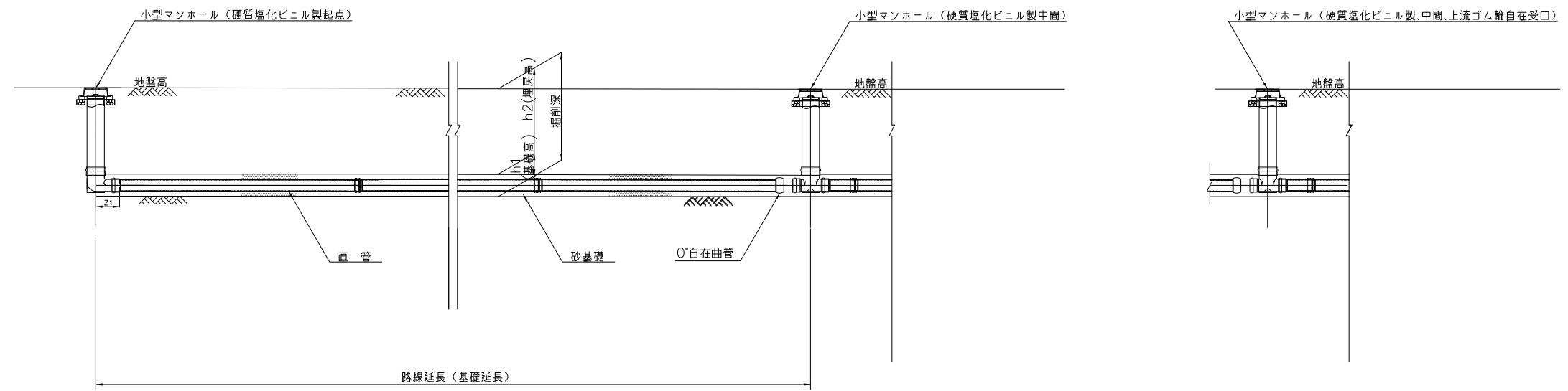
呼び径 (mm)	管外径 (mm)	基礎高 (mm)	基礎巾 W (mm)		軽量鋼矢板 II 型
			軽量金属支保工 矢板長1.80mまで	矢板長2.10~2.70m	
150	155.5				
200	205.5				
250	256.1				
300	307.1				
350	357.4				
400	407.6				
450	457.8				

# 下水道用リブ付き硬質塩化ビニル管布設図（2）

## 平面図

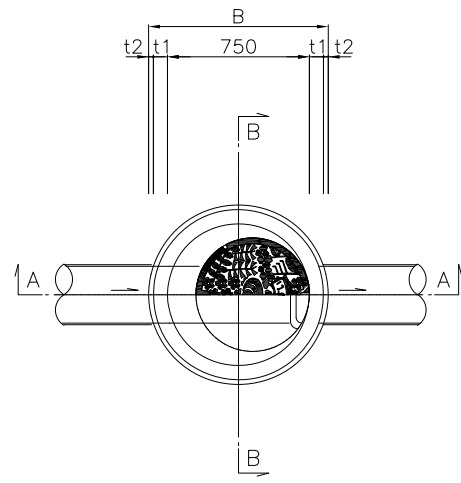


## 縦断面図

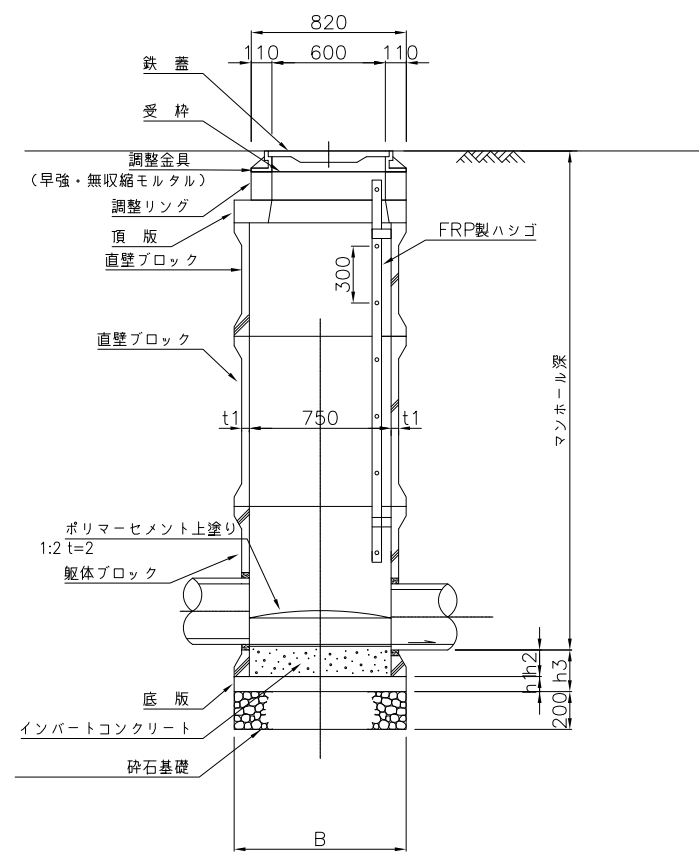


# 0号レジンマンホール構造図 縮尺 1/20

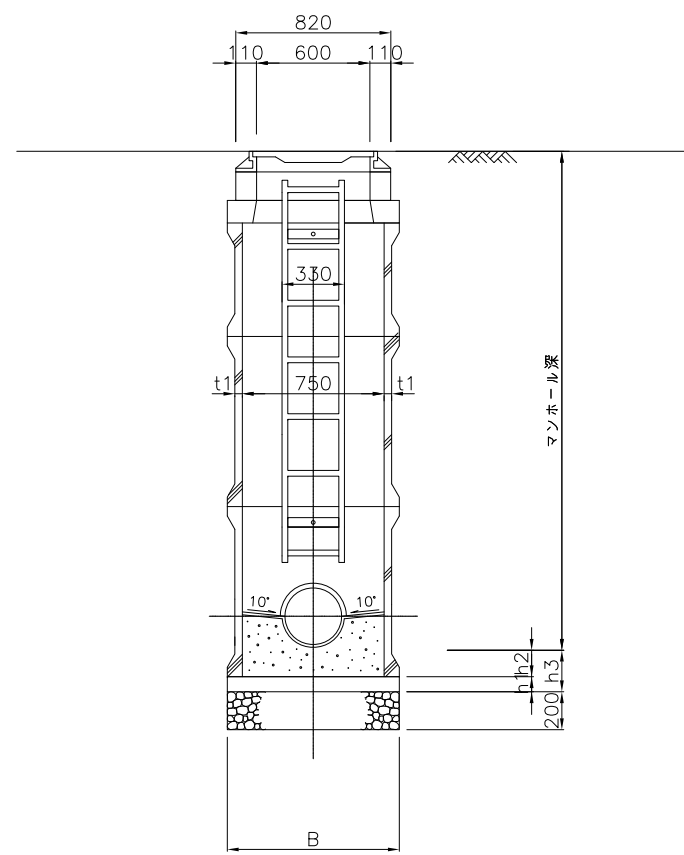
平面図



A-A 断面

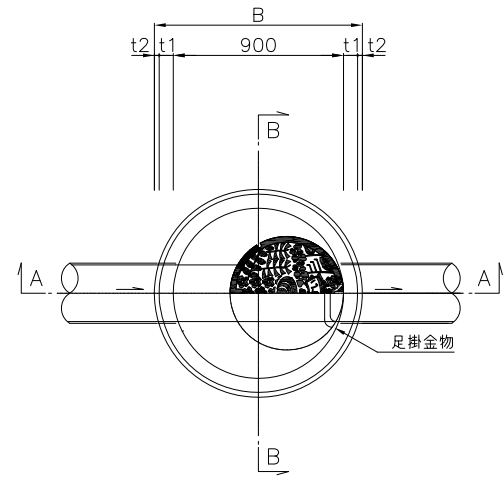


B-B 断面

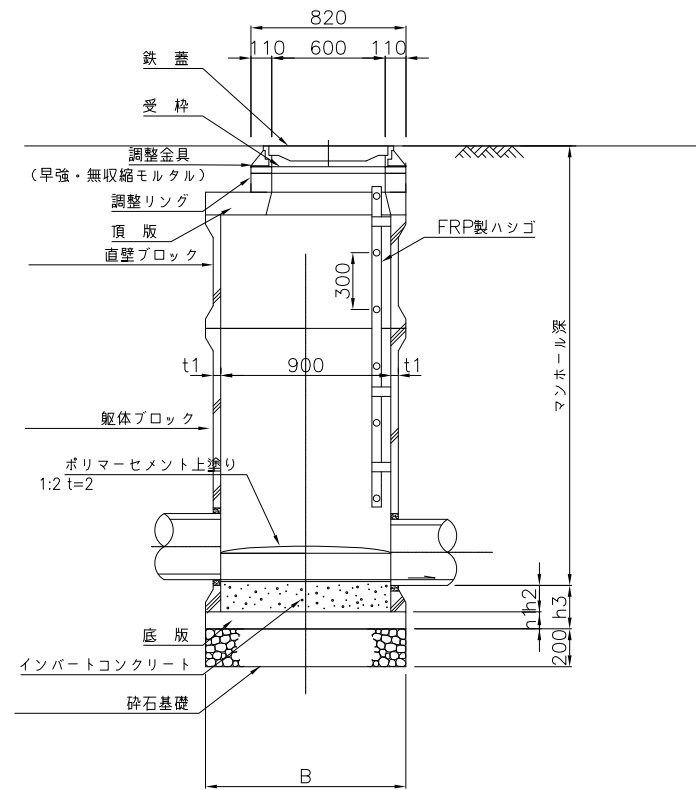


# 1号レジンマンホール構造図 縮尺 1/20

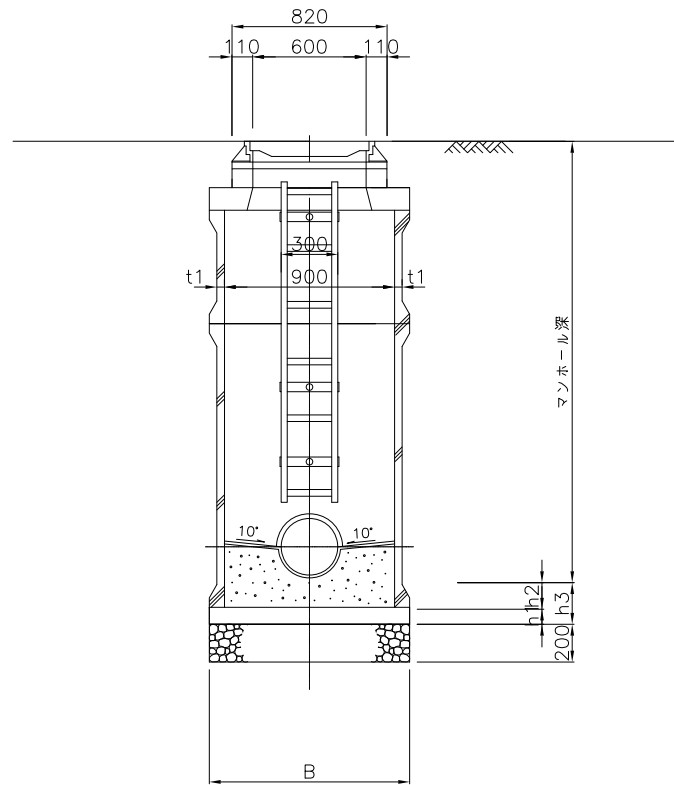
平面図  
本管径(φ200~φ400)



A-A 断面

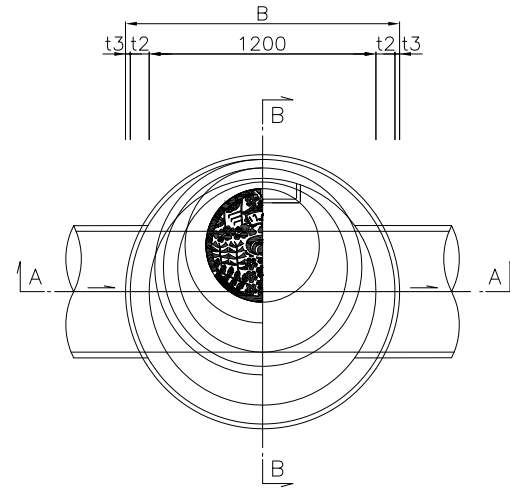


B-B 断面

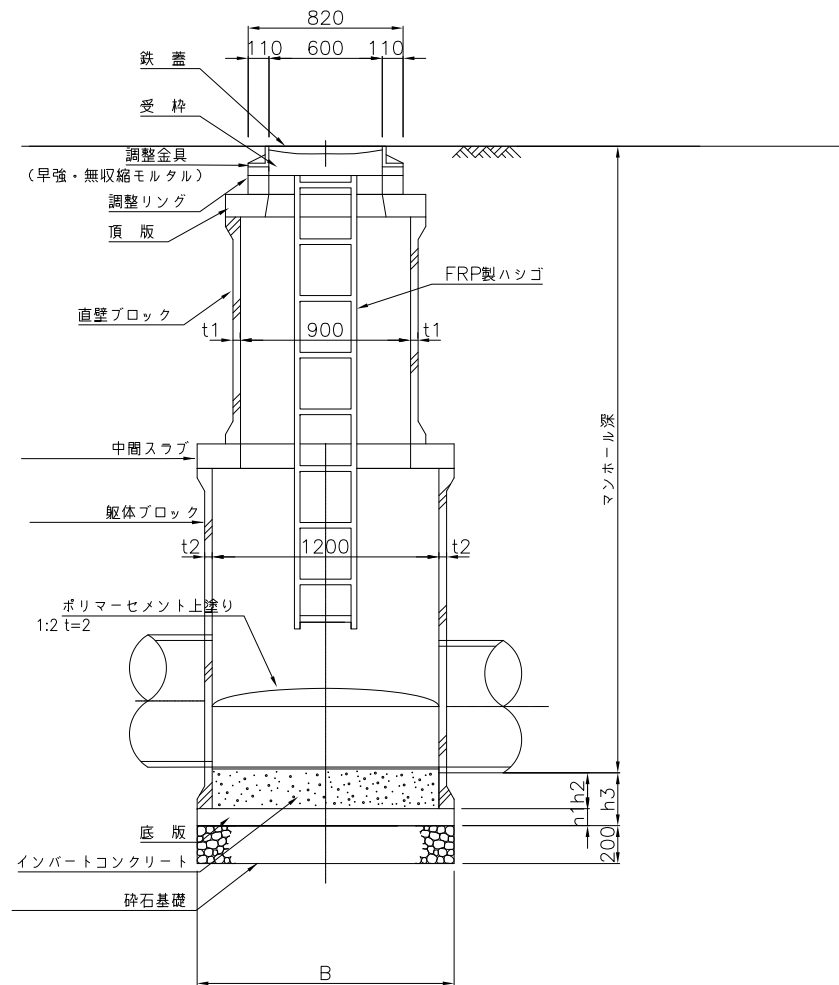


2号レジンマンホール構造図 縮尺 1/20

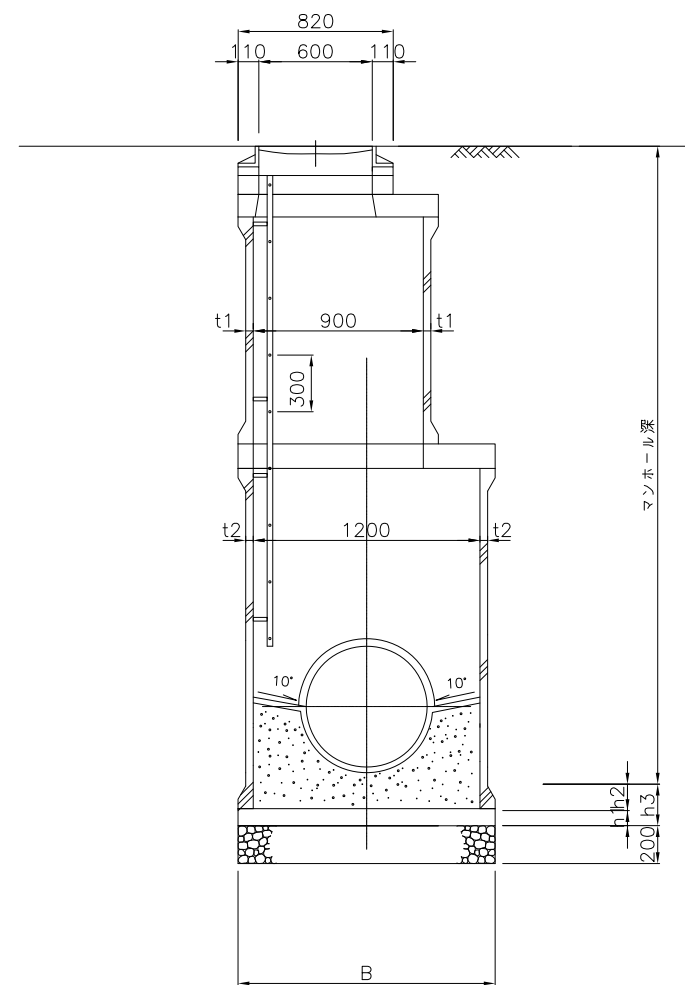
平面図



A-A 断面

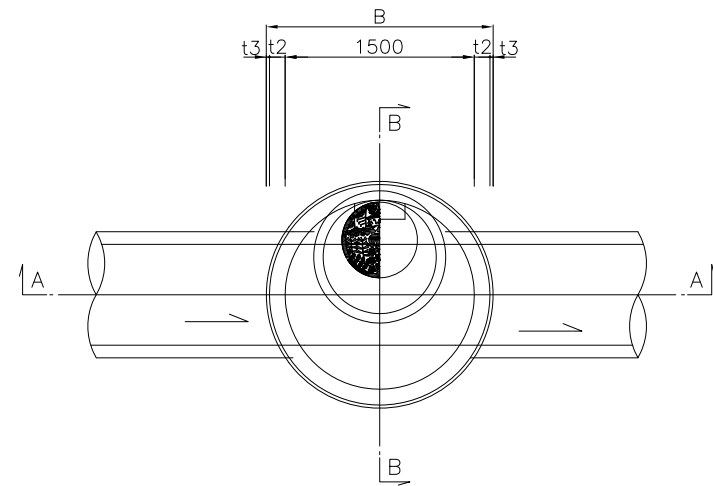


B-B 断面

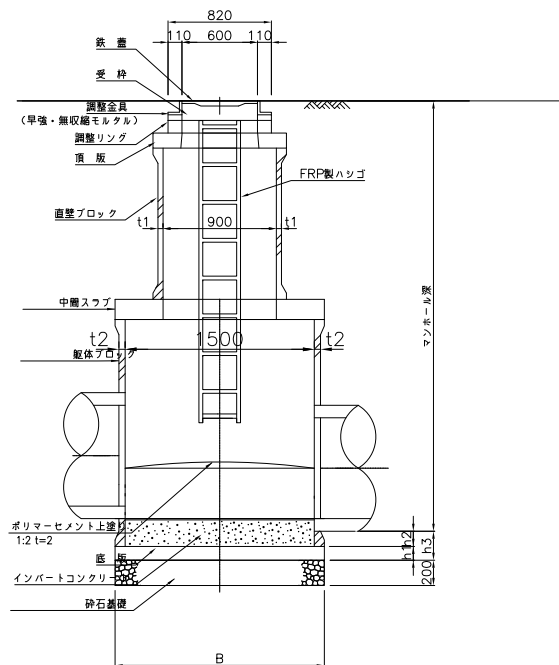


3号レジンマンホール構造図 縮尺 1/30

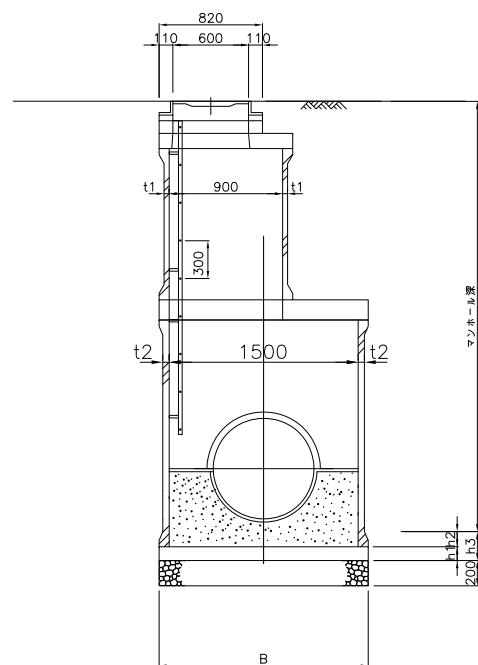
平面図



A-A 断面

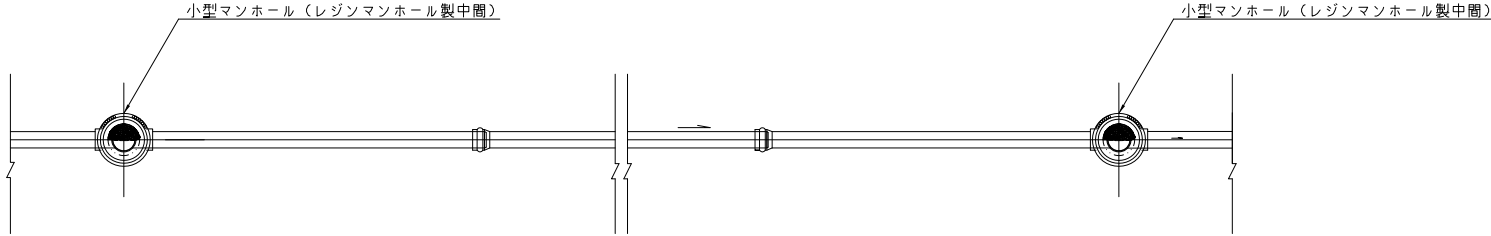


B-B 断面

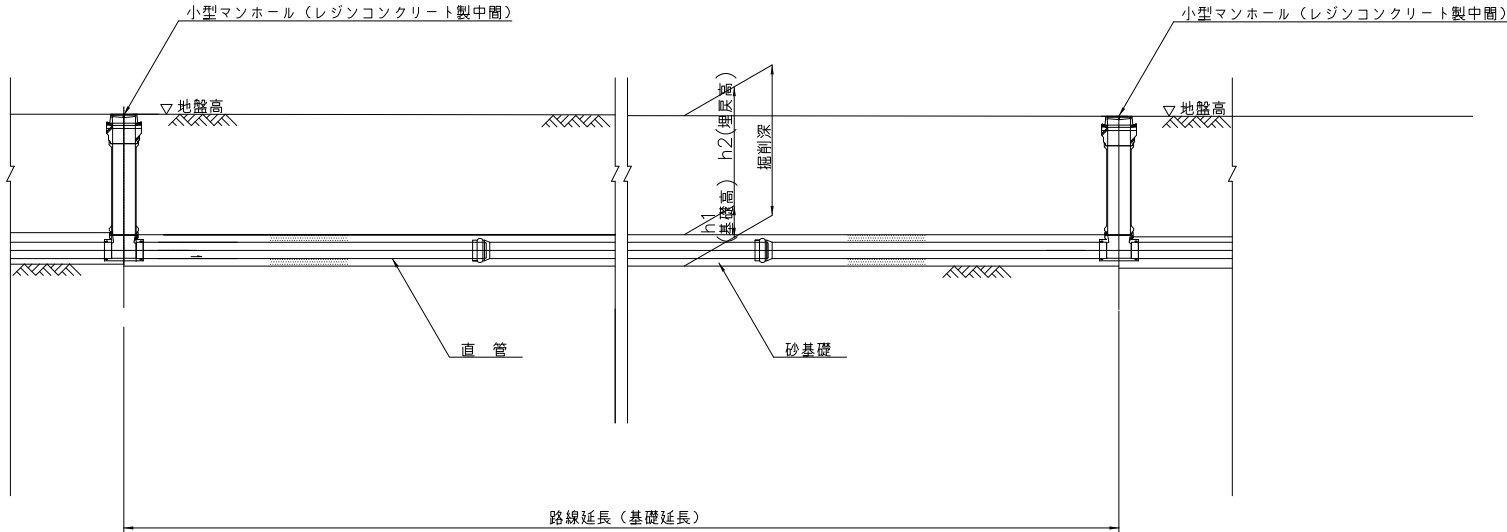


# 下水道用硬質塩化ビニル管布設図 (3)

## 平面図

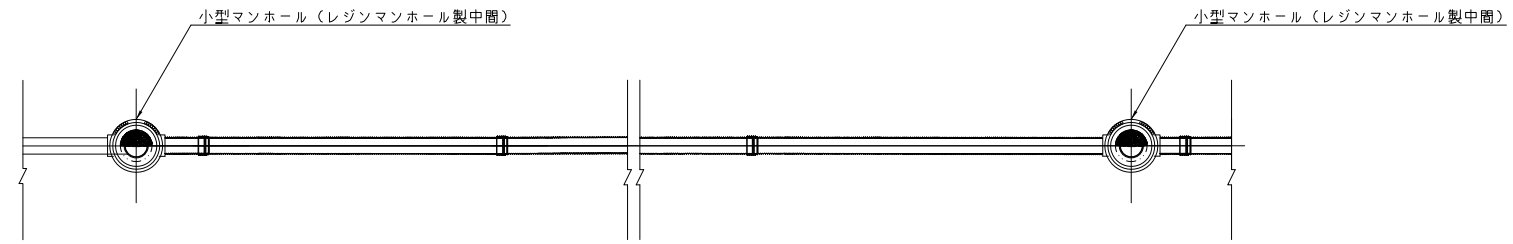


## 縦断面図

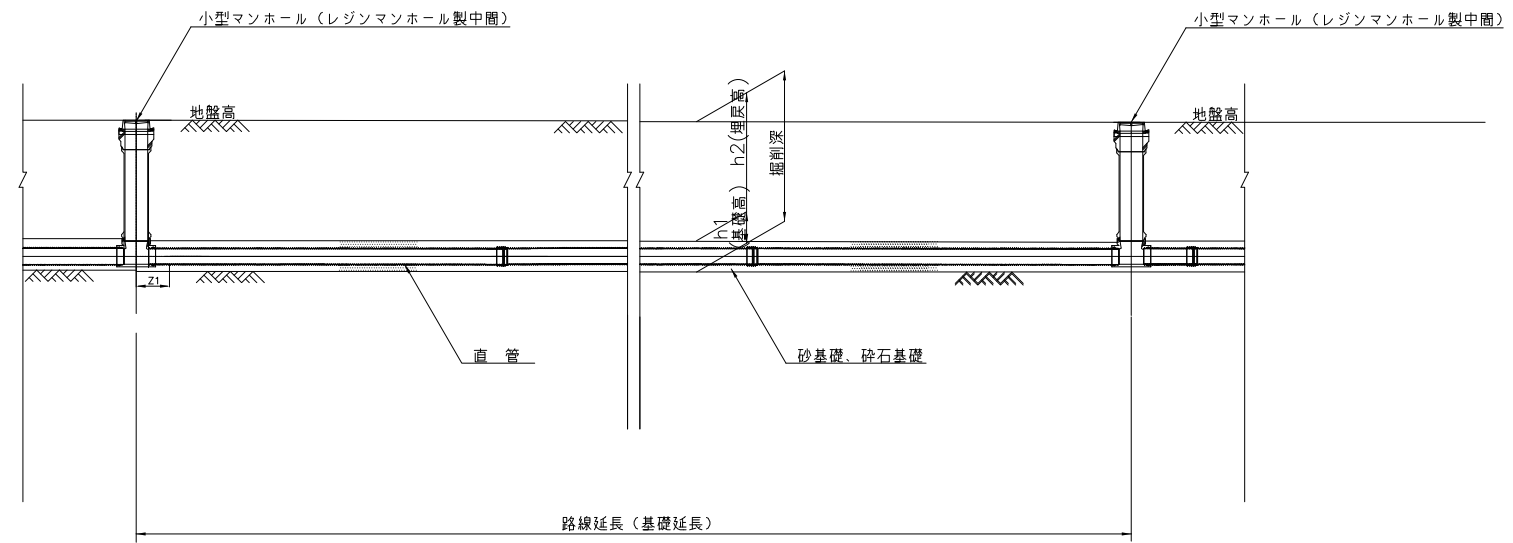


# 下水道用リブ付き硬質塩化ビニル管布設図 (3)

## 平面図



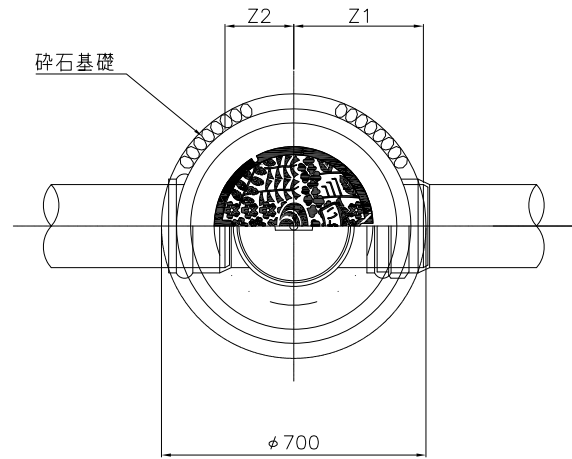
## 縦断面図



硬質塩化ビニル製小型マンホール構造図（落差あり） 縮尺 1/10

[ JSWAS K-9 ]

平面図

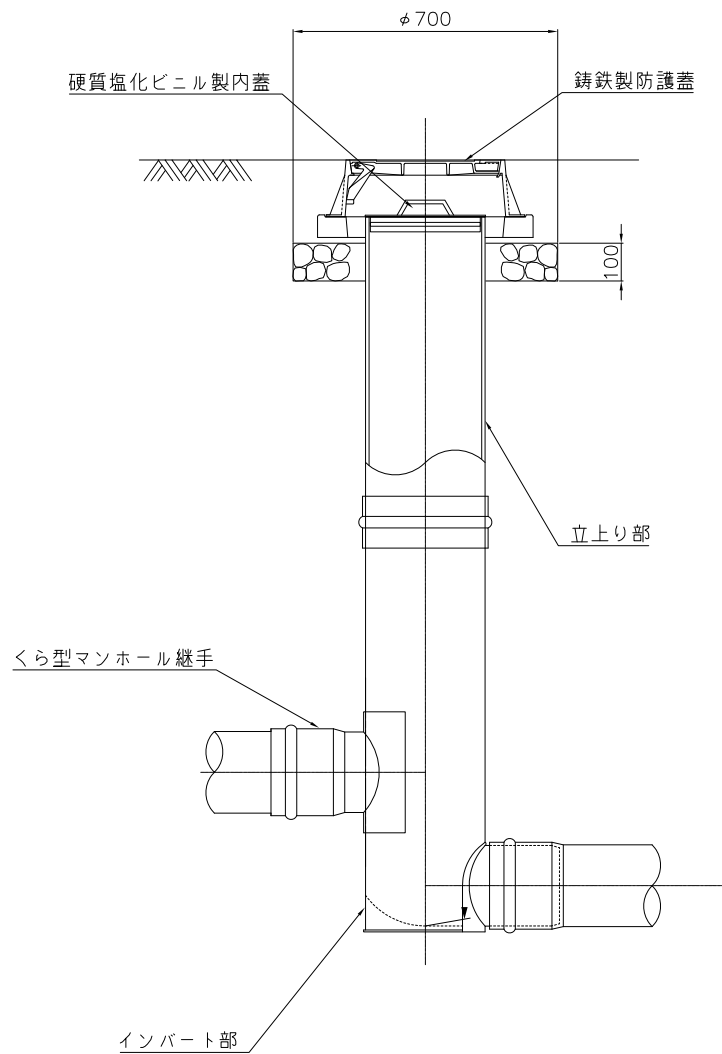


使用部材と適用落差（ $\Delta h$ ）

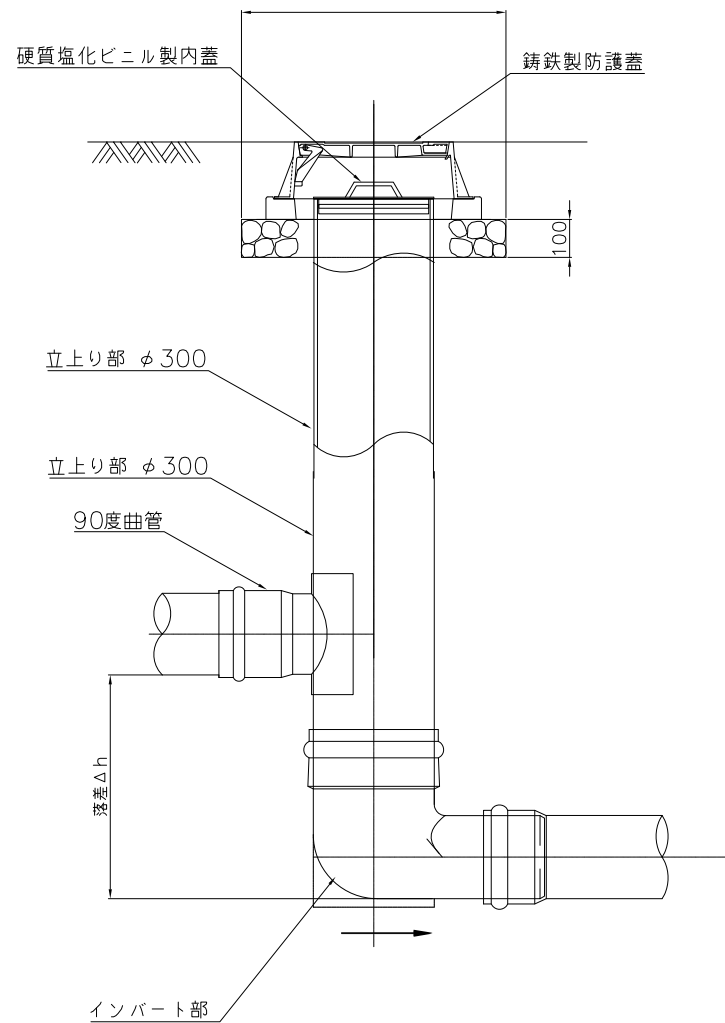
(単位：mm)

呼び径	起点形ドロップインバートとくら型マンホール継手	起点インバートとくら型マンホール継手	ドロップインバートと90度曲管
150-300	50以上	550以上	600以上
200-300	50以上	550以上	650以上
250-300	50以上	600以上	800以上

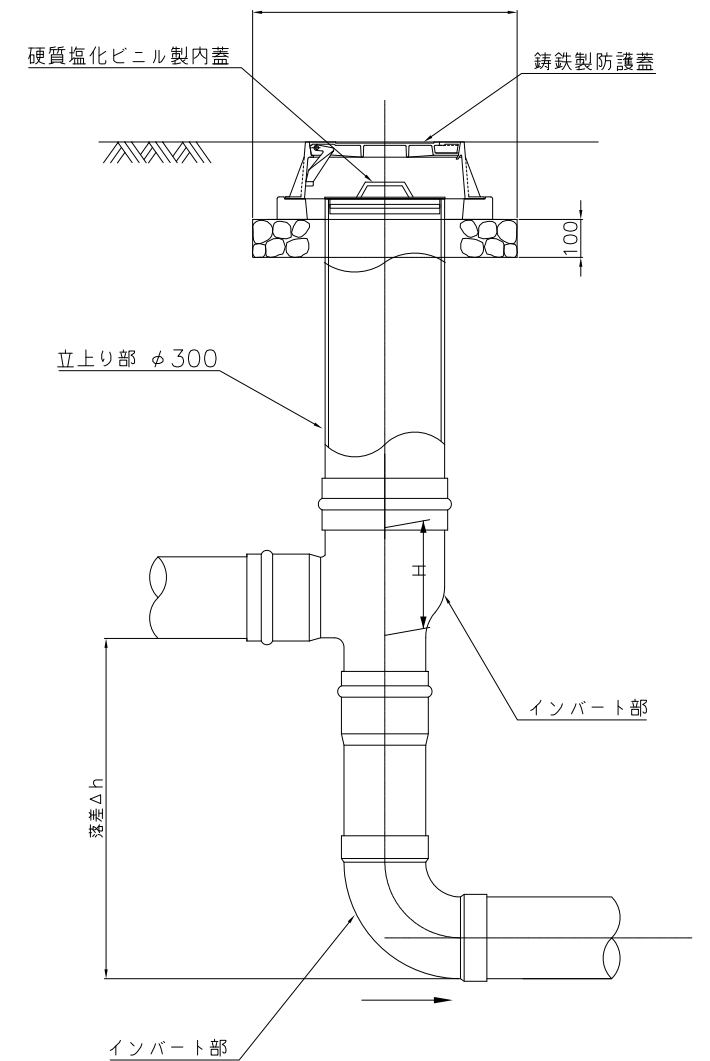
断面図  
起点形ドロップインバート



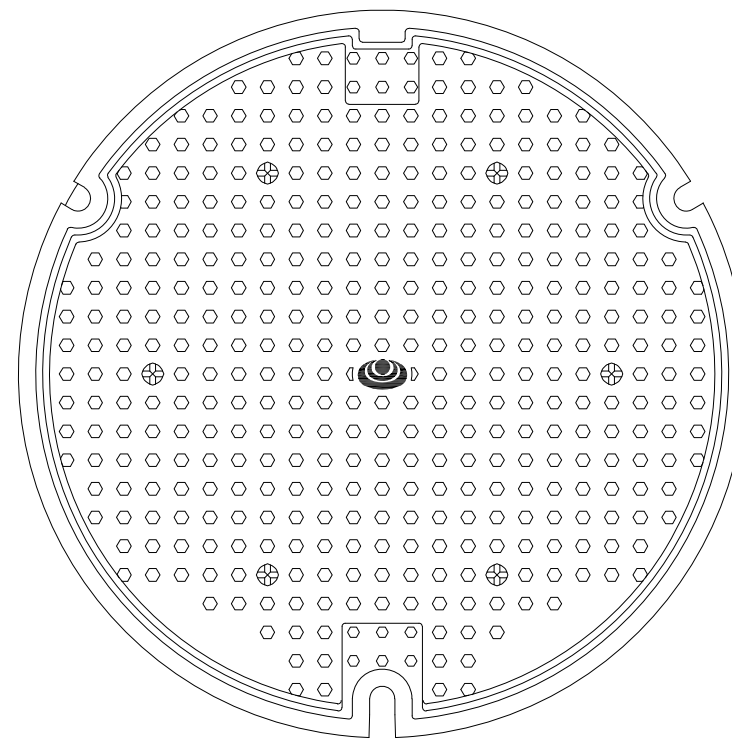
断面図  
起点インバート



断面図  
ドロップインバート

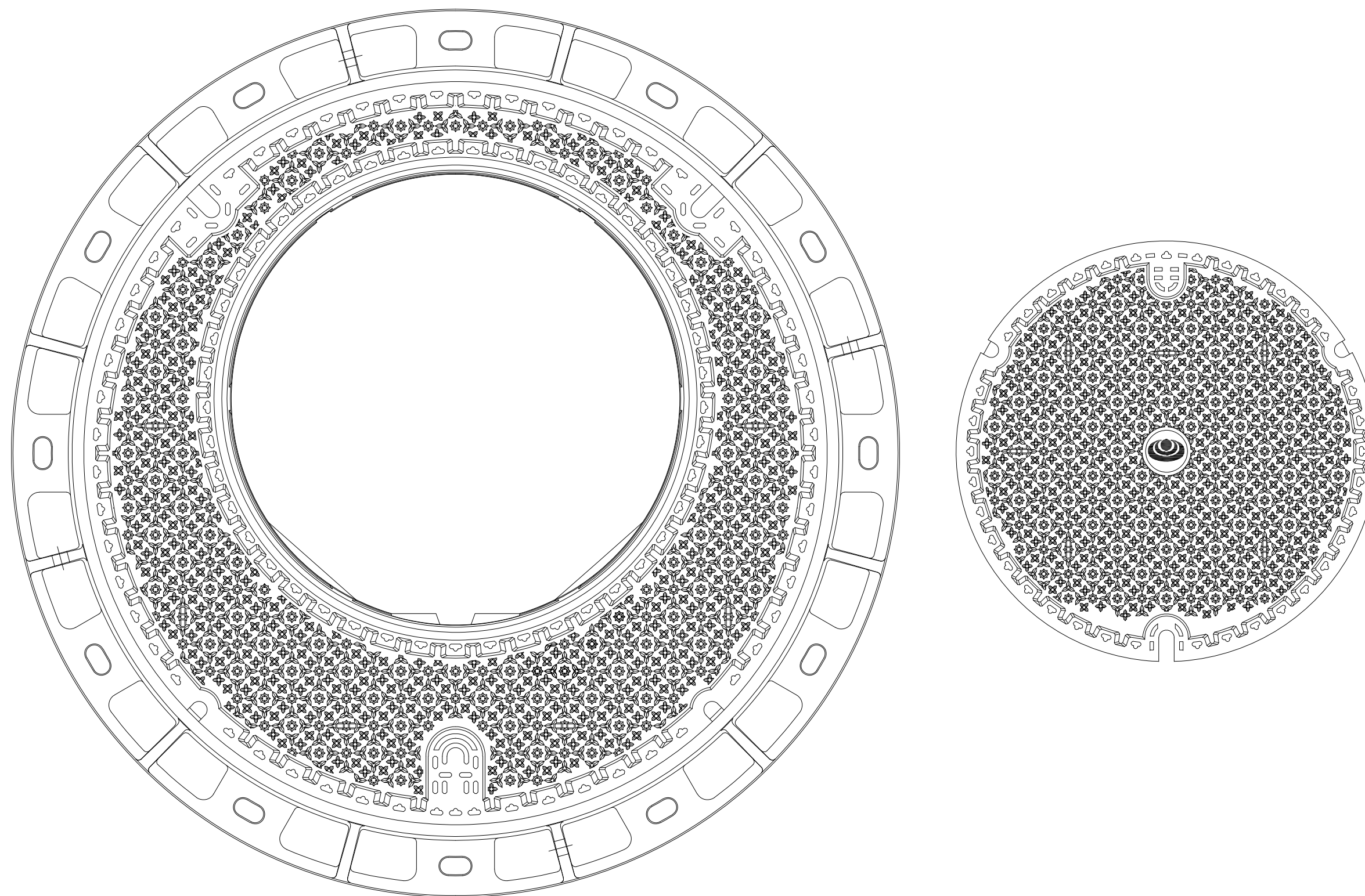


スリップ防止用マンホール蓋デザイン図  
(車道用、φ300及びφ600用)



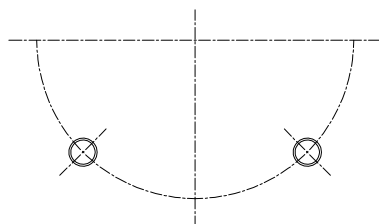
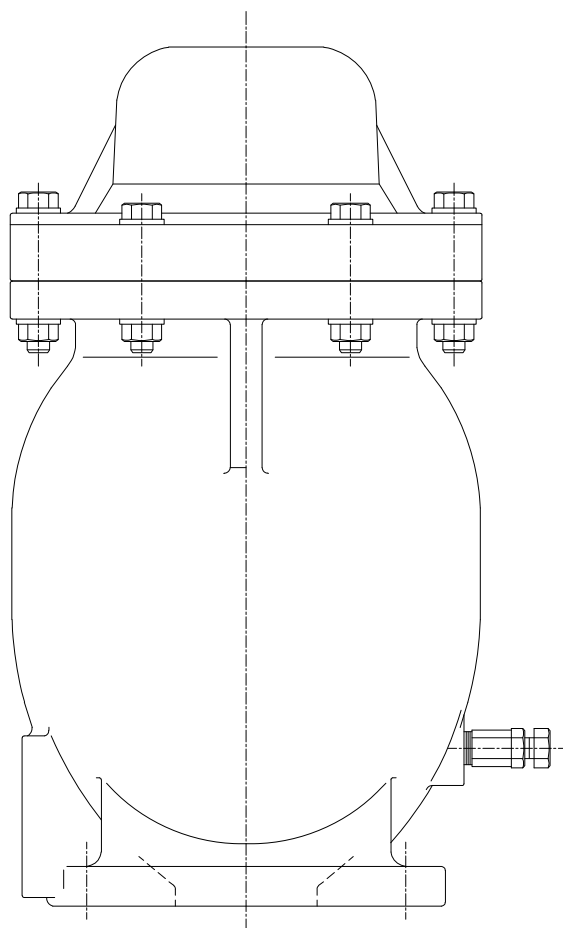
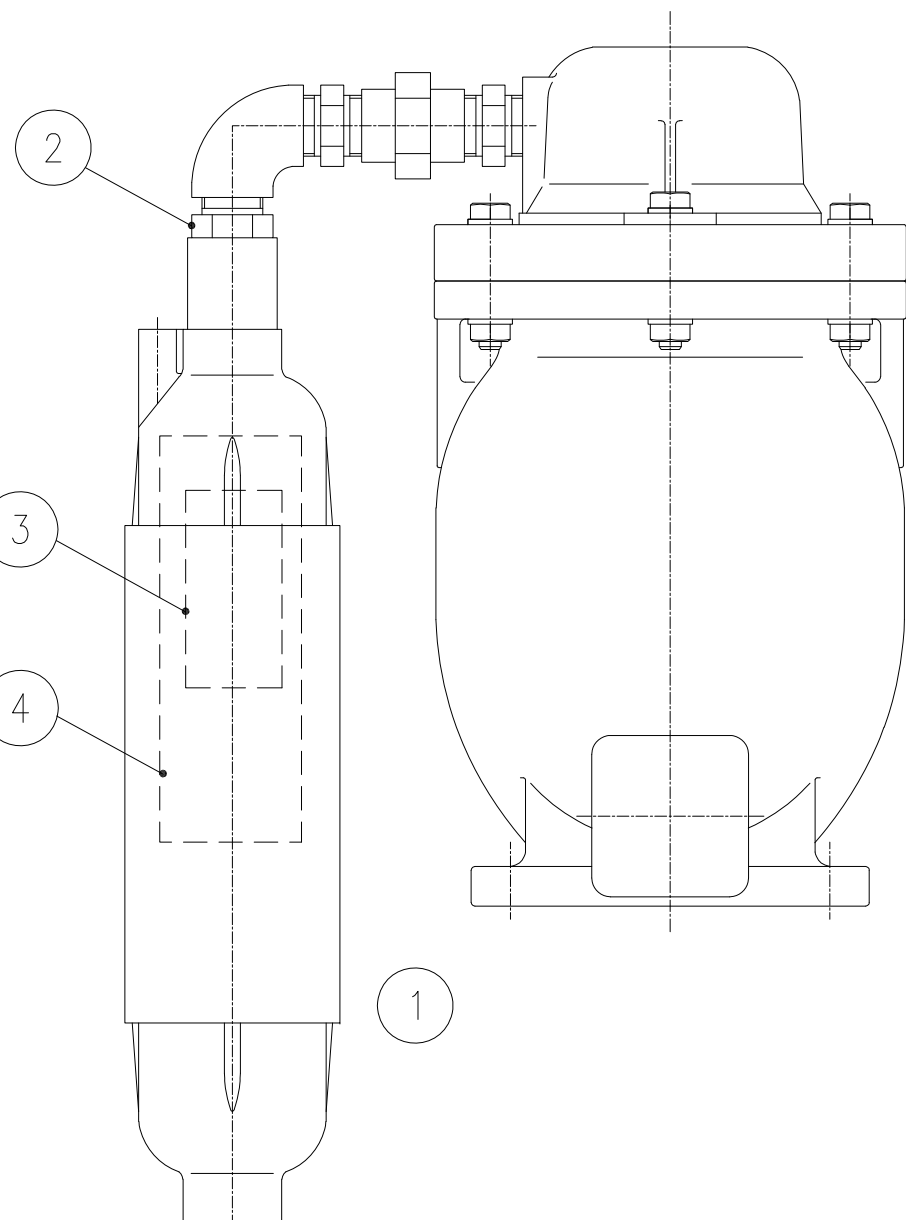
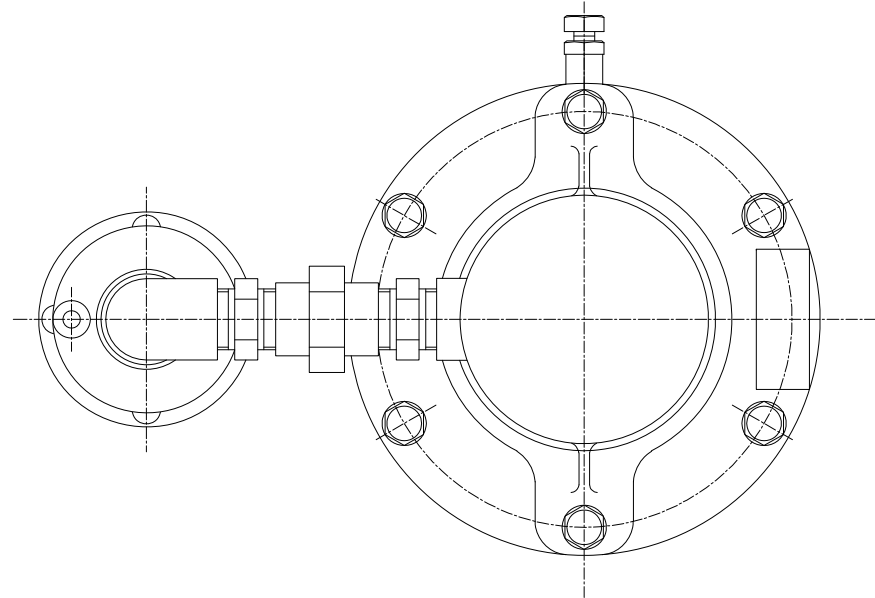
\*表示については、マンホール蓋性能仕様書に準拠すること。

親子蓋デザイン図  
(歩道用及び車道用、φ900用)



\*表示については、マンホール蓋性能仕様書に準拠すること。

空気弁脱臭装置外形図 縮尺 1/2



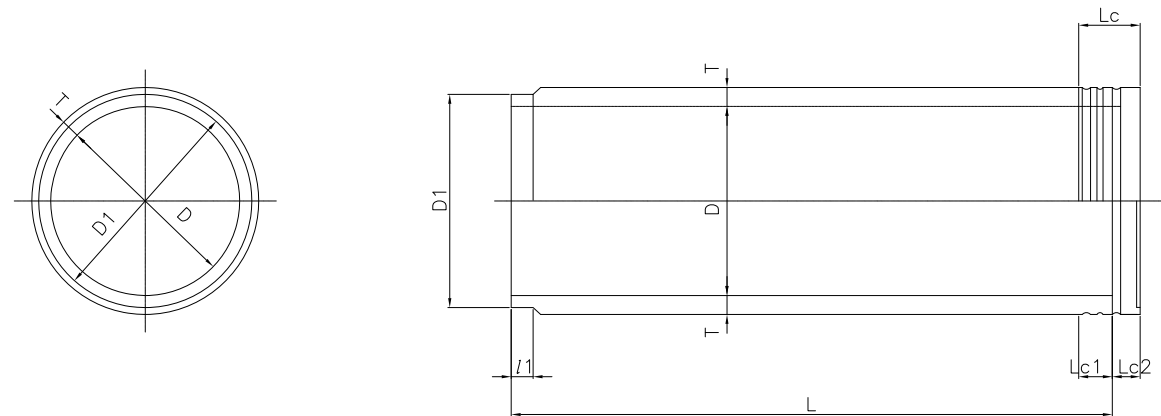
4	脱臭剤	市販品	1	
3	サイレンサー	市販品	1	
2	六角異径ニップル	SUS304	1	
1	本体	合成樹脂	1	
品番	部品名称	材料	個数	摘要

# 【小口径管推進工法】

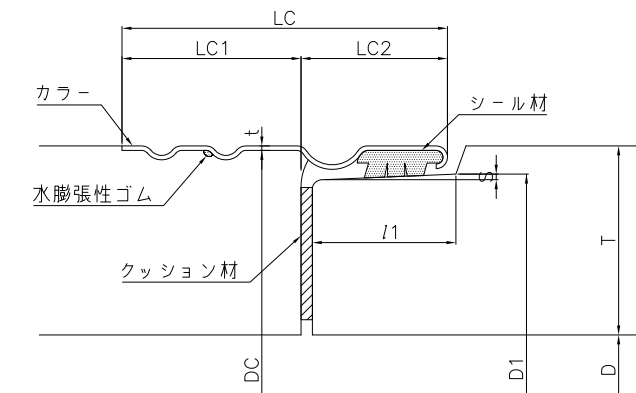
# 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (1)

[ JSWAS A-6 ]

標準管



継手部詳細図



寸法表

(単位: mm)

呼び径	内径 D	D1	$\pi D_1$	厚さ T	有効長 L	$l_1$	S	Lc	Lc1	Lc2	t	Dc	$\pi(D_c+2t)$						
250	250±3	340±2	1068±3	55 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2000 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>							355	1125±3						
300	300±4	394±2	1238±3	57 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>														409	1294±3
350	350±4	450±2	1414±3	60 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	51 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	1.5	120 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	70	50 ±2	1.5	465	1470±3						
400	400±4	506±2	1590±3	63 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>														521	1646±3
450	450±4	564±2	1772±3	67 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>														579	1828±3
500	500±4	620±2	1948±3	70 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>														635	2004±3
600	600±4	736±2	2312±3	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>														754	2381±3
700	700±4	856 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2689±3	90 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>		81 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	2.5	170 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	90	80 ±2	2.0	874	2758±3						

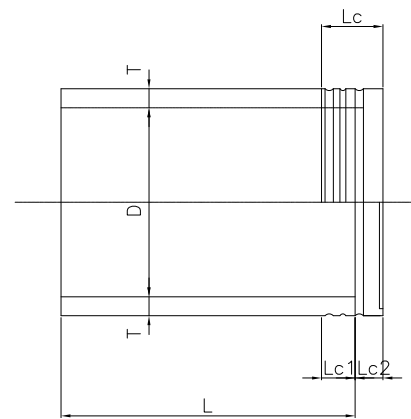
注 有効長 (L) は、呼び径 250及び 300については 1000mm、呼び径 350~700については 1200mmとすることができる。

# 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (2)

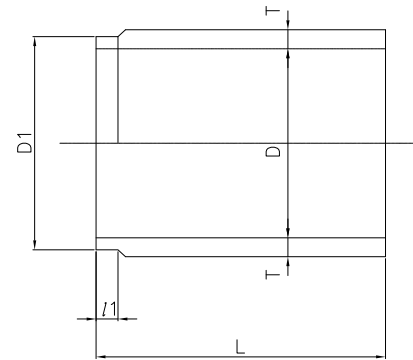
[ JSWAS A-6 ]

## 短管

短管 A



短管 B



## 寸法表

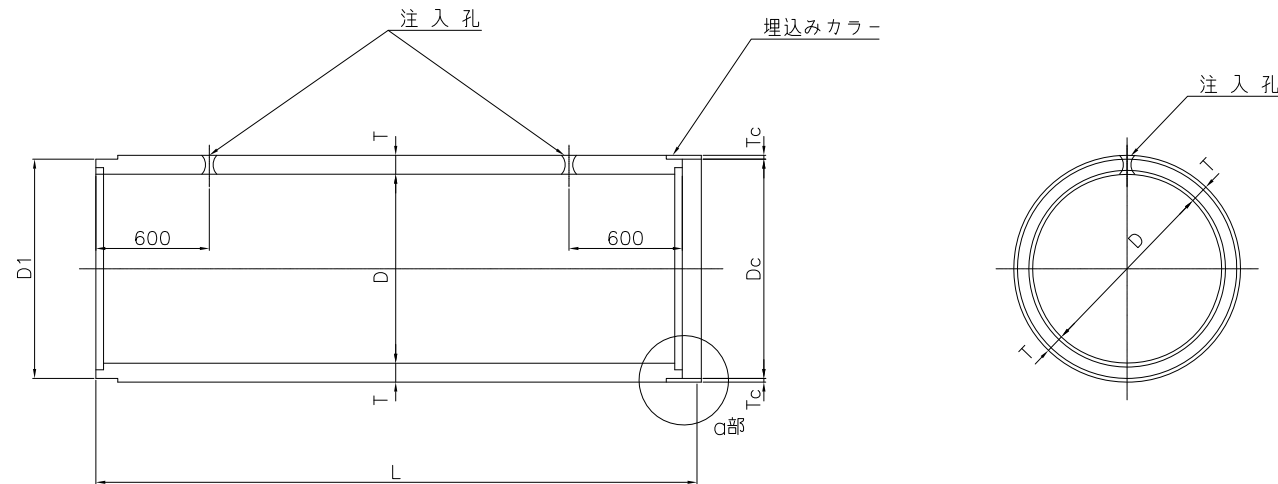
(単位: mm)

呼び径	内径 D	D1	$\pi D1$	厚さ T	有効長 L	l1	S	Lc	Lc1	Lc2	t	Dc	$\pi(Dc+2t)$
250	250±3	340±2	1068±3	55 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	990 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>							355	1125±3
300	300±4	394±2	1238±3	57 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								409	1294±3
350	350±4	450±2	1414±3	60 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	1200 <sup>+20</sup> <sub>-10</sub>	51 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	1.5	120 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	70	50±2	1.5	465	1470±3
400	400±4	506±2	1590±3	63 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								521	1646±3
450	450±4	564±2	1772±3	67 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								579	1828±3
500	500±4	620±2	1948±3	70 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								635	2004±3
600	600±4	736±2	2312±3	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>								754	2381±3
700	700±4	856 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2689±3	90 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	81 <sup>+3</sup> <sub>-1</sub>	2.5	170 <sup>+5</sup> <sub>-2</sub>	90	80±2	2.0	874	2758±3	

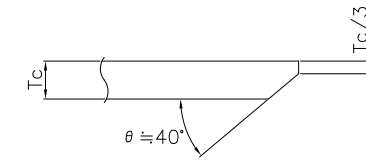
# 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (1)

[ JSWAS A-2 ]

## 標準管



## a 部詳細図



## 寸法表

(単位: mm)

呼び径	内径 D	D1	$\pi D1$	D2	厚さ T	有効長 L	Tc	Dc	$\pi(Dc+2Tc)$
800	800±4	933 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	2931±3	942	80 <sup>+4</sup> <sub>-2</sub>	2430 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	4.5	951	3016±3
900	900±6	1053 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3308±3	1062	90 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>			1071	3393±3
1000	1000±6	1173 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	3685±3	1182	100 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>			1191	3770±3
1100	1100±6	1283 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4031±3	1292	105 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>			1301	4115±3
1200	1200±6	1403 <sup>+3</sup> <sub>-2</sub>	4408±3	1412	115 <sup>+6</sup> <sub>-3</sub>			1421	4492±3
1350	1350±8	1563 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	4910±6	1577	125 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>		6	1588	5027±5
1500	1500±8	1743 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	5476±6	1757	140 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>			1768	5592±5
1650	1650±8	1913 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6010±6	1927	150 <sup>+8</sup> <sub>-4</sub>			1938	6126±5
1800	1800±10	2083 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	6544±6	2097	160 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>			2108	6660±5
2000	2000±10	2313 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7267±6	2327	175 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>			2338	7383±5
2200	2200±10	2543 <sup>+4</sup> <sub>-3</sub>	7989±6	2557	190 <sup>+10</sup> <sub>-5</sub>	9	2568	8105±5	
2400	2400±12	2763 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	8680±9	2779	205 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>		2792	8828±5	
2600	2600±12	2993 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	9403±9	3009	220 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>		3022	9550±5	
2800	2800±12	3223 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10125±9	3239	235 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>		3252	10273±5	
3000	3000±12	3453 <sup>+5</sup> <sub>-3</sub>	10848±9	3469	250 <sup>+12</sup> <sub>-6</sub>		3482	10996±5	

- 注 1.標準管の有効長は、1200<sup>+10</sup><sub>-5</sub>とすることができる。  
 2.標準管の形状は、カーナなしとすることができる。ただし、有効長は2430<sup>+10</sup><sub>-20</sub>、1200<sup>+10</sup><sub>-20</sub>とする。  
 3.有効長の最大と最小との差は、3mm以内とする。  
 4.呼び径1000以上の標準管には、緊結用埋込みナットをつけることができる。  
 5.注入孔の数及び位置は、必要に応じて変えることができる。

# 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (2)

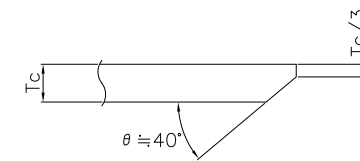
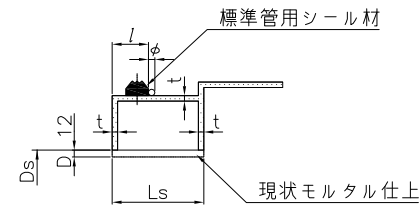
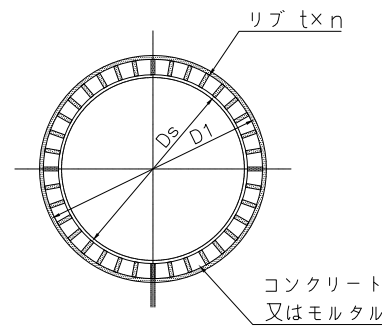
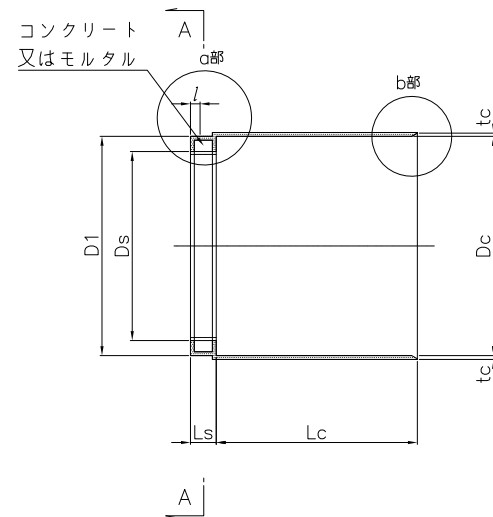
[ JSWAS A-2 ]

## 中押管 S

## a部詳細図

## b部詳細図

### A-A 断面

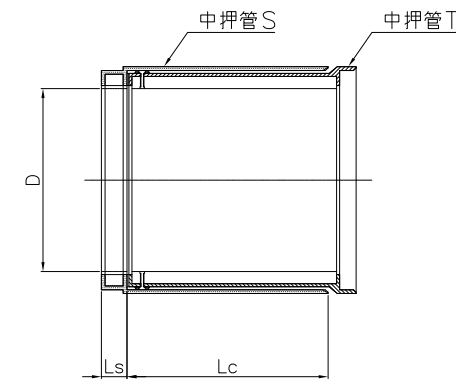


## 中押管 S、T の組合わせ図

### 寸法表

(単位: mm)

呼び径	内径 D	Ds	D1	$\pi D1$	Dc	$\pi(Dc+2tc)$	有効長 Ls	Lc	l	tc	t	$\phi$	リブ n (枚)
1000	1000	1024	1173 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	3685±3	1182	3770±3	150±2	1100 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	60	9	16	6	28
1100	1100	1124	1283 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	4031±3	1292	4115±3	32						
1200	1200	1224	1403 <sup>+3</sup> / <sub>-2</sub>	4408±3	1406	4492±3	36						
1350	1350	1374	1563 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	4910±6	1576	5027±5	155±2	1150 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	12	19	9	40	
1500	1500	1524	1743 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	5476±6	1756	5592±5	44						
1650	1650	1674	1913 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	6010±6	1926	6126±5	48						
1800	1800	1824	2083 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	6544±6	2096	6660±5	160±2	1200 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	70	16	22	52	
2000	2000	2024	2313 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	7267±6	2326	7383±5	58						
2200	2200	2224	2543 <sup>+4</sup> / <sub>-3</sub>	7989±6	2556	8105±5	64						
2400	2400	2424	2763 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	8680±9	2778	8828±5	180±2	70	16	25	9	72	
2600	2600	2624	2993 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	9403±9	3008	9550±5						78	
2800	2800	2824	3223 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	10125±9	3238	10273±5						84	
3000	3000	3024	3453 <sup>+5</sup> / <sub>-3</sub>	10848±9	3468	10996±5							90

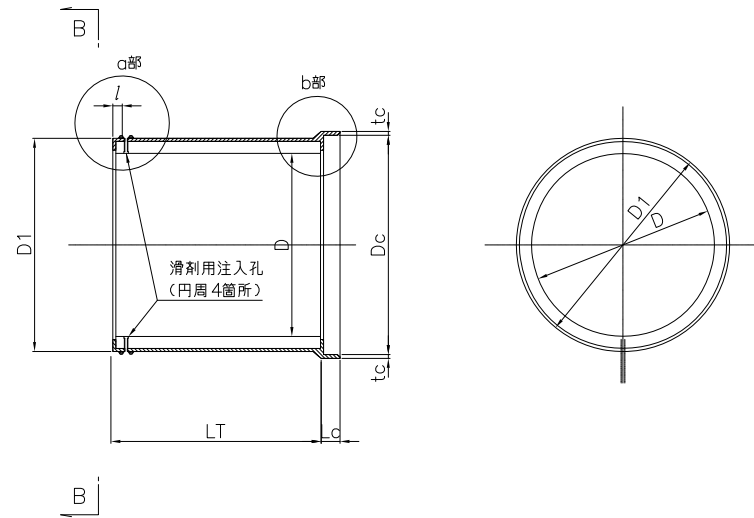


# 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (3)

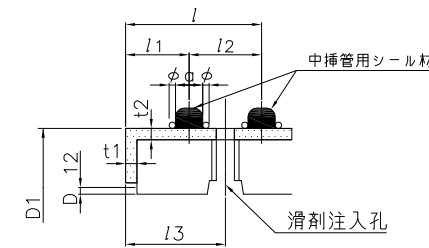
[ JSWAS A-2 ]

## 中 押 管 T

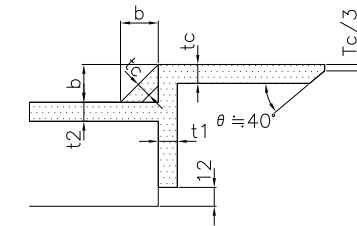
### B-B 断面



### a部詳細図



### b部詳細図



寸 法 表 (1)

(単位 : mm)

呼び径	内 径 D	D1	$\pi D1$	Dc	$\pi (Dc+2tc)$	有効長 LT	Lc
1000	1000±6	1164 $\begin{smallmatrix} +3 \\ -2 \end{smallmatrix}$	3657±3	1191	3770±3	1150 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -3 \end{smallmatrix}$	130±2
1100	1100±6	1274 $\begin{smallmatrix} +3 \\ -2 \end{smallmatrix}$	4002±3	1301	4115±3		
1200	1200±6	1388 $\begin{smallmatrix} +3 \\ -2 \end{smallmatrix}$	4361±3	1421	4492±3		
1350	1350±8	1551 $\begin{smallmatrix} +4 \\ -3 \end{smallmatrix}$	4873±6	1588	5027±5		
1500	1500±8	1731 $\begin{smallmatrix} +4 \\ -3 \end{smallmatrix}$	5438±6	1768	5592±5		
1650	1650±8	1901 $\begin{smallmatrix} +4 \\ -3 \end{smallmatrix}$	5972±6	1938	6126±5		
1800	1800±10	2071 $\begin{smallmatrix} +4 \\ -3 \end{smallmatrix}$	6506±6	2108	6660±5		
2000	2000±10	2301 $\begin{smallmatrix} +4 \\ -3 \end{smallmatrix}$	7229±6	2338	7383±5		
2200	2200±10	2531 $\begin{smallmatrix} +4 \\ -3 \end{smallmatrix}$	7951±6	2568	8105±5		
2400	2400±12	2749 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -3 \end{smallmatrix}$	8636±9	2792	8828±5		
2600	2600±12	2979 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -3 \end{smallmatrix}$	9359±9	3022	9550±5	1250 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -3 \end{smallmatrix}$	150±2
2800	2800±12	3209 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -3 \end{smallmatrix}$	10081±9	3252	10273±5		
3000	3000±12	3439 $\begin{smallmatrix} +5 \\ -3 \end{smallmatrix}$	10804±9	3482	10996±5		

寸 法 表 (2)

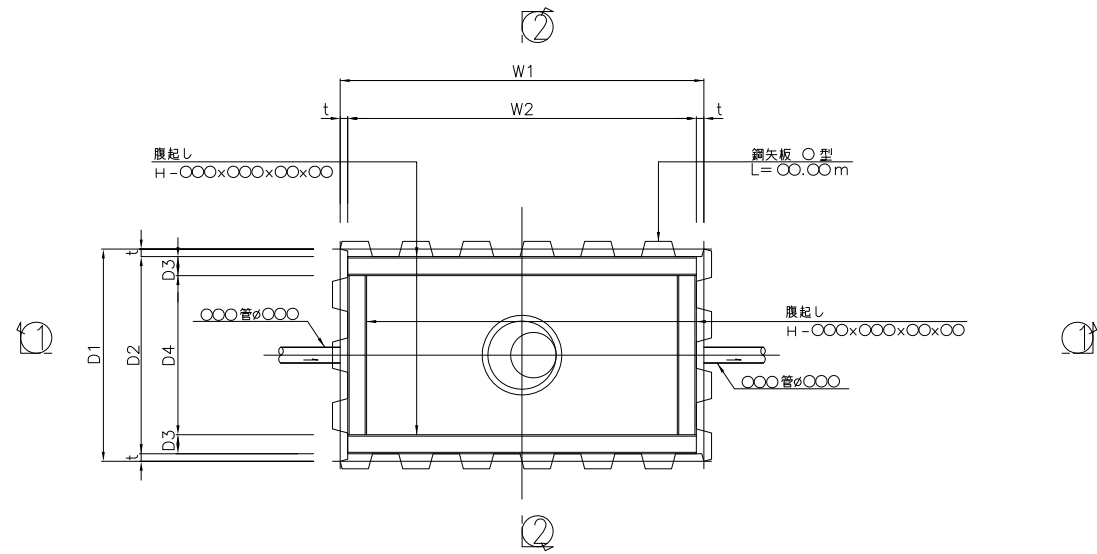
(単位 : mm)

呼び径	l	l1	l2	l3	a	b	t <sub>c</sub>	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	φ
1000	125	60	65	92.5	26	18	4.5	9	6	6
1100						21				
1200										
1350	140	65	75	102.5	30	24	6	6	9	9
1500										
1650										
1800										
2000										
2200	12									
2400	150	70	80	110	34	30	9	9	9	9
2600										
2800										
3000										

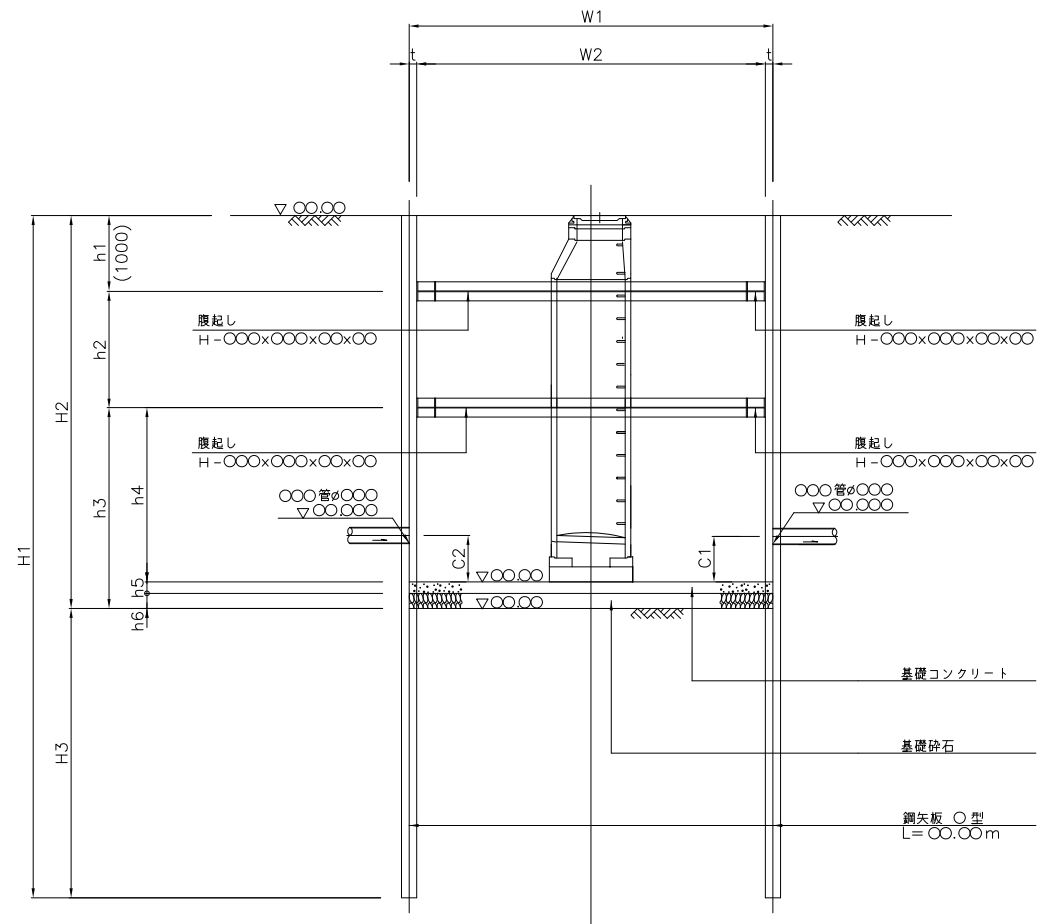
推進用立坑構造図(1) [参考図] 縮尺 1/100

{鋼矢板工法・発進立坑}

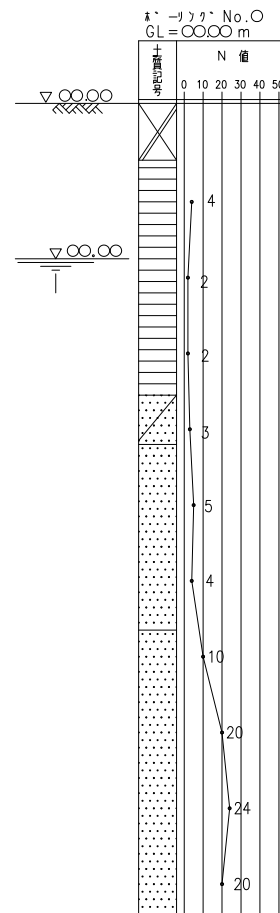
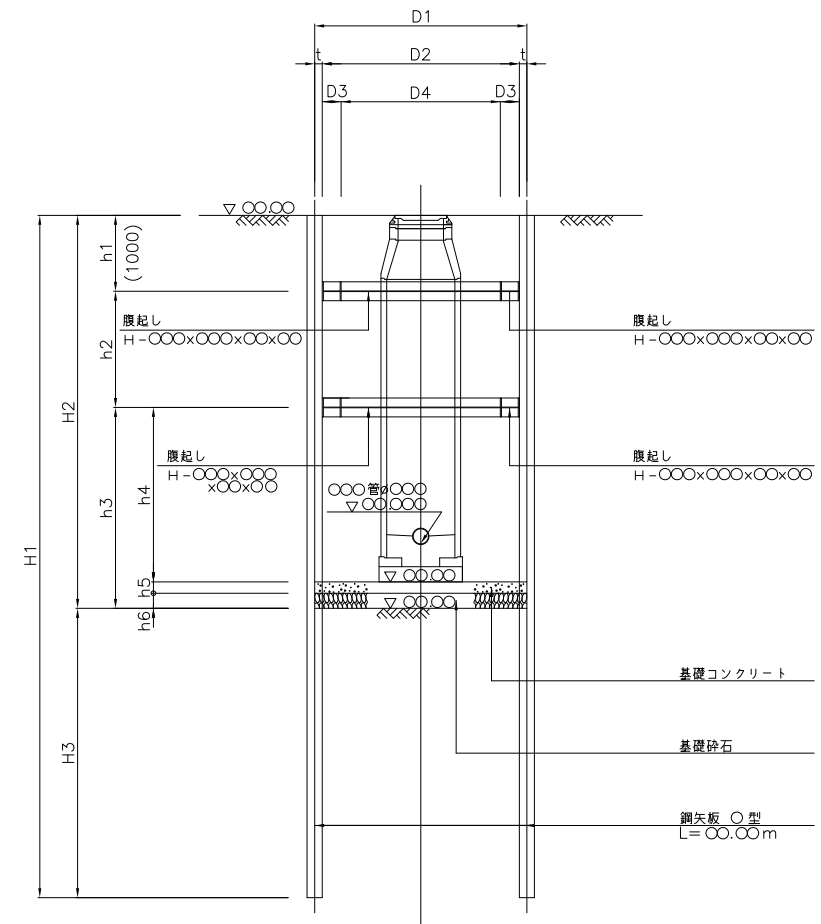
平面図



①-① 断面



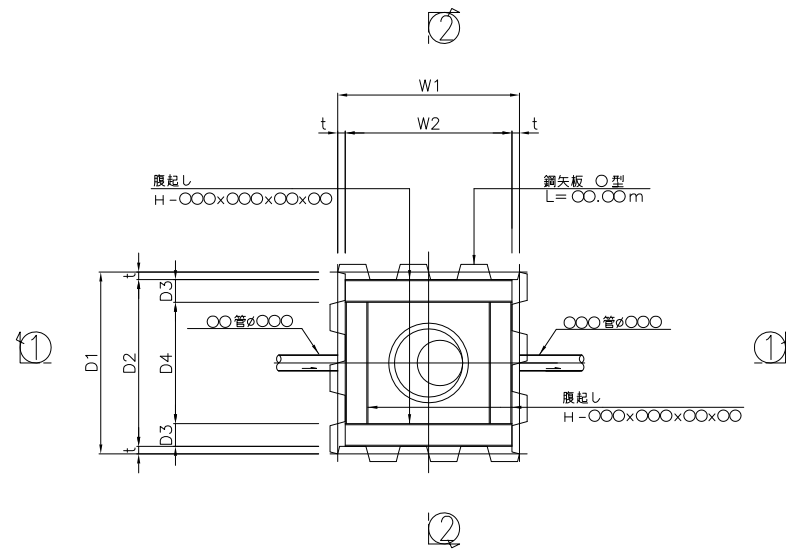
②-② 断面



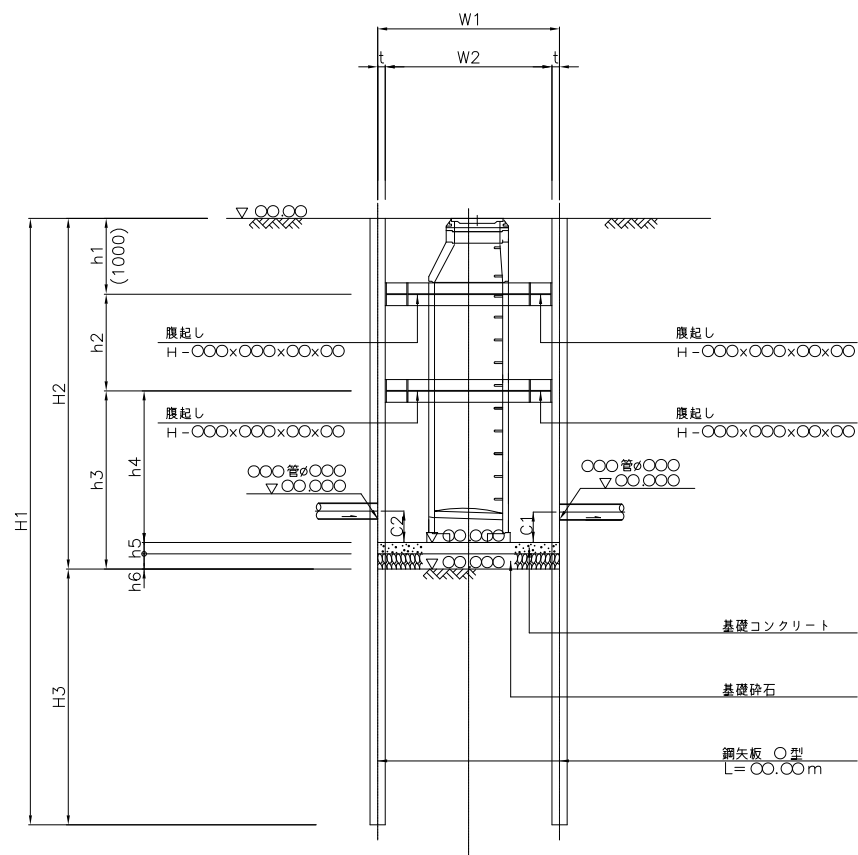
推進用立坑構造図(2) [参考図] 縮尺 1/〇〇

{鋼矢板工法・到達立坑}

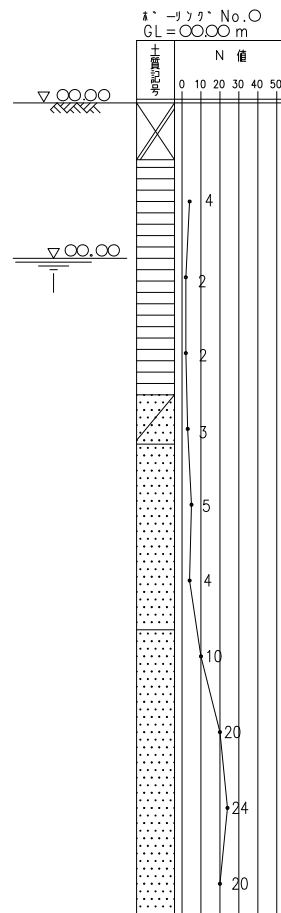
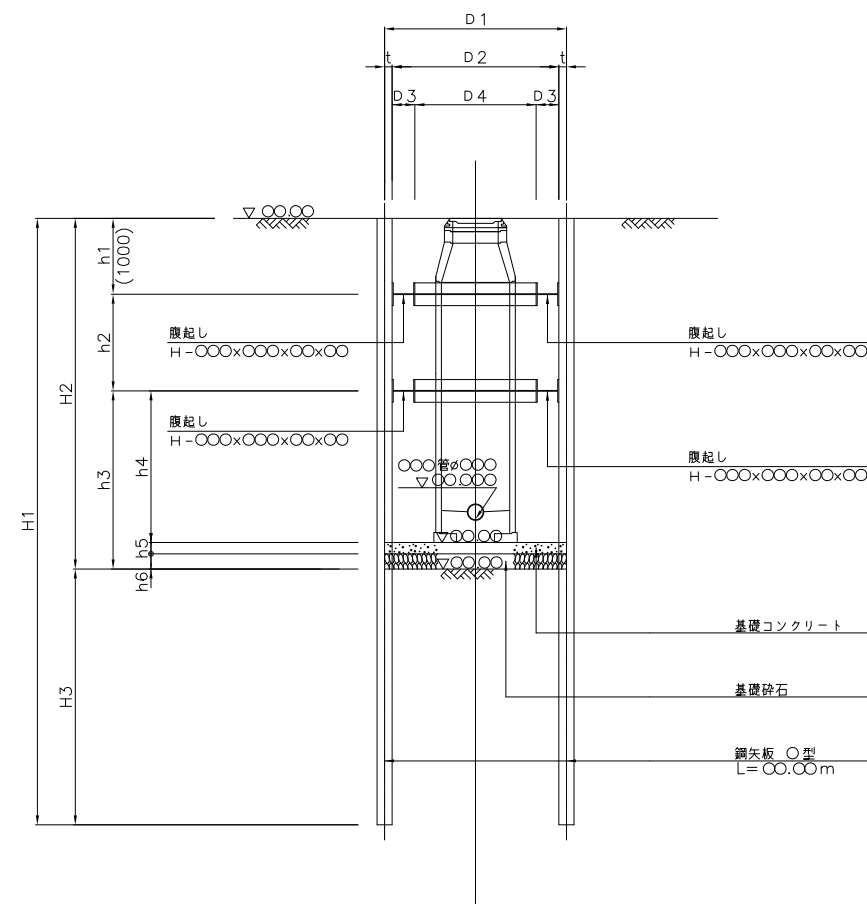
平面図



①-①断面



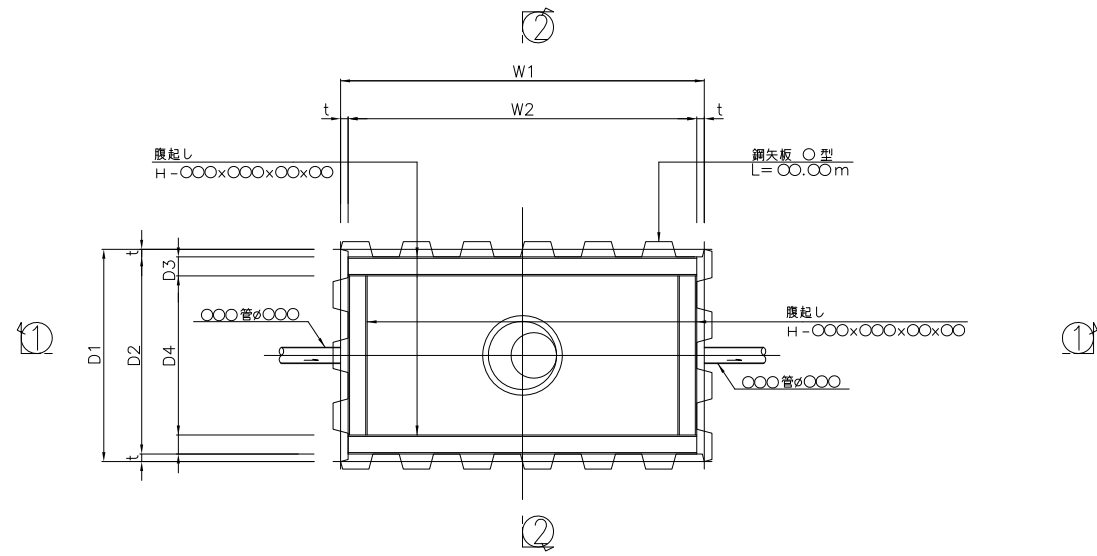
②-②断面



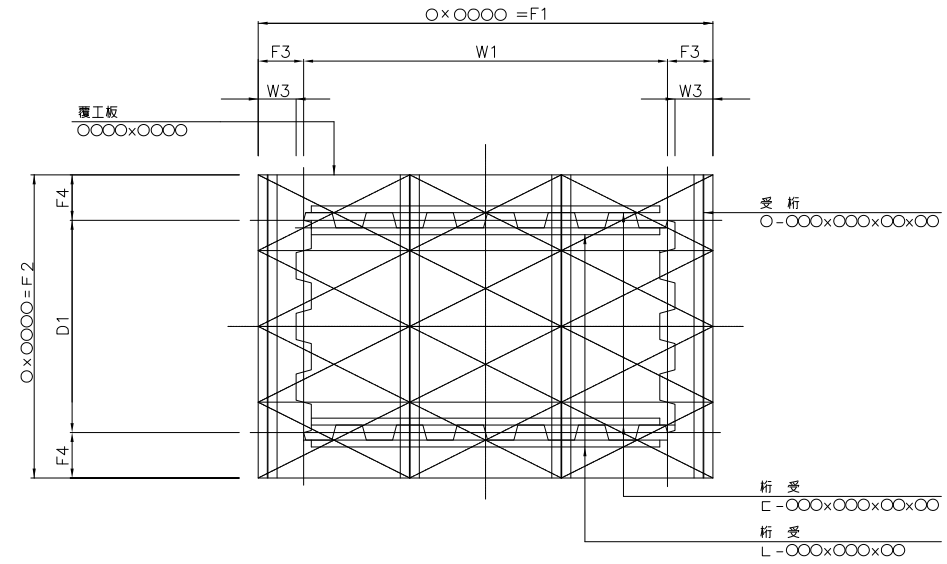
推進用立坑構造図(3) [参考図] 縮尺 1/〇〇

{鋼矢板工法・発進立坑・覆工設置}

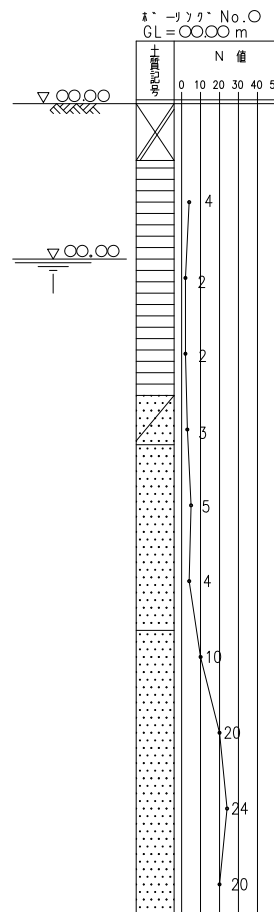
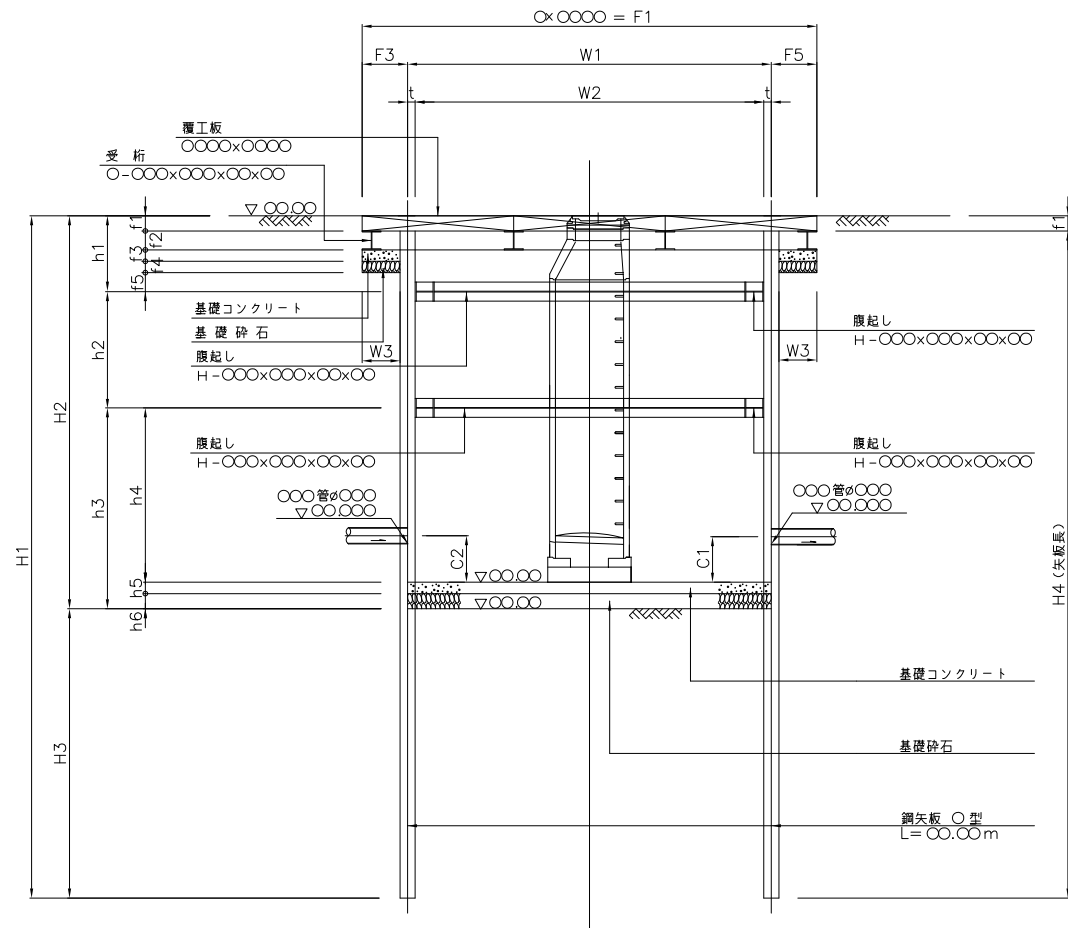
平面図



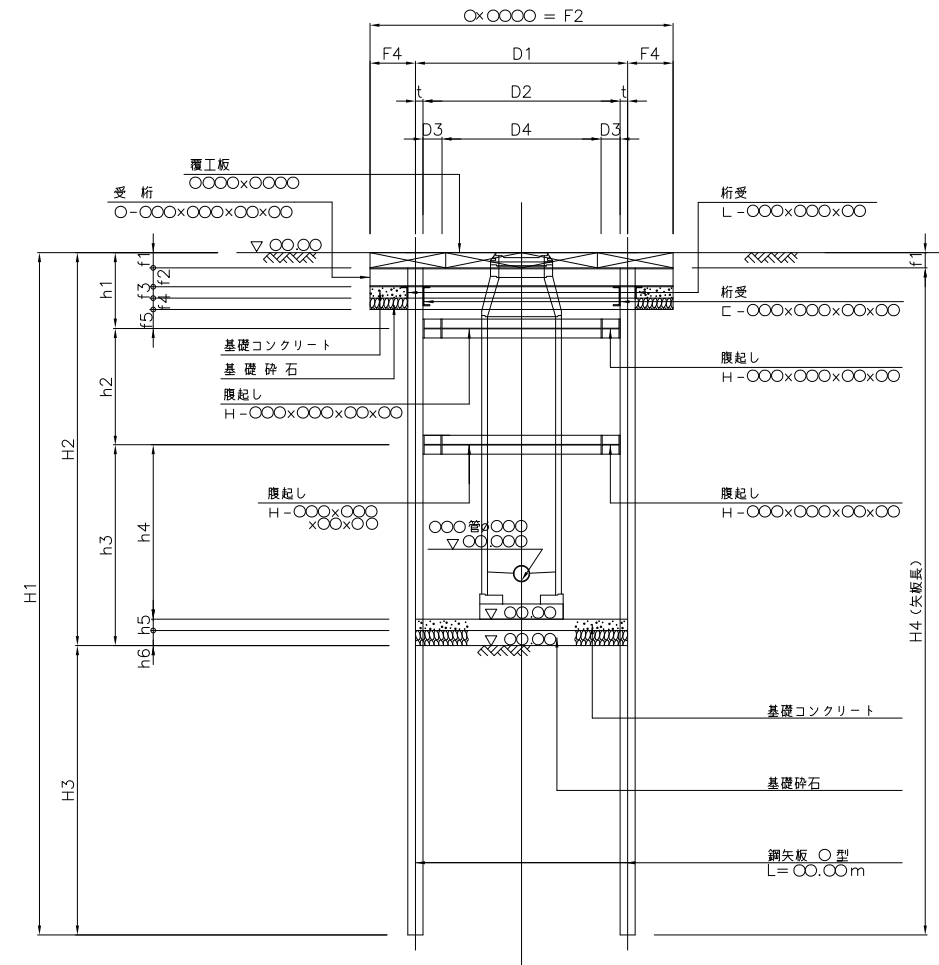
覆工平面図



①-①断面



②-②断面

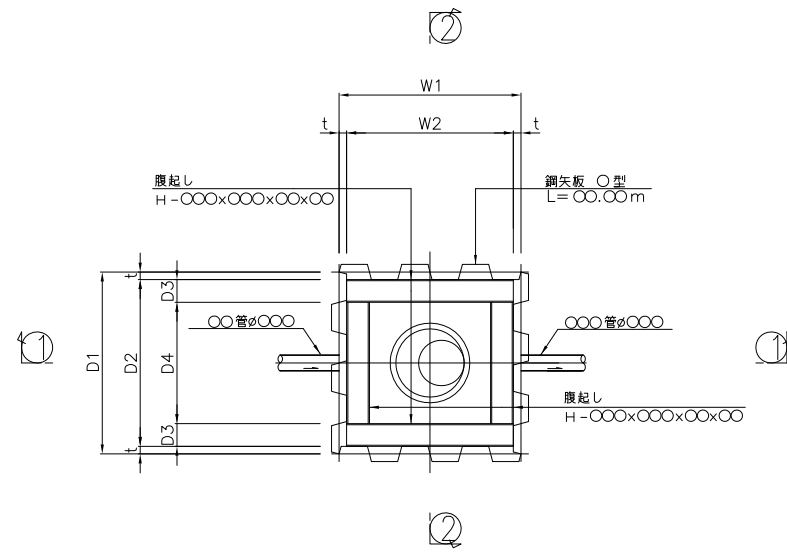


注) 構造図の覆工は矢板の支持力がある場合を示す

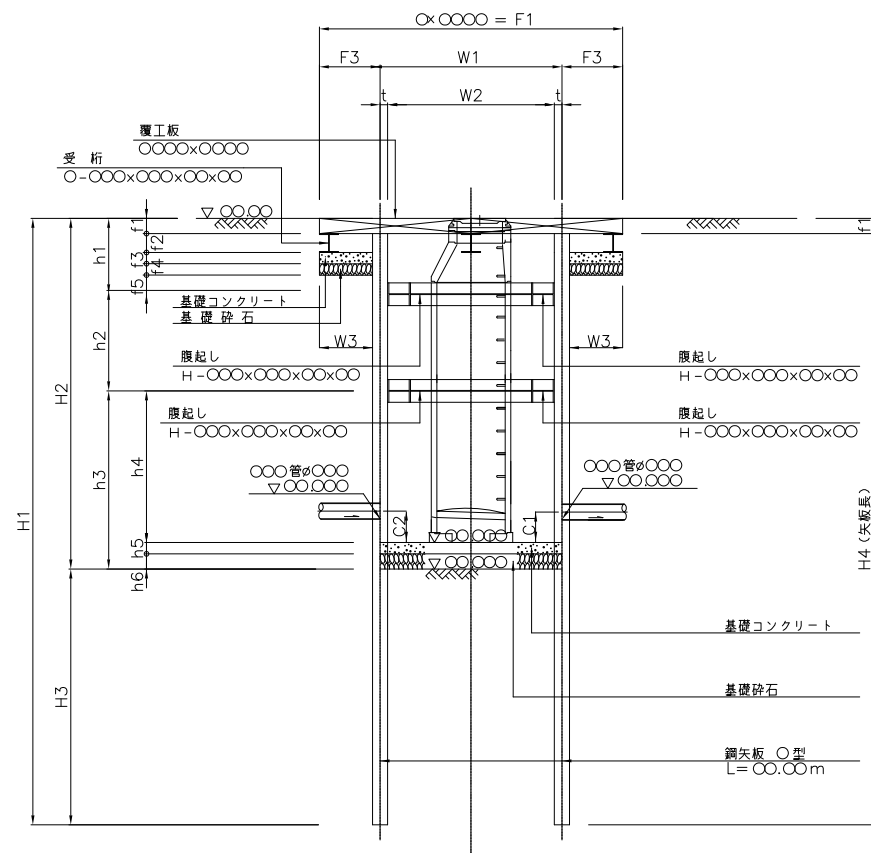
推進用立坑構造図(4) [参考図] 縮尺 1/〇〇

{鋼矢板工法・到達立坑・覆工設置}

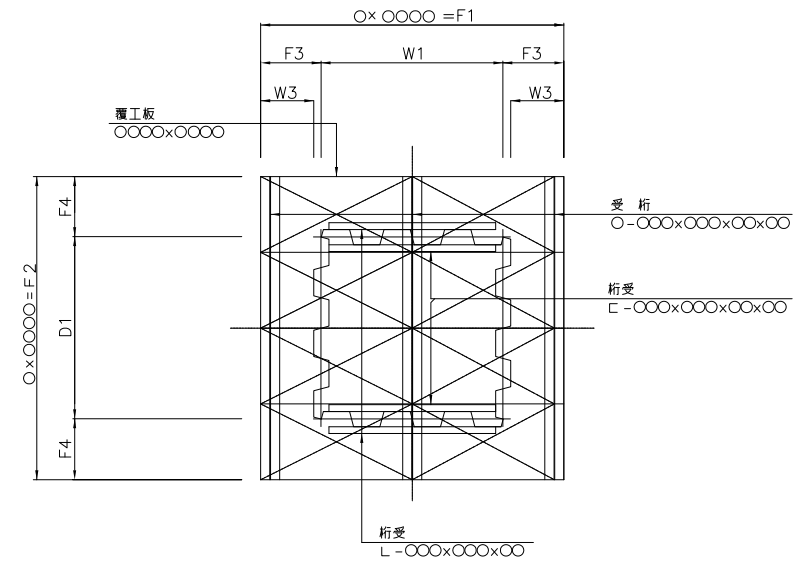
平面図



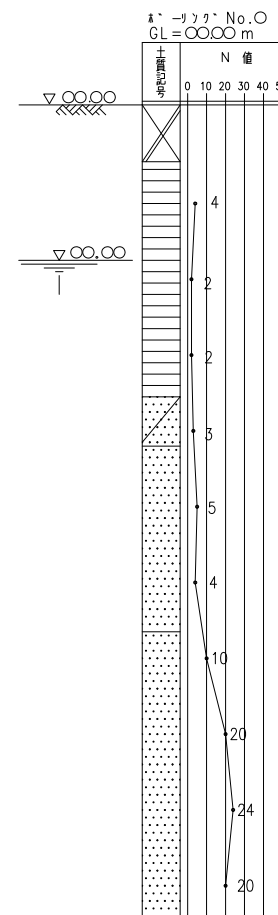
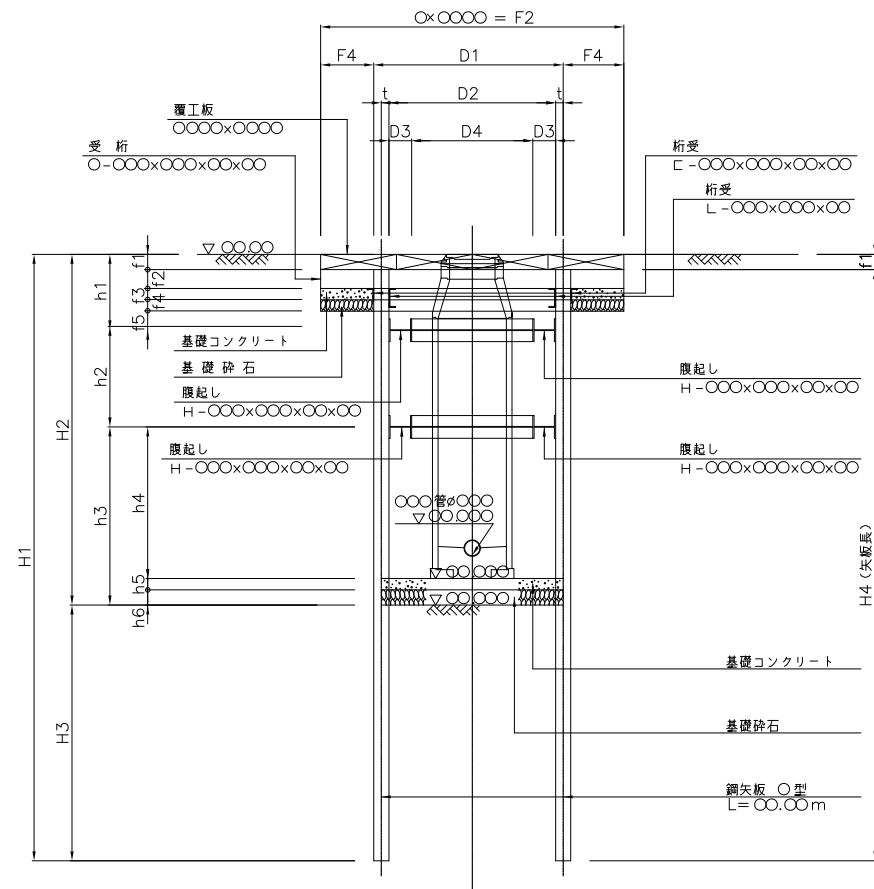
①-①断面



覆工平面図



②-②断面

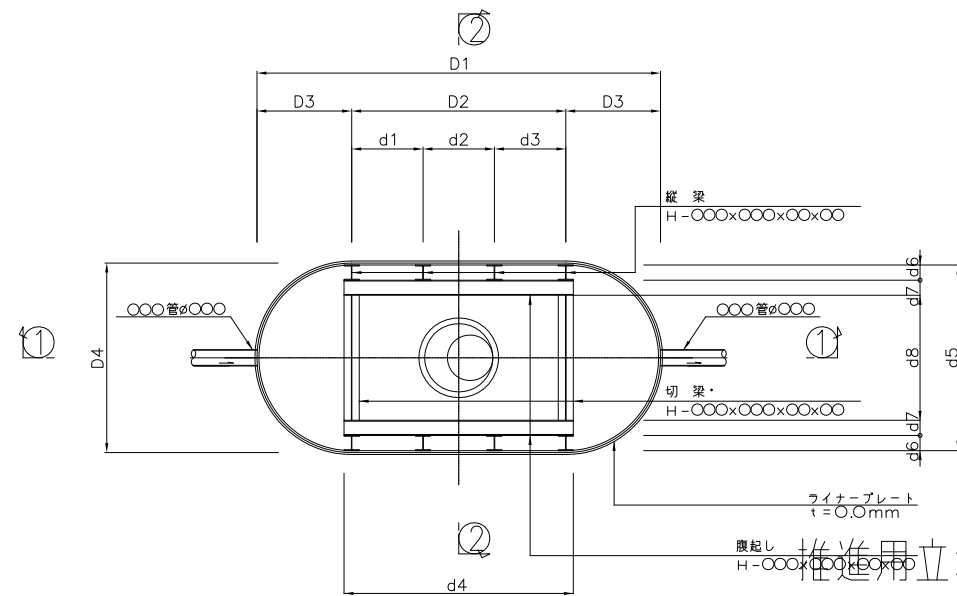


注) 構造図の覆工は矢板の支持力がある場合を示す

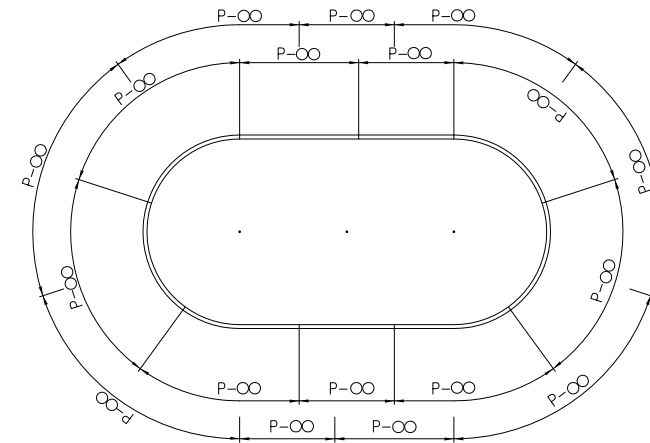
### 推進用立坑構造図(5) [参考図] 縮尺 1/〇〇

{ライナープレート工法(小判型)・発進立坑}

#### 平面図

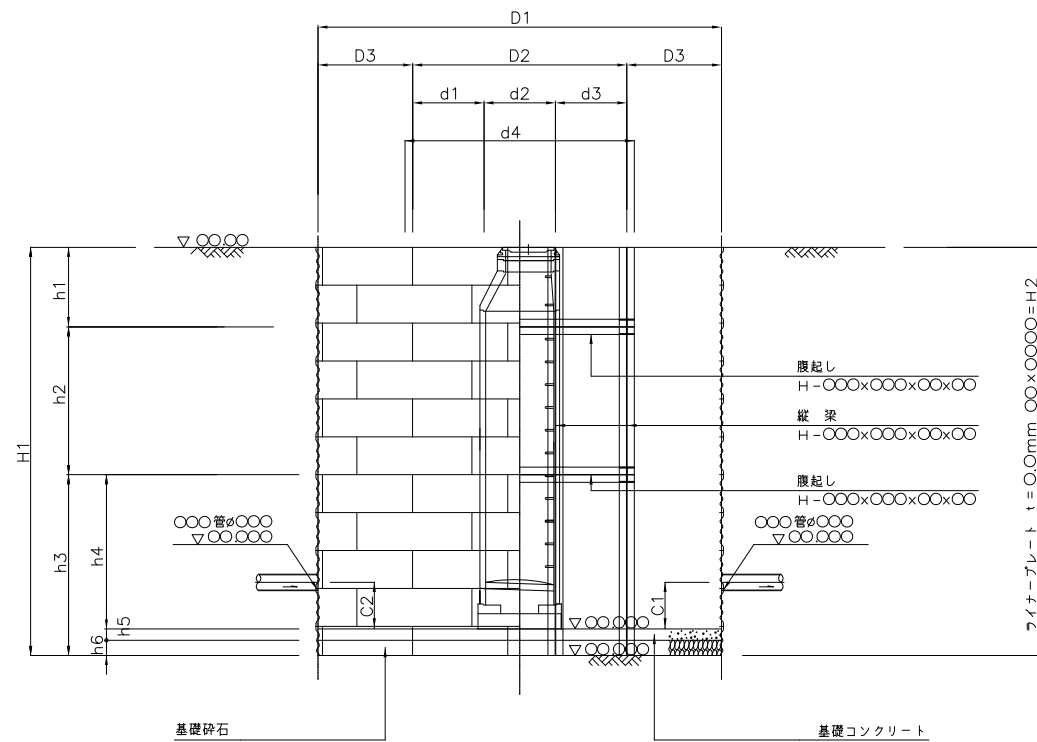


#### セクション構成図

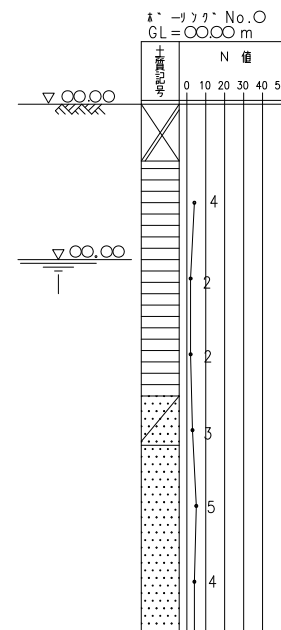
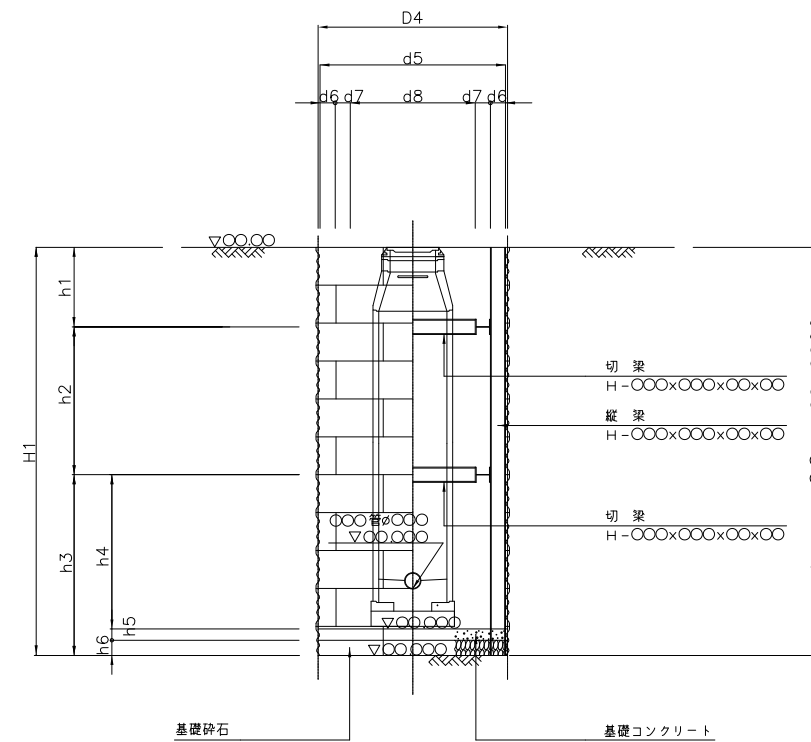


推進用立坑構造図(5) [参考図]

#### ①-①断面



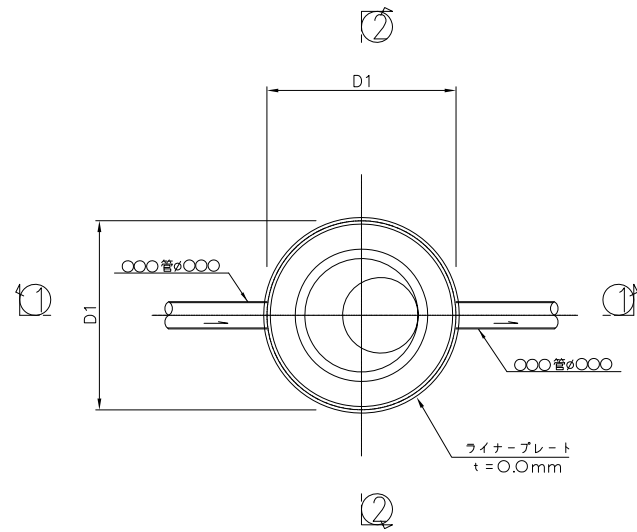
#### ②-②断面



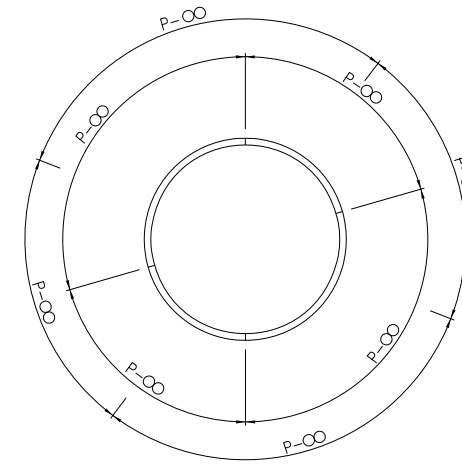
### 推進用立坑構造図(6) [参考図] 縮尺 1/〇〇

{ライナープレート工法(円形)・発進立坑}

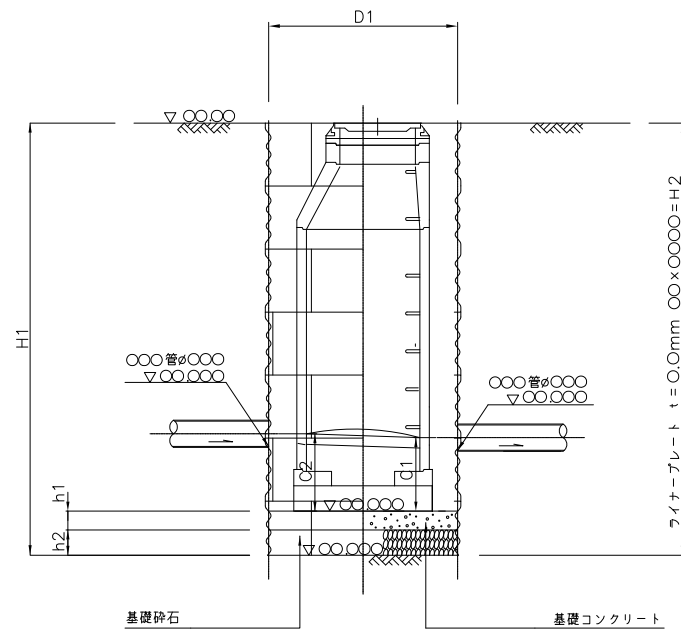
平面図



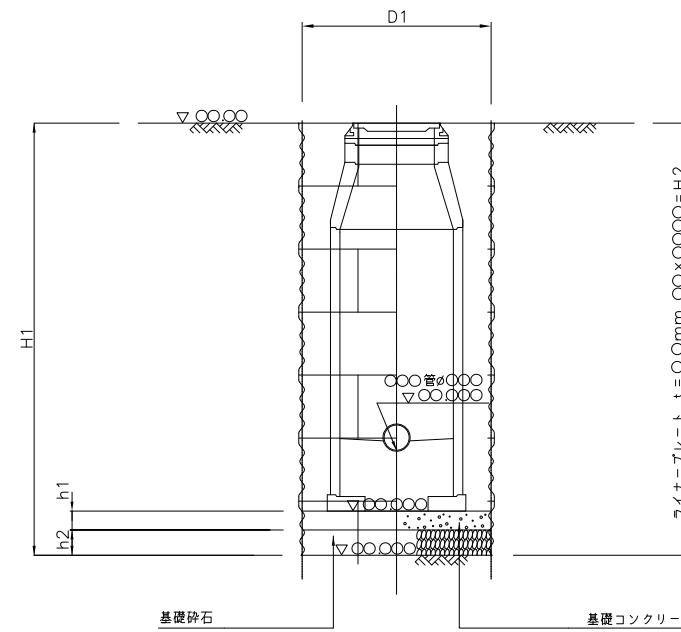
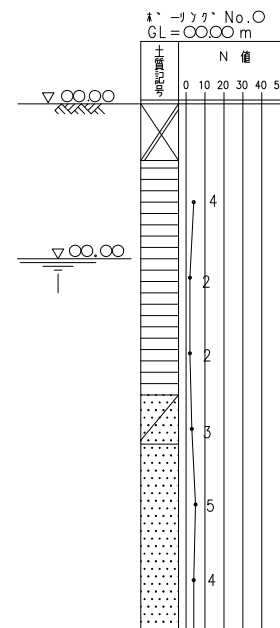
セクション構成図



①-①断面

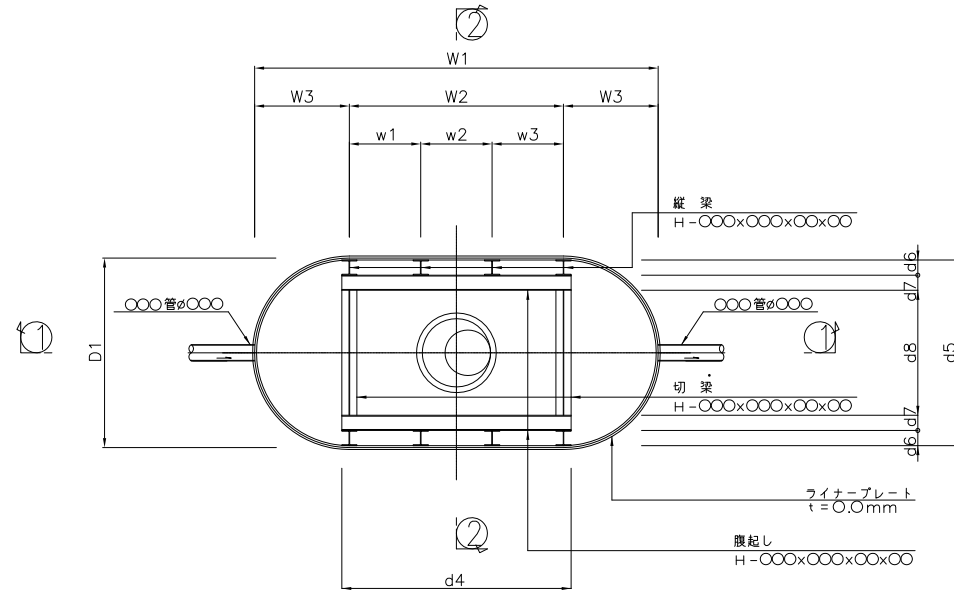


②-②断面

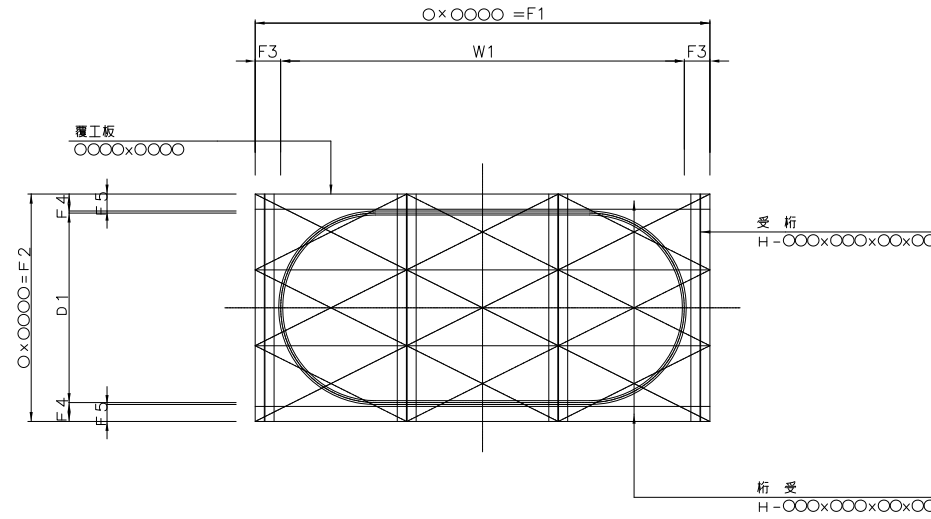


推進用立坑構造図(7) [参考図] 縮尺 1/100  
 {ライナープレート工法(小判型)・発進立坑・覆工設置}

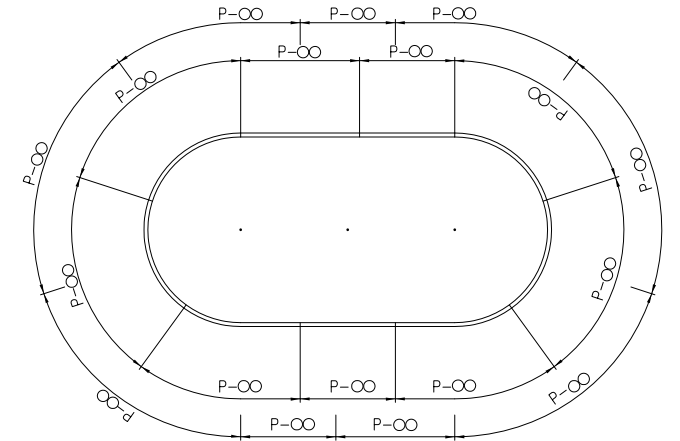
平面図



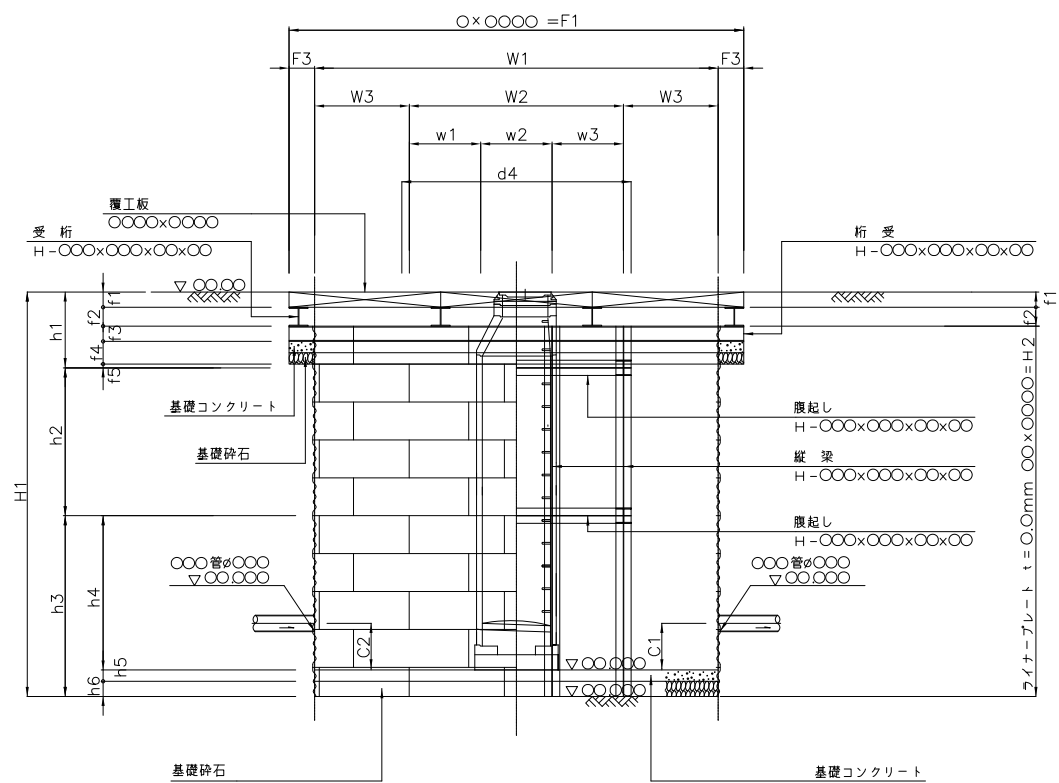
覆工平面図



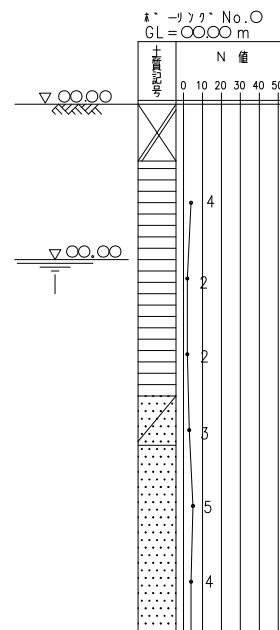
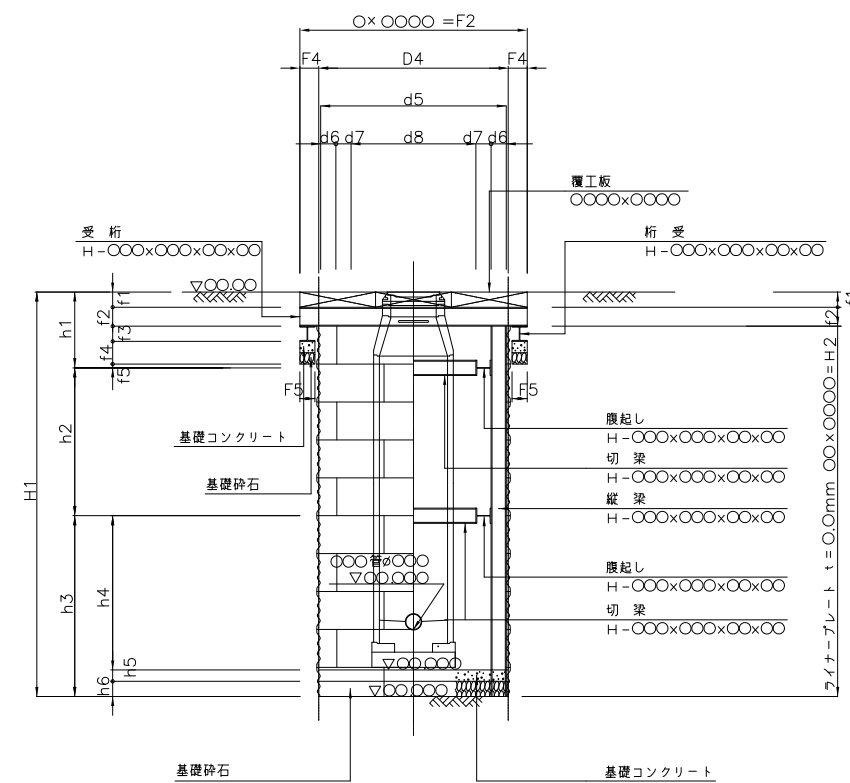
セクション構成図



①-①断面

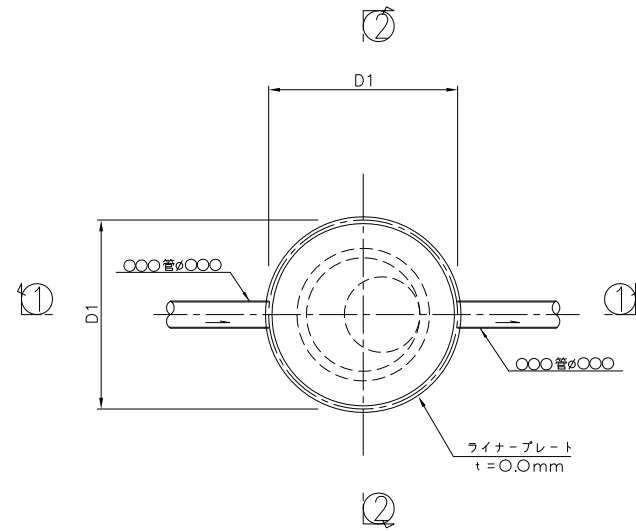


②-②断面

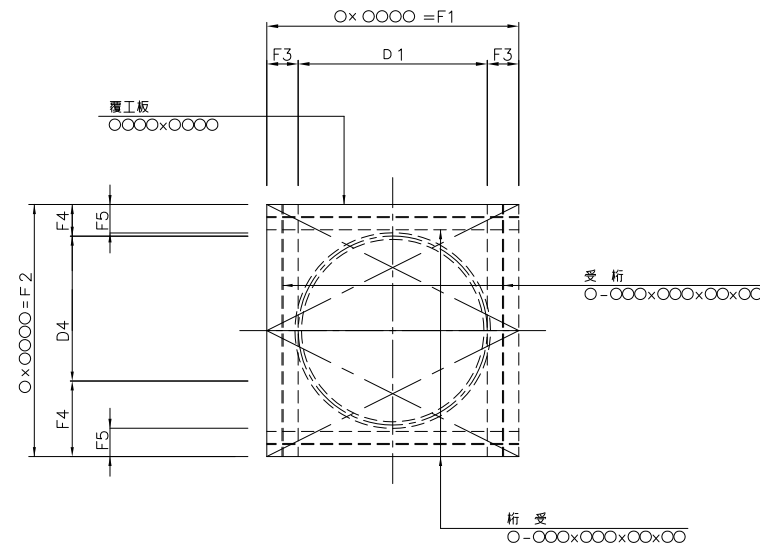


# 推進用立坑構造図(8) [参考図] 縮尺 1/〇〇 {ライナープレート工法(円形)・発進立坑・覆工設置}

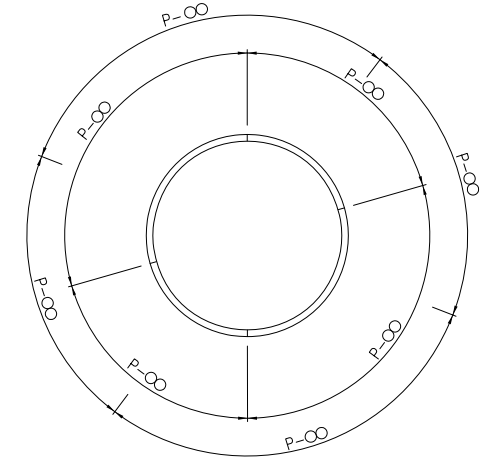
平面図



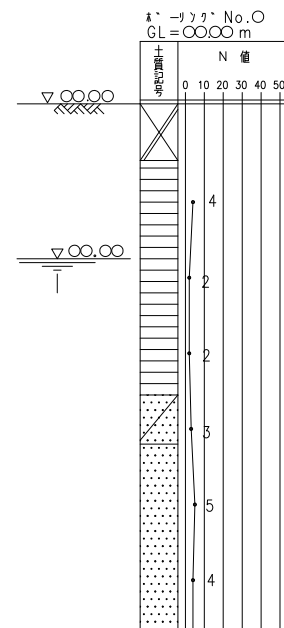
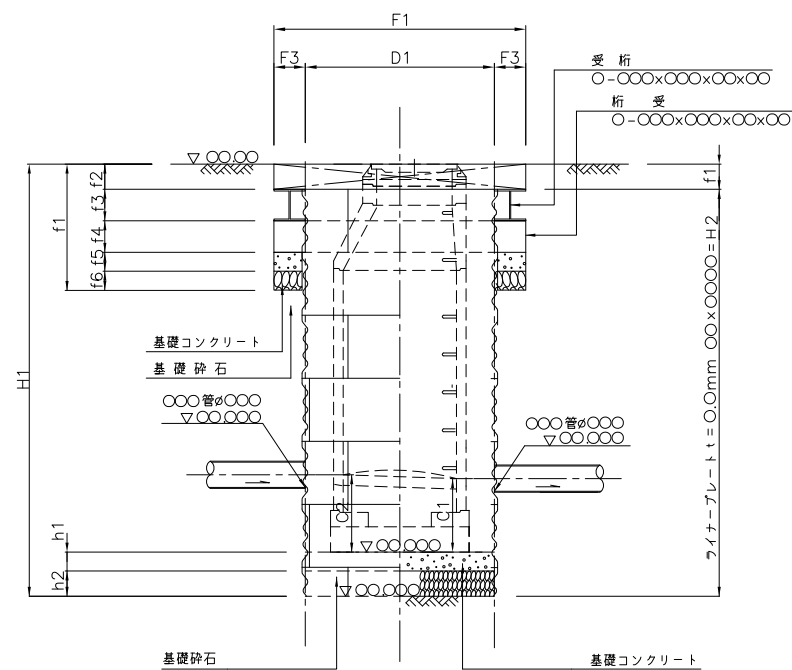
覆工平面図



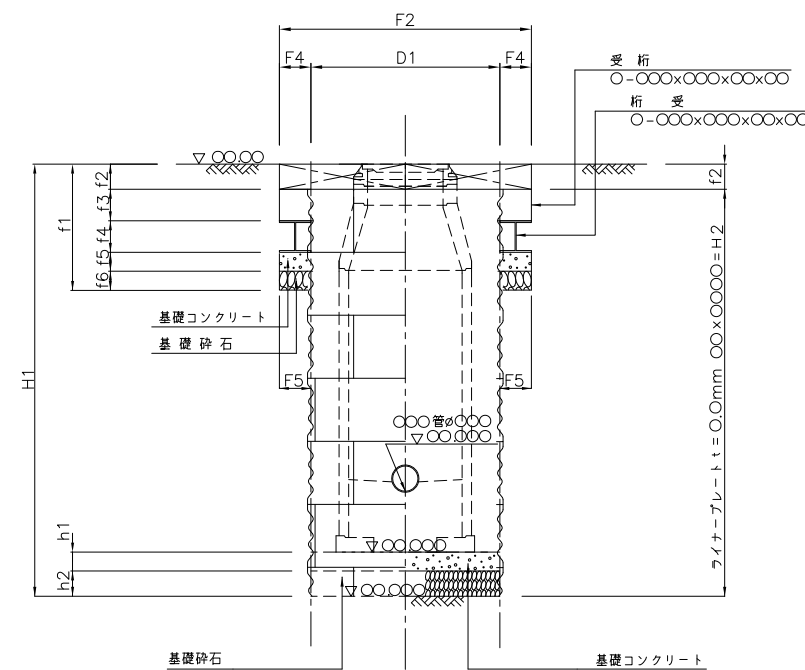
セクション構成図



①-①断面

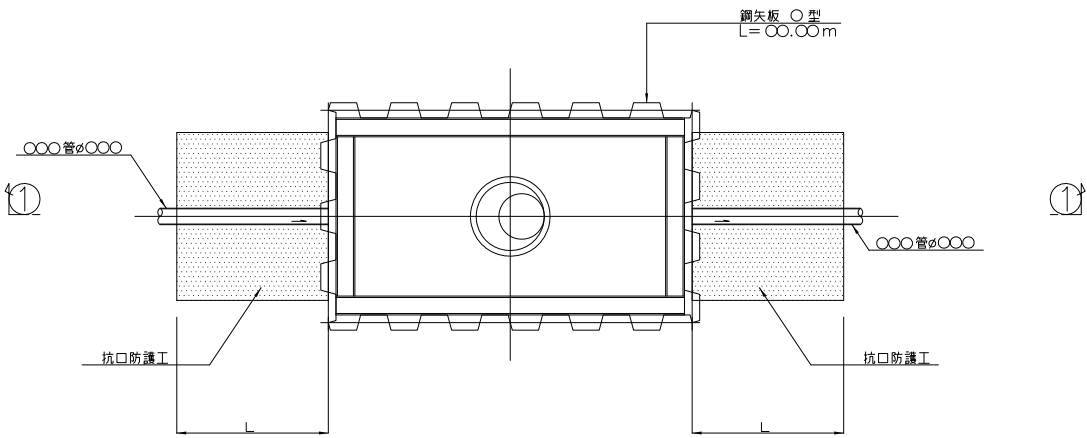


②-②断面

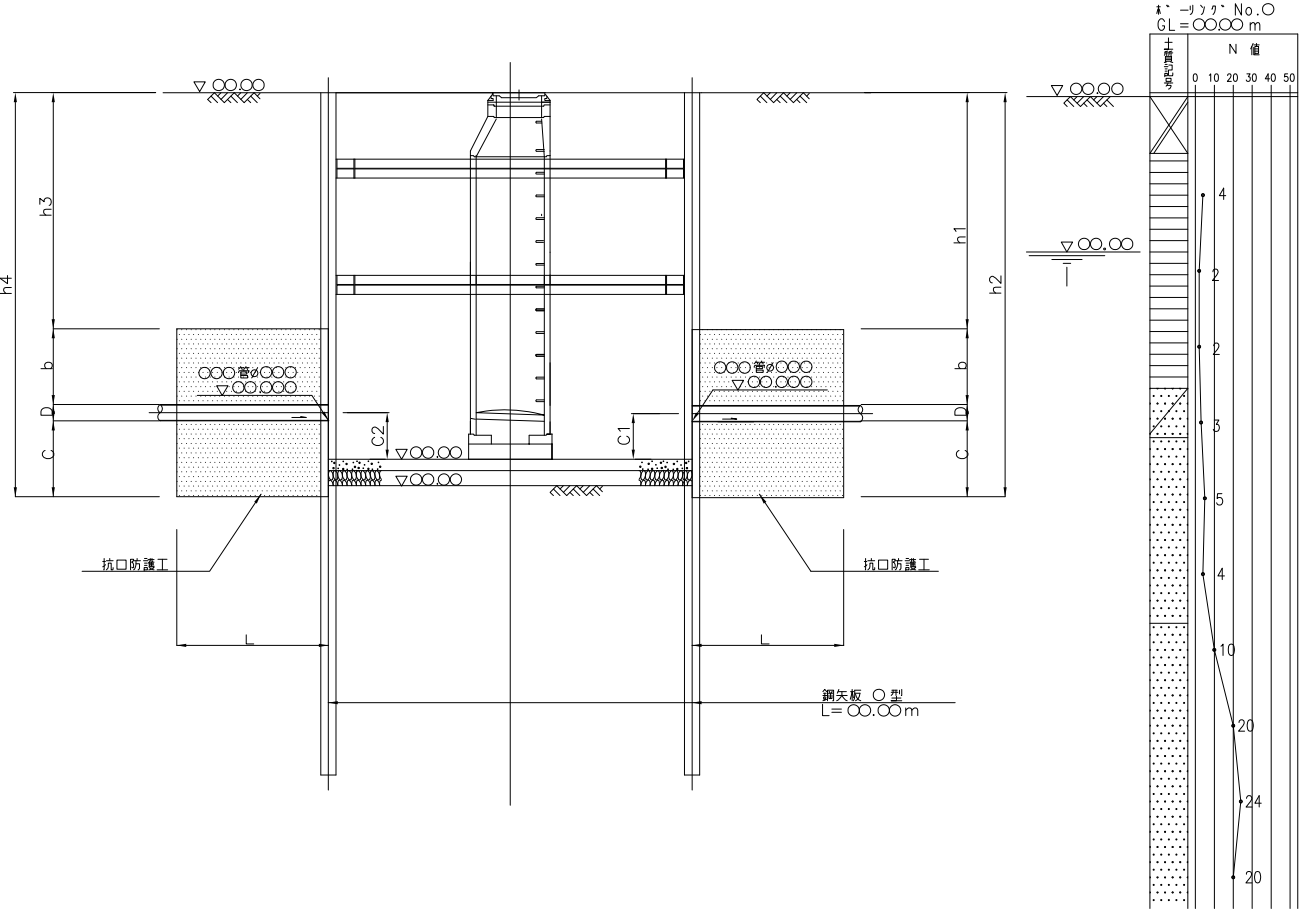
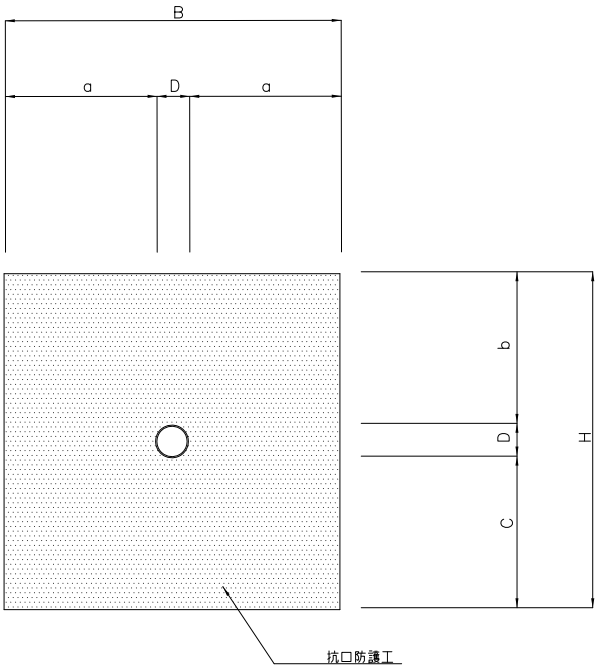


推進用立坑坑口防護工[参考図] 縮尺 1/100

平面図

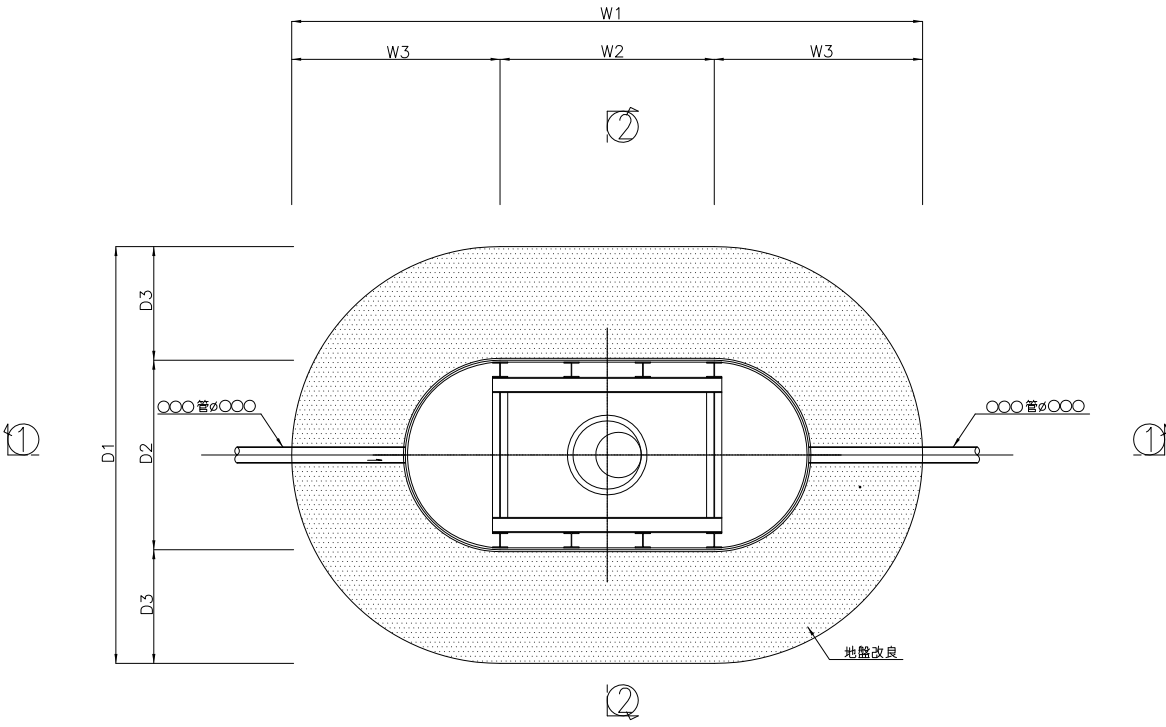


①-①断面

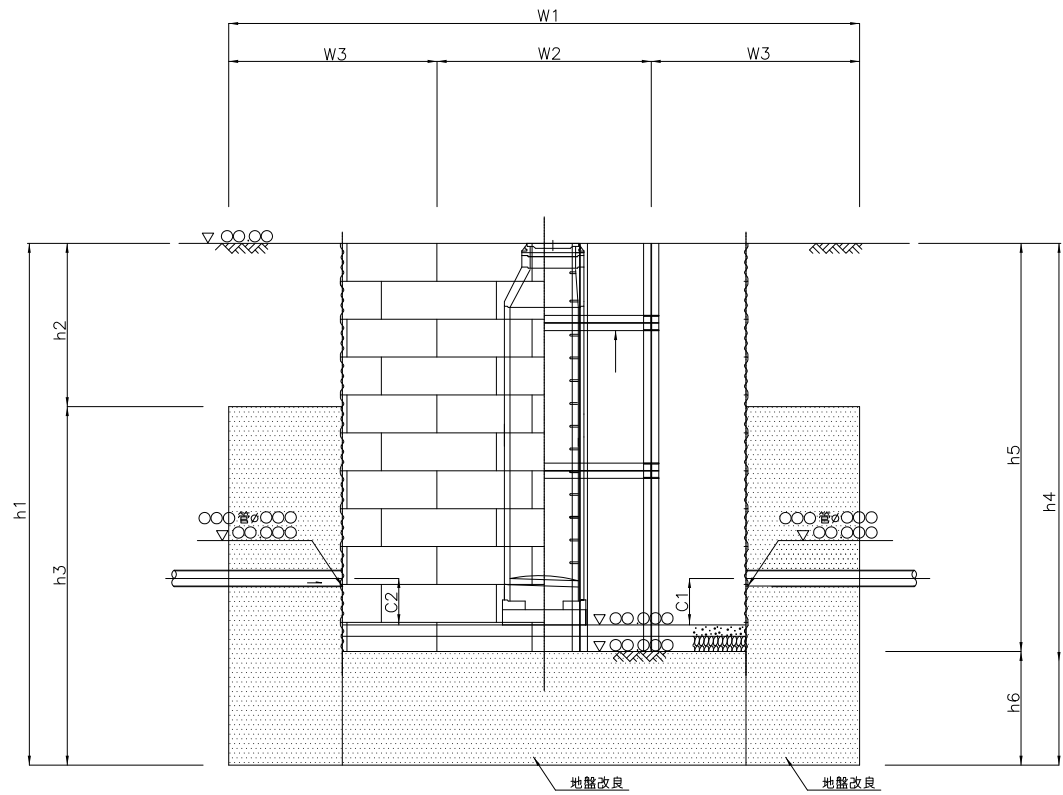


推進用立坑地盤改良工[参考図] 縮尺 1/100

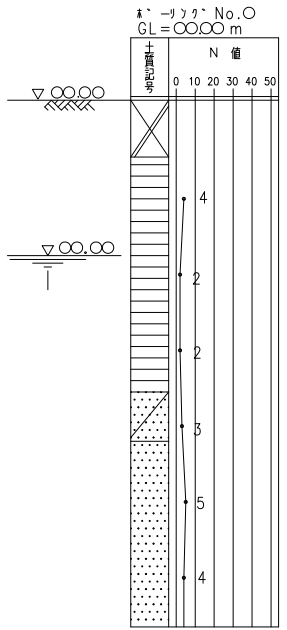
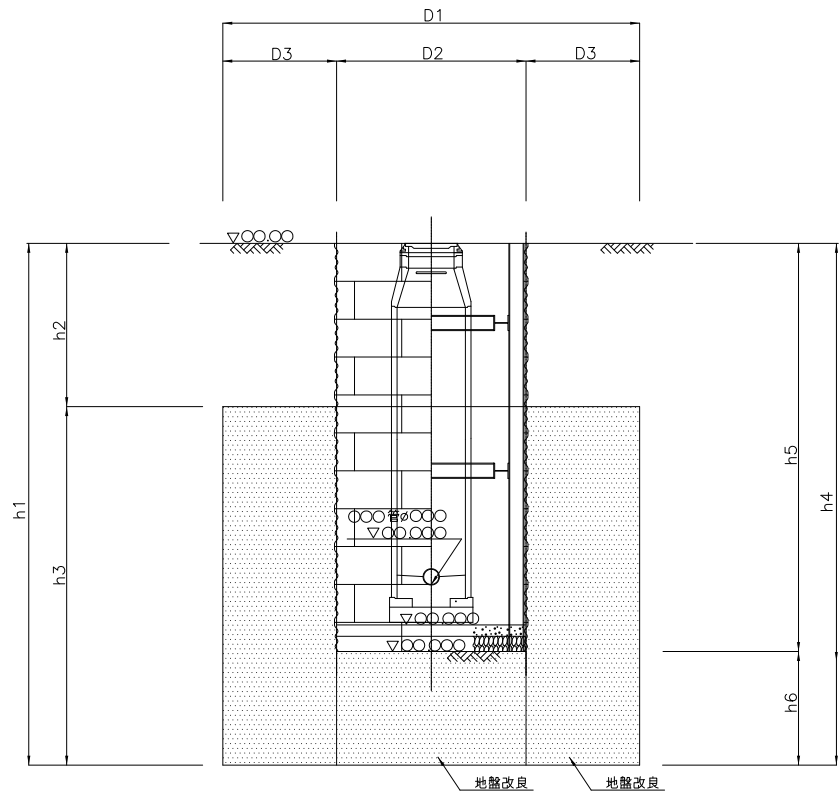
平面図



①-① 断面

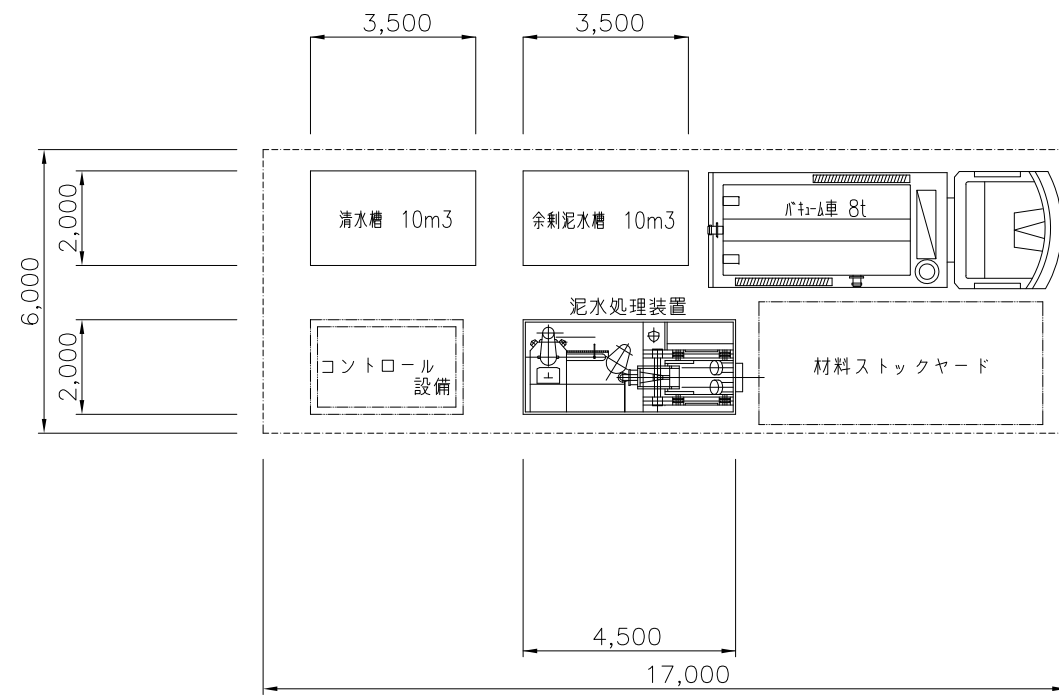


②-② 断面

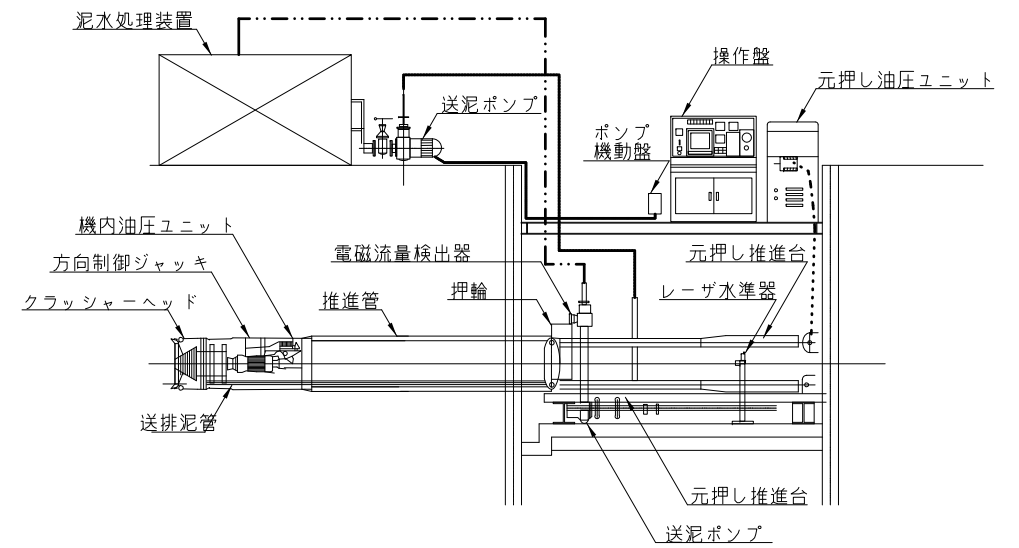


標準プラント施設図 {参考図}

平面図



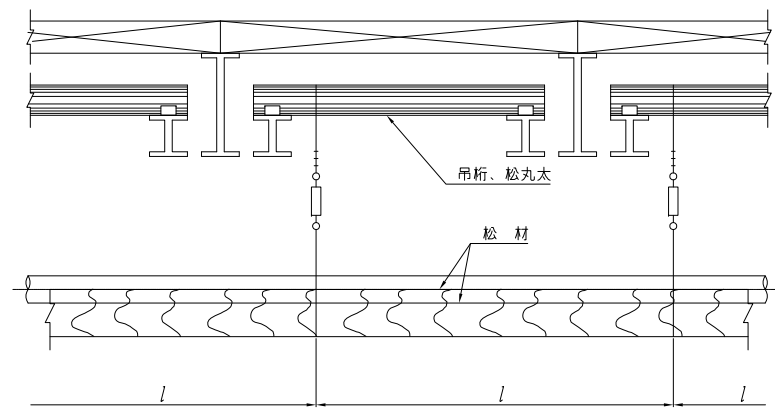
断面図



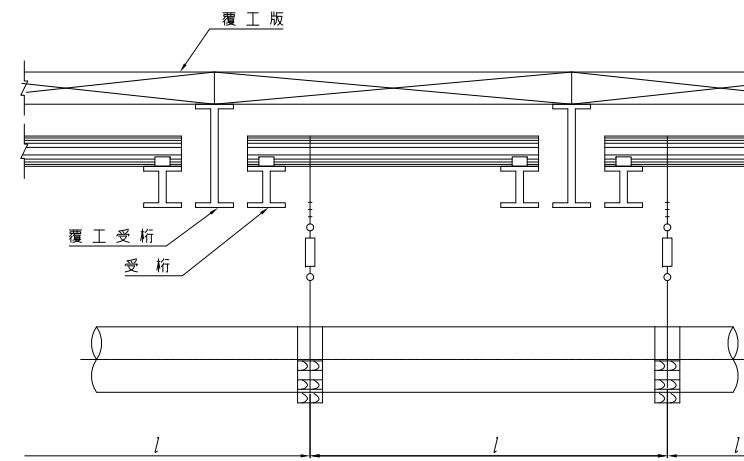
# 埋設管防護図 (1) [参考図]

## ガス管

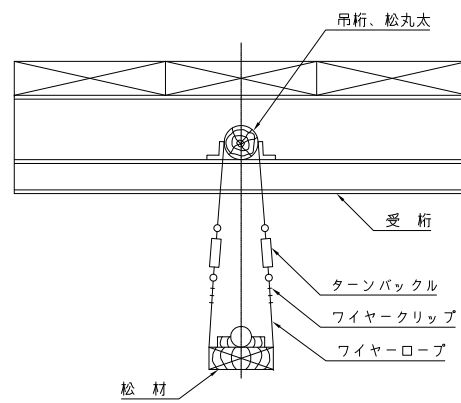
側面図 (ガス管  $\phi 80\text{mm}$ 以下)



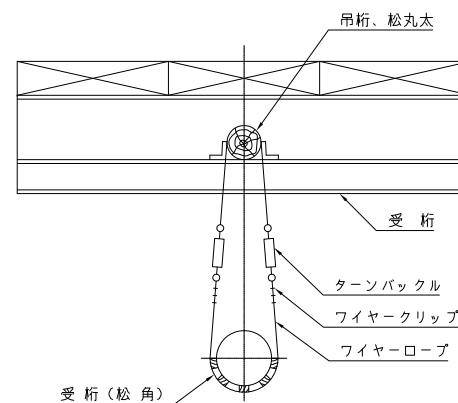
側面図



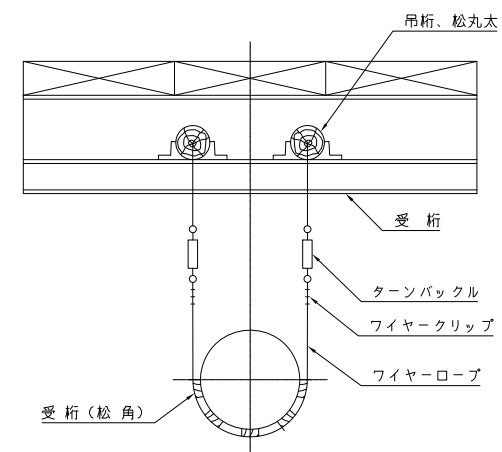
ガス管  $\phi 80\text{mm}$ 以下



ガス管  $\phi 100\text{mm} \sim \phi 300\text{mm}$



ガス管  $\phi 350\text{mm} \sim \phi 750\text{mm}$



## 埋設管防護図 (2) [参考図]

### ガス管

寸法表

(単位: mm)

管種	吊間隔 l	受桁	吊桁 (末口)	ワイヤーロープ JISG3525 6×24	クランプ クランプ	受梁 (厚×幅)	管押え (厚×幅)	
ガス鋼管	50mm以下	3m以内	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	120×180	45×45
	75mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	120×180	45×45
	100mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	—	—
	150mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	—	—
	200mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	—	—
	300mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	12×200	—	—
	400mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ8	12×200	—	—
	500mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ8	16×250	—	—
	600mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ10	16×250	—	—
	750mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ12.5	22×325	—	—
ガス鋼鉄管	75mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	120×180	45×45
	100mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	—	—
	150mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	—	—
	200mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	9×150	—	—
	300mm	3000	H-100×100×6×8	105	φ8	12×200	—	—
	400mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ8	16×250	—	—
	500mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ10	16×250	—	—
	600mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ12.5	16×250	—	—
	750mm	3000	H-100×100×6×8	120	φ14	22×325	—	—

材料表

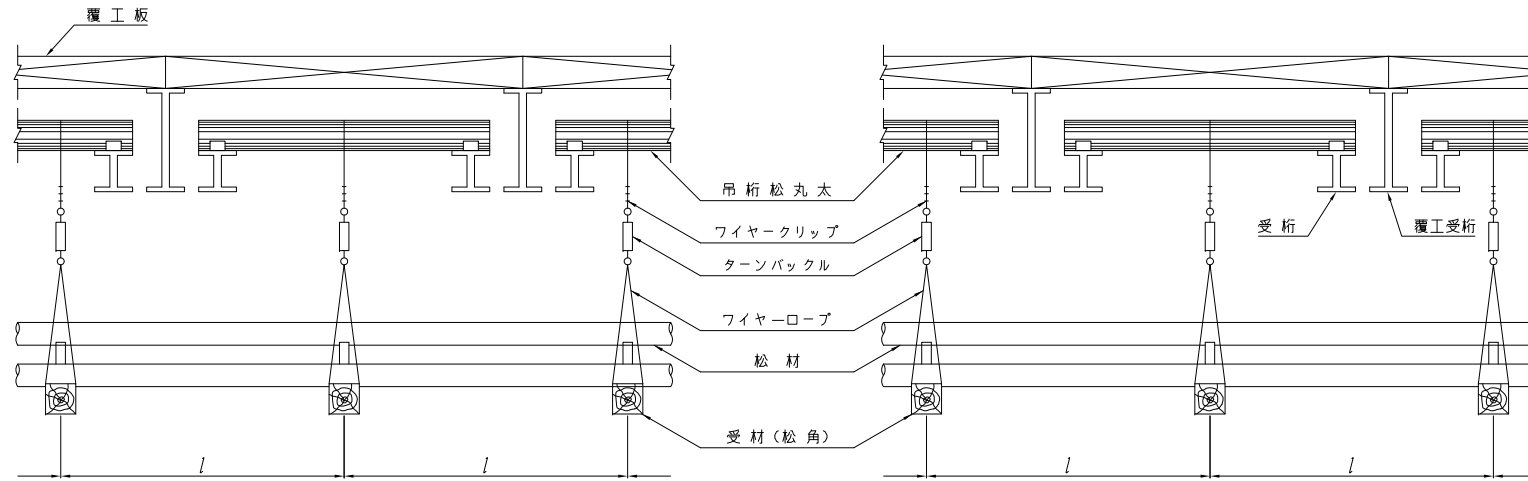
管種	受桁 (t)	吊桁 (松丸太) (m <sup>2</sup> )	クランプ (個)	受梁 (松角) (m <sup>3</sup> )	管押え材 (松正角) (m <sup>3</sup> )	ワイヤー (m)	
ガス鋼管	50mm以下	0.052	0.010	0.667	0.022	0.004	0.853
	75mm	0.052	0.010	0.667	0.022	0.004	0.853
	100mm	0.052	0.010	0.667	—	—	0.964
	150mm	0.052	0.010	0.667	—	—	0.964
	200mm	0.052	0.010	0.667	—	—	0.964
	300mm	0.052	0.010	0.667	—	—	0.964
	400mm	0.052	0.026	0.667	—	—	1.864
	500mm	0.052	0.026	0.667	—	—	1.864
	600mm	0.052	0.026	0.667	—	—	1.864
	750mm	0.052	0.026	0.667	—	—	1.864
ガス鋼鉄管	75mm	0.052	0.013	1.429	0.022	0.004	0.854
	100mm	0.052	0.013	1.429	—	—	2.113
	150mm	0.052	0.013	1.053	—	—	2.113
	200mm	0.052	0.013	1.053	—	—	2.113
	300mm	0.052	0.013	0.833	—	—	2.113
	400mm	0.052	0.058	0.833	—	—	2.416
	500mm	0.052	0.058	0.833	—	—	2.416
	600mm	0.052	0.058	0.833	—	—	2.416
	600mm	0.052	0.058	0.833	—	—	2.416

### 埋設管防護図 (3) [参考図]

## NTT地下ケーブル

側面図 (4条、8条)

側面図 (12条)



寸法表

(単位: mm)

管種	吊間隔 l	受桁	吊桁 (木口)	ワイヤロープ JISG3525 6×24	ターンバックル	受梁 (厚×幅)	受梁 (厚×幅)
4条	1500	H-100×100×6×8	1500	φ12	12×200	100×100	—
8条	1500	H-100×100×6×8	1500	φ12	12×200	100×100	—
12条	1500	H-100×100×6×8	1500	φ12	12×200	100×100	—

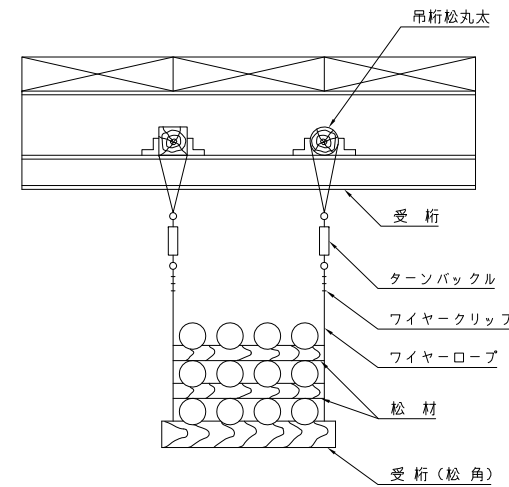
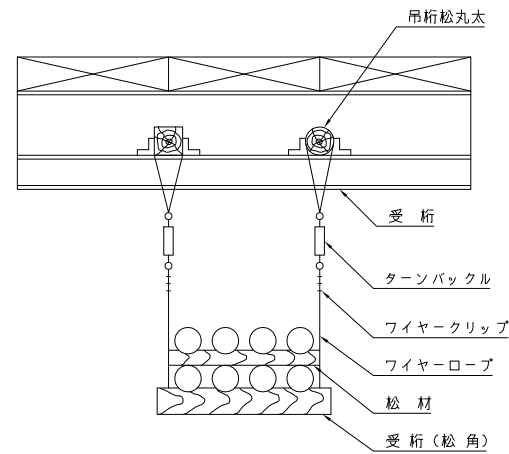
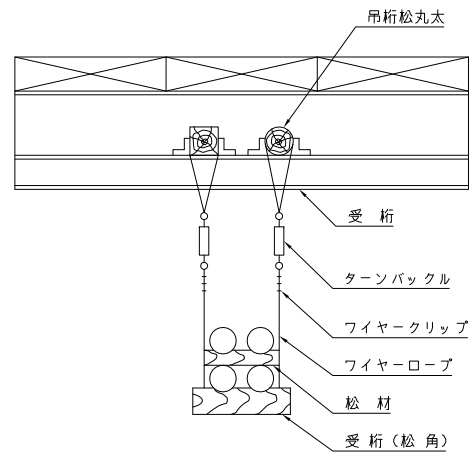
材料表

管種	受桁 (t)	吊桁 (松丸太) (m <sup>2</sup> )	ターンバックル (個)	受梁 (松角) (m <sup>3</sup> )	管押え材 (松正角) (m <sup>3</sup> )	ワイヤロープ (m)
4条	0.052	0.020	1.333	—	—	3.694
8条	0.052	0.020	1.333	—	—	3.694
12条	0.052	0.020	1.333	—	—	4.092

4条

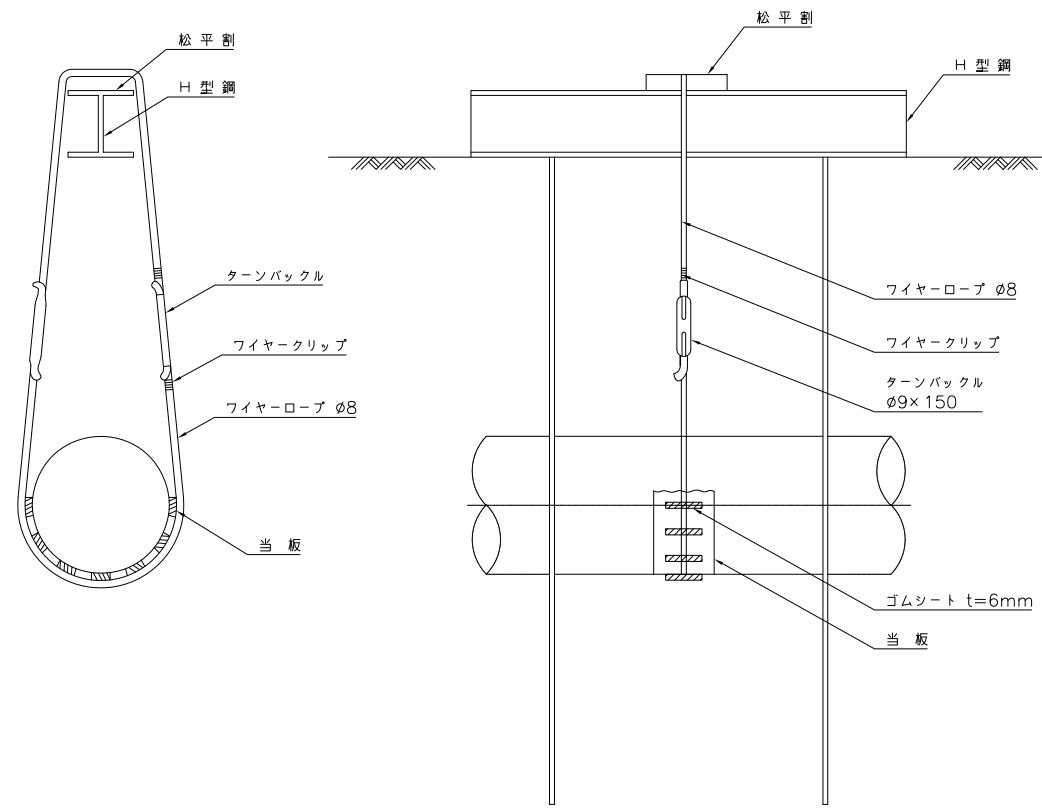
8条

12条



### 埋設管防護図 (4) [参考図]

#### 水道管



寸法表

(単位: mm)

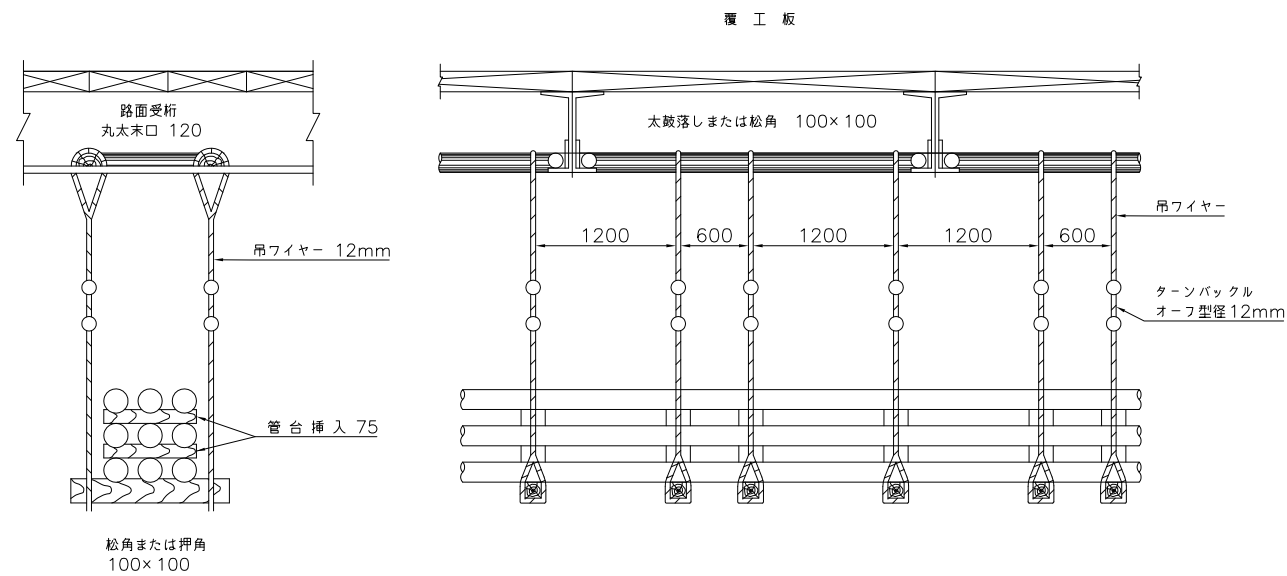
管種	吊間隔 l	受桁	吊桁 (末口)	ファイヤーロープ JISG3525 6×24	ターンバックル	受梁 (厚×幅)	管押え (厚×幅)
水道	75mm~250mm	2000	H-100×100×6×8	105	φ9	9×150	—
	300mm~600mm	1500	H-300×300×10×15	180	φ16	16×300	—
東京電力	9条以下	1200	H-100×100×6×8	120	φ12	12×200	100×100

材料表

(1m当り)

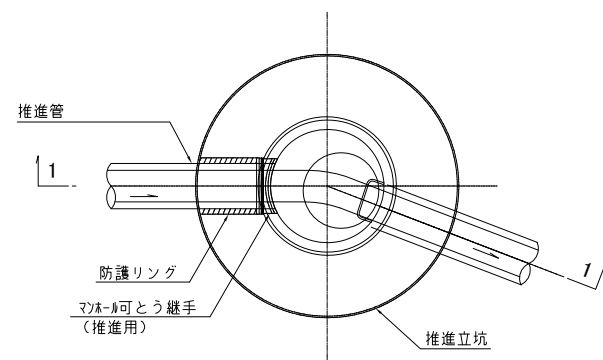
管種	受桁 (t)	吊桁 (松丸太) (m <sup>2</sup> )	ターンバックル (個)	受梁 (松角) (m <sup>3</sup> )	管押え材 (松正角) (m <sup>3</sup> )	ファイヤーロープ (m)	
水道	75mm~250mm	0.052	0.010	1.000	—	—	3.000
	300mm~600mm	0.141	0.058	1.333	—	—	3.000
東京電力	9条以下	0.052	0.013	1.333	—	—	4.092

#### 東京電力 (9条以下)

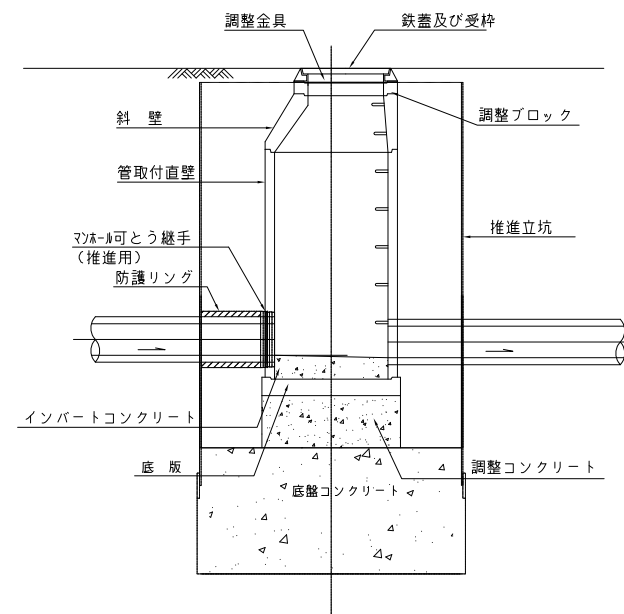


# 推進用マンホール可とう継手図【参考図】

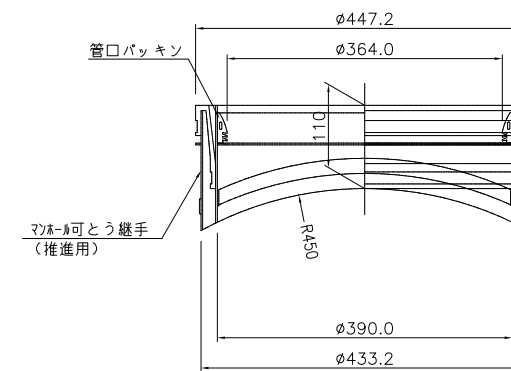
平面図



1-1 断面



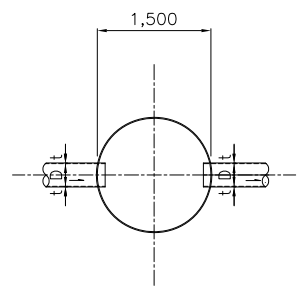
マンホール可とう継手構造図 (推進用)



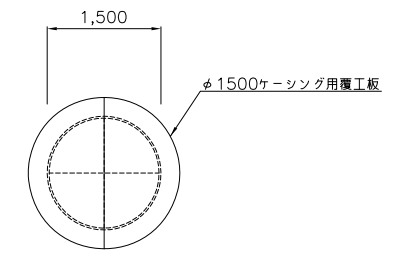
※上図は、1号マンホール用の寸法値である。

φ1500ケーシング立坑図 縮尺 1/50

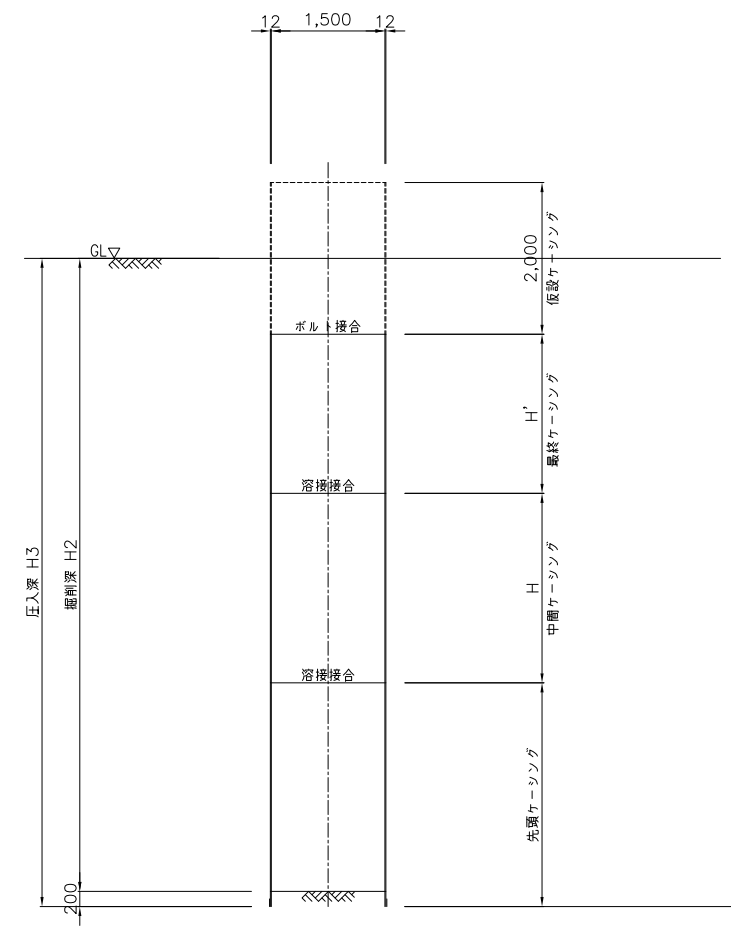
平面図



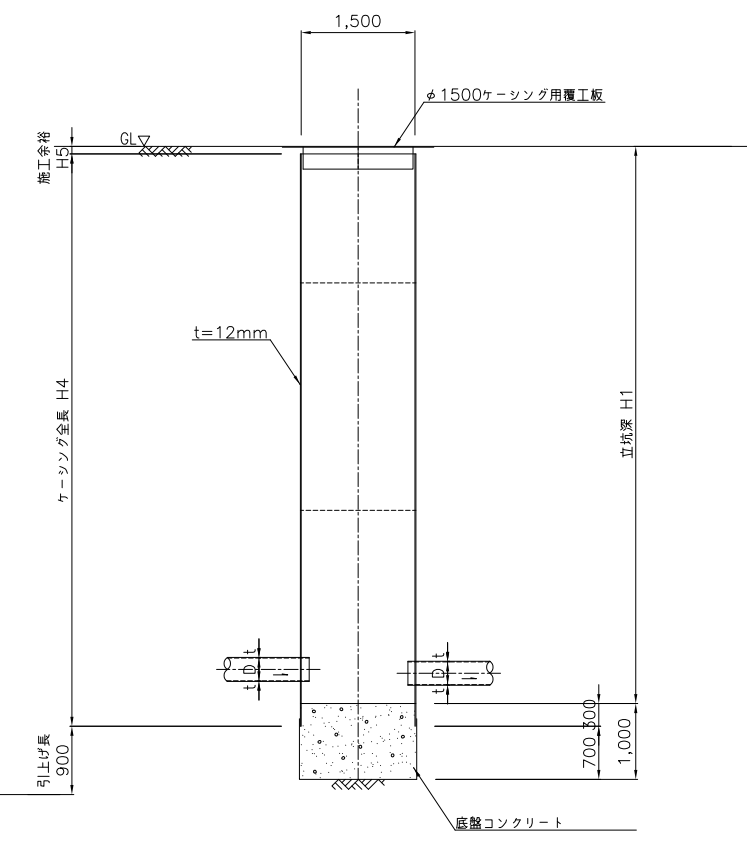
覆工板配置図



圧入掘削完了時



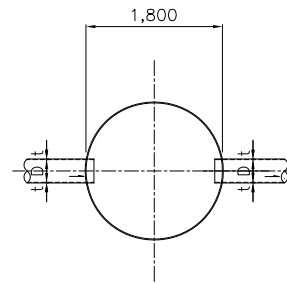
引抜完了時



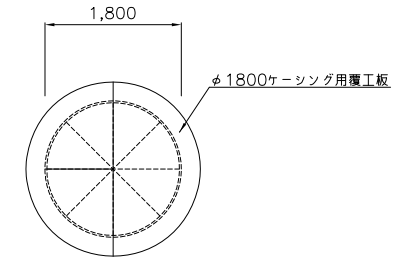
\*ケーシング径については、呼び径表示である。

φ1800ケーシング立坑図 縮尺 1/50

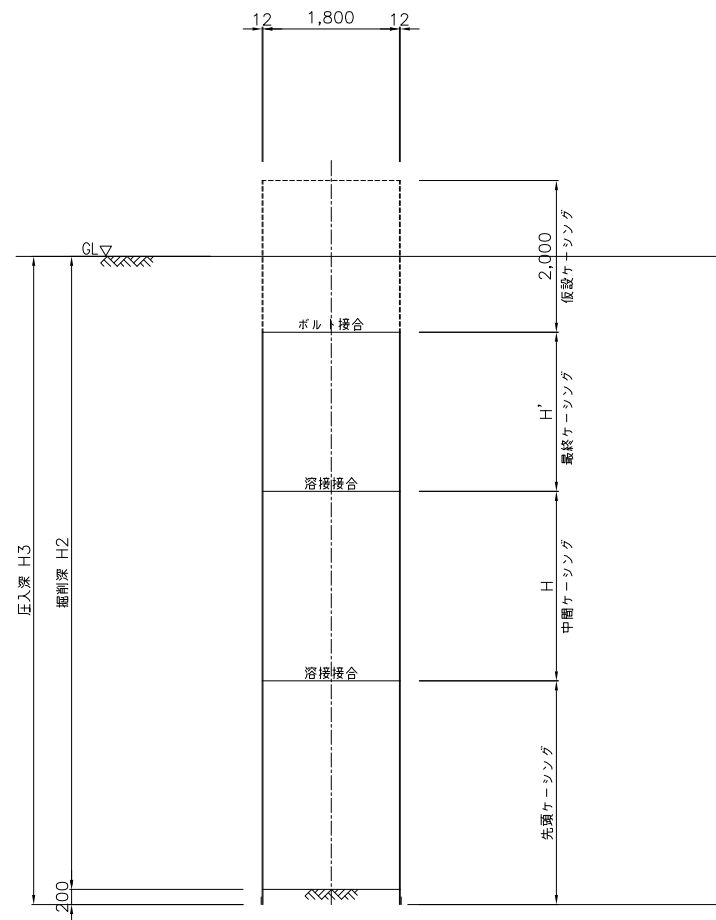
平面図



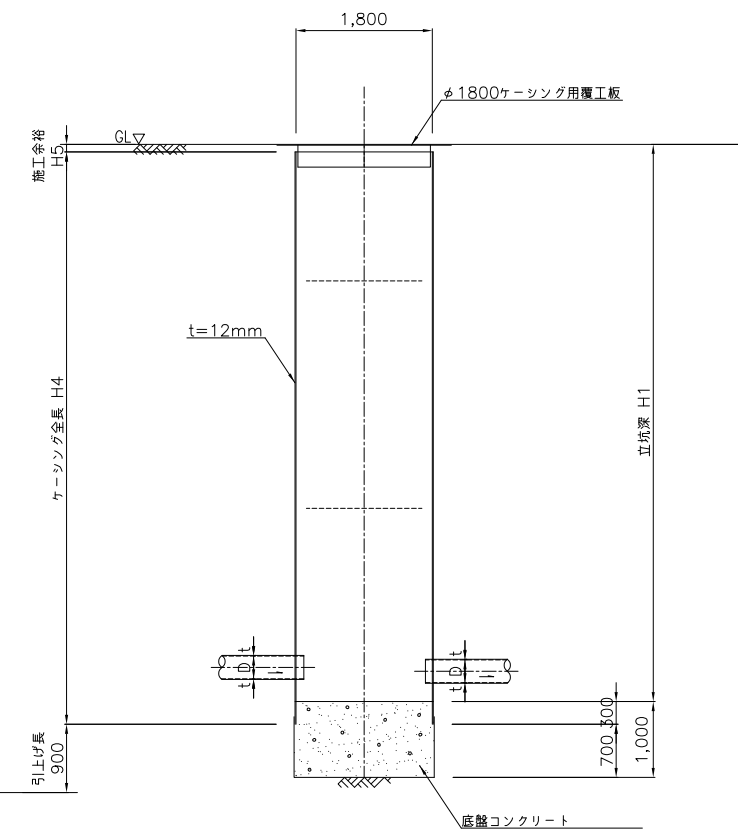
覆工板配置図



圧入掘削完了時



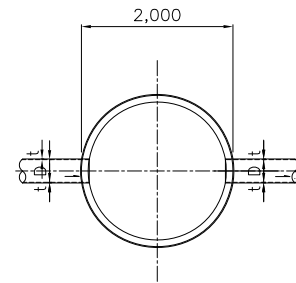
引抜完了時



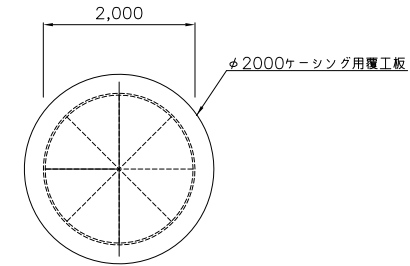
\*ケーシング径については、呼び径表示である。

φ2000ケーシング立坑図 縮尺 1/50

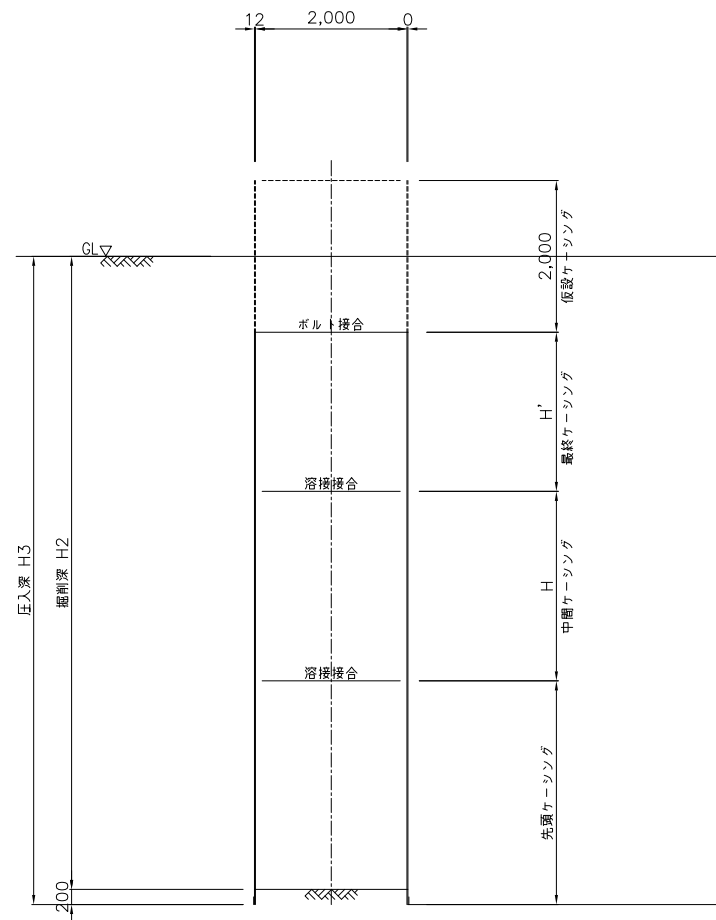
平面図



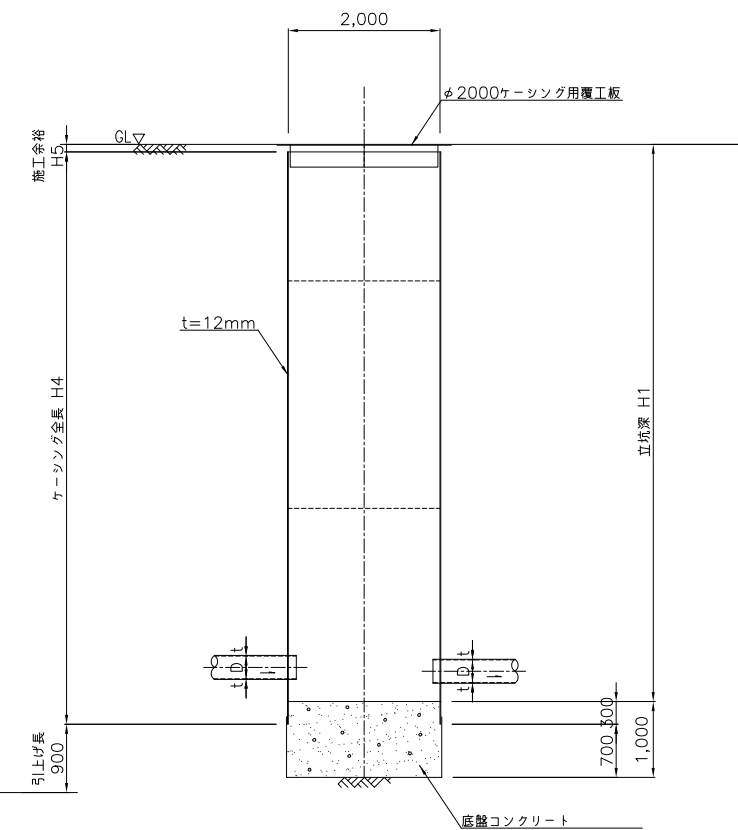
覆工板配置図



圧入掘削完了時



引抜完了時



\*ケーシング径については、呼び径表示である。